

臨床心理学部

(臨床心理学科)

シラバス

Syllabus 2025



あなたの学びを あなたのカタチに

九州医療科学大学

Kyushu University of Medical Science

科目名		英語			授業コード	110026B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	9CC121B01	AL 科目	○
担当者		上田 留理(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		Students will be able to improve their reading, writing, listening, speaking by comprehending English materials regarding to vasion subjects. Students will be expected be involved acively in all class activities and tasks.						
学修目標		1) Students will be able to improve reading skill by comprehending grammar/structure of English. 2) Students will be able to comprehend basic writing skill through translation practices. 3) Students will be able to improve English communication skill through class activities. 4) Students will be able to comprehend listening skill through dictation practices. 5) Students will be confident expressing their ideas and opinions in English.						
実務経験のある 教員による教育		This class is designed and conducted based on the experiences of the instructor who had worked as an interpreter and a translator. The instrctor was also educated and trained to teach active learning based on the CALA method which had been created for students of ESL.						
評価及びフィード バックの方法		・学習への取り組み姿勢(課題の提出ー30%、質問・発言など授業への積極的参加ー40%)及び学期末の単位認定試験ー30% によって行う。評価の詳細な基準に関しては、 授業開始日、及び必要に応じて説明を行う。 ・提出課題についての講評は、原則返却時に行い、個々の評価について提出課題に記述されるものとする。						
準備学習・ 履修上の注意等		Bring English/Japanese and Japanese/English dictionaries. Read assigned English materials to prepare for the classes.						
オフィスアワー		After classes						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1) 2)3)4)	Introducton of the Class					講義・演習	上 田
2	3)5)	Intercultural Communication (Group Activity)					講義・演習	上 田
3	1)2) 3)4)	Cell Phone – Mobile Phone Addict & Reduce Amount of Time to Use					講義・演習	上 田
4	1)2) 3)4)	Cell Phone – Mbile Phone Addict & Reduce Amount Time of Use					講義・演習	上 田
5	1)2) 3)5)	Process of Learning English (Practical Activity)					講義・演習	上 田
6	1)2) 3)5)	Process of Learning English (Practical Activity)					講義・演習	上 田
7	1)2) 3)	Eight Steps Towards a More Satisfing Life					講義・演習	上 田
8	1)2) 3)	Eight Steps Towards a More Satisfying Life					講義・演習	上 田
9	3) 4) 5)	Listening and Understanding English on DVD Material					講義・演習	上 田
10	3) 4) 5)	Listening and Understanding English on DVD Material					講義・演習	上 田
11	1)2) 3)4) 5)	Discussion regarding the contents on the DVD Material					講義・演習	上 田
12	2) 3) 5)	How to Develop Communication Skills Neccessary for Personels in Clinical Psychology Fields					講義・演習	上 田
13	2) 3) 5)	How to Develop Communication Skills Neccessary for Personels in Clinical Psychology Fields					講義・演習	上 田
14	1)2)3) 4) 5)	Open Subject related to Clinical Psychology (the subject chosen by students and necessary materials prepared by the instructor)					講義・演習	上 田
15	1)2) 3)4) 5)	Review for the course					講義・演習	上 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						

科目名	英語コミュニケーション			授業コード	110031B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科 1・2 年			ナンバリング	9CC122B01	AL 科目	○	
担当者	上田 留理(非常勤講師)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習	
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	Students will improve their English communication ability by using their knowledge, experiences an informagion regarding to various fields.							
学修目標	1) Students will improve their English comprehension skill through class lectures. 2) Students will improve their English communication skills through class activities. 3) Studtnes will improve their five English skills such as listening, specking, reading, writing and thinking.							
実務経験のある 教員による教育	This class is designed and conducted based on the experiences of the instrutor who had worked as an interpreter and translator. This instructor was also educated and trained to teach active learning based on CALA method whic had been created for ESL students.							
評価及びフィード バックの方法	・学習への取り組み姿勢(課題の提出ー30%、質問・発言など授業への積極的参加ー40%)及び学期末の単位認定試験ー30% によって行う。評価の詳細な基準に関しては、授業開始日、及び必要に応じて説明を行う。 ・提出課題についての講評は、原則返却時に行い、個々の評価について提出課題に記述されるものとする。							
準備学習・ 履修上の注意等	Bring English/Japanese and Japanese/English dictionaries. Read assigned English material to prpare for the classes							
オフィスアワー	After classes.							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1-3)	Introduction of the Class					講義・演習	上 田
2	1-3)	How to write logical reports in English					講義・演習	上 田
3	1-3)	How to prepare for a presentation (1)					講義・演習	上 田
4	1-3)	How to prepare for a presentation (2) understanding an audio and vivusl material as an example.					講義・演習	上 田
5	1-3)	How to prepare for a presentation (3): Choose a theme for a presentation (group activity)					講義・演習	上 田
6	1-3)	Preparation to give a presentation in a class (group activity) ①					講義・演習	上 田
7	1-3)	Preparation to give a presentation in a class (group activity) ②					講義・演習	上 田
8	1-3)	Giving a presentation in a class ①					講義・演習	上 田
9	1-3)	Giving a presentation in a class ②					講義・演習	上 田
10	1-3)	Review and discuss regarding presentations given in a class					講義・演習	上 田
11	1-3)	Learning about English activites for different age groups					講義・演習	上 田
12	1-3)	Making English activites for different age groups ①					講義・演習	上 田
13	1-3)	Making English activites for different age groups ②					講義・演習	上 田
14	1-3)	Presenting English activites created by students					講義・演習	上 田
15	1-3)	Review for the course					講義・演習	上 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない						

科目名		情報処理入門			授業コード	110084B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(1 年)・臨床心理学科(1 年)・動物生命薬科学科(1 年)			ナンバリング	9CC111B01	AL 科目	○
担当者		山内 利秋(薬・生)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		大学生が講義や演習で様々な課題を作成出来るようになるための基礎的な作業や知識を習得していくプロセスを通じて、現代社会における ICT(Information and Communication Technology)の意義について理解し、情報を収集・分類・活用していくための能力を獲得していく事を目的とします。特に excel の関数を最低限使いこなせるようになってもらう事を目指します。						
学修目標		1)ICT とは何かについて基本的に理解し、説明出来る。 2)PC 上での文章の記述について理解し、実践出来る。 3)統計情報のような数値情報の分析方法を行える。 4)ファイル・データの管理を行い、情報の分類について理解出来る。 5)インターネットにおけるコミュニケーションを理解し、運用出来る。 6)視覚表現について理解する。 7)プレゼンテーションを理解し、実施出来る。						
実務経験のある 教員による教育		特になし						
評価及びフィード バックの方法		課題制作(評価は 30%)及び試験(評価は 70%)。 フィードバックは classroom から行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		ICT に関わるリテラシーを習得しようとする真摯な態度が要求されます。高校の情報科の授業以外 PC にほとんど触れていないという人が多いのですが、特にコロナ禍以降では「スマホしか使わない」では仕事になりません。極端な事を言えば、PC の操作は自動車の運転どころか日常的なインフラ設備の操作(明るさに応じて電気をつける・水道の蛇口をひねって水量を調整する・ガスの元栓をあげたり風呂の温度を調整するなど)にも近くなっており、「できない」事は仕事の選択の幅を極端に狭くしたり、日常生活にさえ大きく影響します。 従って、テキスト及び課題に関わる予復習を十分に行うのみならず、日頃から PC を使う事を強く意識して下さい。これをやらないと毎回の授業についてこれないばかりでなく、特に学年があがるにつれ他の授業でも<できる／できない>の差が生じるといった状況を招きます。授業ではなるべく個々人がスキルを獲得できるように指導しますが、あまりにも「おくれ」が大きいと、全体の授業進行に大きく影響してしまいます。授業初回からアカウントを記載した用紙を無くすなどは論外です。 1 コマ当たり最低でも4時間を目安に予習・復習を行って下さい。 ※googleclassroom を使用します。第 1 回目の授業で説明しますが、googlemeet へは classroom からログインするようになりますので、注意して下さい。						
オフィスアワー		水曜日 5 限、その他講義時間以外の在席時。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	アカウントの確認、基本的なメールの使い方、googleclassroom や googleform の使用法を確実に理解し、オンライン化した授業に対しても確実に対応できるスキルを獲得する。					講義・演習	山 内
2	1)4)	「情報とは何か」を基本的なテーマとしながら、情報通信技術と情報化が進行した今日の社会、さらにデータを扱う事の意義について考えていく。そしてフォルダ・ファイルの種類や階層性を認識する事で、コンピュータにおける情報の分類について理解する。					講義・演習	山 内
3	1)2)3) 5)6)	Microsoft office と Google Workspace(そのうちドキュメント・スプレッドシート・スライド)の基本操作に関する課題をやってみる。基本的操作について確認するとともに、ファイル変換や互換性、ファイルの保存について理解する。					講義・演習	山 内
4	5)	メールのリテラシーを通じて、情報コミュニケーションの有効性・危険性について理解する。					講義・演習	山 内
5	2)	word を通じて文章の形式や論理的構成、デザインを理解する。 その 1					講義・演習	山 内
6	2)	word を通じて文章の形式や論理的構成、デザインを理解する。 その 1					講義・演習	山 内
7	3)	Excel を使って表計算やグラフ作成を行い、数値情報の分析について理解する。 その 1					講義・演習	山 内
8	3)	Excel を使って表計算やグラフ作成を行い、数値情報の分析について理解する。 その 2					講義・演習	山 内
9	3)	Excel を使って表計算やグラフ作成を行い、数値情報の分析について理解する。 その 3					講義・演習	山 内
10	3)	Excel を使って表計算やグラフ作成を行い、数値情報の分析について理解する。 その 4					講義・演習	山 内
11	3)	Excel を使って表計算やグラフ作成を行い、数値情報の分析について理解する。 その 5					講義・演習	山 内
12	7)	Powerpoint を使ってプレゼンテーション・発表の方法についての論理的方法を理解する。 その 1					講 義	山 内
13	7)	Powerpoint を使ってプレゼンテーション・発表の方法についての論理的方法を理解する。 その 2					講義・演習	山 内
14	1)	情報とセキュリティについて理解する。					講義・演習	山 内
15	1)	知的財産権について理解する。					演 習	山 内
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			『学生のための OFFICE スキル活用&情報モラル 改訂版』noa 出版 【ISBN:978-4-911200-02-5】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			特になし。					

科目名	データサイエンス I			授業コード	110198A402	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部・臨床心理学部・動物生命薬科学科(各学部学科 1 年次)			ナンバリング	9CC122B02	AL 科目	○
担当者	池脇信直(生命医科学科)・井藤英俊(スポーツ健康福祉学科)・内藤健一(臨床心理学科)・三宮基裕(臨床福祉学科)・中村真理子(臨床心理学科)・山内利秋(動物生命薬科学科)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	今日の ICT 技術の進展によって、従来までは経験や勘に頼らなければならなかった様々な活動が、客観的なデータに基づいてより分析的に実践できるようになった。誰にでも情報機器が扱えるようになり、ビッグデータと呼ばれる膨大な量の数値情報が収集されやすくなった事によって、以前は一部の分野の専門的な研究者にしか行えなかった様々な分析が、より多様に、かつ幅広い人々の手でも出来るようになりつつある。 本科目では、医療・福祉分野はもちろん、様々な産業や社会の中で扱われつつあるデータサイエンスについて学び、科学的な分析の手法を理解できるようになる事を目的とする。						
学修目標	1)データサイエンスが何かを理解し、説明できる。 2)データサイエンス・AIを活用する事の意義を理解する。 3)客観的なデータの重要性和基本的な役割を理解し、さらに適切なデータ分析・解釈ができる。 4)現代社会の様々な分野におけるデータ分析を基とした実践的活動について理解できる。 5)医療福祉分野におけるデータサイエンスについて理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価及びフィード バックの方法	小テスト(複数回)を課し、総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	オンデマンドと対面授業を合わせた形で実施します。多様な分野から構成されており、一見自分の専門からは離れている内容に思えるものもあるかもしれませんが、現代社会に生きる我々にとっては欠かす事ができないものでもあるので、じっくりと学修して下さい。試験は授業の終わりに google forms から実施する小テストを予定しています。 なお、この授業ではテキストの代わりにオンデマンドコンテンツ「AI データサイエンス基礎講座(リテラシーレベル)」を活用しますので、受講には登録料として料金が必要となります。登録する事によってコンテンツを 1 年間いつでもどこでも視聴でき、授業では取り扱わない項目も含めての自学自習が可能です。このコンテンツは国の政策でもある Society 5.0(仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会)の構築や、データサイエンティストをはじめ様々な分野で必要とされているデジタル人材の育成を目指すのに適した内容となっています。						
オフィスアワー	教員の在室時間(各教員により異なる)。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	データサイエンスとは。				講 義	山内オンデマンド
2	1)2)	社会で起きている変化:日本企業の国際競争力低下市場の変化、デジタル技術の発展、デジタル社会について理解する。				講 義	三宮オンデマンド
3	1)2)	社会で活用されているデータ:統計データ、ログデータ(人の行動・機械の稼働)、データの分類、オープンデータについて理解する。				講 義	三宮オンデマンド
4	2)3)	データ・AI の活用領域:AI の定義、歴史、活用領域(製造業、小売業、物流業、医療・介護)、人間に近づく AI について理解する。				講 義	井藤オンデマンド
5	2)3)	データ・AI 利活用のための技術:データ認識技術(画像、文字、音声、顔)、AI 技術(機械学習、ディープラーニングなど)、AI の難問(フレーム問題など)、強い AI と弱い AI、AI の得意・不得意について理解する。				講 義	内藤オンデマンド
6	2)3)	データ・AI 利活用のための技術:データ認識技術(画像、文字、音声、顔)、AI 技術(機械学習、ディープラーニングなど)、AI の難問(フレーム問題など)、強い AI と弱い AI、AI の得意・不得意について理解する。				講 義	内藤オンデマンド
7	2)3)4)	データ・AI 利活用の現場:製造業(IoT)、小売業(販売時点情報管理(POS))に加えて会員情報、センサー)、サービス業(顧客に合った資産運用モデルの作成など)、公共・インフラ業(スマートメーター、MaaS など)、新しいビジネス領域(シェアリングエコノミー、Direct to Consumer、スマートシティ)などについて理解する。				講 義	三宮オンデマンド
8	3)	データを読む(1) データの種類、代表値やばらつき、分析前のデータのチェックについて理解する。				講 義	内藤オンデマンド
9	3)	データを読む(2) 相関と因果、母集団と抽出、統計情報の正しい理解について学修する。				講 義	内藤オンデマンド
10	3)5)	QOL 評価とデータ分析:QOL を統計学的手法を用いて評価してみる。				講義・演習	池 脇
11	3)5)	医療分野におけるデータの活用:医療データの分析方法について。				講義・演習	中 村
12	3)5)	学校体育におけるデータの活用:データを使って、横断的研究と縦断的研究の分析をしてみる。				講義・演習	井 藤
13	3)5)	心理実験における反応時間データ:データの分布・取り扱い・分析について。				講義・演習	内 藤
14	1)2)4)	データ・AI を扱う上での留意事項(1):ELSI(倫理的・法的・社会的な課題)、不正行為(ねつ造、改ざん、盗用)、個人情報の保護について理解する。				講 義	山内オンデマンド
15	1)2)4)	データ・AI を扱う上での留意事項(2):バイアス(モデル構築時、データ収集時、データバイアスとアルゴリズムバイアス)、AI の正しい活用に向けて理解する。データを守る上での留意事項とまとめ:情報セキュリティや情報漏えいについて理解する。				講 義	山内オンデマンド
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし。					

科目名	データサイエンスⅡ			授業コード	110199A402	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部(2 年次) 臨床心理学部(2 年次) 動物生命薬科学科(2 年次)			ナンバリング	9CC122B03	AL 科目	○
担当者	山内 利秋(薬・生)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシーNo.	社会の様々な課題を知り、さらにそれを解決する手段として情報メディアを使いこなす事はもはや必須となった。身近な問題が、 地域社会さらには世界全体の問題とどのように関係しているのかを理解しつつ、それを解決するための一歩として、データサイ エンスに関わる様々な分析・活用方法を学習し、自らが社会において主体的な行動を取れるようになる事を目指す。						
学修目標	1)社会で起こっている様々な課題と自らの生活空間・身近な社会における問題の関係性を理解し、説明出来る。 2)地域社会におけるコミュニケーションとメディアのあり方について理解し、具体的に説明出来る。 3)社会の課題を抽出し、それを理解するための調査方法を習得する。 4)データを活用した統計解析の考え方を理解し、それを分析する方法を習得する。 5)抽出した情報を分析し、説明する事が出来る。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価及びフィード バックの方法	発表・課題提出についてそれぞれ 50%・50%の割合で評価する。 フィードバックは classroom から行います。						
準備学習・ 履修上の注意等	1.Office、特に Excel の最低限・基本的な操作が出来ないと授業に全くついていけないので、できれば情報処理入門を受講後に 履修してほしい。2.情報通信技術を自らの手で工夫して社会に対応出来るようにしようとする意欲を持っている事。グループまた は個々人で考えながら作業を行なう部分が多く、コツコツと積み重ねる事が要求される。これらを意識して演習に活用出来る素 材を予復習として集めてくる。 ※googleclassroom を使用します。第 1 回目の授業で説明しますが、googlemeet へは classroom からログインするようになります ので、注意して下さい。						
オフィスアワー	木曜日 4 限、その他講義時間以外の在席時。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	グローカリゼーションと地域社会、身近な生活空間といったそれぞれのコミュニティにおける課題の存在を知り、こ れを理解・解決していく上での様々な情報の重要性について理解する。				講 義	山 内
2	2)3)	自分の身の回りで発生している様々な課題を現象として捉えていく方法を、航空写真や GIS 上にある情報から理 解していく。				演 習	山 内
3	3)4)	統計学の最も基本的な部分について確認してみる。				演 習	山 内
4	3)	データの要約について考えてみる。				演 習	山 内
5	3)	身近な課題をとりあげ、それを解決するために、出来事のパターン化を行なう。				演 習	山 内
6	4)	質的変数の分析についてやってみる。				演 習	山 内
7	4)	量的変数を代表値で要約してみる。				演 習	山 内
8	4)	量的変数をばらつきで要約してみる。				演 習	山 内
9	4)	平均と標準偏差を活用してみる。				演 習	山 内
10	3)4)	2 つの平均値を比較してみる。				演 習	山 内
11	3)4)	平均値の比較をアイデア評価に応用してみる。				演 習	山 内
12	3)4)	散布図を活用して関係性を分析してみる。				演 習	山 内
13	3)4)	回帰分析を活用して関係性を分析してみる。				演 習	山 内
14	3)4)5)	関係性の分析で改善点を見つけてみる。				演 習	山 内
15	3)4)5)	時系列データを分析してみる。				演 習	山 内
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		『学生のためのデータリテラシー』(豊田裕貴)【978-4-86510-446-2】					

科目名	キャリア教育			授業コード	110005B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	9CC221B01	AL 科目	○
担当者	横山 裕(心・心)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	本講義の目標は、「豊かな人間性、高いコミュニケーション能力、高度な臨床的知識を備えた言語聴覚士または公認心理師」になるために(DP1,2,4)、社会人としての基礎を身につけながら、並行して専門職を目指す者としての基礎を身につけることにある(CP1,2)。						
学修目標	1) 自分の特徴(いわゆる長所・短所)を客観視する。 2) 自分と社会との接点に気付く。 3) 言語聴覚士及び公認心理師の仕事の社会的側面について知る。 4) 自己キャリアデザインに必要なスキルについて知る。 5) 人生100年時代を生きる意味と社会構造の変化へ対応する意味を理解する。						
実務経験のある 教員による教育	キャリアカウンセラーとして5年以上の実務経験を有する。						
評価及びフィード バックの方法	授業毎の小テストやレポート課題により形式的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、小テスト、授業の参加態度など)の評価を50%、学期末の総括レポートを50%として単位認定を行う。 オフィスアワーなどを活用して個別にフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	医療や福祉のみならず、政治・経済など各自のキャリアデザインに関する最新の動向について関心を持つように心がけること。 また、自分の長所・短所を知り、長所は伸ばす、短所は改善することが人生100年時代の新しい生き方を身につけるために重要である。						
オフィスアワー	教員のオフィスアワーに準ずる。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1),2)	キャリアとは何か理解する。				講 義	横 山
2	1),2)	キャリア教育の意味について考える。				講義・SGD	横 山
3	1),2)	自己のキャリアを考える視点を理解する。				講 義	横 山
4	1),2)	自己のキャリアを形成する方法について学ぶ。				講 義	横 山
5	3)	キャリアデザインにおける資格について考える。				講 義	横 山
6	1),2),3)	自己のキャリアプランを立ててみる。				講 義	横 山
7	1),2),3)	他者のキャリアを理解する。				講義・SGD	横 山
8	3),4)	医療、保健領域を取り巻く状況を理解する。				講 義	横 山
9	3),4)	人生100年時代を取り巻く社会状況を理解する。				講 義	横 山
10	3),4)	キャリアデザインに必要なスキルを理解する(1)社会構造				講 義	横 山
11	3),4)	キャリアデザインに必要なスキルを理解する(2)産業構造				講 義	横 山
12	3),4)	キャリアデザインに必要なスキルを理解する(3)経済社会				講 義	横 山
13	3),4)	キャリアデザインに必要なスキルを理解する(4)個性と多様性				講 義	横 山
14	1)~5)	人生100年時代に必要なキャリアを理解する。				講義・SGD	横 山
15	1)~5)	総括				講 義	横 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特にありませんが、教員より参考書等文献の指示があります。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		教員の指示に従ってください。					

科目名	コミュニケーション論			授業コード	110007B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	9CC122B04	AL 科目	○
担当者	伊藤 さゆり(臨・臨)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	演習・講義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	本講義では、専門職としての豊かな人間性と倫理観を身につけ、社会や他者のために責任ある行動をとるために、必要なツールであるコミュニケーション能力の向上を目指すことは大切である。本講義では、様々な課題を抱えた人々や、地域、協働する各機関や多職種等とのコミュニケーション方法や適切な対応についての修得を目的とする。(DP1,2)						
学修目標	1)コミュニケーションとは何かを理解し、説明できる。 2)基本的なマナーや言葉遣いについて理解し、説明できる。 3)相手の立場に立った見方など多角的な視野に沿ったコミュニケーションについて理解し、説明できる。 4)あらゆる障害で生じるコミュニケーション障害について理解し、説明できる。 5)コミュニケーションの種類について理解し、説明できる。 6)社会活動の中で必要とされるコミュニケーション能力について理解し、説明できる。 7)あらゆる場面を想定したコミュニケーション活動を体験し、理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(伊藤)は、病院等臨床現場における言語聴覚士として、あらゆる患者とのコミュニケーション経験を活かし、その方法や対応について講義を行う。また、日常的に用いられるコミュニケーション活動において必要とされる知識や理解を深めるため外部講師を招き、コミュニケーションを通じた人材育成に努める。						
評価及びフィード バックの方法	毎回提出する小レポートや課題の成績を 40%、学期末の単位認定試験の成績を 60%の割合として換算し、評価を行う。 フィードバックは、15 回目の授業内に行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	原則として、講義内容についてレポート提出を行うため、各授業の前に授業内容について各自予習しておくこと。 予習内容は初回授業時に指定する。						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準じる。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	コミュニケーションとは何か				講 義	伊 藤
2	1)2)	相互理解(言葉遣い、マナーについて考える)				講義・演習	伊 藤
3	2)3)	コミュニケーション障害:難聴				講義・演習	伊 藤
4	3)4)5)	コミュニケーション障害:構音障害				講義・演習	伊 藤
5	3)4)5)	コミュニケーション障害:失語症				講義・演習	伊 藤
6	3)4)5)	コミュニケーション障害:高次脳機能障害				講義・演習	伊 藤
7	3)4)5)	コミュニケーション障害:認知症				講義・演習	伊 藤
8	3)4)5)	コミュニケーション障害:言語発達障害				講義・演習	伊 藤
9	3)6)7)	臨床で役立つコミュニケーションの技法①				講義・演習	伊 藤
10	3)6)7)	臨床で役立つコミュニケーションの技法②				講義・演習	伊 藤
11	1)2)3) 4)5)6) 7)	言語聴覚障害児とのコミュニケーションを考えよう				講義・演習	伊 藤
12	1)2)3) 4)5)6) 7)	言語聴覚障害者とのコミュニケーションを考えよう				講義・演習	伊 藤
13	3)4)5) 6)7)	コミュニケーションの種類・方法・実施①(失語症者支援演習)				講義・演習	伊 藤
14	3)4)5) 6)7)	コミュニケーションの種類・方法・実施②(失語症者支援演習)				講義・演習	伊 藤
15	1)2)3) 4)5)6) 7)	まとめ				講義・演習	伊 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		やさしいコミュニケーション障害学ー基礎からわかる言語聴覚療法の実践ー 八王子言語聴覚士ネットワーク (編集)三輪書店【ISBN-13 978-4895905572】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		PT・OT・ST のためのコミュニケーション実践ガイド 第 3 版 山口美和 医学書院【ISBN-13 978-4260053518】					

科目名	QOLと人間の尊厳			授業コード	110181B401	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科・臨床心理学科(1 年生)			ナンバリング	9CC111B02	AL 科目	『○』
担当者	池脇 信直(生命医科)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシNo.	QOL と人間の尊厳では、他の人と共存して生きる人間のよりよい人生とは何かを、「QOL」と「人間の尊厳」の二つの観点から学ぶ。病気や障がいを持ちながら人生を全うすることの意味を知ことは、社会人としての基本的な態度を形成する上で重要である。 「QOL」では、健康・疾病・障がいの関連をもとに「より良い人生」とは何かを理解するために、言葉の持つ意味を中心に人生や生活における quality(質)を科学的・構造的に考えるための基礎知識を修得する(スポーツ:DP1,2,3,4 薬学科:DP1,2,4,5 動物生命:DP1,2,3,4,5 生命医科:DP1,2,3,4,5,6,7,8,9 臨床心理:DP1,2,3,4,5,6)。 「人間の尊厳」とは、どのような概念であろうか。例えば、「尊厳死」とは本人の人生観に基づいて延命治療を行わないことである。この事例のように、医療・福祉に携わる私たちは、本人の人生観を自分の基準とは異なるものとして否定しないこと(人間の尊厳)が特に求められる。「人間の尊厳」では、人間の尊厳を守ることができる人となるために、他人の価値観を否定せず容認する考え方を修得する(スポーツ:DP1,2,3,4 薬学科:DP1,2,4,5 動物生命:DP1,2,3,4,5 生命医科:DP1,2,3,4,5,6,7,8,9 臨床心理:DP1,2,3,4,5,6)。 授業は QOL と人間の尊厳に関するトピック(話題)をスモールグループディスカッション(SGD)方式で進める。また、本授業に関連したミニデモンストレーションを取り入れたアクティブラーニング(AL)を行う(スポーツ:CP2-1 薬学科:CP1-2,3 CP2-1 動物生命:CP2-1,2-4 生命医科:CP2-1 臨床心理:CP2-1)。						
学修目標	1)教育や学びから人生や生活における「質」と「人間の尊厳」を理解し説明できる。 2)QOL の言葉の意味を理解し説明できる。 3)QOL と健康・疾病・障がいとの関連性を理解し説明できる。 4)QOL と公衆衛生活動・QOL 評価を説明できる。 5)人間の尊厳と社会との関連性を理解し説明できる。 6)人間の尊厳と自分の轍(わだち)・キャリア・人生・希望との関連性を理解し説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者である池脇信直は大学病院等で 10 年以上の実務経験に基づき、最新の情報と資料を提供しながら授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	迅速かつ建設的な評価及びフィードバックを行う。具体的な方法は下記の通りである(全学科:CP3-1)。 1) 提出された試験、レポート、課題等を採点し、コメントをつけて返却する。 2) 次回の授業日で授業の中の特徴的な見解について解説する。 3) 学生の良くできた答案やレポートを紹介する。 4) 授業終了後、全体的な講評、模範解答等をメール配信あるいは印刷配付する。 5) 授業アンケートのコメントをフィードバックする。 6) 学習への取り組み姿勢(課題提出、積極的な質問や発言)を 50%、定期試験を 50%として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業は主に「QOL と人間の尊厳」に関わる課題を提供すると共に、その課題を SGD 及び AL 型(プレゼンテーション)授業を通して解決する形で進める。予習としては、提供される課題に対して、参考書等を用いて前もって調べる、いわゆる「反転授業」を行うことが大切である。復習としては、毎回の単元で獲得した情報を講義ノート、講義プリント・資料を丹念に読み返し、理解を深めることが重要である。毎回の授業の前後、週末および長期休暇期間を使って、計 29 時間の自己学習を行うこと。すなわち、1 回の授業につき 4 時間以上を目安に予習と復習を行うこと。 授業内容の順番は入れ替わることがある。また、教材が変更されることもあるので注意すること。						
オフィスアワー	毎週月曜～金曜日:12:20～13:00 副学長室						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	人間の尊厳と教育を考える ～建学の理念からの考察～(専務理事講和)				講義・SGD	池 脇
2	2)	QOL の意味について考える①				講義・SGD	池 脇
3	2)	QOL の意味について考える②				講義・SGD	池 脇
4	3)	年を取ることから QOL を考える				講義・SGD	池 脇
5	3)	ストレスから QOL を考える				講義・SGD	池 脇
6	3)	健康・疾病・障がいから QOL を考える				講義・SGD	池 脇
7	4)	QOL と公衆衛生活動を考える				講義・SGD	池 脇
8	4)	QOL の評価を考える				講義・SGD	池 脇
9	5)	人間の尊厳と社会の仕組みを考える				講義・SGD	池 脇
10	5)	人間の尊厳と社会が求めていることを考える				講義・SGD	池 脇
11	6)	人間の尊厳と自分の轍(わだち)を考える				講義・SGD	池 脇
12	6)	人間の尊厳と人生を考える				講義・SGD	池 脇
13	6)	人間の尊厳と AI 時代を考える				講義・SGD	池 脇
14	6)	人間の尊厳と希望を考える				講義・SGD	池 脇

15	1)2)3) 4)5)6)	まとめ	講義・SGD	池 脇
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しません。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		資料(プリント)を配付します。 参考書と参考文献を紹介します。		

科目名	日向国地域論			授業コード	110125B401	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科・臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	9CC122B05	AL 科目	
担当者	横山 裕(福・福)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	九州医療科学大学はその設立より延岡市を始めとして宮崎県北部地域に密着した大学として発展してきた。本講義を通してこの発展をさらに良きものとし学生が地域とより深く交流するため(DP4、CP7)の推進力を身につけることを目標とする。						
学修目標	1)地域の歴史や文化について説明できる。 2)地域に期待される大学像を知る。 3)地域における男女の生き方について説明できる。 4)地域の災害の歴史と現在の危機管理について説明できる。 5)地域における一次産業とその文化について説明できる。 6)地域の産業とまちづくりについて説明できる。 7)地域の医療・保健と健康政策について説明できる。 8)地域の暮らしと福祉の歩みについて知る。 9)地域の観光と娯楽の変遷について知る。						
実務経験のある 教員による教育	行政、観光、まちづくりなど多方面にわたって地域における実務経験を有する講師を招聘している。						
評価及びフィード バックの方法	毎講義後に提出物(小レポート)を課し、その評価(100%)によって行う。 オフィスアワーなどを活用して個別にフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	外部講師にご講義いただくので礼を失することのない受講態度で臨むこと。						
オフィスアワー	月水金 12:30~13:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)~8)	これまでの講義概要を理解し、地域について知ることの意義を理解する。				講 義	横 山
2	1)	宮崎県北地域の文化財及びその保護活動について理解し、歴史と文化との関係性を理解する。				講 義	横山・外部講師
3	2)	県北地域に芸術活動の現状を理解し、地域と世界の芸術交流の未来のあり方を理解する。				講 義	横山・外部講師
4	4)	県北地区の一次産業の歴史と現状を知り、それが育んできた豊かさを理解する。				講 義	横山・外部講師
5	5)	県北地域の第三次産業の現状を理解し、商業と街づくり・人づくりの関係について理解する。				講 義	横山・外部講師
6	6)	県北の自然の魅力を知り、自然を生かしたまちづくりの現状を理解する。				講 義	横山・外部講師
7	7)	県北地域の税金をとりまく現状を理解し、これからの正しい納税者のあり方を身に着ける。				講 義	横山・外部講師
8	7)	県北地域が経験した災害とそれに対処してきた歴史を知り、蓄積された先人の知恵と現在の対応を知る。				講 義	横山・外部講師
9	1)6)	県北地域の行政の現状を知り、様々な問題に対してどのような取り組みがなされているのか理解する。				講 義	横山・外部講師
10	1)	県北地域の教育について知り、地域の人材育成がどのように実践されているのかを理解する。				講 義	横山・外部講師
11	8)	県北地域における観光資源の発掘、観光地環境整備、地元プロモーション活動の現状を知り、県北地区の観光の可能性について理解する。				講 義	横山・外部講師
12	1)	宮崎県北地域に伝わる神話や今日にいたる様々な歴史について理解する。				講 義	横山・外部講師
13	3)	県北地域の自然環境と暮らしとの関係を知り、これからの環境保護活動について理解する。				講 義	横山・外部講師
14	1)	県北地域で行われている薪能について知り、それが市民共同運動へと発展して行った経緯について理解する。				講 義	横山・外部講師
15	1)~8)	講義を通じて学んだことをふりかえり各自が地域について考えたことをまとめる。				講 義	横 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて別途指示する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて別途指示する。					

科目名		日向国地域体験学習			授業コード	110200A401	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科、薬学科、動物生命薬学科、生命医科学科、臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	9CC123B01	AL 科目	○
担当者		藤原 幸子(社福・スポーツ)大倉正道(薬・薬)宮内 亜宜(薬・動物)二反田 隆夫(生命・生命)中村 真理子(臨心・臨心)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習及び活動
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.		農業やアウトドア体験を通して、食をはじめ地域の自然や魅力を体感するとともに農泊や住民との交流によって地域の暮らしや伝統文化、そこで暮らす人々の想いに触れるという主体的かつ対話的な学びを通して心の豊かさの形成や学びに向かう力・人間性等を滋養することを目的とする。						
学修目標		1)地域の歴史や文化について説明できる 2)地域の産業とまちづくりについて説明できる 3)地域の観光の変遷について説明できる 4)地域における一次産業について説明できる 5)受け入れ先の農家あるいはアウトドア施設の社会的役割や多世代の価値観を理解することができる 6)社会的マナーを理解し、約束を守ることができる 7)農業やアウトドア体験で得た学びを他者と共有することを通して学習を深化させることができる 8)報告書の意義を理解し、適切にわかりやすく正確に書くことができる 9)個々の体験から得たものを言語化し、報告会で発表することができる 10)フィールドワーク(体験、地域住民との交流)を通して感じたことや地域の課題をまとめ、これからどうすべきか、どうしなければならないかを自ら考え、提言することができる						
実務経験のある教員による教育		教員に実務経験はないが、各フィールドワークにおける案内人はアウトドア体験や地域観光の専門家である。						
評価及びフィードバックの方法		演習及び学習への取り組み姿勢(活動参加状況やレポート等の提出状況)の評価 30% 課題発表及び報告書の評価 70% 評価の基準は授業開始時に説明する						
準備学習・履修上の注意等		最初の 2 コマはカリキュラムの概要説明、フィールドワーク(体験、地域住民との交流)を行ううえでの心得や社会的マナーなどの指導、中山間地域の現状と課題などについて事前学習として座学で学ぶ。その後 10～11 月中旬に 1 泊 2 日の予定で農泊、アウトドア体験を行う。事後研修としてフィールドワーク(体験、地域住民との交流)を通して感じたことや地域の課題とその解決策についてまとめ、報告書・提言書として提出する。小人数のグループ単位で発表する。 以下、注意点です。 ・お金の負担が発生します。過去実績で 1 人当たり 5,000 円程度になる予定です。できるだけ 1 人あたりの負担金額がこれ以上にならないように努めます。最終的な金額については、授業内でアナウンスします。 ・履修時は、後期の授業に割り振られていますが、事前(7 月頃)に体験プログラムの希望調査を行います。したがって、後期の履修修正期間での履修登録は例外処置となりますので、履修を希望する方は前期の間に履修登録をお願いします。体験プログラム希望調査後の履修取り消しは可能です。履修取り消しは各自、教務課に相談してください。						
オフィスアワー		時間割が確定後、各教員の研究室等に掲示する						
授業計画								
回数	学修目標 No.	授 業 内 容					授業方法	担当
1	1)2)3)4)5)	9 月:事前学習① オリエンテーション ①授業目標、意義、年間授業計画について理解する ②活動方法、手続きについて理解する ③授業評価、単位認定方法について理解する ④フィールドワークのルールとマナーについて理解する					講 義	担当教員
2	1)2)3)4)5)	10 月:事前学習② 事前講義 ①参加するフィールドワークの種類・内容・そのフィールドワークで触れる課題について理解する ②フィールドワークに出発するまえの活動方法、手続きについて理解する					講 義	担当教員
3-10	5)6)7)	10～11 月 フィールドワーク実践(10～11 月中旬に 1 泊 2 日でフィールドワークを実践する) 紹介するフィールドワークのなかから個々の興味・関心や専門分野に関連するフィールドワークに参加する					実 践	担当教員・外部講師
11-12	8)9)10)	活動報告と評価 活動報告① フィールドワークを通じて学んだことについて振り返る ①フィールドワークの自己評価を行う ②フィールドワークから感じたことならびにそこから見えた地域の課題についてレポートを書く ③少人数のグループ単位でフィールドワークについて感じたことや課題等についてまとめる ④少人数のグループ単位でフィールドワークから見えた地域の課題についてまとめ、発表の準備を行う					演 習	担当教員
13-14	8)9)10)	活動報告と評価 活動報告② フィールドワークを通じて学んだことについて振り返る ①少人数のグループ単位でフィールドワークについて感じたことや課題等についてまとめる ②少人数のグループ単位でフィールドワークから見えた地域の課題についてまとめ、発表の準備を行う					演 習	担当教員
15	8)9)10)	活動報告と評価 活動報告③ グループ単位で作成したプレゼンテーション・ポスター等を用いて発表を行う					演 習	担当教員・外部講師

教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜資料を配布する		

科目名		医療・福祉連携講座			授業コード	110201A401	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科・臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	9CC123B02	AL 科目	○
担当者		正野(福・ス)他	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.		本学の学則第 1 条には「本学は(中略)国際化社会にに向けて、介護・福祉、医療、薬学に関する理論及び社会の問題を教育研究し、応用能力を持つ人格を陶冶することを目的とする」とある。医療・福祉を標榜する学部学科の教育理念に資するために大学共通科目として本科目が設定されている。 本講では、学部・学科の教員がそれぞれの専門分野の視点から、医療・福祉・薬学などの専門領域の課題について学生の皆さんと考え、学生同士が意見・考えを共有しながら、それぞれの課題に取り組む姿勢を醸成することを目的とする(大学 DP1, 3: 大学 CP[教育課程の編成 1, 3])。						
学修目標		1) 医療・福祉の定義を説明できる。 2) 社会福祉学部、薬学部、生命医科学部、臨床心理学部のそれぞれの視点から国内外の保健と福祉の関係を説明することができる。 3) 医療・福祉を必要とする対象者に係わる専門職の連携(チームケア)の重要性を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		特になし						
評価及びフィード バックの方法		各講義において、小テストやレポートを課します。						
準備学習・ 履修上の注意等		一部を集中にて演習を実施することがあります。スケジュールを確認してください。						
オフィスアワー		各授業の前後						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2) 3)	ソーシャルワーカーの役割と連携のあり方を理解する 福祉					講 義	藤 原
2	1)2) 3)	東洋医学の考え方を基盤とした鍼灸治療と福祉との連携について 鍼灸					講 義	渡 邊
3	1)2) 3)	スポーツ・レクリエーション、救急救命士と医療・福祉とのかかわり スポ・救急救命					講 義	正野・西園
4	1)2) 3)	公認心理師の役割と連携のあり方を理解する 心理					講 義	松 山
5	1)2) 3)	言語聴覚士の役割と連携のあり方を理解する 言語					講 義	倉 澤
6	1)2) 3)	尿検査と医療・福祉					講 義	山 本
7	1)2) 3)	医動物と医療・福祉					講 義	西 森
8	1)2) 3)	白血病の診断と医療・福祉					講 義	宮 本
9	1)2) 3)	がん検診(がんの診断)と医療・福祉					講 義	二反田
10	1)2) 3)	医療・福祉における機器の役割					講 義	福 元
11	1)2) 3)	薬剤師の仕事について学ぶ 一般用医薬品について学ぶ					講義・演習	緒 方
12	1)2) 3)	症状をもとに一般用医薬品を選んでみる(鎮咳薬・去痰薬)					講義・演習	緒 方
13	1)2) 3)	症状をもとに一般用医薬品を選んでみる(アレルギー性鼻炎薬)					講義・演習	緒 方
14	1)2) 3)	薬剤師の仕事について(まとめ)					講 義	緒 方
15	1)2) 3)	「くすりと動物」 1.新医薬品の研究・開発と動物実験 2.動物実験と動物福祉について考えよう					講 義	明石・橋本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。必要に応じて資料を提供する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	ボランティア活動			授業コード	110151A401	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科・臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	9CC123B03	AL 科目	○
担当者	藤原幸子(福・ス)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	ボランティア活動は活動は、私たち一人ひとりが身近なことから社会的問題を考えて主体的に取り組み社会参加活動である。ボ ランティア活動をとおして、地域社会に貢献する心を育み、身近な生活の課題や地域社会問題の理解と社会の参加を目指す。						
学修目標	1)ボランティア活動の意義と意味について理解し、説明することができる。 2)社会的マナーを理解し、契約を守ることができる。 3)ボランティア体験を他者と共有するため演習等へ積極的に参加し、他者の意見に耳を傾け、自分の思いを言語化することが できる。 4)報告書の意義を理解し、適切にわかりやすく、正確に書くことができる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	活動内容及び報告書(50%)、ファイル管理(10%)、レポート試験(40%)						
準備学習・ 履修上の注意等	前期最初の 3 回はオリエンテーション、ボランティア活動を行うための心得や社会的マナーなどの指導、ボランティアコーディネ ーター実践者からの講話、記録についてなどを事前学習として、座学で学ぶ。その後5月から翌年1月末までの間で 10 回程度 のボランティアを実践し報告書を作成する。ボランティアを実施する場合は大学が認定したものに限る。 後期は、活動実践の報告・振り返りの授業、到達目標に関するレポート試験の授業を 2 回実施する。 受講者はボランティア保険に加入すること。						
オフィスアワー	研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1) 2)3)4)	【事前学習①】 1.オリエンテーション ①授業目標、意義、年間授業計画について理解する。 ②活動方法、手続きについて理解する。 ③授業評価、単位認定方法について理解する。 ④ボランティア活動のルールとマナーについて理解する。 ・窓口、ボランティア掲示板、学生連絡先の確認、自己紹介書の提出について 2.講義 「今日におけるボランティアの意義」について理解する。				講義 演習	担当教員
2	1) 2)3)4)	【事前学習②】 1.講義と演習 ①ボランティア活動とボランティア保険についてについて理解し、加入する。 ②年間ボランティア活動計画の策定について理解し、作成する。 ③活動報告書の意義と書き方について理解し、書くことができる。 ④ボランティア活動実践に向けての心得について理解する。				講義・演習	担当教員
3	1) 2)3)4)	【事前学習③】 講義 ボランティア活動の実践事例を通して、ボランティアの内容を具体的に理解する。				講 義	担当教員
4	1) 2)3)4)	【ボランティア活動実践】 ー5 月から 12 月までに、10 回のボランティア活動を実践する。 掲示板に紹介するボランティアから、個々の興味・関心や専門分野に関連するボランティア活動に参加し、活動報 告書に記録を書く。活動報告書は教員の添削を受ける。				実 践	担当教員
5	1) 2)3)4)	【学習】 1.演習 グループ内で活動参加状況の共有を図る。 今後の活動に向けての決意、抱負 2.講義・演習 ボランティア活動報告書の共有 グループ内で活動報告書を回し読みする。 他者の報告書を読んで気づいたことを発表する。				講義・演習	担当教員
6	1) 2)3)4)	【ボランティア活動実践】				実 践	担当教員
7	1) 2)3)4)	【ボランティア活動実践】				実 践	担当教員
8	1) 2)3)4)	【ボランティア活動実践】				実 践	担当教員
9	1) 2)3)4)	【ボランティア活動実践】				実 践	担当教員
10	1) 2)3)4)	【ボランティア活動実践】				実 践	担当教員
11	1) 2)3)4)	【ボランティア活動実践】				実 践	担当教員

12	1) 2)3)4)	【ボランティア活動実践】	実 践	担当教員
13	1) 2)3)4)	【ボランティア活動実践】	実 践	担当教員
14	1) 2)3)4)	【ボランティア活動実践】	実 践	担当教員
15	1) 2)3)4)	【活動報告と評価】 実践について振り返る。 ボランティア活動から得たものは何かレポートを書く。	講 義	担当教員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		

科目名		インターンシップ			授業コード	110202A401	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		社会福祉学部・薬学部・生命医科学部・臨床心理学部(1 年)			ナンバリング	9CC123B04	AL 科目	○
担当者		山本(生命医科学部)、三苫(生命医科学部)、竹ノ内(生命医科学部)、二反田(生命医科学部)、興柁(薬学部)、日高(薬学部)徳永(薬学部)、園田(薬学部)、前田(臨床心理学部)、戸高(臨床心理学部)、稲田(社会福祉学部)、清水(社会福祉学部)、渡邊(社会福祉学部)、中野(社会福祉学部)、正野(社会福祉学部)、神田(社会福祉学部)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・実習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		本学の学則第 1 条には「本学は(中略)国際化社会にに向けて、介護・福祉、医療、薬学に関する理論及び社会の問題を教育研究し、応用能力を持つ人格を陶冶することを目的とする」とある。医療・福祉を標榜する学部学科の教育理念に資するために大学共通科目として本科目が設定されている。 本講義では、医療・福祉・薬学などの専門領域の課題・チーム医療について考え、学生同士が意見・考えを共有しながら、課題に取り組む姿勢を醸成することを目的とする。						
学修目標		1)医療・福祉の定義を説明できる。 2)社会福祉学部、薬学部、生命医科学部、臨床心理学部のそれぞれの視点から保健と福祉の関係を説明することができる。 3)医療・福祉を必要とする対象者に係わる専門職の連携(チームケア)の重要性を説明できる。 4)医療・福祉を必要とする対象者に係わる専門職の果たすべき役割について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		医療機関や研究機関等での5年以上の実務経験に基づき、医療・福祉等専門職者としての新しい知見や解釈も取り入れた取り組みを行う。						
評価及びフィード バックの方法		本講義は、社会福祉＋心理、薬学、生命医科学の 3 つのパートからなる。それぞれのパートでレポートを課し、理解度合いをチェックする。 学習への取り組み姿勢(レポートの質、総合討論への参加、発表時の質問など)を 20%、レポート 80%で単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		社会福祉＋心理(講義演習 5 コマ) 薬学科(講義演習 5 コマ):薬剤師の業務から考えるチーム医療とは 生命医科学科(集中 5 コマ):臨床検査技師の業務の一部を体験する。						
オフィスアワー		授業開始前開始後 担当教員が質問を受け付けます。						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2) 3)4)	社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士の福祉専門職の役割と連携のあり方を理解する 福祉					講 義	稲田・清水
2	1)2) 3)4)	東洋医学の考え方を基盤とした鍼灸治療と福祉との連携について 鍼灸					講 義	渡邊・中野
3	1)2) 3)4)	スポーツ・レクリエーションと医療・福祉とのかかわり スポ					講 義	正野・神田
4	1)2) 3)4)	公認心理師の役割と連携のあり方を理解する 心理					講 義	前 田
5	1)2) 3)4)	言語聴覚士の役割と連携のあり方を理解する 言語					講 義	戸 高
6	2)～4)	直前学習: 薬剤師の仕事を学ぶ 薬剤師の仕事体験(1): 処方監査					講義・実習	興 柁
7	2)～4)	薬剤師の仕事体験(2): 液剤の調剤					講義・実習	日 高
8	2)～4)	薬剤師の仕事体験(3): バイタルサインの確認					講義・実習	徳永・園田
9	2)～4)	総合討論(1): 体験をふり返り、チーム医療における薬剤師の役割を理解する					S G D	日 高
10	2)～4)	総合討論(2): 体験をふり返り、チーム医療における薬剤師の役割を理解する					SGD・総合討論	日 高
11~15	1)2) 3)4)	1. 臨床検査とは何かを理解し、経験する。 1)一次救命を経験する。 2)心電図検査を経験する。 3)肺機能検査を経験する。 4)超音波検査を経験する。 5)ヒトの血液細胞を顕微鏡で観察する。 6)各組織のがん細胞顕微鏡で観察する。					演習・総合討論	三井・田村
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						

参考書(著者名)出版社名【ISBN】	使用しない。
--------------------	--------

科目名		日本語Ⅲ		授業コード	110165B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(2 年)留学生対象		ナンバリング	5CC221B01	AL 科目	○	
担当者		正野知基/衣笠高広(福・ス)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		日本語の理解を深めるために、聴解と読解について学習し、入門レベルから出発し、日本語能力試験 N2 レベルまで到達できる日本語力を習得する(CP1(1))。						
学修目標		1)聴解力を高め、日常会話および大学での講義の内容が聞き取れるようになる 2)基礎的な読解力を高め、日常生活および講義で使用するテキスト等の書籍が読めるようになる 3)基本的な日本語文章の記述力を高め、簡単な日本語の文章が書ける						
実務経験のある 教員による教育		該当なし						
評価及びフィード バックの方法		毎回の小テスト(40%)＋期末試験(60%)で評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		留学生のみを対象とする。 本授業は積み重ね学習であるため、必ず毎週出席すること。 1回の授業につき最低2時間を目安に予習・復習をおこなうこと。						
オフィスアワー		月曜～金曜 12:30-13:00。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方法	担 当	
1回	1)2)3)	文法の学習 「一日に二回、歯をみがきます。」 「漢字は少ししか書けません。」 等、日常的会話表現を話し、聴き取り、書けるようになる。				講義・演習	正野/衣笠	
2回	1)2)3)	文法の学習 「9 時までに来てください。」 「今、勉強しているところです。」 等、日常的会話表現を話し、聴き取り、書けるようになる。				講義・演習	正野/衣笠	
3回	1)2)3)	文法の学習 「音楽を聞きながら勉強しています。」 「雪を見たことはありません。」 等、日常的会話表現を話し、聴き取り、書けるようになる。				講義・演習	正野/衣笠	
4回	1)2)3)	これまで学習した内容の「まとめ問題」実施とその解説・応用練習を通じて、これまでの学習内容を定着させる。				講義・演習	正野/衣笠	
5回	1)2)3)	文法の学習 「宿題をしなければいけません。」 「習ったことを忘れてしまいました。」 等、日常的会話表現を話し、聴き取り、書けるようになる。				講義・演習	正野/衣笠	
6回	1)2)3)	文法の学習 「教えてくれてありがとう。」 「日記を書くようにしましょう。」 等、日常的会話表現を話し、聴き取り、書けるようになる。				講義・演習	正野/衣笠	
7回	1)2)3)	文法の学習 「日本語でどう言いますか。」 「もっと勉強したほうがいいですよ。」 等、日常的会話表現を話し、聴き取り、書けるようになる。				講義・演習	正野/衣笠	
8回	1)2)3)	これまで学習した内容の「まとめ問題」実施とその解説・応用練習を通じて、これまでの学習内容を定着させる。				講義・演習	正野/衣笠	
9回	1)2)3)	文法の学習 「漢字を書くのは大変です。」 「このまどから山が見えます。」 等、日常的会話表現を話し、聴き取り、書けるようになる。				講義・演習	正野/衣笠	
10回	1)2)3)	文法の学習 「雨でも行きましょう。」 「この漢字の読み方はむずかしいです。」 等、日常的会話表現を話し、聴き取り、書けるようになる。				講義・演習	正野/衣笠	
11回	1)2)3)	文法の学習 「手伝ってくださいませんか。」 「今日はお酒を飲まないつもりです。」 等、日常的会話表現を話し、聴き取り、書けるようになる。				講義・演習	正野/衣笠	
12回	1)2)3)	これまで学習した内容の「まとめ問題」実施とその解説・応用練習を通じて、これまでの学習内容を定着させる。				講義・演習	正野/衣笠	
13回	1)2)3)	文法の学習 「夏休みになったら、国に帰ります。」 「明日は天気がよさそうです。」 等、日常的会話表現を話し、聴き取り、書けるようになる。				講義・演習	正野/衣笠	
14回	1)2)3)	文法の学習 「この本は使いやすいです。」 「会社をやめさせられました。」				講義・演習	正野/衣笠	

		等、日常的会話表現を話し、聴き取り、書けるようになる。		
15回	1)2)3)	文法の学習 「かぎがかかっています。」 「試験に受からないかなあ。」 等、日常的会話表現を話し、聴き取り、書けるようになる。	講義・演習	正野/衣笠
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		佐々木仁子・松本紀子『日本語総まとめ N4 文法・読解・聴解』アスク ISBN-10: 4866390751		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特にないが、電子辞書は各自用意することが望ましい。		

科目名		日本語Ⅳ		授業コード	110166B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科(2 年)留学生対象		ナンバリング	5CC222B01	AL 科目	○	
担当者		正野知基/衣笠高広(福・ス)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		日本語の理解を深めるために、聴解と読解について学習し、入門レベルから出発し、日本語能力試験到達できる日本語力を習得する(CP1(1))。						
学修目標		1)聴解力を高め、日常会話および大学での講義の内容が聞き取れるようになる 2)基礎的な読解力を高め、日常生活および講義で使用するテキスト等の書籍が読めるようになる 3)基本的な日本語文章の記述力を高め、簡単な日本語の文章が書ける						
実務経験のある 教員による教育		該当なし						
評価及びフィード バックの方法		毎回の小テスト(40%)＋期末試験(60%)で評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		留学生のみを対象とする。 本授業は積み重ね学習であるため、必ず毎週出席すること。 1回の授業につき最低2時間を目安に予習・復習をおこなうこと。						
オフィスアワー		月曜～金曜 12:30-13:00。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当	
1回	1)2)3)	読解の学習 「メールやメモの読み方」 「説明文の読み方」 等を訓練する中から、日常の学習や生活、アルバイト等で必要な表現を読んで理解し、正確に行動できるようになる。				講義・演習	正野/衣笠	
2回	1)2)3)	読解の学習 「案内板や注意書きの読み方」 「長めの文章の読み方」 等を訓練する中から、日常の学習や生活、アルバイト等で必要な表現を読んで理解し、正確に行動できるようになる。				講義・演習	正野/衣笠	
3回	1)2)3)	読解の学習 「長めの文章の読み方 2」 「広告やお知らせの読み方」 等を訓練する中から、日常の学習や生活、アルバイト等で必要な表現を読んで理解し、正確に行動できるようになる。				講義・演習	正野/衣笠	
4回	1)2)3)	これまで学習した内容の「まとめ問題」実施とその解説・応用練習を通じて、これまでの学習内容を定着させる。				講義・演習	正野/衣笠	
5回	1)2)3)	聴き取りの学習 「準備をしましょう 1」 「準備をしましょう 2」 等の項目を通じて聴く力を身に着け、日々の学習活動や日常生活において正確な行動に繋げることができるようになる。				講義・演習	正野/衣笠	
6回	1)2)3)	聴き取りの学習 「どれですか ―課題理解―」 「どうしてですか ―ポイント理解―」 等の項目を通じて聴く力を身に着け、日々の学習活動や日常生活において正確な行動に繋げることができるようになる。				講義・演習	正野/衣笠	
7回	1)2)3)	聴き取りの学習 「何と言いますか ―発話表現―」 「どんな返事をしますか ―即時応答―」 等の項目を通じて聴く力を身に着け、日々の学習活動や日常生活において正確な行動に繋げることができるようになる。				講義・演習	正野/衣笠	
8回	1)2)3)	これまで学習した内容の「まとめ問題」実施とその解説・応用練習を通じて、これまでの学習内容を定着させる。				講義・演習	正野/衣笠	
9回	1)2)3)	検定試験の実践演習 9回目以降においては日本語検定の実際の試験問題の演習を繰り返す中から、大学 4 年間の基礎となる日本語能力の修得を確実なものにしていく。				講義・演習	正野/衣笠	
10回	1)2)3)	検定試験の実践演習 日本語検定の実際の試験問題の演習を繰り返す中から、大学 4 年間の基礎となる日本語能力の修得を確実なものにしていく。				講義・演習	正野/衣笠	
11回	1)2)3)	検定試験の実践演習 日本語検定の実際の試験問題の演習を繰り返す中から、大学 4 年間の基礎となる日本語能力の修得を確実なものにしていく。				講義・演習	正野/衣笠	
12回	1)2)3)	検定試験の実践演習 日本語検定の実際の試験問題の演習を繰り返す中から、大学 4 年間の基礎となる日本語能力の修得を確実なものにしていく。				講義・演習	正野/衣笠	
13回	1)2)3)	検定試験の実践演習 日本語検定の実際の試験問題の演習を繰り返す中から、大学 4 年間の基礎となる日本語能力の修得を確実なものにしていく。				講義・演習	正野/衣笠	

14回	1)2)3)	検定試験の実践演習 日本語検定の実際の試験問題の演習を繰り返す中から、大学4年間の基礎となる日本語能力の修得を確実なものにしていく。	講義・演習	正野/衣笠
15回	1)2)3)	検定試験の実践演習 日本語検定の実際の試験問題の演習を繰り返す中から、大学4年間の基礎となる日本語能力の修得を確実なものにしていく。	講義・演習	正野/衣笠
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		佐々木仁子・松本紀子『日本語総まとめ N4 文法・読解・聴解』アスク ISBN-10: 4866390751		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特にないが、電子辞書は各自用意することが望ましい。		

科目名	哲学			授業コード	110120B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(1 年)			ナンバリング	5CC122B05	AL 科目	○
担当者	横山裕(臨床心理)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義と演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	どのような職業に就くにせよ、物事を分析的に理解し、論理的に判断を下すことは重要である。また、社会生活を営むに当たっては他者の存在を尊重し、その価値を理解できる感性も不可欠である。そのためには一人一人が物事を論理的、分析的に理解できる問題解決型の思考の技術を身につけておく必要がある(DP1,CP1)。本講義では物事を論理的に考えるためには具体的にどのように考えればいいのか、どのような手続き、手順を踏めばいいのかという哲学的思考法の基本を習得する。						
学修目標	1)哲学の定義、役割、歴史について概略的に説明できる。 2)哲学の社会的背景について説明できる。 3)日本人の意識構造について説明できる。 4)思考における心理的問題について説明できる。 5)哲学的思考法の基本形式について説明できる。 6)哲学的思考を実践的に運用展開できる。						
実務経験のある 教員による教育	非該当						
評価及びフィード バックの方法	筆記試験 オフィスアワーなどを活用して個別にフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	事前学習として毎回「検討課題」を提示するので、1 時間をかけ必要な情報をリサーチし、それに基づき自分なりの考察を準備して次回の授業で発表報告する。 【重要】講義の仕方について第1回目の講義で説明するので、履修者は必ず第1回目の講義から出席すること。						
オフィスアワー	時間割確定後、通知する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	哲学という言葉の由来(西洋と日本)を理解する。				講 義	横 山
2	1)	哲学「史」の意味とそこから取り出せる現代的課題を理解する。				講 義	横 山
3	2)	哲学が生まれる社会的背景(社会構造)の意味を理解する(1)				講 義	横 山
4	2)	哲学が生まれる社会的背景(社会構造)の意味を理解する(2)				講 義	横 山
5	2)3)	日本人の思考様式について理解する。				講 義	横 山
6	1)2)3)	日本人の思考様式を支える日本語の歴史的特質について理解する。				講 義	横 山
7	4)	思考形式に関する心理的問題を理解する。				講 義	横 山
8	5)	「論理」と「価値」という哲学の基本重要概念を理解する。				講 義	横 山
9	5)	哲学的思考法に関する基本的理論を理解する(1)―デカルト的思考				講 義	横 山
10	5)	哲学的思考法に関する基本的理論を理解する(2)―帰納と演繹				講 義	横 山
11	5)	哲学的思考法に関する基本的理論を理解する(3)―意欲・能力・必要性				講 義	横 山
12	5)	哲学的思考法に関する基本的理論を理解する(4)―判断検証の 4 指標				講 義	横 山
13	4)5)6)	哲学的思考法を応用して自分の失敗体験を検証する(1)				演 習	横 山
14	4)5)6)	哲学的思考法を応用して自分の失敗体験を検証する(2)				演 習	横 山
15	1)2)3) 4)5)6)	講義の要点を整理し、学習内容を総括的に理解する。				講 義	横 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義の中で適宜、助言する。					

科目名	倫理学			授業コード	110147B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(2 年)			ナンバリング	5CC222B02	AL 科目	○
担当者	横山裕(臨床心理)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	現在、各種職能団体にはそれぞれ独自の遵守すべき「倫理綱領」が設けられている。業務を介して他者の権利や自由を侵害することが厳しく禁じられているからである。侵害した場合、法的に罰せられることもある。そもそも、人間の行為の善悪はどのような基準で評価されるのか。「正しい行い」とはどのような行いのことなのか。倫理学はその「正しさ」の根拠を検証する学問である。本講義では倫理学の基本的内容を習得する。(DP1,3.CP1)						
学修目標	1)倫理学と自分の関係が説明できる。 2)倫理という言葉の意味(定義)と歴史が説明できる。 3)倫理学の三領域の構成について説明できる。 4)メタ倫理学について説明できる。 5)規範倫理学について説明できる。 6)応用倫理学について説明できる。 7)倫理学の思考法を実践的に応用できる。						
実務経験のある 教員による教育	非該当						
評価及びフィード バックの方法	筆記試験 オフィスアワーなどを活用して個別にフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	【要注意】講義筆記ノートの作り方を第 1 回目の授業で説明するので、履修者は必ず第 1 回目から出席すること。						
オフィスアワー	時間割確定後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	倫理学という馴染みのない学問が実は自分の個人的問題とどのように関係するのか、その具体的接点を理解する。				講 義	横 山
2	2)	倫理という言葉の意味(定義)と歴史を理解する。				講 義	横 山
3	3)	倫理学という学問の三領域(メタ倫理学・規範倫理学・応用倫理学)の構成について理解する。				講 義	横 山
4	7)	倫理実践問題を考えてみる(1)ー課題提示とディスカッション				演 習	横 山
5	7)	倫理実践問題を考えてみる(2)ー意見発表と討議				演 習	横 山
6	5)	規範倫理学の意義を理解する(1)				講 義	横 山
7	5)	規範倫理学の意義を理解する(2)				講 義	横 山
8	4)	メタ倫理学の意義を理解する(1)				講 義	横 山
9	4)	メタ倫理学の意義を理解する(2)				講 義	横 山
10	6)	応用倫理学の意義を理解する(1)ー構成				講 義	横 山
11	2)6)	応用倫理学の意義を理解する(2)ー医療倫理綱領の歴史				講 義	横 山
12	4)5)6)	応用倫理学の意義を理解する(3)ー生命倫理学(a)出生前診断				講 義	横 山
13	4)5)6)	応用倫理学の意義を理解する(3)ー生命倫理学(b)終末期医療・脳死・臓器移植				講 義	横 山
14	1)2)3) 4)5)6) 7)	倫理実践問題を考えてみる(3)ー(1)(2)の再検討の結果発表				演 習	横 山
15	1)2)3) 4)5)6)	講義で学んだことの要点を確認し、知識を整理する。				講 義	横 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて別途指示する。					

科目名		社会学			授業コード	110075B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・動物生命薬科学科・臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	5CC121B05	AL 科目	○
担当者		山本 順之(福・ス)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		社会福祉分野で職業活動に従事し、福祉社会の創造的な担い手となるうえで必要となる、社会および人びとの社会生活を理解し、これらの事象を洞察する能力を習得する。グループワークを活用し、身近な現象をもとに理論を説明する。						
学修目標		1) 人びとの生活営為を社会のありように結びつけて説明できる。 2) 個人と社会の関係を説明できる。 3) 社会集団と組織の構造と機能のについて説明できる。 4) 家族を社会事象として説明できる。 5) 社会問題や逸脱問題を分析し、説明できる。 6) 社会学における主な社会理論を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		特になし						
評価及びフィード バックの方法		学期末試験および授業への取組み姿勢を総合的に評価する。 定期試験(60%) 課題(レポート・小テスト等)(20%) 講義内における総合的姿勢(20%)						
準備学習・ 履修上の注意等		毎回の授業終了後に、教科書および授業時に配布する課題を 3 時間(授業全体で 45 時間)以上熟読し、復習すること。						
オフィスアワー		月曜日2限、火曜日2限						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	社会システムの概念及び社会と文化を理解する。					講 義	山 本
2	1)	社会階級と社会階層の概念及び現代社会の階層構造を理解する。					講 義	山 本
3	1)	社会変動の概念及び近代化、産業化、都市化、情報化について理解する。					講 義	山 本
4	1)	現代社会の人口構造及び少子高齢化の現状その他の人口問題を理解する。					講 義	山 本
5	1)	地域、コミュニティの概念及び都市化と現代の地域社会の諸問題を理解するを理解する。					講 義	山 本
6	2)	社会的行為と社会的相互行為について理解する。					講 義	山 本
7	2)	社会的地位と役割の概念を理解する。					講 義	山 本
8	3)	社会集団の概念及び社会集団の諸類型を理解する①。					講 義	山 本
9	3)	社会集団の概念及び社会集団の諸類型を理解する②。					講 義	山 本
10	3)	組織と官僚制について理解する。					講 義	山 本
11	4)	家族の概念及び家族の類型と形態、機能等について理解する。					講 義	山 本
12	5)	社会病理と逸脱について理解する。					講 義	山 本
13	5)	社会的逸脱に関する諸理論について理解する。					講 義	山 本
14	6)	A.コント、H.スペンサー、M.ウェバー、K.マルクス等の社会理論を理解する。					講 義	山 本
15	6)	E.デュルケム、G.ジンメル、テニース等の社会理論を理解する。					講 義	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			第 1 回目の授業の際に指定する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			授業で参考文献等を提示する。					

科目名	心理学概論			授業コード	121537B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年)、臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	51C111P01	AL 科目	
担当者	内藤 健一(臨・臨)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	健常児(者)の基本的な心理学的知見を身につけた心理や福祉などの専門家となるために(スポーツ健康福祉学科:DP(3):専門的知識・技能の活用力、臨床心理学科:DP(3):実践力)、感覚と知覚、学習、記憶、性格、概念、対人行動、情動についての基本事項を修得する(スポーツ健康福祉学科:CP1(2):福祉・医療共通科目、臨床心理学科:CP1(1):基礎共通科目)。						
学修目標	1) 感覚、知覚に関する基本的な現象と理論を説明できる。 2) 学習に関する基本的な現象と理論を説明できる。 3) 記憶に関する基本的な現象と理論を説明できる。 4) 性格に関する理論を説明できる。 5) 概念に関する理論を説明できる。 6) 対人行動に関する基本的な現象と理論を説明できる。 7) 情動に関する理論を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし。						
評価及びフィード バックの方法	学期末の単位認定試験 100%。						
準備学習・ 履修上の注意等	1 コマ当たり 4 時間を目安に予習(次の回のレジュメを読むこと)・復習(その日習ったレジュメの内容を復習すること)をおこなうこと。						
オフィスアワー	毎週火～金曜日 12:15～13:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	感覚、知覚(1)				講 義	内 藤
2	1)	感覚、知覚(2)				講 義	内 藤
3	2)	学習(1)				講 義	内 藤
4	2)	学習(2)				講 義	内 藤
5	3)	記憶(1)				講 義	内 藤
6	3)	記憶(2)				講 義	内 藤
7	3)	記憶(3)				講 義	内 藤
8	4)	性格(1)				講 義	内 藤
9	4)	性格(2)				講 義	内 藤
10	5)	概念(1)				講 義	内 藤
11	5)	概念(2)				講 義	内 藤
12	6)	対人行動(1)				講 義	内 藤
13	6)	対人行動(2)				講 義	内 藤
14	7)	情動(1)				講 義	内 藤
15	7)	情動(2)				講 義	内 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。講義レジュメを配布する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜紹介する。					

科目名		日本国憲法		授業コード	110127B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科 (2 年)		ナンバリング	5CC221B02	AL 科目	
担当者		山崎 知佳 (非常勤講師)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態 講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		1947 年に施行され、60 年以上も存在した憲法が、2014 年 7 月の安倍内閣による閣議決定で憲法解釈が変更された。そして、国民投票法も改正され、憲法改正が問われる今日に主体的に生きるために、日本社会法秩序の基礎法である憲法の本質、国の統治構造について理解を深める。また、憲法は国家に関することのみを定めた法ではない。人はみなかけがえのない大切な存在であること、実社会では話し合いで民主的に決められていくこと、多数決でも奪ってはならない大切なものがあるといった人間社会の根本にあるものを定める法でもある。個人の尊厳を大切にしながら社会で生きるために、人権の種類や意味を理解し、現実起きた事件を紐解きながら、憲法がもつ法的思考を修得する。					
学修目標		1)憲法の意味、体系的な位置づけについて理解を深め、日本国憲法の基本原則について説明できる。 2)前文及び 11 章 103 条からなる日本国憲法の体系について理解し、個々の条文の意味を簡潔に説明できる。 3)日本国憲法の制定過程について理解を深め、天皇の地位、9 条等明治憲法との相違を説明できる。 4)条文が示す人権の意味について理解を深め、考えられる。 5)人権をめぐる諸問題について理解を深め、人権にどのような制約・衝突が生じ、問題が起こるのかについて思考できる。 6)三権分立による我が国の統治機構について三権それぞれの権能について簡潔に説明できる。 7)憲法保障及び憲法改正手続について理解を深め、そのしくみについて説明できる。 8)判例を理解し、具体的事例に当てはめ、法的思考を養うことができる。					
実務経験のある 教員による教育		特になし					
評価及びフィード バックの方法		毎回の授業中の振り返りと授業中の SGD により形成的評価を行う。毎回の学習態度(態度・提出物等)を総合的に勘案し(50%)、学期末の単位認定試験(50%)にて、総括的評価を行う。 授業中に課題を出し回答をさせて次回の授業でフィードバックする。					
準備学習・ 履修上の注意等		授業の範囲の部分についての法律条文については、必ず読んでおくこと。授業の出席を前提とし、必ず復習し自分の思考を整理しておくこと。憲法の条文については、毎授業持参すること。 大学固有の自己思考を作る機会として、積極的に自らの知識・情報を生かし、また吸収していく場としているかの自らの授業態度も重要である。 SGD では、間違ってもよいので、自分の考えを述べることを。疑問があれば SGD 間にグループ単位での質問を推奨する。 また、授業に関する疑問は、直接質問し解消することを推奨する。					
オフィスアワー		講義前後の可能な時間					
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	憲法とは何か …法体系、法の支配、近代立憲政治の原理				講 義	山 崎
2	1)3)	日本国憲法の制定過程 …日本国憲法の構成原理・明治憲法との相違				講 義	山 崎
3	1)2)4)	前文・戦争の放棄、天皇の地位と権能 …背景にある思想とその問題点、第9条の諸解釈とその問題点				講 義	山 崎
4	2)4)5) 8)	国民の権利及び義務(1) …人権を支える基本原理、人権の限界				講 義	山 崎
5	2)4)5) 8)	国民の権利及び義務(2) …精神的自由				講 義	山 崎
6	2)4)5) 8)	国民の権利及び義務(3) …精神的自由権				講 義	山 崎
7	2)4)5) 8)	国民の権利及び義務(4) …経済的自由、人身の自由				講 義	山 崎
8	2)4)5) 8)	国民の権利及び義務(5) …参政権、義務				講義・SGD	山 崎
9	2)4)5) 8)	基本的人権の制約原理、教育に関係する権利、義務				講義・SGD	山 崎
10	2)6)	選挙権、被選挙権 国 会 …権力分立の意味及び国会の権能				講 義	山 崎
11	2)6)	統治 …行政権の概念・議院内閣制・内閣の権能、地方自治				講 義	山 崎
12	2)6)	司 法 …司法権の意義と裁判所の権能				講義・SGD	山 崎
13	2)4)5) 8)	国民の権利及び義務(6) …社会権、受益権				講義・SGD	山 崎
14	2)4)5) 8)	今日の人権 …新しい人権と包括的基本権				講義・SGD	山 崎
15	2)7)	これからの憲法の在り方 …憲法保障・憲法改正手続				講義・SGD	山 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。※随時プリントを配布					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		憲法 第七版 (芦部 信喜・高橋 和之 補訂) 岩波書店【978-4-00-022781-0】 有斐閣双書 憲法入門 第四版 補訂版 (伊藤 正巳) 有斐閣【978-4-641-11263-6】					

科目名	経済学	授業コード	110059B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2 年)		ナンバリング	5CC221B03	AL 科目 ○
担当者	金谷 義弘(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソ-No.	この世の中で人は生きています。この世の中とは人間社会です。福祉に携わろうと、スポーツ振興に関わろうと、臨床心理を活かして多様な人々の自己実現の支援にかかわろうと、私たちの社会的活動には「企業経営」と「経済的基盤」があるのです。あなたの社会活動に資源配分が必要だという自明のことは、(1)一般化すると実社会での活動は全て「経済的基盤」を持っているということを意味します。また、(2)この経済基盤は、静止状態にあるのではなく、時々の技術革新によって常に変動・刷新されているのです。あなたも近々その一員になる社会経済は、それぞれの社会領域の下で、この技術基盤の絶えざる変動と社会経済の展開にさらされて変異し続けているのです。したがって、(3)その変異の影響を受ける中、就職したあなたの専門性を如何に活かし高めるかという課題を強いられていくものなのです。 そこで本授業「経済学」の任務は、以下の四点です。 (1)あなたの専門性を活かすために不可欠の、社会経済現象を理解する「実践的な眼」を育てること、 (2)現代だけに眼を奪われるのではなくて、歴史的な経過の中において「今！」を捉える感覚、そこから「これからど～なるッ！」と把握する「歴史で現代的な位置感覚」を養うこと、 (3)COVID-19 感染拡大、エネルギー資源や食料などの世界的争奪戦、デジタルトランスフォーメーション(DX)などが、世界と日本に如何なる影響を与えているかを「理解しよう！必要なことだッ！」という心を育てること、 (4)経済・経営、法と制度、行政などが、あなたの専門の医療や福祉などあらゆる社会領域に影響し、時にあなたを苛むことすらあると把握し、身を守りながら自立・自律する課題があること、などを理解することです。 本講義は、そうした四つの観点に立って授業を行います。そのために、皆さんが活動する福祉やスポーツなどを包み込む、現代経済の仕組みを数学抜きで、どちらかというと物語的に「大きく太く」捉えて分かりやすく進めます。 僕の息子の一人は、この大学を出て頑張っています。息子を育てて下さった大学に僕は感謝していて、手を抜くことなく頑張って授業を行います。15 回休まず受講して下さい。どうか宜しく！ このように広く社会経済というものをとらえると、時代を生きる「大局観」があなたの中に生まれること、それが本講義の目標です。ゆっくと、しかし着実に学んでいきましょう。				
学修目標	★本講義の目的★ 資格というものは、それを持つものだけに「一定の活動」を独占させるものです。だから資格は重要です。しかし、資格だけで生きていけないものではありません。資格は資格を「活用できる幅広い視野に支えられ」てこそ生きるものです。この能力の幅というものを大学は教える理想を持っているのです。そのためには社会を見渡す社会経済的な視野が不可欠なのです。そこで、本講義の到達目標は以下の諸点です。 1)経済現象を理解できる見方・感覚を身につける、時代の変化に「敏感」になること(社会人になっても新聞を読み続けることもここに入ります)、 2)経済現象を歴史的な変化・発展から理解できること、 3)技術革新と経済発展の観点から、現実を見ることができ、 4)医療や福祉などの経済が、自動車や情報通信などの産業諸分野とどのような特性を持つかを、この授業を越えて大学生活全体で体得・把握できること、 5)もって、社会で仕事や課題(それは日々皆さんの専門性を越えた総合力を要求することになります)を分析し、仲間と力を合わせて戦略立てる目標を持つこと、 6)最後に、これからも変化・発展する、日本における社会・経済・政策と制度変化に応じて必要な専門的情報を探し出せること。 ★目標達成の方略—Chat を併用した遠隔授業の環境で何ができるか？—★ この目標達成のために、 1)[講義]あなたのこれまでを回顧し未来を展望するために、多数の具体例を挙げつつ経済の原理・歴史・現状を口述する。 2)[毎回の 500 字レポート]自分自身の専門性の関心を取り入れて書いてもらい、アップした Chat を通じて、サツとでも良いから、必ず他の受講生の発言も読み切る。 3)金谷はこれに対して、高等数学など使わず分かりやすいコメントを行なう。これを必ず読んで、次のレポートや最終レポートに活かして行って下さい。授業が終わる頃には、あなたは一定の表現力と更なる改良のヒントをつかむでしょう。 4)他の受講生や教員に見て貰いたい Web 記事があれば、Chat に簡単なコメントと共に「URL」を貼り付けて下さい。 5)「レポートを出さばなし、コメントを読みっぱなし」にしないで、忙しいだろうが、質問や、他の受講生のレポートへのコメントなどをすれば、重要な加点要素として取り扱う。 6)顔は見えません。発問について恥ずかしいと思わないで素朴な疑問(だいたい素朴な疑問は疑問はとても皆のために役立ちます！)を出す、ちょっと前向きな気持ちを最後まで持って下さい。				
実務経験のある 教員による教育	道具を使って加工を行う手工業の生産から、機械による生産への移行を、金谷が生まれた京都の伝統産業の一つ「京扇子」のメーカの一員として8年間に担った(金谷竹材工芸、京都市山科区の伝統工芸団地)。内容的には、(1)機械の設計・開発、(2)旋盤・電気溶接による部品製造、(3)やがて工場レイアウトの見直しや従業員の安全・衛生管理を行ったり、(4)経理と資金繰りである。高校生であるため、父親の名前であったが、設計・開発で工場内で有効だった新技術(扇子の要[かなめ]における「カシメ」工程の機械化で、既製品のカシメ機の弱点を克服して「扇骨の塗料を傷めずに、座金とシャフトとこれをかきしめるインパクト」の形状と動作の制御に関わる開発)で二件特許を取得した。 その後、南九州で大学教員として働いた時期にも、家業の新しい機械化の開発などで討論・協議を行った。 この経験は、1998～1999 年のベルリンでの在外研究や、その後の渡欧に伴う欧州製造業(自動車・自動車部品・二輪車・半導体・電気機械など)の調査研究に役立つ興味関心や取材先の状況への着眼点を作った。これらは本講義での、英・米・独・仏などの 19 世紀における産業革命における技術革新から、現代の物のインターネット(IoT)、自動車の自動運転(Telematics)や電気自動車化、通貨・金融の ICT 化(FinTech)、あらゆる経済活動への人工知能(AI)の応用に至る「技術の発展と経済・経営の変容」を経済学的に把握し講義を行う地歩を作った。こうした経験を授業で活かしていきたい。				
評価及びフィード バックの方法	A 本授業は遠隔授業の集中講義です。 B 資料配付に基づいて授業をライブで行います。受講生の皆さんの反応を把握しにくいので Chat を併用します。Chat には毎回の簡潔なレポートをアップして貰います。 C Chat にアップされたレポートは、受講生全員が閲覧できます。本授業では、★受講生のこの点への了解を前提に受講を認めます★。 D 授業担当者の金谷は、Chat 上で提出されたそれぞれのレポートにコメントを加えます。				

	E.Chat へ何回アクセスしたかをシステムで確認します。動画視聴履歴と Chat でのレポート提出、教師のコメント閲読を確認して、平常点の成績評価を行います。 E.成績評価は、平常点として「5点満点/回 × 15 回 = 75 点」に加えて、各回のレポートから読み取れる、受講生の授業理解、説明の質、受講姿勢、疑問点を出す力などを勘案し、これに最終レポートを評価し、合計 25 点を加えて、100 点満点で採点する。 F.★注意★令和3・4年度にこの方式で運用した結果、分かったことは、各回に配転が分散されるため2～3回休むと即、10～15 点の減点になり、その他の回が全部5点満点としても、相対的に大きな減点になってしまいます。油断すると秀が優、優が良、良が可になります。注意して下さい。また、やむを得ない事情で休んだ時は、黙っているより金谷に連絡をくれた方が良いでしょう。 G.遠隔授業なので、「休まず」毎回受講することが「原則」です。特段の注意を払って下さいね！ H.用意する Chat には、全員が入れる「グループチャット」と、金谷とあなたの一対一で話ができる「ダイレクトチャット」があります。使い分けて下さいね。			
準備学習・履修上の注意等	(1) 経済学を学ぶことは、数学を学ぶこと、統計学を学ぶこととは同じではありません。本授業では数学を使わず、むしろ現代社会に生きることを予見し、自分をどのように育むかを構想することに効果があるように授業を行います。皆さんの専門教育と異なり、自分の技能を現代社会の中に「位置づける」力を涵養することが大事なのです。 (2)生まれてから今まで皆さんの親はいくらくらいお金を使ったか、就活にいくらお金が要るか、結婚や子育てにいくらくらいかかるのか、これも経済学の対象です。その延長上に、皆さんの職場の現況を感知する理解力・広い視野の獲得が問題になるのです。 (3)資料は、十分読むに値するように書かれているので、Chat にアップロードされたら予習し、授業後のレポート作成時に復習に使って下さい。 (4)第一回目に、★どのようなすれば信頼に値するデータを獲得できるか？！★について、説明するので、各回の Chat にアップする 500 字レポート作成に使ってもらいたい。 (5)適切な時期に、最終試験の問題を複数選択できるように「事前公開」する。 (6)上掲(3)の配布資料は、溜まっていった「膨大になる」ので、毎回きっちりファイリングして見直し、授業全体を見通した復習をされたい。 ★経済という社会の「威力」はすべての日本人・世界の人々の行動に深く影響をしてくるものです。 → 「ついでにやる教養科目」などと思わず、実社会に出て生き、働く上での大事な知見だとの目的意識を持って臨んで下さい！ (1)遠隔授業・集中講義という二つの制約がありますが、ICT の有効利用で、AL の実施に務めます。 (2)毎回レポートでは、500 字標準(多くの場合は AL 的性格によって字数制限を越えたことが毎年起こっています)の短いものにします。 (3)その受講生にしか書けないような「質問を提出」してもらいます。 (4)この質問は、初回に指示する期限内に、受講生全員が読める「Chat」にアップしてもらいます。Chat に入れる手続きも指示します。 (5)非常勤講師の金谷は、オフィスアワーがありません。でも受講生と私の一対一の「ダイレクトチャット」などでど～ぞ！ (6)質問を出す「500 字レポート」でも質問を「言語化する」のが難しいと感じる場合がありますが、 → 受講生の皆さん、だんだん上手くなってくれたら良いでしょう。 → 金谷のコメントを受けて、再質問は「OK！」です。これは内容が良ければ、加点要素になります。 (6)こうした「応答的環境」を提供していくと、一方的な遠隔授業ではなく、意外に良い深さができます。 → 私は 68 才ですが、もう既に 36 年ロードバイク(ドロップハンドルの長距離競争自転車)に乗っています。宮崎大学では自転車部の自分もガンガン走る「顧問」でした。 → また、13 才から 55 年フルート吹き続けています。Berlin ではストリートミュージシャンやってみました。 → こうしたことも経済の話題につながります。休憩室と称して、経済に関係なさそうに見えるものも、金谷の側でアップする場合があります。遊んでいるのではなく、その意図を予測して下さいね。			
オフィスアワー	非常勤なので、 (1)第 1 回に開始される Chat を使って問い合わせされたい。じいさんなので、多様な人生相談にも応じます。留学やドイツ人研究者との共同研究でベルリンに居た頃は、クラシック系も OK で、ストリートミュージシャンもやっていました。1時間1ギグ 10,000 円以上になりました(笑)。なので、何故、ウィーナーワルツがウィーン(オーストラリア首都)で盛んになったかの社会経済背景など、オーストリア産業革命との関係で話すなどなんでもします(笑)。今はボサノバも、ジャズも、自分より高齢の方のために戦後歌謡曲も			
授業計画				
回数	学修目標 No.	授 業 内 容	授業方法	担当
1	6), 1)	【第1回「ChatGPT より役立つ社会経済情報の取得と Web 検索の実践講座 ― よりましな情報はどこにある？！―】		金 谷
		A.これは就活などに直結するノウハウ講座です。当面は、本授業に、でも特定の業界や社会経済の情報収集は、就活や就職先での勤務での活用こそ力を発揮します。		
		B.はっきり言って、大学入学時点で調査してみて、皆さんの検索能力は、極めて「偶然的で Google や Yahoo、最新では ChatGPT などの『システムに災いされる』という困難な状態です！		
		C.ではどうするか検索エンジンにキーワードを入れ		
2	1), 5), 6)	【第2回「生活費の経済学 ― 大学入学まででいくらかった？これからは？ ―】		金 谷
		・親が支払った大学入学前の費用総額、大学在学中、就活費用、結婚・出産、住宅購入、保険(生損保医療)、教育費、相続、介護等々。聞いてびっくり、知ってびっくり。		
		・そしてだんだんと親への経済的な依存の重さを知り、就職と社会的自立について深く考えるようになれる。		
3	1), 2), 3), 6)	【第3回「貨幣と ICT・Web 化の経済学 ― プリペイド・デビット・クレジットカードから ―】		金 谷
		A.まずは市場経済の基本をなすお金(貨幣)の話から始めますが、千円札と Waon や nanaco、クレジットカード、デビットカードなど、身近な現金とキャッシュレスの話から。		
4	1), 2), 3), 6)	【第4回「商品と貨幣の経済学 ― その 1.商品とは何か？ ―】		金 谷
		・最初に「商品とは何か？」商品の使用価値と、日々変動する価格の中心にある価値とがどのようなものか？		

		・「需要と供給」で商品の価格が決まると高校では教えられる。でも、皆さん！店頭で「値切った」とありますか？値引き交渉、やったこと無い人、大変度胸が要りますよ！ ・次に「貨幣とは何か？」その諸機能。第二回目はこの辺で時間切れです。		
5	1), 2), 3), 6),	【第5回「商品と貨幣の経済学 — その 2. 古今の貨幣, そして何故, 歴史的に貨幣が生まれたか? —】 ・欧州の Euro 以前の各国の紙幣とコインを中心に, 各国の「お金」を見ましょう。 ・日本銀行券という世界的な優れものの紙幣の「偽造防止システム」を「発見」しましょう。 ・貨幣の機能には, 価値尺度, 流通手段, 支払手段, 蓄蔵貨幣, 世界貨幣などの諸機能があり, その複合体として貨幣を把握してね!		金 谷
6	3), 1), 2), 6)	【第6回「産業革命と資本主義経済確立の経済学 — その 1. イギリスの産業革命 —】 ・「道具」と「機械」はどう違う?! ・19 世紀イギリスでの機械化の技術革新と「綿紡績・綿織物産業」。 ・人力・畜力・風力を越えた「動力革命」としての蒸気機関, その燃料としての「石炭」。 ・綿紡績と綿織物という軽工業をコアにしたイギリスの産業革命。 ・資本家が生まれてきて, アイルランドなどから来た人々も含めて多数の労働者を雇う。 ・動力革命は, 工場で蒸気機関を使って, 船にのっけて蒸気船, レールの上の車にのっけて蒸気機関		金 谷
7	2), 3), 1), 4), 6)	【第7回「産業革命と資本主義経済確立の経済学 — その 2. イギリスから世界へ広がる産業革命 —】 ・イギリスに対抗して, 産業革命は 19 世紀に欧州・アメリカ・日本に広がる! ・生み出されたのは, 機械制大工業になった帝国と, それ以外が彼らの植民地だ。 ・この経済発展の影響を受けて, 経済以外の様々な国民生活が変化したよ。巨大都市の形成, 婦人の勤労者の増加, 植民地のモノカルチャ化, 国境・大陸を越える移民, 鉄道・定期航路・運河・電信(=通信)のネットワークが世界を覆う! → 生み出されたのは自力で活動する資本		金 谷
8	2), 3), 1), 4), 6)	【第8回「20 世紀大量生産の時代と産業循環の経済学 — アメリカ 1920 年代と大恐慌への転変 —】 ・産業革命は 19 世紀を通じて, イギリスから大陸欧州へ, アメリカへ, 世界へ。そして「植民地アメリカ」は「先進資本主義国アメリカ」に変貌して 20 世紀を迎えた! ・H.フォードと T.エジソンの時代, 道路建設, 水より安いガソリン, 電化, そして住宅建設。 ・「投資が投資を呼ぶ」経済発展と大量生産・大衆消費社会・バブル経済の時代。 ・そして, 1920 年代アメリカの経済発展の反動としての大恐慌。		金 谷
9	2), 1), 3), 4), 6)	【第9回「流通業の経済学 — 20 世紀初頭の Sears と現代の Amazon の対比 —】 ・カタログ通販によって流通革命を起こした Sears, 工業デザイナーを自ら育成して定期的にカタログ販売し, 郵便で注文し, 発送工場から送付する。 → 何故, シアーズさんは成功したか? ・対して, 現代の e コマースの Amazon。更に, AWS (Amazon Web Service) の Amazon。 ・両者を対比して, 何が変わった? 何が変わらない?!		金 谷
10	1), 2), 3), 4), 5), 6)	【第 10 回「どのようにして利潤が生まれるのか! の理論経済学】 ・「投資」- 「生産」- 「投資 + 利潤」のサイクルから成り立つ資本主義経済。 ・賃金は, 衣食住・修養・次世代育成の諸経費からなる。 ・賃金労働者を雇って, 機械設備や原材料を与え生産させる経済システム, これが利潤を生む。それが資本主義経済だ。		金 谷
11	3), 1), 2), 6)	【第 11 回「市場における優位を巡る競争の理論経済学】 ・同じ商品を作っても, 各企業毎の生産性やかかる費用は異なる。そこに競争優位を巡る企業の利潤追求の競争が成立する。 ・資本主義経済では, 何故, 企業が常に技術革新に駆り立てられるのか?! → 市場の競争を越えて, 機械や工場, 輸送手段などがどんだんの巨大化する理由を考える。産業革命などの理由が, 何故今 AI 化や自動車の EV 化・自動運転化などが大騒ぎになるのかの理由が見えるようになります。 ・それが年々歳歳繰り返される! 企業はどんどん大きくなる。経済全体では		金 谷
12	1), 2), 3), 4), 6)	【第 12 回「ChatGPT を生み出した OpenAI とそこに資金を提供した Microsoft は何を意図しているのか?! — インターネット革命に次ぐ大変動! 生成 AI が如何に社会を変えるのか?! —】 ・ニューラルネットワークとは何か? AI とは何か? ・もう使った人はいますか? OpenAI 社の「ChatGPT」か? Microsoft 社の「Copilot」か? Google の「Gemini」か? → 日本語や英語で AI に聞くと, 信じられないほど綺麗な日本語や英語で(自然言語で)瞬時に答えが返ってくる! → 日本語		金 谷
13	1), 2), 3), 4), 6)	【第 13 回「経済発展により経営学が生まれる経済学 — 何故, 20 世紀初頭にアメリカ経営学は生まれたか? —】 ・機械制大工業の工場は巨大化する。 ・指揮命令は誰がする? 経営者が親方に任せる時代は限界を迎える。 ・その中でどんな経営 = マネジメントが生まれたか? 限定してアメリカ経営学の初期を追跡する。		金 谷
14	1), 2), 3), 4), 5), 6)	【第 14 回「『道の駅』の経済学 — 地域のサプライチェーンの補強と経済浮揚 —】 ・「道の駅」は農産物販売所とどう違うの? 何か基準があるの? 誰が運営しているの? ・特産物が並べられて売ればいいね。でも, やばい物産が並んだりしない? ・地域にどのくらいの効果があるの? ※ この回の 500 字レポートは, 受講生自身の出身地やなじみのある「道の駅」の紹介レポートになります。		金 谷
15	4), 1), 2), 3), 4), 5), 6)	【第 15 回「医療の経済学 — 医療保険・薬価・アクセス —】 ・医療機関の基本的特徴 = 専門家集団, 非営利, ・国民皆保険とは何か? ・技術革新, ICT・AI 化の波は, 非営利の医療(や福祉, 更にはスポーツにも及ぶ!)。 ・そうした変化の中で専門家集団を支える「資格」は如何に変化するか? ※ この回などは, 授業開講期間における大きな社会経済上の出来事などに対応して, ものづくりの経済学, プラットフォームの経済学などに変更する場合があります。		金 谷
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		(1) 特になし。 (2) Window に開かれたファイルは, なかなかインパクトが弱く, 500 字レポート執筆のために授業時間中にひらめいた「メモ」は, レジュメから切り離されてしまいますね。		

	(3) 配布資料を印刷して授業にのぞみ、書き込みをするようにしてほしい。
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	参考文献や Web サイトについては、逐次、授業中に配布資料にて指摘して行く。 配布資料は毎回「読み返せる資料」として多数配布するので、毎回、ファイリングを確りしないと、最終試験に当たる「最終レポート」執筆時に混乱します。ご注意！ 参考書とはいいにくいけれども、読んで欲しいのは、以下の三つかな？！ (1)新聞、 (2)経済系週刊誌(普及して今はコンビニにも置いてある場合がある『週刊 東洋経済』、『週刊 ダイヤモンド』、『週刊 エコノミスト』)。 → 毎週、これらには「特集」が組まれているので、見つけたら立ち読

科目名	生物学			授業コード	110101B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科 ・臨床心理学科(1年)			ナンバリング	5CC122B06	AL 科目	『○』
担当者	池脇 信直(生命医科)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	生物学では、生命体(生物体)の概要を科学的に理解し、生物学的なものの考え方を習得することを第一目標とする(スポーツ: DP3 CP1-1 臨床心理: DP-3,5,6 CP1-1,7)。そのためには個々の知識のみを獲得するのではなく、授業全体を通して内容の繋がりがりや生物学的意義、またそれぞれの知見が得られてきた過程や背景などを理解することが必要である。所属学科の分野にのみ留まらず、スポーツ健康福祉学科 ・臨床心理学科の学生として、偏りなく内容を理解し知識を習得することが大切である。授業は毎回の確認小テスト及びその答え合わせの スモールグループディスカッション (SGD)で進める(スポーツ: CP1-1,7 臨床心理: CP1-1,7)。また、簡単な生物学のデモンストレーションを取り入れた アクティブラーニング (AL)を行う(スポーツ: CP2-1 臨床心理: CP2-1)。						
学修目標	1)生命体を持つ性質について説明できる。 2)生命体を構成する核酸、タンパク質、脂質、炭水化物について説明できる。 3)細胞小器官(オルガネラ)、細胞骨格の構造と機能について説明できる。 4)遺伝現象を担う核酸(DNA と RNA)、DNA の複製機序、体細胞分裂、減数分裂について説明できる。 5)生命活動を担うエネルギーの獲得、ATP が果たす役割について説明できる。 6)免疫機能、脳の機能、ストレスの機序、老化現象、筋肉の機能について説明できる。 7)遺伝子組換え、クローン技術、再生医療について説明できる。 8)生態系の構成、生命体を取り巻く環境について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当の池脇信直は臨床現場(大学病院等)や医療系企業で 10 年以上の実務経験に基づき、最新の生物学に関する資料とデータを提供しながら授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	迅速かつ建設的な評価及びフィードバックを行う。具体的な方法は下記の通りである(スポーツ: CP3-1 臨床心理: CP3-1)。 1) 提出された試験、レポート、課題等を採点し、コメントをつけて返却する。 2) 次回の授業日で授業の中の特徴的な見解について解説する。 3) 学生の良くできた答案やレポートを紹介する。 4) 授業終了後、全体的な講評、模範解答等をメール配信あるいは印刷配付する。 5) 授業アンケートのコメントをフィードバックする。 6) 学習への取組み姿勢(課題提出、積極的な質問や発言)を 50%、定期試験を 50%として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業は主にプロジェクターで資料および説明図を提示し、その内容を解説する形で進める。人の健康や幸せを支える生命科学系学問である生物学を基盤に「生物全体の幸せ」を考えていくことが求められる。授業の内容に関して予習項目と内容を指示するので、それに従って予習してくること。毎回の授業後は、授業中に自分でとったノート、配付されたプリントを使って授業内容をレポートにまとめて復習すること。1回の授業につき4時間を目安に予習と復習を行うこと。受験で生物学を選択しなかった人は、基礎知識を早期に習得するよう努力すること。受験で生物学を選択した人は、既得の知識に生物学の世界を再構築するよう努めること。						
オフィスアワー	毎週月曜～金曜日:12:20～13:00 副学長室						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【生命体の概念】 生命体を持つ性質				講義・SGD	池 脇
2	2)	【生命現象を支える分子1】 生命体を構成する核酸、タンパク質				講義・SGD	池 脇
3	2)	【生命現象を支える分子2】 生命体を構成する糖質、脂質				講義・SGD	池 脇
4	3)	【細胞の構造と機能】 細胞小器官(オルガネラ)、細胞骨格				講義・SGD	池 脇
5	4)	【核酸と染色体】 遺伝現象を担う核酸(DNA および RNA)と染色体				講義・SGD	池 脇
6	4)	【DNA の複製と細胞分裂】 DNA 複製の機序、体細胞分裂、減数分裂				講義・SGD	池 脇
7	5)	【エネルギーと代謝】 生命活動を担うエネルギーの獲得と ATP				講義・SGD	池 脇
8	6)	【生命体の機能1】 免疫に関わる物質、免疫担当細胞				講義・SGD	池 脇
9	6)	【生命体の機能2】 免疫に関わる病気(免疫疾患)				講義・SGD	池 脇
10	6)	【生命体の機能3】 神経系の構造、脳の働き				講義・SGD	池 脇
11	6)	【生命体の機能4】 ホルモンの作用、ストレスの機序				講義・SGD	池 脇
12	6)	【生命体の機能5】 老化関連物質、老化現象、抗酸化作用、水素と生命体				講義・SGD	池 脇
13	6)	【生命体の機能6】 運動に関わる物質、筋肉(筋肉エンジン)				講義・SGD	池 脇
14	7)	【バイオテクノロジー】 遺伝子組換え、クローン技術、DNA 鑑定、再生医療				講義・SGD	池 脇
15	8)	【生命体と環境】 生態系の構成、生命体を取り巻く環境				講義・SGD	池 脇
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しません。					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】	資料(プリント)を配付します。
--------------------	-----------------

科目名		健康科学論			授業コード	110063B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(2 年)			ナンバリング	5CC122B07	AL 科目	○
担当者		松田 智香子(福・ス)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		健康について様々な観点から学び、現在の健康のみならず、生涯にわたって健康でより良い生活を送るために必要な基礎的知識の修得を目指す。DP(2)(3)(4)、CP1(1)3(1)						
学修目標		1)「健康」捉え方について理解し、健康の概念について説明できる。 2)現代社会における健康問題について列挙し、健康づくり施策の変遷を説明できる。 3)食生活について正しい知識を説明できる。 4)過剰な栄養摂取から起こる生活習慣病について、その発生機序を説明できる。 5)メタボリックシンドロームについて正しい理解をし、その診断基準を列挙できる。 6)生活習慣病の知識を身に付け、予防するための生活習慣を説明できる。 7)運動不足がもたらす問題点と身体活動の必要性について説明できる。 8)健康生活と睡眠について説明できる。 9)嗜好品の身体に及ぼす影響と健康との関係について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		特になし						
評価及びフィード バックの方法		学習内容の確認テストを随時行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(確認テストや課題の提出、質問・発言、SGD 等の授業への参加状況)を(5%)、期末試験(95%)とする。 原則、再試験は行わない。						
準備学習・ 履修上の注意等		授業時に配布した資料やノートをまとめ事後学習を行う。また毎授業後に次回授業内容を提示するので事前準備を行うなど1コマ当たり4 時間を目安に予習・復習を行うこと。						
オフィスアワー		時間割が決定次第、掲示する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	「健康」の概念					講義、SGD	松 田
2	2)	健康づくり施策の変遷					講義、SGD	松 田
3	3)	栄養摂取の基礎知識					講義、SGD	松 田
4	3)	健康の保持増進のための食生活①					講義、SGD	松 田
5	3)	健康の保持増進のため食生活②					講義、SGD	松 田
6	3)4)	健康と食の嗜好品					講義、SGD	松 田
7	5)	生活習慣病とメタボリックシンドロームの基礎知識					講義、SGD	松 田
8	6)	生活習慣病の予防と改善①(動脈硬化、高血圧症)					講義、SGD	松 田
9	6)	生活習慣病の予防と改善②(Ⅱ型糖尿病)					講義、SGD	松 田
10	6)	生活習慣病の予防と改善③(心疾患、脳血管疾患)					講義、SGD	松 田
11	7)	運動不足がもたらす問題点					講義、SGD	松 田
12	7)	生活習慣病の予防のための身体活動					講義、SGD	松 田
13	8)	健康と睡眠					講義、SGD	松 田
14	9)	健康生活と嗜好品①(タバコ)					講義、SGD	松 田
15	9)	健康生活と嗜好品②(アルコール)					講義、SGD	松 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ			授業コード	110097A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	5CC121B07	AL 科目	○
担当者	山本 順之(福・ス)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	生涯スポーツ実習では、下記の 5 項目の習得および実践を目指す。 1. 運動・スポーツにおける基礎的知識・技術を習得する。 2. 運動・スポーツ場面や日常生活場面で役立つ健康維持および体力向上に関する実践力を習得する。 3. 運動・スポーツを通して、自己理解と他者理解を深め、多様な価値観を理解する。 4. 運動・スポーツを通じた課題や他者との意見交換に際し、積極的に参加する。 5. 安全に留意して、公正、協力、責任、参画に対する意欲を持ち運動・スポーツを実践する。						
学修目標	1. 個人競技(バドミントン)における基礎的知識・技術を習得できる。 2. 団体競技(バレー・バスケット・ソフトボール)における基礎的知識・技術を習得できる。 3. 個人競技(バドミントン)において、他者へ配慮をしつつ、安全で公正な態度でゲームに参加できる。 4. 団体競技(バレー・バスケット・ソフトボール)において、チームの課題解決に対して積極的に意見を交換し、安全で公正な態 度でゲームに参加できる。 5. 積極的に、道具の準備を行い、審判などの役割をはたすことができる。						
実務経験のある 教員による教育	運動・スポーツを合理的に実践する能力は、大学生活だけでなく、生涯にわたって健康で豊かな生活を送るために必要な能力で ある。また、運動・スポーツ場面は、コミュニケーション能力の向上や公正、協力、責任など様々な態度や意欲の育成にもつな がる。科目担当者の実践経験に基づいた授業を展開する。						
評価及びフィード バックの方法	授業への取り組みを客観的に評価する。 具体的には、スポーツ技術が高く、協調性をもって積極的に参加している場合には高い評価となる。高いスポーツ技術があっ ても、消極的な授業参加の場合は評価が低くなる。						
準備学習・ 履修上の注意等	※体育館シューズ、グラウンドシューズの二足を必ず用意すること 運動着(ジャージ)で受講すること、アクセサリ(金具)は身につけないで受講すること スポーツの実践を中心とした授業を展開するため、普段から身体を動かすことを意識し、健康管理に努めること。						
オフィスアワー	月曜日から水曜日 12:30～13:00 研究室						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1回	2)4)5)	オリエンテーション からだほぐし運動				実 習	山 本
2回	2)4)5)	ソフトボール				実 習	山 本
3回	2)4)5)	ソフトボール				実 習	山 本
4回	2)4)5)	バレーボール				実 習	山 本
5回	2)4)5)	バレーボール				実 習	山 本
6回	2)4)5)	バレーボール				実 習	山 本
7回	1)3)5)	バドミントン				実 習	山 本
8回	1)3)5)	バドミントン				実 習	山 本
9回	1)3)5)	バドミントン				実 習	山 本
10回	2)4)5)	バスケットボール				実 習	山 本
11回	2)4)5)	バスケットボール				実 習	山 本
12回	2)4)5)	バスケットボール				実 習	山 本
13回	2)4)5)	ソフトボール				実 習	山 本
14回	2)4)5)	ソフトボール				実 習	山 本
15回	1)3)5)	健康づくりを目的としたスポーツ(ウォーキング・ジョギング)				実 習	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名	生涯スポーツ実習Ⅱ			授業コード	110098A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	5CC122B08	AL 科目	○
担当者	山本 順之(福・ス)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	生涯スポーツ実習では、下記の 5 項目の習得および実践を目指す。 1. 運動・スポーツにおけるの基礎的知識・技術を習得する。 2. 運動・スポーツ場面や日常生活場面で役立つ健康維持および体力向上に関する実践力を習得する。 3. 運動・スポーツを通して、自己理解と他者理解を深め、多様な価値観を理解する。 4. 運動・スポーツを通じた課題や他者との意見交換に際し、積極的に参加する。 5. 安全に留意して、公正、協力、責任、参画に対する意欲を持ち運動・スポーツを実践する。						
学修目標	1. 個人競技(バドミントン)における基礎的知識・技術を習得できる。 2. 団体競技(バレー・バスケット・ソフトボール)における基礎的知識・技術を習得できる。 3. 個人競技(バドミントン)において、他者へ配慮をしつつ、安全で公正な態度でゲームに参加できる。 4. 団体競技(バレー・バスケット・ソフトボール)において、チームの課題解決に対して積極的に意見を交換し、安全で公正な態 度でゲームに参加できる。 5. 積極的に、道具の準備を行い、審判などの役割をはたすことができる。						
実務経験のある 教員による教育	中学校教員経験をもとに学校教育における体育の在り方や生涯学習としてのスポーツの在り方を学習させる。						
評価及びフィード バックの方法	授業への取り組みを客観的に評価する。 具体的には、スポーツ技術が高く、協調性をもって積極的に参加している場合には高い評価となる。高いスポーツ技術があつても、消極的な授業参加の場合は評価が低くなる。						
準備学習・ 履修上の注意等	※体育館シューズ、グラウンドシューズの二足を必ず用意すること 運動着(ジャージ)で受講すること、アクセサリ(金具)は身につけないで受講すること スポーツの実践を中心とした授業を展開するため、普段から身体を動かすことを意識し、健康管理に努めること。						
オフィスアワー	月曜日から水曜日: 12:30～13:00 研究室						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	2)4)5)	からだほぐし運動 ドッチボール				実 習	山 本
2	2)4)5)	ソフトバレーボール				実 習	山 本
3	2)4)5)	ソフトバレーボール				実 習	山 本
4	1)3)5)	バドミントン				実 習	山 本
5	1)3)5)	バドミントン				実 習	山 本
6	1)3)5)	バドミントン				実 習	山 本
7	2)4)5)	バスケットボール				実 習	山 本
8	2)4)5)	バスケットボール				実 習	山 本
9	2)4)5)	バスケットボール				実 習	山 本
10	1)3)5)	ウォーキング&ジョギング				実 習	山 本
11	2)4)5)	バレーボール				実 習	山 本
12	2)4)5)	バレーボール				実 習	山 本
13	2)4)5)	バレーボール				実 習	山 本
14	2)4)5)	ニュー・スポーツ インディアカ				実 習	山 本
15	1)～5)	総括: スポーツを継続して実践する				実 習	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	基礎演習 I			授業コード	110049A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	5CC111B01	AL 科目	○
担当者	臨床心理学科全教員	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	専門職としての基本的態度を涵養するために(DP(1))、ノートの取り方、テキストの読み方、レポートの書き方、資料の探し方、 発表の仕方、Word、Excel、PowerPoint の基礎、コラムの要約の仕方を習得する(CP(7))。						
学修目標	1) 高校までの学習と大学での学びの違いを理解し、自律的な学生生活を送ることができる。 2) 高校の授業と大学講義との違いを認識し、講義ノートを作成することができる。 3) 文章の展開と組み立てを捉えることができ、文章の内容を自分なりに解釈できる。 4) 文章作成の基本的なルールを認識し、文章作成に応用できる。 5) 図書館の機能やインターネットで得られる情報を理解し、適切な資料検索ができる。 6) 発表資料を作成し、分かりやすく報告できる。 7) Word でレポートを作成できる。 8) Excel で表やグラフを作成できる。 9) PowerPoint で発表資料を作成できる。 10) コラムの内容を 200 字以内で要約できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし。						
評価及びフィード バックの方法	第 1 回のチューター時間を 5 点、各回 10 点満点×13 回(第 15 回を含む)=130 点満点、その回の取り組み状況 5 点×13 回 (第 15 回を含む)=65 点の、計 200 点満点を 100 点に換算する。						
準備学習・ 履修上の注意等	1 回の授業につき 1 時間を目安に予習・復習をおこなうこと。						
オフィスアワー	各担当者の個人研究室の扉を参照。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1 4/9	1)	チューター時間				個別指導	チューター
2 4/16	1)10)	はじめての大学生活				講義・演習	倉 澤
3 4/23	2)10)	ノートのとり方				講義・演習	加 藤
4 5/7	3)10)	テキストの読み方①、②				講義・演習	伊 藤
5 5/14	—	GPS アカデミックの実施				—	前 田
6 5/21	4)10)	レポートの書き方①				講義・演習	黒 須
7 5/28	4)10)	レポートの書き方②				講義・演習	染 矢
8 6/4	5)10)	資料の探し方				講義・演習	戸 高
9 6/11	5)10)	大学図書館の使い方				講義・演習	内 藤
10 6/18	6)10)	発表の仕方①				講義・演習	中 村
11 6/25	6)10)	発表の仕方②				講義・演習	前 田
12 7/2	7)10)	Word の使い方				講義・演習	松 山
13 7/9	8)10)	Excel の使い方				講義・演習	横 山
14 7/16	9)10)	PowerPoint の使い方				講義・演習	吉 武
15 7/23	1)10)	チューター時間				個別指導	チューター
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		大学生 学びのハンドブック[6 訂版](世界思想社編集部(編)) 世界思想社【9784790717911】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜紹介する。					

科目名	基礎演習Ⅱ			授業コード	110050A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	5CC112B01	AL 科目	○
担当者	臨床心理学科全教員	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	専門職としての基本的態度を涵養するために(DP(1))、前期の「基礎演習Ⅰ」で学んだ内容についての演習を行う(CP(7))。						
学修目標	1) 高校までの学習と大学での学びの違いを理解し、自律的な学生生活が送れる。 2) 文章の展開と組み立てを捉えることができ、文章の内容を自分なりに解釈できる。 3) 文章作成の基本的なルールを認識し、文章作成に応用できる。 4) 図書館の機能やインターネットで得られる情報を理解し、適切な資料検索ができる。 5) 発表資料を作成し、分かりやすく報告できる。 6) Word でレポートを作成できる。 7) Excel で表やグラフを作成できる。 8) PowerPoint で発表資料を作成できる。 9) コラムの内容を 200 字以内で要約できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし。						
評価及びフィード バックの方法	各回 10 点満点×13 回＝130 点満点、その回の取り組み状況 5 点×13 回＝65 点、第 1 回と第 15 回のチューター時間を総合 して 5 点満点の、計 200 点満点を 100 点に換算する。						
準備学習・ 履修上の注意等	1 回の授業につき 1 時間を目安に予習・復習をおこなうこと。						
オフィスアワー	各担当者の個人研究室の扉を参照。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1 10/1	1)	チューター時間				個別指導	チューター
2 10/8	2)～8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	伊 藤
3 10/15	2)～8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	加 藤
4 10/22	2)～8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	倉 澤
5 10/29	2)～8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	倉 澤
6 11/5	2)～8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	黒 須
7 11/12	2)～8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	染 矢
8 11/19	2)～8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	戸 高
9 11/26	2)～8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	内 藤
10 12/3	2)～8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	中 村
11 12/10	2)～8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	前 田
12 12/17	2)～8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	松 山
13 1/7	2)～8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	横 山
14 1/14	2)～8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	吉 武
15 1/21	1)	チューター時間				個別指導	チューター
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		大学生 学びのハンドブック[6 訂版](世界思想社編集部(編)) 世界思想社【9784790717911】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜紹介する。					

科目名	臨床心理学概論			授業コード	121538B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	51C112P01	AL 科目	
担当者	前田直樹(心・心)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	急激な社会の変化にともなって、人々の心の健康に様々な問題が生じている。臨床心理学は心理的問題の解決や援助に携わる理論的研究と実践に関する心理学の応用分野である。この講義では臨床心理学の基礎的な理論と実践について幅広く学習する。 (DP1) (DP4) (CP1) (CP2) (CP3)						
学修目標	1)臨床心理学が様々な心理の考え方で成り立っていることを理解する。 2)臨床心理学と臨床心理士について理解する。 3)臨床心理学におけるアセスメントについて理解できる。 4)各種心理療法を理解できる。 5)神経症、心身症、精神病の違いを理解できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	小テストおよび確認テスト						
準備学習・ 履修上の注意等	臨床心理学を自ら積極的に学習しようとする姿勢。						
オフィスアワー	毎週月曜 18:00-18:30						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	(臨床心理学とは) ・臨床心理学の定義、理論、歴史などを理解する。				講 義	前 田
2	2)	(臨床心理学と臨床心理士) ・心理臨床の現場で働く臨床心理士の援助活動について理解する。				講 義	前 田
3	1)4)	(臨床心理学の考え方①) ・精神力動的立場の理論・技法を理解する。				講 義	前 田
4	1)4)	(臨床心理学の考え方②) ・人間性心理学の立場の理論・技法を理解する。				講 義	前 田
5	1)	(臨床心理学の考え方③) ・行動理論的立場の理論・技法を理解する。				講 義	前 田
6	1)4)	(臨床心理学の考え方④) ・近年台頭している認知療法的立場の理論・技法を理解する。				講 義	前 田
7	3)	(臨床心理アセスメント①) ・アセスメントの基礎、アセスメント面接について理解する。				講 義	前 田
8	3)	(臨床心理アセスメント②) ・アセスメントにおける質問紙法について理解する。				講 義	前 田
9	3)	(臨床心理アセスメント③) ・アセスメントにおける投影法について理解する。				講 義	前 田
10	3)	(臨床心理アセスメント④) ・各種知能検査について理解する。				講 義	前 田
11	3)	(臨床心理アセスメント⑤) ・機能アセスメントについて理解する。				講 義	前 田
12	5)	(臨床心理学と心の健康①) ・神経症に対する臨床心理的援助について理解する。				講 義	前 田
13	5)	(臨床心理学と心の健康②) ・心身症に対する臨床心理的援助について理解する。				講 義	前 田
14	5)	(臨床心理学と心の健康③) ・様々な精神疾患に対する臨床心理的支援について理解する。				講 義	前 田
15	1)2)3) 4)5)	(総括) ・これまで学習したことを総括し、臨床心理学の基礎的知識を身につける。				講 義	前 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名		心理学研究法		授業コード	120606B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		臨床心理学科(1 年)		ナンバリング	51C122P02	AL 科目	○	
担当者		内藤 健一(臨・臨)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義、演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		心理学の基礎を学んだ心理、福祉の専門職となるために(DP(1))、心理学の研究で用いられる方法とその特徴などを修得する(CP(2))。						
学修目標		1)心理学研究の流れを説明できる。 2)質問紙調査法に関する専門用語を説明できる。 3)実験法に関する専門用語を説明できる。 4)観察法に関する専門用語を説明できる。 5)面接法に関する専門用語を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		該当なし。						
評価及びフィード バックの方法		およそ 2 回に 1 回程度おこなう小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。この小テストを 30%、学期末の単位認定試験を 70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		1 コマ当たり 4 時間を目安に予習(次の回のレジュメを読むこと)・復習(その日習ったレジュメの内容を復習すること)をおこなうこと。						
オフィスアワー		毎週火～金曜日 12:15～13:00						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	心理学研究法:心理学の研究とは何か、心理学研究の流れ					講 義	内 藤
2	2)	質問紙調査法①					講義、演習	内 藤
3	2)	質問紙調査法②					講義、演習	内 藤
4	2)	質問紙調査法③					講 義	内 藤
5	2)	質問紙調査法④					講 義	内 藤
6	3)	実験法①					講義、演習	内 藤
7	3)	実験法②					講義、演習	内 藤
8	3)	実験法③					講 義	内 藤
9	3)	実験法④					講 義	内 藤
10	4)	観察法①					講義、演習	内 藤
11	4)	観察法②					講義、演習	内 藤
12	4)	観察法③					講 義	内 藤
13	5)	面接法①					講義、演習	内 藤
14	5)	面接法②					講 義	内 藤
15	1)～5)	(小テスト実施時間)					小テスト	内 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。講義レジュメを配布する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			第 1 回に紹介する。					

科目名	心理学統計法			授業コード	121539B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	51C121P01	AL 科目	
担当者	畑田惣一郎(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	オンライン
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	この科目の目的は、学生が統計学の基礎と実務的な知識を習得することにある。学生は将来の進路(心理関連の仕事など)に 役立つ実践的な統計の知識を得ることが期待される。データについての基礎知識、集団の特徴を表す統計量、標準得点、さら には関連性・相関係数について学ぶ。						
学修目標	1) 心理学統計法とは何かを理解することができる。 2) 4 つの尺度水準について理解することができる。 3) 統計学的検定について理解できる。 4) 心理学統計法を利用した研究の結果を解釈できる。 5) 研究目的によって、適切な心理統計を具体的に述べるすることができる。 6) 統計解析ソフトを適切に使用することができる。						
実務経験のある 教員による教育	公認心理師・臨床心理士・社会福祉士の資格を持つ担当教員が、臨床での活用方法の情報提供を行うことがある。						
評価及びフィード バックの方法	毎講義後のリアクションペーパーと受講態度(40%)、中間テスト(20%)、最終レポート(40%) 前回の講義に関するフィードバックをリアクションアペーパーの内容を通して行う。質問がある場合もリアクションペーパーを活用 することができる。 また、中間テストの回答を解説し復習する機会とする。						
準備学習・ 履修上の注意等	心理学統計法は毎回の授業の積み重ねであるので、毎回の授業に対して復習をすること。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間において行う。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	心理学統計法とは何か				講 義	畑 田
2	1)3)	「研究の目的と仮説」「独立変数と従属変数」について理解する				講 義	畑 田
3	2)	質的データと量的データについて理解する				講 義	畑 田
4	2)3)	質問紙のデータ入力方法と記述統計について理解する				講 義	畑 田
5	2)3)4)	代表値と標準偏差、正規分布について理解する				講 義	畑 田
6	3)4)	帰無仮説と対立仮説、有意水準について理解する				講 義	畑 田
7	3)4)5) 6)	相関について理解する				講義 演習	畑 田
8	3)4)5) 6)	t 検定について理解する				講義 演習	畑 田
9	3)4)5) 6)	1 要因の分散分析について理解する				講義 演習	畑 田
10	3)4)5) 6)	2 要因の分散分析について理解する				講義 演習	畑 田
11	3)4)5) 6)	χ^2 検定について理解する				講義 演習	畑 田
12	3)4)5) 6)	重回帰分析について理解する				講義 演習	畑 田
13	3)4)5) 6)	尺度作成(因子分析、信頼性・妥当性)について理解する				講義 演習	畑 田
14	4)	実際の論文を読み、解釈できるようになる				講 義	畑 田
15	1)2)3) 4)5)6)	総括				講 義	畑 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		小塩真司 SPSS と Amos による心理・調査データ解析 因子分析・共分散構造分析まで 東京図書					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし					

科目名	人体の構造と機能及び疾病			授業コード	121483B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	51C122P04	AL 科目	
担当者	池ノ上 克(社・ス)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.	スポーツ健康福祉学や臨床心理学は人を対象としています。そのため、人体の構造や機能及び疾病について学ぶことは必須で す。専門職に必要な基礎知識を修得します。 各学科の関連 DP は以下のとおり。 スポーツ健康福祉学科：(DP3)専門的知識・技能の活用力 臨床心理学科：(DP3)実践力						
学修目標	1)ライフステージにおける心身の変化と健康課題：人の成長・発達と加齢、老化について説明できる。 2)人体の各器官の構造と機能について説明できる。 3)疾病の概要について説明できる。 4)障害の概要について説明できる。 5)リハビリテーションの概要について説明できる。 6)国際機能分類の基本的考え方と概要について説明できる。 7)健康の捉え方について説明できる。健康の概念と疾病の概念について説明できる。 8)公衆衛生の概要について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、医師としての実務経験に基づき、専門職として必要な知識・技術の修得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業への参加態度(20%)及び最終のレポート試験(80%)において総合的に評価する。 詳細な評価基準は、授業開始日に説明する。 なお、授業全体の進捗及び総評として、中間などに適宜フィードバックを予定する。						
準備学習・ 履修上の注意等	社会福祉士・精神保健福祉士・救急救命士・公認心理師を目指す学生は必修である。 プリント配布は最小限であり、必要時(解剖図等)は、パワーポイントで表示し説明する。マイノート作成もしくは、テキストに書き 込むこと。 授業後は、講義内容(テキスト)を振り返り、復習しておくこと。次回の授業内容のテキストを読み予習しておくこと。 テキストを主に使用するので必ず購入しておくこと。						
オフィスアワー	授業前後の時間帯に対応します。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 人の成長・発達と老化				講 義	池ノ上
2	2)	身体構造と心身の機能①				講 義	池ノ上
3	2)	身体構造と心身の機能②				講 義	池ノ上
4	3)	疾病の概要① 生活習慣病、悪性腫瘍、脳血管疾患、心疾患、高血圧				講 義	池ノ上
5	3)	疾病の概要② 糖尿病と内分泌疾患、呼吸器疾患、消化器疾患				講 義	池ノ上
6	3)	疾病の概要③ 血液疾患と膠原病、腎臓疾患、泌尿器疾患、骨・関節疾患				講 義	池ノ上
7	3)	疾病の概要④ 目・耳の疾患、感染症、神経疾患と難病、先天性疾患他				講 義	池ノ上
8	3)	前半の総括				講 義	池ノ上
9	4)	障害の概要① 視覚障害、聴覚障害、口腔疾患、婦人科・産科				講 義	池ノ上
10	4)	障害の概要② 平衡感覚障害 肢体不自由 内部障害				講 義	池ノ上
11	4)	障害の概要③ 認知症				講 義	池ノ上
12	4)	障害の概要④ 知的障害、発達障害				講 義	池ノ上
13	4)	障害の概要⑤ 高次脳機能障害、精神障害				講 義	池ノ上
14	5)6)	リハビリテーションの概要 ICF の基本的考え方と概要				講 義	池ノ上
15	7)8)	健康の捉え方				講 義	池ノ上
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		医学概論 (日本ソーシャルワーク教育学校連盟) 中央法規					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		人体の構造と機能及び疾病(中央法規) 必要時プリントを配布する。					

科目名		発達心理学			授業コード	120866B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科、臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	51C121P02	AL 科目	○
担当者		有木正浩(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		発達心理学において、発達は「受精してから死に至るまでの心身の変化の過程」と定義され、何かを獲得してだけでなく、失っていく過程も含まれます。とはいえ、すべての能力が失われるわけではなく、経験を通して知識が熟達化され英知となったり、高齢になるに従い生活をより充実したものにとらえる傾向が増すこともあります(以上、テキスト 5 頁)。発達心理学は、皆さんのような大学生はもちろんのこと、生まれる前の胎児から高齢者に至るまで命ある人すべてに関わる学問領域であり、生きていくうえで拠り所となる知識を授けてくれます。本授業では、毎回授業の冒頭で皆さんに問いを投げかけます。その問いを頭の隅において授業を聞くことで、授業の終わりには自らその問いに答えられるようになります。また公認心理師の過去問にも挑戦します。その積み重ねにより、人の発達に対する理解を深めていくことを本授業の目的とします。						
学修目標		1)発達とは何か説明できる。 2)知覚・認知、言語・コミュニケーション、知能、運動、感情、気質と性格、遊び、親子関係、仲間関係・きょうだい関係、自己、発達障害、それぞれの発達の特徴を説明できる。 3)各発達段階の特徴を説明できる。 4)発達心理学の研究法を理解できる。 5)公認心理師の試験において発達心理学がどのような観点から出題されるか把握する。						
実務経験のある 教員による教育		児童相談所の児童心理司として長年勤務し、乳幼児から思春期までの子どもの発達や障害、問題行動、さらに家族や社会資源などに関わってきた。幅広い視野から人の発達を捉えていく。						
評価及びフィード バックの方法		授業に取り組む姿勢、課されたレポートと後期末試験の点数で総合的に評価する。 ・評価については、レポート(10%)、小テスト(10%)、後期末試験(80%)とする。 ・授業に取り組む姿勢については、注意を受けた場合などについて減点することがある。						
準備学習・ 履修上の注意等		・毎回の講義内容が多いので、事前の予習を十分行うこと ・時に抜き打ちの小テストを行うことがあるので、毎回復習を行うこと。						
オフィスアワー		講義後の空き時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	【発達の過程と変化のメカニズム】 ・発達の基本的概念を理解する。 ・発達を規定する要因 ・初期環境の影響 ・発達へのアプローチ					講 義	有木正浩
2,	1)	【知覚・認知の発達】 ・新生児期・乳児期の知覚の発達 ・知覚の発達の測定法 ・認知の発達					講 義	有木正浩
3	1)	【言語・コミュニケーションの発達】 ・コミュニケーションの種類 ・乳児期のコミュニケーションー前言語的コミュニケーション ・幼児期のコミュニケーションー言語的コミュニケーション ・学童期のコミュニケーション					講 義	有木正浩
4	1)	【知能の発達】 ・知能とは ・知能の諸理論 ・知能の発達の変化 ・知能の測定と評価					講 義	有木正浩
5	1)	【運動の発達】 ・現代社会における運動との関係 ・運動発達の捉え方 ・運動発達と他の領域との関連 ・運動のぎこちなさとDCD					講 義	有木正浩
6	1)	【感情の発達】 ・感情とは ・感情の機能 ・感情の分化としての感情の発達 ・感情に関する知識やスキルの獲得としての感情の発達 ・感情抑制の発達 ・感情表出の発達 ・感情と社会性の発達					講 義	有木正浩
7	1)	【気質と性格の発達】 ・性格とは ・気質とは ・気質の対する考え方と測定する方法 ・気質の安定性 ・性格を捉える					講 義	有木正浩
8	1)	【遊びの発達】 ・遊びとは何か ・遊びの発達					講 義	有木正浩
9	1)	【親子関係の発達】 ・アタッチメントの成立 ・アタッチメントのタイプと測定方法 ・親が子どもに及ぼす影響 ・子どもが親に及ぼす影響 ・母親ー父親ー子どもの三角関係					講 義	有木正浩

10	1)	【仲間関係・きょうだい関係の発達】 ・仲間関係の発達 ・仲間関係への支援 ・仲間関係と家族 ・仲間関係の役割	講 義	有木正浩
11	1)	【自己の発達】 ・自己の理論と概念 ・乳幼児期の自己の発達 ・自己概念－自尊概念、自己価値、自己肯定感、有能感 ・児童期の自己の発達 ・青年期以降の自己の発達	講 義	有木正浩
12	3)	【発達障害と非典型発達】 ・発達障害の基礎的理解 ・非典型発達(非定型発達)の諸相 ・発達障害と虐待	講 義	有木正浩
13	1)2)	【青年期の発達】 ・発達課題について ・アイデンティティと心理社会的モラトリアム ・キャリアの視点から	講 義	有木正浩
14	1)2)	【成人期・高齢期の発達】 ・成人期・高齢期における「発達」とは ・成人期における発達課題 ・加齢による身体機能の変化 ・加齢による知的機能の変化 ・社会的環境・社会的関係の変化 ・老いへの心理的適応	講 義	有木正浩
15	1)2)3)	【まとめ】 ・これまでのふり振り返りと総括	講義・演習	有木正浩
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		公認心理師の基礎と実践 12 「発達心理学」(本郷 一夫 編) 遠見書房 ISBN978-4-86616-062-7 C3011		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。		

科目名		知覚・認知心理学		授業コード	121559B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		臨床心理学科(2 年)		ナンバリング	51C221P02	AL 科目		
担当者		内藤 健一(臨・臨)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態 講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		心理学の基礎を学んだ心理の専門職となるために(DP(1))、人の感覚・知覚・認知とその特徴などを修得する(CP(3))。						
学修目標		1) 感覚の種類とその内容、視覚情報の優位性、錐体と桿体を説明できる。 2) 色彩知覚、奥行き知覚、形の知覚、運動知覚に関する基礎事項を説明できる。 3) 記憶の過程、区分、記銘方略、忘却に関する主要な理論を説明できる。 4) 一般的知識の表象についてのモデル、スキーマとその特徴を説明できる。 5) 問題解決の理論、問題解決に影響を及ぼす要因、推理について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		該当なし。						
評価及びフィード バックの方法		2 回に 1 回おこなう小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。この小テストを 30%、学期末の単位認定試験を 70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		1 コマ当たり 1 時間を目安に予習(次の回のレジュメを読むこと)・復習(小テストに備えてその日習ったレジュメの内容を復習すること)をおこなうこと。／「心理学概論 2024」の講義レジュメも、授業内容によっては使用するので、忘れずに持参すること。						
オフィスアワー		毎週火～金曜日 12:15～13:00						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	感覚(1): 感覚の種類とその内容(「心理学概論 2024」講義レジュメ 3, 4 ページ「感覚・知覚」)					講 義	内 藤
2	1)	感覚(2): 視覚優位の統合、網膜における 2 つの視細胞の働き					講 義	内 藤
3	2)	知覚(1-1): 色彩知覚、知覚の恒常性、奥行き知覚の手がかり					講 義	内 藤
4	2)	知覚(1-2): 色彩知覚、知覚の恒常性、奥行き知覚の手がかり					講 義	内 藤
5	2)	知覚(2): 形の知覚と群化の要因、運動知覚(「心理学概論 2024」講義レジュメ 5 ページ「形の知覚」)					講 義	内 藤
6	3)	記憶(1): 記憶の 3 過程(覚える・覚えておく・思い出す)、記憶の時間による区分とその内容(「心理学概論 2024」講義レジュメ 11 ページ「記憶の 3 過程」、12 ページ「記憶の区分」)					講 義	内 藤
7	3)	記憶(2): Craik と Lockhart の処理水準モデル、記銘方略(「心理学概論 2024」講義レジュメ 13 ページ「記憶術」)					講 義	内 藤
8	3)	記憶(3): 顕在記憶と潜在記憶の違い、長期記憶との対応関係					講 義	内 藤
9	3)	記憶(4): Ebbinghaus の再学習法、節約率、忘却曲線					講 義	内 藤
10	3)	記憶(5): 忘却に関する様々な説(不使用による減衰説、干渉説、検索失敗説、抑圧説)					講 義	内 藤
11	4)	知識と表象(1): 一般的知識の表象についてのモデル(階層的ネットワーク、活性化拡散)					講 義	内 藤
12	4)	知識と表象(2): スキーマとその特徴					講 義	内 藤
13	5)	問題解決と推理(1): 問題解決の理論(情報処理論的アプローチ)					講 義	内 藤
14	5)	問題解決と推理(2): 問題解決に影響を及ぼす要因					講 義	内 藤
15	5)	問題解決と推理(3): 類推、帰納的推理、演繹的推理					講 義	内 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。講義レジュメを配布する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			第 1 回に紹介する。					

科目名	学習・言語心理学			授業コード	121560B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51C221P03	AL 科目	
担当者	前田直樹(心・心)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	本講義の目的は学習心理学の基礎知識を習得することである。講義の中では、学習心理学の臨床的な応用領域に焦点を当てながら、古典的条件付け、オペラント条件付けといった学習理論の基盤的な要素に加え、社会的学習に代表されるさまざまな学習心理学の領域について講義を行う。 (DP1) (DP4) (CP1) (CP2) (CP3)						
学修目標	1) レスポンデント条件付けを理解する。 2) オペラント条件付けを理解する。 3) 社会的学習を理解できる。 4) 言語獲得の基本的な理論を理解できる。 5) 学習理論に基づく心理療法を理解する。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	小テストおよび確認テスト。						
準備学習・ 履修上の注意等	予習・復習を行い講義に臨むこと。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方法	担当
1回	1)2)	【学習とは】 学習心理学の歴史をたどり、学習の生物学的基礎を踏まえながら現代の学習について理解する。				講 義	前 田
	1)	【レスポンデントづけ①】 パブロフの条件反射の実験を学び、古典的条件づけの原理を理解する。				講 義	前 田
	1)	【レスポンデント条件づけ②】 より高度なレスポンデント条件付について理解する。				講 義	前 田
	1)	【レスポンデント条件づけ③】 ワトソンの実験を理解し、行動療法への応用などを理解する。				講 義	前 田
	2)	【オペラント条件づけ①】 ソーンダイクの試行錯誤学習実験とスキナーのオペラント学習の実験を学び、オペラント条件づけの原理を理解する。				講 義	前 田
	2)	【オペラント条件づけ②】 強化の原理を理解する。				講 義	前 田
	2)	【オペラント条件づけ③】 行動の消去および弱化的メカニズムについて理解する。				講 義	前 田
	2)	【オペラント条件づけ④】 強化スケジュールについて理解する。				講 義	前 田
	3)	【社会的学習①】 バンデューラのモデリング学習について理解する。				講 義	前 田
	3)	【社会的学習②】 社会的学習理論について理解する。				講 義	前 田
	2)3)4)	【言語と学習①】 人間の言語の獲得のについて理解する。				講 義	前 田
	2)3)4)	【言語と学習②】 人間の言語獲得における諸理論について理解する。				講 義	前 田
	1)2)5)	【学習理論の臨床的応用①】 行動療法・行動分析について理解する。				講 義	前 田
	1)2)3) 5)	【学習理論の臨床的応用②】 認知行動療法、さらにACTについて理解する。				講 義	前 田
	1)2)3) 4)5)	総括				講 義	前 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		行動と学習の心理学 -日常生活を理解する-(伊藤正人)【ISBN:9784812204320】昭和堂					

科目名		心理測定法演習		授業コード	121237A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)		臨床心理学科(3 年)		ナンバリング	51C321P01	AL 科目		
担当者		内藤 健一(臨・臨)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態 講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.		心理学の基礎を学んだ言語聴覚、心理、福祉の専門職となるために(DP(1))、ヒトを対象としてデータを採取するときの様々な基本的技法と、それらの長所と短所を修得する(CP(2))。						
学修目標		1)心理学と心理測定の関係を説明できる。 2)データの尺度水準の種類、及びそれらの特徴を説明できる。 3)データの分布とその表現方法、データの分布の要約統計量の種類及び算出方法を説明できる。 4)感覚・知覚心理学研究において用いられる測定法、測度を説明できる。 5)発達・教育心理学研究における測定法である検査法、検査の信頼性と妥当性を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		特になし。						
評価及びフィード バックの方法		2 回に 1 回おこなう小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。この小テストを 30%、学期末の単位認定試験を 70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		1 コマ当たり 1 時間を目安に予習(次の回のレジュメを読むこと)・復習(小テストに備えてその日習ったレジュメの内容を復習すること)をおこなうこと。						
オフィスアワー		毎週火～金曜日 12:15～13:00						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	心理測定とは何か					講 義	内 藤
2	2)	データの尺度水準					講 義	内 藤
3	3)	データの分布と要約統計量(1)					講 義	内 藤
4	3)	データの分布と要約統計量(2)					講 義	内 藤
5	4)	感覚・知覚心理学研究における測定(1)					講 義	内 藤
6	4)	感覚・知覚心理学研究における測定(2)					講 義	内 藤
7	4)	感覚・知覚心理学研究における測定(3)					講 義	内 藤
8	4)	感覚・知覚心理学研究における測定(4)					講 義	内 藤
9	4)	感覚・知覚心理学研究における測定(5)					講 義	内 藤
10	5)	発達・教育心理学研究における測定(1)					講 義	内 藤
11	5)	発達・教育心理学研究における測定(2)					講 義	内 藤
12	5)	発達・教育心理学研究における測定(3)					講 義	内 藤
13	5)	発達・教育心理学研究における測定(4)					講 義	内 藤
14	5)	発達・教育心理学研究における測定(5)					講 義	内 藤
15	5)	発達・教育心理学研究における測定(6)					講 義	内 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。講義レジュメを配布する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			第 1 回に紹介する。					

科目名	精神保健福祉の原理Ⅰ			授業コード	121664B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1 年) 臨床心理学科(1 年)			ナンバリング		AL 科目	○
担当者	黒須依子(心・心)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	本科目は「精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための必修科目」に該当する。 日本の精神保健福祉の歴史によって創られた精神障害者やその家族の生活実態、先進諸外国と比較した日本の精神保健福祉の特徴と課題を学び、日本社会に潜む精神障害者に対する根深い偏見や差別の要因を理解する(CP 2)。その上で、精神障害者等に対する権利擁護、リハビリ支援、社会参加支援に能動的に貢献する姿勢等の精神保健福祉士の基盤となる援助の必要性を理解する。さらに、日本の精神障害者が生活のしづらさを抱える要因を障害当事者の立場に立って考え、日本の精神保健福祉の課題解消に向け求められる事項、精神保健福祉士の役割を考える力を身に着ける(DP 1)ことを目的とする。						
学修目標	1)日本の精神障害者に対する地域住民の差別・偏見の現状を理解し説明できる。 2)ICF による障害概念の意義と ICIDH の障害概念との相違点を理解し説明できる。 3)障害者基本法、障害者総合支援法による障害者、精神保健福祉法による精神障害者の法的定義を説明できる。 4)日本の優性思想と社会防衛思想が精神障害者の地域生活に及ぼした影響を理解し説明できる。 5)OECD 諸外国と比較した日本の精神保健福祉の特徴を理解し説明できる。 6)精神障害者監護法の特徴を理解し説明できる。 7)精神病院法制定後の日本の精神保健の特徴を理解し説明できる。 8)精神衛生法、改正精神衛生法制定後の日本の精神保健の推移と特徴を理解し説明できる。 9)精神保健法制定後の日本の精神保健の推移と特徴を理解し説明できる。 10)精神保健福祉法制定過程と制定の意義を理解し説明できる。 11)精神科病院の入院中心医療システムが精神障害者の生活に及ぼした影響を理解し説明できる。 12)地域住民の偏見等を要因とする精神障害者やその家族が抱える生活のしづらさと精神保健福祉の課題を理解し説明できる。 13)障害者福祉の基本的な人権尊重の意義を理解し説明できる。 14)精神障害者の自立と社会参加、消費者としての権利を保障する意義を理解し説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	定期試験結果を全体の 70%、学習への取り組み姿勢(レポート課題の提出と内容、隔週毎を基本に実施する小テスト結果、SGD への参加・発言状況、返却物の受取)を全体の 30%として単位認定を行う。詳細な評価の基準は授業開始時に説明する。隔週実施の小テスト結果は各学生に返却後、解答解説を行う。その結果から学生の理解状況を把握するとともに、解答解説を通じ試験内容を振り返り、ポイントを再確認し授業内容に対する受講生の理解を深める。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業時の配布資料はファイルに綴じ、指定テキストと共に毎授業時に持参すること。なお、受講生は当授業に関する自主学習時間を 1 回の授業につき 2 時間以上/週設け予習復習を行い、講義内小テストを受験すること。また、提出期限厳守で課題レポートを作成・提出し、講義時に指定した事例やテキスト指定内容を購読した上で授業に臨むこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計 30 時間以上の自主学習を行うこと。その他、各講義内容での不明点は、授業時や授業後のオフィスアワーを利用し学生各自で主体的に質問すること。						
オフィスアワー	時間割決定後、研究室前に提示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 「精神障害者に対する地域社会の偏見が精神精神障害者の地域生活に及ぼす影響(1)」				講 義 S G D	黒 須
2	1)	「精神障害者に対する地域社会の偏見が精神障害者の地域生活に及ぼす影響(2)」				講 義	黒 須
3	2)	障害の捉え方 (1) 「ICFの障害概念①」				講 義	黒 須
4	2)	障害の捉え方 (2) 「ICFの障害概念②(ICFの概念で障害を捉える意義)」				講 義 S G D	黒 須
5	3)	障害の定義 「日本の制度に基づく障害者・精神障害者の定義」				講 義	黒 須
6	4)13)	社会防衛思想と優生思想が精神障害に及ぼした影響(日本)				講 義 S G D	黒 須
7	4)13)	社会防衛思想と優生思想が精神障害者に及ぼした影響(ドイツ)				講 義	黒 須
8	5)6)	日本の精神保健福祉の特徴 日本の精神保健福祉歴史① 「精神障害者監護法の特徴」				講 義	黒 須
9	7)	日本の精神保健福祉の歴史② 「精神病院法制定の経緯と特徴」				講 義	黒 須
10	8)	日本の精神保健福祉の歴史③ 「精神衛生法制定の経緯と特徴」				講 義	黒 須
11	8)	日本の精神保健福祉の歴史④ 「改正精神衛生法制定の経緯と特徴」				講 義	黒 須
12	10)11)	日本の精神保健福祉の歴史⑤ 「精神保健福祉法制定の経緯と特徴」				講 義	黒 須
13	10)	日本の精神保健福祉の歴史⑥ 「精神保健福祉法制定の意義」				講 義	黒 須
14	11)12) 13)	日本の精神保健福祉歴史が精神障害者の家族や地域住民の地域生活に及ぼした負の影響				講 義 S G D	黒 須

15	11)12) 13)14)	日本の精神保健福祉の歴史が精神障害当事者の地域生活に及ぼした負の影響	講 義	黒 須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 精神保健福祉士養成講座5 精神保健福祉の原理(日本ソーシャルワーク教育学校連盟:編)中央法規出版【978-4-8058-8256-6】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		①心病める人たち-開かれた精神医療へ- (石川 信義) 岩波新書 【4-00-430122-X】 ②ルポ・精神病棟(大熊一夫)朝日新聞社【4-02-260244-9】 ③自由こそ治療だ〜イタリア精神病院解体のレポート〜(ジル・シュミット著、半田文穂訳)社会評論社【4-7845-0181-9】 ④福祉小六法 2025(社会福祉法人 大阪ボランティア協会)中央法規出版編集部【978-4-8243-0161-1】		

科目名	精神保健福祉の原理Ⅱ			授業コード	121698B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2 年) 臨床心理学科(2 年)			ナンバリング		AL 科目	○
担当者	黒須依子(心・心)・外部講師	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	本科目は「精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための必修科目」に該当する。 本講義は、日本の精神保健福祉発展過程を通じ誕生した精神保健福祉士の存在意義、援助理念、援助対象者とその関係性、倫理綱領に基づく職責について理解し、精神保健福祉向上に向け求められる精神保健福祉士の基礎的な役割を理解することを目的とする(CP2)。併せて、欧米諸国で発展した精神保健福祉援助理念や援助技法を学び、今後、日本の精神保健福祉士に必要な役割と課題を理解する。これら通じ精神保健福祉士に必要な価値観と倫理を習得し、専門援助職者として地域貢献をめざす必要性、その上で基盤となる援助姿勢を身に着ける(DP3)。						
学修目標	1)日本の精神障害者に対する入院中心医療施策により生じた精神障害者の長期入院、社会的入院の現状、退院阻害要因を理解し説明できる。 2)精神障害者の社会生活の現状と社会生活困難要因を理解し説明できる。 3)インスティテューナリズム、ホスピタリズム意味と課題について説明できる。 4)日本の精神保健福祉施策によって生じた精神障害者家族の位置づけと生活課題を理解し説明できる。 5)日本の精神医学ソーシャルワーカー誕生の歴史と意義を理解し説明できる。 6)精神保健福祉士法の目的と精神保健福祉士法に規定された精神保健福祉士の基本的役割を理解し説明できる。 7)精神保健福祉士法の精神保健福祉士倫理綱領の内容と意味を理解し説明できる。 8)精神障害者の「社会的復権と権養擁護」「自己決定」「当事者主体」を精神保健福祉士が支援する意味と重要性を理解し説明できる。 9)精神障害者の「社会正義」「ごく当たり前の生活」を精神保健福祉士が支援する意味と重要性を理解し説明できる。 10)精神保健福祉援助における「ノーマライゼーション」「エンパワメント支援」「ソーシャルインクルージョン」の意味を理解し説明できる。 11)精神保健福祉援助における「リカバリーの視点」「アンチスティグマの視点」の意味を理解し説明できる。 12)精神保健福祉援助において精神保健福祉士がパートナーシップな関係、当事者主体の関係を保つ必要性を理解し説明できる。 13)欧米諸外国における障害者排除の歴史を理解し説明できる。 14)欧米諸国で誕生した精神保健福祉におけるセルヘルプ活動、ピアサポート、ナラティブ・アプローチ、オープンダイアログ等について理解しその特徴を説明できる。 15)精神保健福祉援助におけるピアサポートの意義とピアサポーターの役割を理解する 16)精神保健福祉士業務指針を基に精神保健福祉士の業務内容と専門性を理解し説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	授業開始時、隔週ごとに小テストを行い、解答解説を通じ授業成果をフィードバックし、試験範囲の授業内容を振り返りポイントを再確認し受講生の理解を高める。定期筆記試験の結果を評価の 70%、講義内実施の確認小テストの結果(平均点)を評価の 15%、及び授業への取り組み姿勢(課題レポート提出状況と内容、授業中の SGD への参加、発言等)を評価の 15%として単位認定を行う。評価基準の詳細は授業開始(オリエンテーション)時に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	指定テキストの他、講義配布資料はファイルに綴じ、毎授業時に持参すること。尚、返却を受けた確認小テストの結果はファイルに綴じ、各自復習に活用すること。 また、1 回の授業につき 2 時間以上/週、当授業に関する自主学習時間を設け予習復習を行い、課題レポートは提出期限厳守で提出すること。その他、講義時に提示した事例やテキスト指定内容を購読した上で授業に臨むこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計 60 時間以上の自主学習を行うこと。						
オフィスアワー	時間割決定後、提示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション 精神障害者の生活特性(1) 「精神科医療サービスによる影響」				講 義	黒 須
2	2)3)	精神障害者の生活特性(2) 「精神障害者の社会生活の状況」				講 義 S G D	黒 須
3	4)	精神障害者の生活特性(3) 「精神障害者の家族の生活状況」				講 義 S G D	黒 須
4	5)6)	精神保健福祉士誕生の歴史と精神保健福祉士の役割と倫理				講 義	黒 須
5	7)	精神保健福祉士の倫理綱領(1)				講 義	黒 須
6	7)	精神保健福祉士の倫理綱領(2)				講 義	黒 須
7	8)	精神保健福祉士の価値と原理(1)社会的復権・権利擁護・自己決定・当事者主体				講 義 S G D	黒 須
8	9)	精神保健福祉士の価値と原理(2)社会正義・ごく当たり前の生活				講 義 S G D	黒 須
9	10)	精神保健福祉士の援助理念 「自立支援・ノーマライゼーション・エンパワメント・ソーシャルインクルージョン」				講 義	黒 須
10	11)	精神保健福祉士の援助視点 「リカバリー支援・アンチスティグマ」				講 義	黒 須
11	12)	精神保健福祉援助における間主観関係とパートナーシップ				講 義 S G D	黒 須

12	13)	欧米諸国における排除の歴史と構造	講 義 S G D	黒 須
13	14)	新たな精神保健福祉援助の発展 「自助グループ・当事者研究・オープンダイアログ・ナラティブ・アプローチ」	講 義	黒 須
14	15)	精神保健福祉におけるピアサポートの役割と現状	講 義	黒 須 外部講師
15	16)	精神保健福祉士の役割と専門性	講 義 S G D	黒 須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		① 最新 精神保健福祉士養成講座 5「精神保健福祉の原理」(一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育 学校連盟 編) 中央法規出版株式会社【978-4-8058-8256-6】 * 2024 年度までに「精神保健福祉の原理 I」で上記テキストを購入した学生は、「精神保健福祉の原理 I」 で使用したテキストを準備して下さい。同じテキストです。 ②「福祉小六法 2025」(大阪ボランティア協会:編)中央法規出版株式会社【978-4-8243-0161-1】 ③「精神科病院を出て、町へーACTがつくる地域精神医療ー」(		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		①「べてるの家の「非」援助論 そのままでいいと思えるための25章」(浦河べてるの家)医学書院【4-260- 33210-4】 ②「精神障がいピアサポーターー活動と効果的な養成・育成プログラムー(相川章子)中央法規出版株式会社 【978-4-8058-3907-2】 ③「自由こそ治療だ イタリアの精神病院解体のレポート」(ジル・シュミット/半田文穂 訳)社会評論社【4- 7845-0181-9】		

科目名	精神疾患とその治療			授業コード	121630B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51C221P04	AL 科目	○
担当者	堀徹也(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	本講義では、精神科医療機関等の現場で援助を行うにあたり必要とされる精神疾患とその治療、精神科医療機関で活用されるべき基礎知識を修得する(DP1,2,3,4)。特に、代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援といった観点から理解するとともに、精神科病院等における専門治療の内容及び特性について修得する。さらに、精神科医療チームの一員としてかかわる際に担うべき役割や他機関との連携の重要性について理解する(CP2)。						
学修目標	1)精神障害の概念について説明できる。 2)精神疾患の成因と分類について説明できる。 3)精神症状の概略について説明できる。 4)精神疾患の診断と心理的・身体的検査について説明できる。 5)代表的な精神疾患の症状や経過、治療方法について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	担当科目者は精神科医として 20 年以上の臨床経験を有している。その臨床経験に基づき、精神疾患と治療、精神科医療機関で活用される基礎知識の修得を目的とした講義を行う。						
評価及びフィード バックの方法	学習への取り組み姿勢(講義後のレポート提出、質問・発言など授業への参加)を 10%及び、学期末の単位認定試験を 90%として、単位認定を行う。 なお、講義後レポートの内容を勘案し、次回講義時に適宜、フォロー・フィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	1)授業内容の項目について、テキストを読み予習しておくこと。 2)日頃から、新聞やテレビ等で報道される精神医療福祉に関する時事問題にも関心を持つように心がける。						
オフィスアワー	講義前後の時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)～3)	【精神疾患の症状と診断】 異常を判定する基準、精神医学特有の方法(了解、追体験、解釈等)				講義・SGD	堀
2	1)～3)	【精神疾患の症状と診断】 精神症状の概略				講 義	堀
3	1)～3)	【精神疾患の症状と診断】 伝統的分類(器質性、内因性、心因性)、国際的診断分類(ICD、DSM)				講 義	堀
4	4)5)	【精神疾患の症状と診断】 精神障害の評価と診断、薬物療法				講 義	堀
5	1)～3)	【精神障害の理解】 精神障害の概念、健康の定義、健康と精神障害の違い、ICF の考え方				講 義	堀
6	2)～5)	【代表的な精神疾患】 器質的精神障害				講 義	堀
7	2)～5)	【代表的な精神疾患】 症状性精神障害、精神作用物質使用による精神および行動の障害				講 義	堀
8	2)～5)	【代表的な精神疾患】 統合失調症				講 義	堀
9	2)～5)	【代表的な精神疾患】 気分(感情)障害				講 義	堀
10	2)～5)	【代表的な精神疾患】 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害				講義・演習	堀
11	2)～5)	【代表的な精神疾患】 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群				講 義	堀
12	2)～5)	【代表的な精神疾患】 パーソナリティ障害と行動の障害、性の障害(性同一性障害)				講 義	堀
13	2)～5)	【代表的な精神疾患】 精神遅滞(知的障害)				講 義	堀
14	2)～5)	【代表的な精神疾患】 心理的発達の障害				講 義	堀
15	2)～5)	【代表的な精神疾患】 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害				講義・SGD	堀
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 精神保健福祉士養成講座 1 精神医学と精神医療 一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集【ISBN 978-4-8058-8252-8】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて紹介					

科目名		レクリエーション論		授業コード	120102B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2 年)		ナンバリング	51C221P14	AL 科目	○	
担当者		松田 智香子(福・ス)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態 講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		生涯学習、生涯スポーツの振興、また地域コミュニティ再編の有効な手立てとして期待されつつあるレクリエーション活動に着目し、その可能性について検討を行うとともに、レクリエーション支援活動を展開していく際の心得と留意点等について理解を深める。DP(1)(2)(3)(4)、CP1(2)(3)(6)、2(1)、3(1)						
学修目標		1)現代社会におけるレクリエーションの意味と有用性について理解する。 2)自らの生活の中に存在しているレクリエーション活動とは何なのかを理解する。 3)レクリエーション支援活動の基礎を理解する。						
実務経験のある 教員による教育		該当なし						
評価及びフィード バックの方法		学習への取り組む姿勢(確認テストや課題の提出、返却物の受け取り、質問・発言、グループワークへの取り組みなど授業への参加)を 10%及び学期末の単位認定試験を 90%として 単位認定を行う。 原則、再試験は行わない。						
準備学習・ 履修上の注意等		毎授業後に次回授業内容のポイントを示すので、事前準備を行うこと。 遅刻・私語厳禁。						
オフィスアワー		水曜日 : 11:00～15:00						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)3)	【現代社会におけるレクリエーションの意義と必要性】 現代社会における我々の生活状況について理解する。その中でレクリエーションが果たす役割について理解を深める。					講 義	松 田
2	1)2)3)	【レクリエーション運動の歴史とその背景】 社会運動としてのレクリエーション展開の歴史を理解する。					講 義	松 田
3	1)2)3)	【レクリエーション支援の考え方】 現代人にとってのレクリエーションの意味とそれを支援することの大切さを理解する。					講 義	松 田
4	1)2)3)	【ライフステージに応じたレクリエーション支援】 人々のライフステージに応じたレクリエーション支援の考え方について理解する。					講 義	松 田
5	1)2)3)	【高齢社会の課題とレクリエーション支援】 現代社会の一課題である高齢社会に着目し、レクリエーション支援の意味について理解する。					講 義	松 田
6	1)2)3)	【子どもの体力向上とレクリエーション】 今日的社会課題と言われている子どもの体力向上問題に着目し、レクリエーション支援が果たしうる可能性について理解する。					講 義	松 田
7	1)2)3)	【地域におけるレクリエーション展開の意味】 レクリエーションによる地域再編成の可能性について理解する。					講 義	松 田
8	1)2)3)	【レクリエーション事業展開のあり方】 レクリエーション・イベントを中心とした各種事業展開の方法と意味について理解する。					講 義	松 田
9	1)2)3)	【ホスピタリティとレクリエーション】 レクリエーション支援時の心得の一つである“おもてなし”の心について理解する。					講 義	松 田
10	1)2)3)	【コミュニケーションワークの理解】 レクリエーションの構成要素の一つであるコミュニケーションの意味を理解し、実践できるようになる。					講 義	松 田
11	1)2)3)	【レクリエーションとスポーツ】 レクリエーションと緊密な関係に位置するスポーツの意味を理解する。					講 義	松 田
12	1)2)3)	【レクリエーション組織経営論Ⅰ】 レクリエーションを支援するための団体・組織を経営していく方法と意味について理解する。					講 義	松 田
13	1)2)3)	【レクリエーション組織経営論Ⅱ】 レクリエーション団体・組織の経営論について理解する。					講 義	松 田
14	1)2)3)	【GWT(グループワークトレーニング)の理解】 レクリエーションスキルアップの訓練であるGWTの内容を理解し、実践する力を養う。					講 義	松 田
15	1)2)3)	【再考 レクリエーションってなに?】 レクリエーションの意味、今日的役割について理解を深める。					講 義	松 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	レクリエーション実技			授業コード	120098A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉専攻・臨床心理専攻(2 年)			ナンバリング	51C222P11	AL 科目	○
担当者	松田 智香子(福・ス)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 技
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	レクリエーションは、生活の快や QOL の向上に貢献し、人々の生を豊かにするものである。そして、それぞれのライフステージ やライフスタイルに応じて生涯にわたって実践される活動のひとつである。本授業においては、さまざまなレクリエーション実技の 実践を通じて、コミュニケーションスキルやレクリエーションに関する知識、技術とともに、さまざまな対象者に応じた対人援助(指 導)方法を修得する。DP(1)(2)(4),CP1(6)2(1)3(1)						
学修目標	①コミュニケーションスキル(姿勢、態度、行動等)を身につける。 ②レクリエーションに必要なアイスブレイキングの技術を身につける。 ③対象者に応じたレク内容、各種ニュースポーツやレクダンス等の実技を通じてその実践方法を修得する。 ④支援者(指導者)として、レクリエーション支援(指導)の実践方法を修得する。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価及びフィード バックの方法	レクリエーション実技への積極的な参加態度、コミュニケーションスキル等(40%)、 レクリエーション実技の支援(指導)実践(30%) 課題(個人・グループ課題)(30%)						
準備学習・ 履修上の注意等	原則として、レクリエーション論を受講していることが望ましい。 緊張感を持ち、積極的な受講態度を望む。 事前準備(個人、グループ課題)を行うこと。 実技に必要な運動着、シューズの着用。						
オフィスアワー	月曜日 9:00～金曜日 17:00 (講義、出張等で研究室を不在にしていることもある)						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション コミュニケーションワーク①				実 技	松 田
2	1)	コミュニケーションワーク②				実 技	松 田
3	1)2)	コミュニケーションワーク③(ホスピタリティトレーニング)				実 技	松 田
4	1)2)	コミュニケーショントレーニング①(対象者に応じたアイスブレイキングの技法)				実 技	松 田
5	1)3)	コミュニケーショントレーニング②(対象者に応じたアイスブレイキングの技法)				実 技	松 田
6	1)3)	レクリエーション実践①				実 技	松 田
7	1)3)	レクリエーション実践②				実 技	松 田
8	1)3)	レクリエーション実践③(ニュースポーツ)				実 技	松 田
9	1)3)	レクリエーション実践④(レクダンス・リハビリ体操)				実 技	松 田
10	1)3)	レクリエーション実践⑤(クラフト)				実 技	松 田
11	1)3)	レクリエーション実践⑥(クラフト)				実 技	松 田
12	1)3) 4)	レクリエーション支援実習(オリエンテーション・グループ分け・計画策定)				実 技	松 田
13	1)3) 4)	レクリエーション支援実習(計画策定)				実 技	松 田
14	1)3) 4)	レクリエーション支援実習(発表・実施)				実 技	松 田
15	1)3) 4)	レクリエーション支援実習(発表・実施)				実 技	松 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名	公認心理師の職責			授業コード	121557B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(4 年)			ナンバリング	51P421P01	AL 科目	○
担当者	染矢真実(心・心)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシ-No.	公認心理師は公認心理師法に基づき、心理学に関する専門知識及び技術をもって、国民の心の健康の保持促進に寄与する者である。ここでは、社会に貢献する専門職の基本的態度(DP1,4)やコンピテンシー、多職種連携に必要なコミュニケーション力(DP2)、自己研鑽力(DP5)を備えた公認心理師となるために、支援者としての自己理解を深め、各分野における公認心理師の役割、法的義務と職業倫理を学ぶ。授業は、講義、学習内容の確認テスト及びレポート、学習内容に関する現場において生じる問題等についてのスモールグループディスカッション(SGD)で進められ、心理実習と関連づけて展開される。						
学修目標	1)公認心理師の役割について説明できる。 2)公認心理師の法的義務及び倫理について説明できる。 3)心理に関する支援を要する者等の安全の確保について説明できる。 4)情報の適切な取り扱いについて説明できる。 5)保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務の概要について説明できる。 6)自己課題を発見し、解決できる。 7)生涯学習への準備ができる。 8)多職種連携及び地域連携の概要を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、教育や病院臨床現場での長期の経験に基づき、公認心理師の職責の理解を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	・学習への取り組み姿勢(確認テストや課題の提出、質問・発言など授業や SGD への参加)及びレポート提出を 40%、講義内試験を 60%として、単位認定を行う。 ・確認テストや提出課題についての講評・解説については、原則、次回授業時に行う。また、復習を促すためにユニバを活用し講評(フィードバック)を行う場合もある。						
準備学習・ 履修上の注意等	・公認心理師資格取得のための指定科目である。 ・これまでに学んだ公認心理師資格取得のための科目を復習しておくこと。 ・心理実習と連動して講義が展開されることに留意し、予習復習を行うこと。 ・1 コマ当たり 4 時間を目安に予習・復習を行うこと。 ・講義内のディスカッション等には積極的に参加し、その際、互いを尊重した態度に留意すること。						
オフィスアワー	研究室前に掲示。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	公認心理師とはどのような資格か				講 義	染 矢
2	1)2)	公認心理師に求められること① 公認心理師の法的義務と倫理				講義・SGD	染 矢
3	1)2) 3)	公認心理師に求められること② 支援を必要としている人の視点に立ち、安全を守る				講義・SGD	染 矢
4	1)2) 3)4)	公認心理師に求められること③ 情報の適切な取り扱い				講義・SGD	染 矢
5	1)2) 3)4) 8)	公認心理師に求められること④ チームや地域で連携して働く				講義・SGD	染 矢
6	1)2) 3)4) 5)	各分野の公認心理師の具体的な業務① 福祉分野				講義・SGD	染 矢
7	1)2) 3)4) 5)	各分野の公認心理師の具体的な業務② 保健医療分野				講義・SGD	染 矢
8	1)2) 3)4) 5)	各分野の公認心理師の具体的な業務③ 教育分野				講義・SGD	染 矢
9	1)2) 3)4) 5)	各分野の公認心理師の具体的な業務④ 司法・犯罪分野				講義・SGD	染 矢
10	1)2) 3)4) 5)	各分野の公認心理師の具体的な業務⑤ 産業・労働分野				講義・SGD	染 矢
11	1)6) 7)	公認心理師になるために① 心理支援に必要な技能(コンピテンシー)				講義・SGD	染 矢
12	1)6) 7)	公認心理師になるために② 心理支援の専門職として働くために				講義・SGD	染 矢
13	1)	公認心理師となるために③ 心理支援の専門職になるために				講義・SGD	染 矢
14	1)2) 8)	公認心理師の今後の展開 ～将来の公認心理師の多様な役割を知る				講義・SGD	染 矢
15	1)2) 3)4) 5)6) 7)8)	【総括】これまで学習したことを総括し、公認心理師の職責についての知識を身につけられているか確認する				講義と総括	染 矢

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	公認心理師スタンダードテキストシリーズ 1 公認心理師の職責 [編著]下山晴彦・慶野遥香 ミネルヴァ書房 ISBN978-4-623-08611-5 C3311
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	講義内で適宜紹介

科目名	神経・生理心理学			授業コード	121562B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51P222P01	AL 科目	○
担当者	松尾 寿栄(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	人の心のはたらきは脳の神経系によってもたらされている。本講義では、人の支援に関わる専門職に必要な脳神経の構造とその機能について学ぶ。また、人の心のはたらきとしての記憶・感情などに関する生理学的反応のしくみについて習得する。さらに、神経系が障害されたときの高次脳機能障害の概要を学ぶ。授業は講義を中心にし、学習内容に合わせた演習を含むものとする。						
学修目標	1)神経・生理心理学の研究領域について理解できる。 2)脳神経の構造及び機能について説明できる。 3)記憶や感情等の生理学的反応の機序について説明できる。 4)神経心理学的な障害について説明できる。 5)神経心理学的アセスメントについて説明できる。 6)神経心理学的な支援について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、臨床現場での実務経験に基づき、神経・生理心理学及び高次脳機能障害等のアプローチに関する知識の習得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業中の演習の参加状況や課されたレポート等 30%及び期末の単位認定試験 70%として総合的評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	心理学・生理学等の基礎的な知識を習得し、予習・復習を行い授業に臨むこと。						
オフィスアワー	授業前後の可能な時間に教室または非常勤講師室にて対応する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方法	担当
1	1)	神経・生理心理学とは				講義・SGD	松 尾
2	2)	脳神経系の構造と機能				講義・SGD	松 尾
3	1)	神経・生理心理学の研究				講義・SGD	松 尾
4	4)5)6)	神経心理学的症候のアセスメントと支援の基礎				講義・SGD	松 尾
5	3)4)5) 6)	視覚系の障害のアセスメントと支援				講義・SGD	松 尾
6	3)4)5) 6)	認知・意識・注意の障害のアセスメントと支援				講義・SGD	松 尾
7	3)4)5) 6)	感覚運動系の障害のアセスメントと支援				講義・SGD	松 尾
8	3)4)5) 6)	脳の障害と可塑性				講義・SGD	松 尾
9	3)4)5) 6)	記憶の障害のアセスメントと支援				講義・SGD	松 尾
10	3)4)5) 6)	自律神経系の障害のアセスメントと支援				講義・SGD	松 尾
11	3)4)5) 6)	睡眠の障害のアセスメントと支援				講義・SGD	松 尾
12	3)4)5) 6)	薬物嗜癖と脳				講義・SGD	松 尾
13	3)4)5) 6)	言語の障害のアセスメントと支援				講義・SGD	松 尾
14	3)4)5) 6)	情動の障害のアセスメントと支援				講義・SGD	松 尾
15	1)	まとめ 脳一心と行動の神経科学				講義・SGD	松 尾
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		ピネル バイオサイコロジー―脳 心と行動の神経科学(ジョン ピネル (著),佐藤 敬,泉井 亮,若林 孝一,飛鳥井 望(翻訳))西村書店【ISBN-13: 978-4890133352】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		公認心理士カリキュラム準拠【神経・生理心理学】臨床神経心理学(緑川 晶・山口 加代子・三村 將 編)医歯薬出版【978-4-263-26561-1 C3347】					

科目名	社会・集団・家族心理学			授業コード	121540B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	51P112P01	AL 科目	×
担当者	加藤 謙介(心理)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	本講義では、「社会」「集団」「家族」が関わる心理学領域の特徴・専門知識について、様々な個別研究事例を通して習得する。具体的には、「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」「人の態度及び行動」「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」などの小テーマから、心理学の知識を福祉分野に応用するための教養を習得する。【DP(1)(3)(5)・CP(3)】						
学修目標	1)「社会・集団・家族心理学」の学問的志向について説明できる。 2)対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程について説明できる。 3)人の態度及び行動について説明できる。 4)家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし。						
評価及びフィード バックの方法	【フィードバック】毎回の授業後のショートレポートに基づく質疑応答によってフィードバックを行う。 【評価】学期末の試験によって評価する(100%)。						
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習(予習・復習等)時間】毎授業後次回授業内容のポイントを示すので、事前準備を行うこと。また、毎授業後に、1コマあたり1時間を目安に、必ず講義ノートを読み返すこと。 【履修上の注意等】本講義に際しては、心理学・福祉・医療等、幅広い分野に関心をもち、様々な講義を受講していることが望ましい。また、他の受講生の迷惑になるような行為(私語等)は厳に謹んで頂きたい。 【出席登録について】本科目では、学生証による出席登録をしなかった場合、出席を認めないので注意すること(「学生便覧」参照)						
オフィスアワー	時間割が確定した後に研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【1】オリエンテーション 「社会」「集団」「家族」の心理学をめぐる問題群の概要について紹介する。				講 義	加 藤
2	2)	【2】「社会的認知」に関する個別テーマのうち、「帰属と対人認知のメカニズム」「社会的判断・推論のメカニズム」「ステレオタイプと偏見」などについて説明する。				講 義	加 藤
3	2)	【3】「社会的自己」に関する個別テーマのうち、「自己知識・自己概念」「自己知覚」「自己評価・自尊心の維持・高揚のメカニズム」「自己制御」「自己呈示」などについて説明する。				講 義	加 藤
4	2)	【4】「対人関係・対人行動」に関する個別テーマのうち、「対人魅力」「社会的交換」「協力と競争」などについて説明する。				講 義	加 藤
5	2)	【5】「対人関係・対人行動」に関する個別テーマのうち、「援助行動」「攻撃行動」などについて説明する。				講 義	加 藤
6	2)	【6】「コミュニケーション」に関する個別テーマのうち、「言語コミュニケーション」「非言語コミュニケーション」「コミュニケーション・ネットワーク」などについて説明する。				講 義	加 藤
7	2)	【7】「集団・組織」に関する個別テーマのうち、「所属・成員性」「集団への同調」「内集団ひいき」「集団内の地位とリーダーシップ」などについて説明する。				講 義	加 藤
8	3)	【8】「態度の機能と構造」に関する個別テーマのうち、「態度の形成と機能」「態度の構造と変化」「態度と行動の一貫性」などについて説明する。				講 義	加 藤
9	3)	【9】「説得による態度と行動の変化」に関する個別テーマのうち、「送り手の要因」「メッセージの要因」「受け手の要因」「状況の要因」「態度変化のモデル」「説得への抵抗」などについて説明する。				講 義	加 藤
10	4)	【10】「家族の機能」に関する個別テーマのうち、「性に関わる機能」「子どもの社会化に関わる機能」「情緒に関わる機能」などについて説明する。				講 義	加 藤
11	4)	【11】「家族内の関係」に関する個別テーマのうち、「家族システム」「夫婦関係」「親子関係」「きょうだい関係」「家族の発達段階」などについて説明する。				講 義	加 藤
12	4)	【12】「集団・組織の影響」に関する個別テーマのうち、「情報的影響と規範的影響」「集団凝集性」などについて説明する。				講 義	加 藤
13	4)	【13】「集団・組織の影響」に関する個別テーマのうち、「組織規範と組織文化」などについて説明する。				講 義	加 藤
14	4)	【14】「文化の影響」に関する個別テーマのうち、「規範」「慣習・習慣」「制度」「相互構成的な文化的存在としての人間」などについて説明する。				講 義	加 藤
15	4)	【15】「文化の影響」に関する個別テーマのうち、「子どもの養育と発達」「異文化接触」などについて説明する。				講 義	加 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		障害者・障害児心理学		授業コード	121563B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学科(2 年)		ナンバリング	51P222P02	AL 科目	○
担当者		松山光生(臨心)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態 講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		福祉・保健・医療・教育・労働の現場においては、障害者・障害児の心理を科学的に理解し、心理学的に援助する方法を理解することが必要となる(DP3)。障害者・障害児にアプローチする基本的視点と方法、障害の種類と心理的特性、彼らに対する心理的援助、また彼らを取り巻く環境に関する知識を修得する。授業は講義を中心にし、学習内容に合わせた演習も含むものとする(DP6)。					
学修目標		1)障害と障害児・者の心理を理解する基本的な視点が説明できる。 2)障害児・者の各領域のわが国の施策とその課題が説明できる。 3)知的障害と心理的特性が説明できる。 4)発達障害の種類と各種類の心理的特性が説明できる。 5)身体障害の種類と各種類の心理的特性が説明できる。 6)障害児・者の心理を、心理検査などの科学的に理解する方法について説明できる。 7) 障害児・者に対する支援と技法が説明できる。					
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、臨床発達心理士、公認心理師としての実務経験に基づき、障害者・障害児のアプローチに関する知識の習得を目的とした授業を行う。					
評価及びフィード バックの方法		中間テスト(45%)、期末テストの成績(45%)、授業態度(10%)で評価する。					
準備学習・ 履修上の注意等		毎回の講義中に学生に質問し、解答を求める。また、学生からの積極的な質問を歓迎する。私語は厳禁する。居眠りも慎むこと。これらが授業態度と関係する。 毎回、授業終了時に、小テストを行う(資料閲覧可)。中間試験は2週間前に告知するが、出来る限り参加すること(中間試験の再試、追試は原則、行ないません)。 小テスト及び中間試験は模範解答を提示し、中間試験は点数をフィールドワークする					
オフィスアワー		木曜日5限(16:40～18:10)					
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)、 3)、 4)、5)	【障害の定義と分類を学ぶ】 身体障害、知的障害、精神障害の種類を説明できる				講義・SGD	松 山
2	1)	【障害の1次的要因と2次的要因について学ぶ】 ICIDH や ICF を使って障害の構造と水準を説明できる				講義・SGD	松 山
3	2)	【障害児・者に対するわが国の取り組みを学ぶ】 障害者差別解消法と特別支援教育の現状と課題を把握する				講義・SGD	松 山
4	3)	【知的障害児・者の心理特性を学ぶ①】 知的障害の定義とその評価を説明できる				講義・SGD	松 山
5	3)、6)	【知的障害児・者の心理特性を学ぶ②】 知的障害の知能特性と行動特性を説明できる				講義・SGD	松 山
6	4)、 6)、7)	【発達障害に共通する特徴について学ぶ】 発達障害の2次障害を理解し、スクリーニング検査の重要性と原理について説明できる				講義・SGD	松 山
7	4)	【限局性学習症の特徴を学ぶ①】 限局性学習症の読み書きの問題について説明できる				講義・SGD	松 山
8	4)、 6)、7)	【限局性学習症の特徴を学ぶ②】 限局性学習症の認知検査結果に基づき支援方法を考えられる ※この単元、終了後、中間試験を実施する				講義・SGD	松 山
9	4)	【自閉症スペクトラム症の特徴を学ぶ①】 自閉症スペクトラム症の特徴、原因仮説、発見の歴史を説明できる				講義・SGD	松 山
10	4)7)	【自閉症スペクトラム症の特徴を学ぶ②】 自閉症スペクトラム症の支援とその技法について説明できる				講義・SGD	松 山
11	4)	【注意欠如多動症の特徴を学ぶ①】 注意欠如多動症の基本症状について説明できる				講義・SGD	松 山
12	4)7)	【注意欠如多動症の特徴を学ぶ②】 注意欠如多動症の併存障害と神経心理学的問題について説明できる				講義・SGD	松 山
13	5)7)	【肢体不自由児・者の特徴を学ぶ】 肢体不自由の定義、起因疾患と脳性疾患の特徴について説明できる				講義・SGD	松 山
14	5)7)	【視覚障害児・者の特徴を学ぶ】 視覚障害の種類と行動の特徴について説明できる				講義・SGD	松 山
15	5)7)	【聴覚障害児・者の特徴を学ぶ】 聴覚障害の種類とコミュニケーション手段について説明できる				講義・SGD	松 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。				
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			第 13 巻 障害者・障害児心理学(公認心理師の基礎と実践)【遠見書房】 ISBN-13 : 978-4866160634				

科目名		心理的アセスメント		授業コード	121564B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		臨床心理学科(2 年)		ナンバリング	51P222P03	AL 科目	○	
担当者		染矢 真実(心・心)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		心理的アセスメントとは、クライアントに関する情報を収集し、その情報を統合して、クライアントの抱える問題についての査定を行い、その全体を理解することである。保健・医療・福祉・教育・司法・産業各領域での臨床現場では、心理的アセスメントを踏まえて、問題解決のための方針を決め、介入していくことになる。その際、クライアントの利益について十分に配慮されなければならない。本講義では、支援を求める対象者に対し、公認心理師専門職としての基本的態度(DP1)と心理的アセスメントで行う観察法・面接法・検査法等について習得し、的確に活用する専門的知識及び実践力(DP3)を習得する。公認心理師資格取得に必要な科目であり、心理実習・心理演習に求められる知識や態度の基礎を養うために、学習内容に合わせて演習及びスモールグループディスカッション(SGD)を行う。						
学修目標		1)心理的アセスメントの目的及び倫理について説明できる。 2)心理的アセスメントの観点を理解し、その展開について説明できる。 3)観察法について理解し、説明できる。 4)面接法について理解し、説明できる。 5)検査法について理解し、説明できる。 6)適切な記録及び報告をするために必要なことを説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、教育・医療・福祉分野等の臨床現場での長期の実務経験に基づき、心理的アセスメントの実施者としての倫理観と実施方法の習得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法		・学習への取り組み姿勢(確認テストや課題の提出、返却物の受け取り、質問・発言など授業への参加)を 40%、講義内試験を 60%として、単位認定を行う。 ・確認テストや提出課題についての講評・解説については、原則、次回授業時に行う。また、復習を促すためにユニバを活用し講評(フィードバック)を行う場合もある。						
準備学習・ 履修上の注意等		・公認心理師資格取得に必要な科目である。心理実習に向けた内容を扱う。 ・これまでに履修した心理学の基本的な知識を習得しておくこと。 ・1 コマ当たり 4 時間を目安に予習・復習をすること。 ・講義内のディスカッションや心理検査等のロールプレイに真摯に取り組み、互いに相手を尊重する態度を保持すること。 ・心理実習を意識して学習に取り組み、心理的アセスメントの基盤となる基本的なソーシャルスキルを求める。						
オフィスアワー		研究室前に掲示						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当	
1	1)	【心理的アセスメントの基本1】心理的アセスメントとは				講 義	染 矢	
2	2)	【心理的アセスメントの基本2】心理的アセスメントをめぐる諸概念Ⅰ				講義・SGD	染 矢	
3	2)	【心理的アセスメントの基本3】心理的アセスメントをめぐる諸概念Ⅱ				講 義	染 矢	
4	3)	【心理的アセスメントの基本4】行動観察				講義・SGD	染 矢	
5	4)	【心理的アセスメントの基本5】アセスメント面接Ⅰ				講義・演習	染 矢	
6	4)6)	【心理的アセスメントの基本6】アセスメント面接Ⅱ				講義・演習	染 矢	
7	5)	【心理的アセスメントの基本7】心理検査の基礎				講 義	染 矢	
8	5)6)	【代表的な心理検査の種類と内容1】質問紙法Ⅰ				講義・演習	染 矢	
9	5)6)	【代表的な心理検査の種類と内容2】質問紙法Ⅱ				講義・演習	染 矢	
10	5)6)	【代表的な心理検査の種類と内容3】作業検査法・認知機能検査				講義・演習	染 矢	
11	5)6)	【代表的な心理検査の種類と内容4】知能検査・発達検査				講義・演習	染 矢	
12	5)6)	【代表的な心理検査の種類と内容5】投影法				講義・演習	染 矢	
13	5)6)	【心理的アセスメントの実際1】検査バッテリー				講義・演習	染 矢	
14	1)2) 3)4) 5)6)	【心理的アセスメントの実際2】包括的解釈と報告・各分野における心理的アセスメントの実際				講義・SGD	染 矢	
15	1)2) 3)4) 5)6)	【総括】 これまで学習したことを総括し、心理アセスメントについての知識を身につけられているか確認する				講義と総括	染 矢	
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		公認心理師の基礎と実践 14 心理的アセスメント(津川律子・遠藤裕乃 編)【978-4-86616-064-1】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義内にて適宜紹介						

科目名	心理学的支援法			授業コード	121565B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51P321P01	AL 科目	
担当者	前田直樹(心・心)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	心理療法のアプローチには、様々なモデルや方法がある。本講義では、主要な学派をとりあげ、その理論的枠組みや技法など 基本的知識を習得する。また、それらの方法論が実際の臨床の場でどのように用いられ、治療効果を挙げているかについて議 論し、理解を深める。 (DP1) (DP4) (CP1) (CP2) (CP3)						
学修目標	1)心理療法について理解し、その役割や活躍の場などを説明できる。 2)心理査定について理解し、その方法としての面接・行動観察の方法を説明できる。 3)様々な心理療法に共通する心理療法の基本について理解し、説明できる。 4)それぞれの心理療法の基本的な考え方を理解し、その概要を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	小テストおよび確認テスト。						
準備学習・ 履修上の注意等	すでに心理学に関する講義を受講していること。						
オフィスアワー	月曜日(18:30-19:00)						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)	心理学的支援の総合的視点について理解する				講 義	前 田
2	1)2)4)	クライアント中心療法の治療目標・技法・過程について理解する				講 義	前 田
3	1)2)4)	精神分析の治療目標・技法・過程について理解する				講 義	前 田
4	1)2)4)	行動療法の代表的な研究者、治療目標・技法・過程について理解する				講 義	前 田
5	1)2)4)	認知行動療法の代表的な研究者、治療目標・技法・過程について理解する				講 義	前 田
6	1)2)3) 4)	家族療法の代表的な研究者、治療目標・技法・過程について理解する				講 義	前 田
7	1)2)3) 4)	コミュニティ心理学的支援について理解する				講 義	前 田
8	1)2)4)	森田療法における治療目標・技法・過程について理解する				講 義	前 田
9	1)2)4)	日本で生まれた心理療法の代表的な研究者、治療目標・技法・過程について理解する				講 義	前 田
10	1)2)	【個人への介入技法①】 遊戯療法の代表的な研究者、治療目標・技法・過程について理解する				講 義	前 田
11	1)2)	【個人への介入技法②】 行動療法の治療目標・技法・過程について理解する				講 義	前 田
12	1)2)	【個人への介入技法③】 応用行動分析の治療目標・技法・過程について理解する				講 義	前 田
13	1)2)3) 4)	心理学的コンサルテーションについて理解する				講 義	前 田
14	1)2)3) 4)	スクールカウンセリングについて理解する				講 義	前 田
	1)2)3) 4)	(総括) これまでの授業の内容を総括し、心理学的支援法の基礎を正しく理解する				講 義	前 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名		健康・医療心理学			授業コード	121566B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51P321P02	AL 科目	
担当者		平川 忠敏(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		さまざまな疾病や健康予防行動について、健康心理学の視点より学ぶことがこの科目の目的である。受講生諸君には身体的健康(疾病)の裏に心理的な要因(生活習慣、パーソナリティ)があることを学ぶ。						
学修目標		1)健康と心理的要因との関係が理解できる。 2)生活習慣行動と身体との健康の関係について理解することができる。 3)日常生活で、健康増進行動を取ることができる。						
実務経験のある 教員による教育		特になし						
評価及びフィード バックの方法		筆記試験						
準備学習・ 履修上の注意等		予習・復習を行うこと。 健康・医療心理学を自ら進んで学習する姿勢						
オフィスアワー		授業終了後						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	健康心理学とは何かを理解する。					講 義	平 川
2	1)	【ストレスとその対処①】 ・ストレスの定義、語源、心理学的概念を理解する。					講 義	平 川
3	1)2)	【ストレスとその対処②】 ・ストレスをもたらす要因、ストレスへの対処法、ストレスと疾患について理解する。					講 義	平 川
4	1)2)3)	【ライフスタイルと健康増進①】 ・健康増進、健康増進の問題、健康関連行動の決定要因を理解する。					講 義	平 川
5	1)2)3)	【ライフスタイルと健康増進②】 ・健康行動を形成するモデル、社会文化的要因と健康関連行動について理解する。					講 義	平 川
6	1)2)3)	【生活習慣と疾病予防①】 ・生活習慣と健康について理解する。					講 義	平 川
7	1)2)3)	【生活習慣と疾病予防②】 ・栄養と食行動、運動・身体活動と健康についての関係について理解する。					講 義	平 川
8	3)	【疾病とヘルスサービス①】 ・日本の医療制度とヘルスサービスについて理解する。					講 義	平 川
9	3)	【疾病とヘルスサービス②】 ・患者と医師の関係、コンプライアンスについて理解する。					講 義	平 川
10	2)3)	痛みとその対処について理解する。					講 義	平 川
11	1)	【疾患と健康心理学①】 ・疾患と健康心理学について理解する。					講 義	平 川
12	1)	【疾患と健康心理学②】 ・高血圧、喘息、糖尿病について理解する。					講 義	平 川
13	1)2)	重篤な疾患と健康心理学について理解する。					講 義	平 川
14	1)2)3)	健康心理学の将来について理解する。					講 義	平 川
15	1)2)3)	総括					講 義	平 川
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			よくわかる健康心理学 ISBN:9784623061570 森 和代/石川 利江/茂木 俊彦【編】ミネルヴァ書房					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない					

科目名		福祉心理学			授業コード	121567B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(3 年) 臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51P322P02	AL 科目	○
担当者		松山光生(臨心)中津真美(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.		福祉現場には、多くの人々の生活にかかわるさまざまな問題が山積している。本講義では、臨床福祉的問題とその背景を整理し、心理学的アプローチ方法を習得することを目的とする(DP3)。児童福祉及び高齢者福祉分野に焦点を当てて、児童虐待と認知症の問題を取り上げる。また、近年の動向を踏まえ、ヤングケアラーの問題について考察を深めていく(DP6)。						
学修目標		1)福祉分野の体系を説明できる。 2)それぞれの福祉分野における対象者の特性を説明できる。 3)福祉分野で心理的支援をおこなう場合、必要な対象に関する知識を説明でき、基本的な心理的支援を実施できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、臨床発達心理士、公認心理師としての実務経験に基づき、社会福祉的な課題に対する心理学的アプローチに関する知識の習得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法		毎回の講義中に学生に質問し、解答を求める。また、学生からの積極的な質問を歓迎する。私語は厳禁する。居眠りも慎むこと。これらが授業態度と関係する。 毎回、授業終了時に、小テストを行う(資料閲覧可)。中間試験は2週間前に告知するが、出来る限り参加すること(中間試験の再試、追試は原則、行ないません)。 中間試験の解答と採点結果は、授業の中でフィードバックする。						
準備学習・ 履修上の注意等		・精神疾患や社会福祉学に関する講義を受講していることが望ましい。						
オフィスアワー		火曜日 15 時～17 時						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	【福祉心理学とは何かを学ぶ】 福祉心理学の定義とその視点を説明できる					講 義	松 山
2	1)	【我が国の社会福祉の現状と課題を概観する】 わが国の今日的課題と社会福祉の主要な分野を理解する					講 義	松 山
3	2)	【児童福祉分野の課題とその心理学的アプローチについて学ぶ①】 社会的養護の現状と課題を把握する					講 義	松 山
4	2)3)	【児童福祉分野の課題とその心理学的アプローチについて学ぶ②】 児童虐待の現状と課題について把握する					講 義	松 山
5	2)	【児童福祉分野の課題とその心理学的アプローチについて学ぶ③】 学術論文から児童虐待の実態とリスク要因を読み取ることができる					講 義	松 山
6	2)3)	【児童福祉分野の課題とその心理学的アプローチについて学ぶ④】 被虐待児の特性を理解して、その対応を考えることができる ※ここまでの単元が終了後、中間試験を実施					講 義	松 山
7	2)3)	【高齢者福祉分野の課題とその心理学的アプローチについて学ぶ①】 わが国の高齢者の生活実態について説明できる					講 義	松 山
8	2)3)	【高齢者福祉分野の課題とその心理学的アプローチについて学ぶ②】 わが国の高齢者福祉分野の法制度を説明できる					講 義	松 山
9	2)3)	【高齢者福祉分野の課題とその心理学的アプローチについて学ぶ③】 学術論文から特別養護老人ホームにおける公認心理師の実践と役割を読み取ることができる					講 義	松 山
10	2)3)	【高齢者福祉分野の課題とその心理学的アプローチについて学ぶ④】 認知症の原因疾患と症状について説明できる					講 義	松 山
11	2)3)	【高齢者福祉分野の課題とその心理学的アプローチについて学ぶ⑤】 認知症に関するアセスメント方法を理解する					講 義	松 山
12	2)3)	【高齢者福祉分野の課題とその心理学的アプローチについて学ぶ⑥】 認知症に関する支援方法を理解する					講 義	松 山
13	2)3)	【福祉心理学のトピックスを掘り下げる①】 ヤングケアラーの定義、実態、支援のあり方について説明できる					講 義	松 山
14	2)3)	【福祉心理学のトピックスを掘り下げる②】 学術論文からヤングケアラーの臨床像について読み取ることができる					講 義	松 山
15	1)2)3)	【福祉心理学のトピックスを掘り下げる③】 CODA を通してヤングケアラーの実際を理解する					講 義	中 津
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			随時紹介する					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			公認心理師の基礎と実践 福祉心理学(中嶋 健一 編) 遠見書房 (ISBN978-4-86616-067-2C3011					

科目名	教育・学校心理学			授業コード	121568B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51P321P03	AL 科目	○
担当者	前田直樹	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.	教育・学校心理学は、公認心理師の活躍する場である教育現場にかかわる実践的な科目である。もともとは、教育心理学は「教育という事象を理論的・実証的に明らかにし、教育の改善に資するための学問」(日本教育心理学会)であり、学校心理学は「一人ひとりの子どもが学校生活を通して出会う問題への対応と解決を援助する心理教育的援助サービスの理論と実践を支える」体系(日本学校心理学会)である。本講義では、スクールカウンセラー等の教育現場での心理職の基礎となる理論と心理的支援について習得することを目的とする。授業は、講義を中心にし、学習内容に関する教育現場において生じる問題等について、スモールグループディスカッション(SGD)を行う。 (DP1) (DP4) (CP1) (CP2) (CP3)						
学修目標	1)子どもの発達の基礎理論について説明できる。 2)教育現場において生じる問題及びその背景について説明できる。 3)教育現場における心理社会的課題及び必要な支援について説明できる。 4)子どもの多様な援助者を含むチーム学校及び地域連携について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、教育センターやスクールカウンセラーなど教育現場での長期の実務経験に基づき、教育現場に必要な視点と支援の習得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	小テストおよび確認テスト						
準備学習・ 履修上の注意等	・公認心理師を目指す者。						
オフィスアワー	研究室前に掲示。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	記憶の基本的な仕組み				講義・SGD	前 田
2	1)	知識と問題解決				講義・SGD	前 田
3	2)	学習理論				講義・SGD	前 田
4	1)2)3)	達成動機とは				講義・SGD	前 田
5	1)2)3)	学級という社会				講義・SGD	前 田
6	2)3)4)	学習指導の形態				講義・SGD	前 田
7	1)2)3) 4)	児童・生徒に対する評価				講義・SGD	前 田
8	1)2)3) 4)	発達理論				講義・SGD	前 田
9	1)2)3) 4)	知能の発達				講義・SGD	前 田
10	1)2)3) 4)	人格の発達				講義・SGD	前 田
11	1)2)3) 4)	発達障害				講義・SGD	前 田
12	1)2)3) 4)	スクールカウンセリング①				講義・SGD	前 田
13	1)2)3) 4)	スクールカウンセリング②				講義・SGD	前 田
14	1)2)3) 4)	スクールカウンセリング③				講義・SGD	前 田
15	1)2)3) 4)	総括				講義・SGD	前 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名	司法・犯罪心理学			授業コード	121569B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51P322P03	AL 科目	○
担当者	黒浜翔太(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	公認心理師の活躍の場として司法・犯罪分野がある。犯罪心理学には、「犯罪原因論」「捜査心理学」「裁判心理学」「矯正心理学」などがある。また最近では、「被害者心理学」や「防犯心理学」「犯罪環境心理学」などの新しい研究もある。ここでは、社会で起こる様々な犯罪について心理学的にアプローチする基礎を学び、さらに加害者に対するアセスメントや事件に関わった人々、加害者とその家族、被害者への支援方法を学ぶことを目的とする。具体的には、まず、犯罪、非行、犯罪被害及び家事事件についての基本的知識を習得する。そして、司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理的支援について学ぶ。 (DP3)						
学修目標	1)心理学が司法・犯罪にどうかかわっているかを説明できる。 2)犯罪捜査と犯罪・非行の予防について説明できる。 3)事件に関わる者(加害者、被害者、加害者家族、地域等)の心理について説明できる。 4)事件に関わる者(加害者、被害者、加害者家族、地域等)に必要な心理的支援について説明できる。 5)司法・犯罪分野に関わる法律と制度についての知識を身に着ける。 6)犯罪のない社会について考えることができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、犯罪捜査や司法の現場で長期の実務経験に基づき、司法・犯罪の現場に必要な理論と支援の修得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	3～4コマごとにレポートを作成して提出してもらい、その取り組み状況で評価を行う(10%)。全体講義を行う際に事例検討を行うので、その取り組み状況で評価を行う(10%)。最終講義の確認テスト等で総括的評価を行う(80%)。レポート内容に、講義で分からなかったこと、理解できなかったこと、もっと知りたかったことについて記載してもらえば、全体もしくは個別にフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	・1 コマ当たり 4 時間を目安に予習・復習を行うこと。特に、新聞・テレビニュースなどを通して、犯罪および家事事件等に関心を持つこと。 ・一部オンライン授業を実施予定。						
オフィスアワー	講義時間の前後に申し出ること。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	司法・犯罪心理学の概要 (どのような分野か、どのような職場があるか等)				講 義	黒 浜
2	2)3)4)	<犯罪・非行についての基礎知識②> 犯罪・非行の心理アセスメント				講 義	黒 浜
3	3)4)5)	<犯罪心理学における心理支援①> 少年法制における非行少年への心理的支援				講 義	黒 浜
4	3)4)5)	<犯罪心理学における心理支援②> 司法機関における犯罪加害者への心理アセスメントの実際				講 義	黒 浜
5	5)	<犯罪・非行についての基礎知識④> 犯罪心理学に関する法律と制度(成人と少年の刑事司法システムを含む)				講 義	黒 浜
6	3)4)6)	<犯罪心理学における心理支援⑤> 犯罪被害者への心理的支援				講 義	黒 浜
7	3)4)	<犯罪心理学における心理支援②> 非行少年の心理アセスメントの実際				講 義	黒 浜
8	3)4)	<犯罪心理学における心理支援③> 矯正施設における加害者臨床				講 義	黒 浜
9	3)4)	<犯罪心理学における心理支援⑥> 社会内処遇における心理支援				講 義	黒 浜
10	5)	<家事事件の基礎と心理支援①> 家事事件における法律と制度(DV 等を含む)				講 義	黒 浜
11	3)4)	<家事事件の基礎と心理支援②> 離婚と子どもの心理				講 義	黒 浜
12	2)	<犯罪・非行についての基礎知識①> 科学的な犯罪捜査と犯罪・非行の予防における心理学 ～警察活動の視点から～				講 義	黒 浜
13	2)3)4)	<犯罪・非行についての基礎知識②> 犯罪・非行の心理アセスメント				講 義	黒 浜
14	2)3)4)	<犯罪・非行についての基礎知識③> 事実への接近のためのさまざまな心理面接とその技法				講 義	黒 浜
15	2)3)4)	総括				講 義	黒 浜
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		司法・犯罪心理学:社会と個人の安全と共生をめざす(公認心理師の基本を学ぶテキスト 19) 門本泉(編)					

科目名	産業・組織心理学			授業コード	121570B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51P322P04	AL 科目	○
担当者	矢島 順(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	産業・組織心理学とは、働く人の心身の健康や仕事の効率などに関する基礎的・応用的な研究を行い、それを産業・組織において生じる多様な課題に応用するものです。この授業では、公認心理師の業務を理解するために、職場における問題(キャリア形成に関することを含む)に対して必要な心理に関する支援や、組織における人の行動について学びます。これには担当者の長年の実務経験に基づく内容を含みます。またメンタルヘルス心理教育のプレゼンテーションや解決志向アプローチなどの演習を取り入れ実践できるように指導します。						
学修目標	1)産業・組織心理学の定義について理解し説明できる。 2)産業組織について学ぶことで組織における人間の行動(動機付けやリーダーシップ)について理解し説明できる。 3)主要な労働法について理解し、プレゼンテーションで説明できるようになる。 4)ワーク・ライフ・バランス、キャリア形成について理解しその施策について説明できる。 5)職業性ストレスモデル、ストレスチェック制度等職場のメンタルヘルス対策について理解し説明できる。 6)復職支援、再就職支援、障害者者就労支援など、働く人への心理的支援について理解し説明できる。 7)セルフケア、ラインケア、ハラスメントそれぞれの研修項目について理解し、心理教育をプレゼンテーションできるようになる。 8)産業心理臨床における心理療法について、解決志向アプローチの基本姿勢コンプリメントや質問法を理解し説明できるようになるとともに、ロールプレイなどの演習で実施できるようになる。						
実務経験のある 教員による教育	講師は国家資格公認心理師資格、中級産業カウンセラー資格を取得しています。精神科病院勤務後私設心理相談室開設以来、産業・組織心理学的な心理支援(カウンセリング、コンサルテーション、復職支援、メンタルヘルス心理教育等)に長く携わってきています。 産業・組織心理学臨床分野での経験を元に具体的事例を提示しながらわかりやすく授業します。 なお、講師は長く臨床心理士として活動してきましたが、国家資格公認心理師取得に伴い臨床心理士資格の更新をやめましたことを付け加えておきます。						
評価及びフィード バックの方法	授業態度特に演習への取り組みを 10%、演習後のレポートに 20%、単位認定試験 20%、単位認定レポート 50% で総合的に評価する。 ・確認テストや提出課題についての解説については、原則、次回授業時に行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	1 回の授業毎に 4 時間を目安に予習復習を行うこと。復習は主として課題とするレポートの作成。予習は授業時に予告を行うので教科書の該当部分を読んでおく、事前に配布するレジュメで事前学習をしておくこと。						
オフィスアワー	講義日の授業前後の可能な時間、講師控室において						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【産業・組織心理学の意義と方法】 産業・組織心理学の定義を踏まえ、この分野における公認心理師の業務、役割、資質の向上について理解し、説明できる。				講 義	矢 島
2	2)	【産業組織について】 経営戦略と企業組織の関係について理解し説明できる。また、いくつかの組織論について理解し説明できる。				講 義	矢 島
3	2)	【組織における人間の行動について】 主な動機付け理論について理解し説明できる。また、リーダーシップの特性論、行動論、状況論について理解し説明できる。				講 義	矢 島
4	3)	【主要な労働法について】 主要な労働法や働き方改革関連法の主なポイントについて理解し、プレゼンテーションし説明できる。				講義・演習	矢 島
5	4)	【ワーク・ライフ・バランスの必要性について】 ワーク・ライフ・バランスの必要性について理解しその施策について説明できる。キャリアの定義や理論について理解し、キャリア・カウンセリング、キャリア教育などについて説明できる。				講 義	矢 島
6	5)	【産業臨床心理学の特徴について】 職業性ストレスモデル、ストレスチェック制度を理解し説明できる。				講 義	矢 島
7	5)	【産業保健に関する施策と法令の概要】 職場のメンタルヘルス対策について理解し説明できる。				講 義	矢 島
8	6)	【従業員支援プログラム(EAP)とは】 EAP について、またコアテクノロジーには何が含まれているかについて理解し説明できる。				講 義	矢 島
9	6)7)	【産業・労働分野におけるコンサルテーションについて】 セルフケア、ラインケア、ハラスメントそれぞれの研修項目について理解し説明できる。				講 義	矢 島
10	6)	【復職支援の背景や概要】 復職支援ではクライアントの疾病性や個性、所属する組織や社会との関係性から理解することで、成長発達する職業人・社会人への全人的支援が可能となることを理解し説明できる。				講 義	矢 島
11	6)	【就職における心理支援について】 再就職を取り巻く環境を理解し、再就職における心理支援のポイントを説明できる。また障害者の就労支援について、民間企業における障害者の雇用の現状を理解し、障害者の就労支援組織、就労形態について説明できる。				講 義	矢 島
12	6)	【職場でのトラウマケアについて】 危険を伴う職場で働く人々の心理を理解し、説明できる。組織におけるトラウマケアの考え方を理解し説明できる。				講 義	矢 島
13	7)	【セルフケア、ラインケア、ハラスメントについて】 それぞれの研修項目を理解し、心理教育をプレゼンテーションできるようになる。				演 習	矢 島
14	8)	【産業心理臨床における心理療法、解決志向アプローチ】 産業心理臨床における心理療法、解決志向アプローチの基本的視点を理解し説明できるようになる。				講 義	矢 島
15	8)	【産業心理臨床における心理療法、解決志向アプローチの実際】 産業心理臨床における心理療法、解決志向アプローチについて、ロールプレイで実践できるようになる。				演 習	矢 島

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	野島一彦・繁枅算男監修 公認心理師の基礎と実践 20 新田泰生編 産業・組織心理学 遠見書房 ISBN978-4-86616-070-2C3011 厚生労働省のホームページより『知って役立つ労働法～働くときに必要な基礎知識～』PDF をダウンロードしておいてください。なお法律の改正に伴って更新されます。最新のバージョンかご確認ください。 https://www.mhlw.go.jp/content/000693888.pdf
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	森 俊夫 先生のためのやさしいブリーフセラピー 読めば面接が楽しくなる ほんの森出版 ISBN978-4-938874-16-2C3011

科目名	心理学実験			授業コード	121558B601	単位数 (時間数)	2 単位 (60)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51P223P01	AL 科目	○
担当者	加藤 謙介(心理)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	本科目では、心理学の様々な「実験」課題への参加を通して、心理学の研究方法に関する専門知識と技術を習得する。具体的には、(1)心理学実験の基礎、(2)学習心理学、(3)知覚心理学、(4)社会心理学の 4 つのセクションにおける実験等の課題に取り組み、各分野の特徴と、代表的な研究方法・研究事例を学ぶ。【DP(1)(3)(5)・CP(3)】						
学修目標	1)「心理学研究」の枠組み(「問題」「方法」「結果」「考察」)を説明できる。 2)研究テーマに即した心理学研究法の活用について説明できる。 3)心理学研究の形式に即した「レポート」を書くことができる。 4)様々な材料を用いて、心理学実験課題を行うことができる。 5)心理学的な知見の社会で活用方法について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし。						
評価及びフィード バックの方法	【フィードバック】授業中に実施する各実験課題のふりかえりを通してフィードバックを行う。 【評価】授業中に実施する各「実験課題」への参加(50%)、及び、それぞれの課題の「レポート」(50%)を評価対象とする。なお、授業内で実施する全ての実験課題に対してレポートを課す。						
準備学習・ 履修上の注意等	◆「公認心理師」「認定心理士」資格取得希望者のみに開講する。 ◆本科目は「実験・実習」であるため、授業中に実施する各「実験課題」に全て参加することが基本となる。理由なく遅刻・欠席することのないように。 ◆新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、実験課題等、授業内容に大幅な変更が生じる可能性があることを付記する。 【出席登録について】本科目では、学生証による出席登録をしなかった場合、出席を認めないので注意すること(「学生便覧」参照)						
オフィスアワー	時間割が確定した後に研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
第1回	1)	【第 1 回】イントロダクション 「心理学」研究法の実践に関する問題群について学ぶ。				講 義	加 藤
第2回	1)	【第 2 回】「良い」心理学研究とは何か 「良い」心理学研究のポイントを考えるとともに、研究を進めるための文献収集等の方法について学ぶ。				講 義	加 藤
第3回-第6回	1)	【第 3 回-第 6 回】心理学の研究法 心理学研究法のうち、「観察法」「面接法」「質問紙調査法」「実験法」「史資料の分析」について学ぶ。				講 義	加 藤
第7回	1)2)3)	【第 7 回】心理学論文・レポートの書き方 心理学の研究をまとめるための「研究論文」の書き方を学ぶ。その上で、「正しい」研究論文のまとめ方を理解するために、「誤った」論文の修正の仕方を学ぶ。：【レポート課題】心理学レポートの形式				講義・演習	加 藤
第8回	1)2)3) 4)	【第 8 回】学習心理学実験(1) 「学習心理学」における研究事例について説明し、「思考と問題解決」に関する実験課題に参加し、実験内容のレポートを作成する。：【レポート課題】ドウンカーのろうそくの問題(思考と問題解決)				実 習	加 藤
第9回	1)2)3) 4)	【第 9 回】学習心理学実験(2) 「学習心理学」の実験のうち、「系列位置効果」に関する実験課題に参加し、実験内容のレポートを作成する。：【レポート課題】名前を覚えよう(系列位置効果)				実 習	加 藤
第10回	1)2)3) 4)	【第 10 回】学習心理学実験(3) 「学習心理学」の実験のうち、「記憶」に関する実験課題に参加し、実験内容のレポートを作成する。：【レポート課題】身近なモノを思いだそう(記憶)				実 習	加 藤
第11回	1)2)3) 4)	【第 11 回】学習心理学実験(4) 「学習心理学」の実験のうち、「記憶」に関する実験課題に参加し、実験内容のレポートを作成する。：【レポート課題】図形の伝達ゲーム(記憶)				実 習	加 藤
第12回-第14回	1)2)3) 4)	【第 12 回-第 14 回】学習心理学実験(5) 「学習心理学」の実験のうち、「鏡映描写」に関する実験課題に参加し、実験内容のレポートを作成する。：【レポート課題】鏡映描写(学習曲線／両測性転移)				実 習	加 藤
第15回-第17回	1)2)3) 4)	【第 15 回-第 17 回】知覚心理学実験(1) 「知覚心理学」の実験のうち、SD 法を用いた「社会的知覚」に関する実験課題に参加し、実験内容のレポートを作成する。：【レポート課題】動物の存在による知覚の変化(社会的知覚)				実 習	加 藤
第18回-第20回	1)2)3) 4)	【第 18 回-第 20 回】知覚心理学実験(2) 「知覚心理学」の実験のうち、「ミュラー-リヤー」の錯視図形を用いた実験課題に参加し、実験内容のレポートを作成する。：【レポート課題】ミュラー-リヤーの錯視(錯視)				実 習	加 藤
第21回	1)2)3) 4)	【第 21 回】社会心理学実験(1) 「社会心理学」の実験のうち、「同調」に関する実験課題に参加し、実験内容のレポートを作成する。：【レポート課題】アッシュの線分課題(同調)				実 習	加 藤
第22回-第24回	1)2)3) 4)	【第 22 回-第 24 回】社会心理学実験(2) 「社会心理学」の実験のうち、「NASA の課題」を用いた GDM 実験課題に参加し、実験内容のレポートを作成する。：【レポート課題】NASA の課題(集団意志決定)				実 習	加 藤
第25回-第28回	1)2)3) 4)	【第 25 回-第 28 回】社会心理学実験(3) 「社会心理学」の実験のうち、観察法を用いた社会的相互作用に関する実験課題に参加し、実験内容のレポートを作成する。：【レポート課題】社会的相互作用過程の観察(リーダーシップ)				実 習	加 藤
第29回-第30回	5)	【第 29 回-第 30 回】心理学と社会 心理学の知見を社会で活用するために必要なアイデアを学び、心理学上の知見を社会で活用するためのアイデアに関してレポートを作成する。：【レポート課題】「研究」と「実践」との関係				講 義	加 藤

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	特になし。
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	特になし。

科目名	心理演習Ⅰ			授業コード	121571A102	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	心理・福祉コース(3 年)			ナンバリング	51P321P04	AL 科目	
担当者	前田直樹 加藤謙介 染矢真実 松山光生 横山裕	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.	心理に関する支援は必要な知識・技術を踏まえた上で、心理支援者としての態度を基盤として、心理検査、心理面接、チームア プローチを行うものである。ここでは、公認心理師として臨床現場に必要な心理支援に関する知識および技術の基本的な水準の 修得を目的とする。そのため、これまでに学んだ心理学の知識を踏まえ、心理アセスメントからチームアプローチまでの臨床現場 での一連の活動を想定し、ロールプレイや事例検討等を行う。なお、「心理演習Ⅰ」では、各領域における心理検査法やアセスメ ントに触れる。「心理演習Ⅱ」では心理面接として個人面接に触れる。 (DP2) (DP3) (DP6) (CP3)						
学修目標	1)心理に関する支援を要する者等に関する、コミュニケーション、心理検査、心理面接、地域支援などの基本的な知識及び技能 について理解し、その概要を説明できる。 2)心理に関する支援を要する者等を理解とニーズの把握及び支援計画の作成のための基本について理解し、その概要を説明 できる。 3)心理に関する支援を要する者等の現実生活を視野に入れたチームアプローチの基本を理解し、その概要を説明できる。 4)多職種連携及び地域連携の基本を理解し、その概要を説明できる。 5)公認心理師としての職業倫理及び法的義務について理解し、その概要を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、臨床現場での長期的実務経験に基づき、心理支援に関する知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とした 授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業中の課題への取り組み等 50%及びそれぞれの課題ごとのレポート等 50%として総括的評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	・公認心理師資格取得のための指定科目である。 ・心理検査や心理面接場面のロールプレイ等を行うなど体験を重視する多恵、積極的な授業参加を求める。 ・各担当ごとに授業内容に関するレポートを提出すること。 ・1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。						
オフィスアワー	研究室前に掲示。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)5)	教育領域におけるアセスメント				演 習	田中 浩二
2	1)2)5)	教育領域におけるアセスメントを活かした支援計画				演 習	田中 浩二
3	1)2)3) 4)	教育領域におけるアセスメントの事例検討				演 習	田中 浩二
4	1)5)	医療領域におけるアセスメント				演 習	田中 浩二
5	1)2)5)	医療領域におけるアセスメントを活かした支援計画				演 習	田中 浩二
6	1)2)3) 4)	医療領域におけるアセスメントの事例検討				演 習	田中 浩二
7	1)5)	福祉領域におけるアセスメント				演 習	田中 浩二
8	1)2)5)	福祉領域におけるアセスメントを活かした支援計画				演 習	田中 浩二
9	1)2)3) 4)	福祉領域におけるアセスメントの事例検討				演 習	田中 浩二
10	1)5)	産業領域におけるアセスメント				演 習	田中 浩二
11	1)2)5)	産業領域におけるアセスメント活かした支援計画				演 習	田中 浩二
12	1)2)3) 4)	産業領域におけるアセスメントの事例検討				演 習	田中 浩二
13	1)5)	多職種連携及び地域連携1				演 習	田中 浩二
14	1)2)5)	多職種連携及び地域連携2				演 習	田中 浩二
15	1)2)3) 4)	多職種連携及び地域連携3				演 習	田中 浩二
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		授業中に適宜紹介					

科目名		心理演習Ⅱ		授業コード	121572A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		心理・福祉コース(3 年)		ナンバリング	51P322P05	AL 科目	
担当者		前田直樹 加藤謙介 横山裕 松山光生 染矢真実	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態 演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		心理に関する支援は必要な知識・技術を踏まえた上で、心理支援者としての態度を基盤として、心理検査、心理面接、チームアプローチを行うものである。ここでは、公認心理師として臨床現場に必要な心理支援に関する知識および技術の基本的な水準の修得を目的とする。そのため、これまでに学んだ心理学の知識を踏まえ、心理アセスメントからチームアプローチまでの臨床現場での一連の活動を想定し、ロールプレイや事例検討等を行う。なお、「心理演習Ⅰ」では、心理検査として知能検査や投影法、心理面接として集団面接に触れる。「心理演習Ⅱ」では、心理検査として質問紙法や作業検査法、心理面接として個人面接に触れる。 (DP2) (DP3) (DP6) (CP3)					
学修目標		1)心理に関する支援を要する者等に関する、コミュニケーション、心理検査、心理面接、地域支援などの基本的な知識及び技能について理解し、その概要を説明できる。 2)心理に関する支援を要する者等を理解とニーズの把握及び支援計画の作成のための基本について理解し、その概要を説明できる。 3)心理に関する支援を要する者等の現実生活を視野に入れたチームアプローチの基本を理解し、その概要を説明できる。 4)多職種連携及び地域連携の基本を理解し、その概要を説明できる。 5)公認心理師としての職業倫理及び法的義務について理解し、その概要を説明できる。					
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、臨床現場での長期的実務経験に基づき、心理支援に関する知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とした授業を行う。					
評価及びフィード バックの方法		授業中の課題への取り組み等 50%及びそれぞれの課題ごとのレポート等 50%として総括的評価を行う。					
準備学習・ 履修上の注意等		・公認心理師資格取得のための指定科目である。 ・心理検査や心理面接場面のロールプレイ等を行うなど体験を重視する多恵、積極的な授業参加を求める。 ・毎回、授業内容に関するレポートを提出すること。 ・1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。					
オフィスアワー		研究室前に掲示。					
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)5)	教育分野において心理的な支援を要する者に関する知識及び技能				講 義	前田直樹 加藤謙介 横山裕 松山光生 染矢真実
2	1)2)5)	教育分野において心理的な支援を要する者に対するコミュニケーション				演 習	前田直樹 加藤謙介 横山裕 松山光生 染矢真実
3	1)2)3) 4)5)	教育分野において心理的な支援を要する者に対する支援のロールプレイング				実 習	前田直樹 加藤謙介 横山裕 松山光生 染矢真実
4	1)2)5)	医療分野において心理的な支援を要する者に関する知識及び技能				講 義	前田直樹 加藤謙介 横山裕 松山光生 染矢真実
5	1)2)5)	医療分野において心理的な支援を要する者に対するコミュニケーション				演 習	前田直樹 加藤謙介 横山裕 松山光生 染矢真実
6	1)2)3) 4)5)	医療分野において心理的な支援を要する者に対する支援のロールプレイング				実 習	前田直樹 加藤謙介 横山裕 松山光生 染矢真実
7	1)2)5)	福祉分野において心理的な支援を要する者に関する知識及び技能				講 義	前田直樹 加藤謙介 横山裕 松山光生 染矢真実
8	1)2)5)	福祉分野において心理的な支援を要する者に対するコミュニケーション				演 習	前田直樹 加藤謙介 横山裕 松山光生 染矢真実
9	1)2)3) 4)5)	福祉分野において心理的な支援を要する者に対する支援のロールプレイング				実 習	前田直樹 加藤謙介 横山裕 松山光生 染矢真実
10	1)2)3)	産業分野において心理的な支援を要する者に関する知識及び技能				講 義	前田直樹 加藤謙介 横山裕 松山光生 染矢真実
11	1)2)5)	産業分野において心理的な支援を要する者に対するコミュニケーション				演 習	前田直樹 加藤謙介 横山裕 松山光生 染矢真実
12	1)2)3) 4)5)	産業分野において心理的な支援を要する者に対する支援のロールプレイング				実 習	前田直樹 加藤謙介 横山裕 松山光生 染矢真実
13	1)2)3) 4)5)	心理的な支援を要する者に対する多職種連携と地域支援に関する知識及び技能				講 義	前田直樹 加藤謙介 横山裕 松山光生 染矢真実
14	1)2)3) 4)5)	地域において心理的な支援を要する者に対するコミュニケーション				演 習	前田直樹 加藤謙介 横山裕 松山光生 染矢真実
15	1)2)3) 4)5)	地域において心理的な支援を要する者に対する支援のロールプレイング				実 習	前田直樹 加藤謙介 横山裕 松山光生 染矢真実
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない				
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			授業中に適宜紹介				

科目名	心理実習			授業コード	121573B601	単位数 (時間数)	2 単位 (90)
配当学科(学年)	臨床心理学科(4 年)			ナンバリング	51P423P01	AL 科目	○
担当者	加藤謙介・前田直樹・横山裕・染矢 真実(心理)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	「心理実習」は公認心理師になるために実習生が学外の保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野の施設において 見学等による実習を行いながら、その施設の実習指導者又は実習担当教員の指導を受けるものである。そして、①心理に関する 支援を要する者等へのチームアプローチ、②多職種連携及び地域連携、③公認心理師としての職業倫理及び法的義務への 理解についての基本を習得することを目的とする。(ただし、公認心理師は新しい資格であるため、当分の間は医療機関の実習 を必須とし、医療機関以外の施設での実習を適宜行うものとする。)【DP(2)(3)(6)・CP(3)】						
学修目標	1)実習施設の専門的機能を理解し、その概要を説明できる。 2)実習施設での心理に関する支援を要する者等へのチームアプローチの基本を理解し、その概要を説明できる。 3)実習施設での多職種連携及び地域連携の基本を理解し、その概要を説明できる。 4)公認心理師としての職業倫理及び法的義務を理解し、その概要を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	実習担当教員は、臨床現場での長期の実務経験に基づき、心理支援に関する知識及び技能の基本的な水準の習得を目的とし た実習を目指す。						
評価及びフィード バックの方法	【フィードバック】事前指導・事後指導を通してフィードバックを行う。 【評価】実習の取り組み(実習担当教員・実習指導者の評価を含む)60%、実習記録ノートの記載 20%、実習報告書及び実習報 告会での発表 20%として総括的評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	◆公認心理師資格取得のための指定科目である。 ◆公認心理師資格取得のための大学での必要な科目を全て習得済み、もしくは履修中であること。 ◆公認心理師資格取得を強く希望し、大学院など次のステップへの準備を始めていること。 ◆詳細な実習及び実習報告会等の日程は、決まり次第連絡する。 ◆本科目は「実習科目」であるため、学内での事前・事後指導を含め、全てに参加することが基本となる。理由なく遅刻・欠席す ることのないように。 ◆本科目では、学外の施設・機関に実習受け入れを依頼している。このため、他科目と異なり、履修者に、実習生としてのマナ ー・社会的スキルも強く求める。あいさつ・服装・期日通りの各文書提出等、基本的なマナー・スキルに問題があると、担当教員・ 実習指導者から判断された場合、実習への参加を中止させることがある。 【出席登録について】本科目では、学生証による出席登録をしなかった場合、出席を認めないので注意すること(「学生便覧」参 照)						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準ずる。各研究室前に掲示。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	4)	オリエンテーション(学習目標と心理実習の進め方、実習の注意点等)				講義・SGD	加藤謙介・前田直樹・横山裕・染矢真実
2	1)4)	実習施設と公認心理師の職務の概要(グループワーク等)				講義・SGD	加藤謙介・前田直樹・横山裕・染矢真実
3	1)2) 3)4)	学外見学実習				実 習	加藤謙介・前田直樹・横山裕・染矢真実
4	1)2) 3)4)	まとめと自己評価報告				講義・SGD	加藤謙介・前田直樹・横山裕・染矢真実
5~13		授業2～4回を実習施設5か所分繰り返し 福祉分野(児童)(児相)、教育分野(学校)、医療保健分野(病院)、産業・労働分野(企業)				講義・SGD・実習	加藤謙介・前田直樹・横山裕・染矢真実
14	1)2) 3)4)	実習報告書の作成				講義・SGD	加藤謙介・前田直樹・横山裕・染矢真実
15	1)2) 3)4)	実習報告会				演 習	加藤謙介・前田直樹・横山裕・染矢真実
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		無					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		授業内で適宜紹介。					

科目名	関係行政論			授業コード	121576B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学部 臨床心理学科(4 年)			ナンバリング	51P421P02	AL 科目	
担当者	山崎 知佳 (非常勤講師)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義 問題演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	公認心理師法が2017年9月に施行され、それと同時に公認心理師の養成カリキュラムの一つとして関係行政論が位置付けられた。だが、当該法律制定以前より、心の支援は既に色々な場所で、多様な人々、専門家や行政、市民活動の中で、また国民一人一人の行為により、それこそ様々な形で行われてきている。その歴史的経緯や活動の根底にある仕組みやよきまりを知ること、現実の有効な手段を考えることが可能となる。また、心の支援の本質を大事にするためにも不可欠である。なぜなら、公認心理師は個別の心理面接だけではなく法律や制度で位置付けられた仕組みを活用しつつ、関係機関と連携を取りながら迅速な対応が行えるように現場をフォローしていく役割も期待されているためである。まずは、実習等で現場での応用や臨床の中で深い理解をしていくために、心の支援に関係する基本的な法律や制度の知識、理念を修得することが必要である。そして、多岐にわたる分野で横断的にとらえながら活動できる基礎を養う。						
学修目標	1) 法律や制度の観点から、心の支援に関する全体像を把握する。 2) 公認心理師が活動する中で、必要な法律や制度を把握し、具体的な役割を認識する。 3) 心の支援における様々な判断を行う過程で、必要な法律や制度の知識や理念の基本的知識を修得する。 4) 法律や制度の知識や制度を知り、多職種の専門家や行政や市民との協働について考察する。 5) 安全配慮などの法的考え方を通して、支援する中での安心安全を確保することについて考察する						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価及びフィード バックの方法	授業中の問題演習により形成的評価(50%)を行う。毎回の学習態度(態度・提出物等)を総合的に勘案し、学期末の単位認定試験と共に、総括的評価(50%)を行う。 小テストを行い、問題を出し回答をさせ、授業の理解度を見て、その結果をフィードバックする。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業の範囲の部分についての法律条文については、必ず読んでおくこと。授業の出席を前提とし、復習し自分の思考を整理しておくこと。憲法の条文については、毎授業持参すること。 また、授業に関する疑問は、直接質問し解消することを推奨する。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	法・制度の基本				講 義	山 崎
2	1)4)	公認心理士の法的立場と多職種連携				講義問題演習	山 崎
3	2)3)4) 5)	医療全般に関係する法律、制度				講義問題演習	山 崎
4	2)3)4) 5)	精神か医療に関係する法律、制度				講義問題演習	山 崎
5	2)3)4) 5)	地域保健・医療に関係する法律、制度				講義問題演習	山 崎
6	2)3)4) 5)	児童福祉に関係する法律、制度				講義問題演習	山 崎
7	2)3)4) 5)	障害者・障害児福祉に関係する法律、制度(1)				講義問題演習	山 崎
8	2)3)4) 5)	障害者・障害児福祉に関係する法律、制度(2)				講義問題演習	山 崎
9	2)3)4) 5)	高齢者福祉に関係する法律、制度				講義問題演習	山 崎
10	2)3)4) 5)	教育分野に関係する法律、制度				講義問題演習	山 崎
11	2)3)4) 5)	刑事司法に関係する法律、制度				講義問題演習	山 崎
12	2)3)4) 5)	家族問題に関係する法律、制度				講義問題演習	山 崎
13	2)3)4) 5)	少年少女非行に関係する法律、制度				講義問題演習	山 崎
14	2)3)4) 5)	産業・労働分野に関係する法律、制度				講義問題演習	山 崎
15	1)2)3) 4)5)	心理支援と関係行政				講義問題演習	山 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		第 23 巻 関係行政論 第 2 版 (公認心理師の基礎と実践) 元永 拓郎 (著, 編集), 大御 均 (著), 林 直樹 (著), 小泉 典章 (著), 遠見書房; 第 2 版					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特に指定しない					

科目名	児童・家庭福祉			授業コード	121657B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科 1 年、臨床心理学部 臨床心理学科 1 年			ナンバリング	51C121P03	AL 科目	○
担当者	藤原 幸子(福・ス)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	子ども家庭福祉の意義と理念を理解し、児童福祉法をはじめとした関係法規による子どもと家庭の福祉の保障の仕組みを理解することによって子ども家庭福祉の分野における福祉サービスの担い手としての資質と能力を獲得する。福 DP2～4						
学修目標	1) 子どもと家庭福祉の権利と歴史を理解できる。 2) 子ども家庭福祉を取り巻く現代社会を理解、説明できる。 3) 子ども家庭福祉の法体系、実施体制、関係機関を理解する。 4) 保育対策、地域子育て支援の現状と課題を理解する。 5) 要保護児童等と在宅支援を理解する。 6) 児童虐待にかかわる支援を理解する。 7) 母子保健福祉対策を説明できる。 8) ひとり親家庭への支援を理解する。 9) 障害のある子どもと家族への支援と制度を説明できる。 10) 子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践を理解する。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	教科書は必ず熟読し、予習・復習をすること。						
オフィスアワー	研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	子どもの家庭福祉とは何か(子ども家庭福祉の定義、子どもの権利)				講 義	藤 原
2	1)2)	子ども家庭福祉の歴史(先達の歩み、権利擁護の変遷、児童の権利に関する条約の意義、現代社会の実態)				講 義	藤 原
3	1)	子ども家庭福祉を取り巻く現代社会(取り巻く社会環境、課題と子育て・子育てへの影響)				講 義	藤 原
4	2)3)	子ども家庭福祉の支援の基盤(子ども家庭福祉の法体系、国、都道府県、市町村、民間施設等の役割)				講 義	藤 原
5	3)	子ども家庭福祉の支援の基盤(財源と費用負担、人材と専門職、計画的推進)				講 義	藤 原
6	4)	子ども家庭福祉の基盤(子ども・子育て支援、母子保健、保育)				講 義	藤 原
7	4)	子どもの福祉課題と支援(要保護児童等と在宅支援、児童虐待にかかわる支援、社会的養護)				講 義	藤 原
8	5)	子どもの福祉課題と支援(ひとり親家庭への支援、ドメスティックバイオレンスと女性支援、スクールソーシャルワーク)				講 義	藤 原
9	4)5)	子どもの福祉課題と支援(少年非行、若者支援、障害のある子どもの支援、ソーシャルアクション)				講 義	藤 原
10	5)	子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践(ソーシャルワークの意義、支援の端緒と調査、アセスメント)				講 義	藤 原
11	5)	子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践(子ども家庭福祉における支援の展開過程と連携、子ども・子育て支援、母子保健・医療の協働、保育の実践)				講 義	藤 原
12	5)	子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践(児童虐待にかかわる実践、その 1、その 2、社会的養護)				講 義	藤 原
13	5)	子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践(ひとり親家庭、女性福祉、教育との協働の連携)				講 義	藤 原
14	5)	子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践(若者の自立支援、障害児にかかわる実践、当事者参画とアドボカシー)				講 義	藤 原
15	5)	まとめ 子ども家庭福祉の今後の支援のあり方(専門職に求められること)				講 義	藤 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編「最新 社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座 3 児童・家庭福祉」中央法規出版、2024					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		随時紹介する。					

科目名		障害者福祉		授業コード	121658B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(1 年)		ナンバリング	51C122P05	AL 科目	○	
担当者		末永 恭(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシ-No.		この科目は、社会福祉士国家試験指定科目である。そのため、厚生労働省から以下の 4 つのねらいが明示されている。 ①障害の概念と特性を踏まえ、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。 ②障害者福祉の歴史と障害観の変遷、制度の発展過程について理解する。 ③障害者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。 ④障害による生活課題を踏まえ、社会福祉士及び精神保健福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。 上記のねらいを受けて、この科目では、障害および障害者の特性とその家族を取りまく社会環境を踏まえた福祉実践力(DP(3)) の涵養をはかることを目標にする。さらに講義の中で SGD を実施して、コミュニケーション能力(DP(4))の向上をはかる。 社会福祉士国家試験の受験資格を取得するため、他の科目も含めて体系的・系統的に学ぶ(CP(5))ことも目標とする。						
学修目標		1)障害概念と特性の理解～ICIDH から ICF への変遷を説明することができる。さらに、障害者の定義と特性を説明することができる。(身体障がい、知的障がい、精神障がい) 2)障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境の把握～障害者の生活実態の種類を述べることができる。障害者を取りまく社会環境について、バリアフリー・コンフリクトなどと関連付けて説明することができる。 3)障害者福祉の歴史を学ぶ～障害者福祉の理念と障害観と障害者処遇の変遷、障害者の権利条約と障害者基本法などと絡めて、障害者の歴史の発展過程全体を総合的にまとめて述べることができる。 4)障害者に対する法制度の理解～障害者総合支援法・身体障害者福祉法 ・知的障害者福祉法 ・精神保健福祉法・児童福祉法 ・発達障害者支援法・障害者虐待防止法・障害者差別解消法・バリアフリー法・障害者雇用促進法・障害者優先調達推進法以上各法の特徴を述べることができる。さらに相互の関連性についてノートにまとめることができる。 5)障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割を理解する～障害者と家族等の支援における関係機関の役割を述べ、さらに関連する専門職等の役割についても述べることができる。 6)障害者と家族等に対する支援の実際を学ぶ～障害領域における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割を説明できる。また、障害者と家族等に対する支援の実際を多職種連携を含めながら、その概要を述べることができる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当(末永)は、社会福祉士及び精神保健福祉士として、精神科病院や障害児・者施設等での実践現場 5 年以上の経験に基づき、障害者福祉に関する基本的概念や制度の変遷、最新の動向などを含めた基本的知識を習得することを目的に授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法		毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を 30%及び後期末試験 70%として総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		シラバスに記載されている学習予定を確認して、テキストの該当部分を予習する事 加えて厚生労働省 web ページなどを活用して、事前に必要な法令や制度を確認する事。これらに 90 分以上の予習時間が必要である。 講義後は、教員が配布したプリント及び自身が筆記した講義ノートを整理して、必要に応じて不明な語句を調べなおすなど、復習に 90 分以上を費やす必要がある。 講義中、口頭質問や SGD を実施するので、積極的に自身の考えや意見を述べるようにすること						
オフィスアワー		時間割が確定次第、告知する。						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当	
1	1)	障害者の定義と特性を理解する				講 義	末 永	
2	1)	国際生活機能分類と障害の社会モデルを学ぶ。医学モデルと社会モデルの違いを理解する				講義・SGD	末 永	
3	3)	障害観の変遷を学ぶ。障害とはなにかをグループで検討する。				講義・SGD	末 永	
4	3)	障害者福祉の理念を学ぶ。ノーマライゼーションやエンパワメントについて理解する				講義・SGD	末 永	
5	3)	障害者福祉の歴史～障害者処遇の変遷と障害者福祉制度および発展過程を理解する				講 義	末 永	
6	3)	障害者福祉の歴史②～障害者福祉制度と当事者運動から障害者権利条約や障害者基本法への流れを理解する				講 義	末 永	
7	3)	障害者を取り巻く社会環境と課題を理解する。				講 義	末 永	
8	2)	障害者に関する法制度の全体像を理解するとともに、身体障害者法・知的障害者法を学ぶ				講 義	末 永	
9	4)	精神保健福祉法と児童福祉法、発達障害者支援法を学ぶ				講 義	末 永	
10	4)	障害者総合支援法と児童福祉法、障害者虐待防止法を学ぶ				講 義	末 永	
11	4)	障害者差別解消法とバリアフリー法、障害者雇用促進法、障害者優先調達促進法を学ぶ				講義・SGD	末 永	
12	5)	障害者と家族等の支援における関係機関の役割を理解する				講 義	末 永	
13	5)	障害者と家族等の支援に関連する専門職を理解する				講 義	末 永	
14	6)	障害領域におけるソーシャルワークの役割を理解する				講 義	末 永	
15	6)	障害者と家族等に対する支援の実際を多職種連携を含めて理解する				講義・SGD	末 永	
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座8『障害者福祉』中央法規【978-4-8058-8238-2】						

参考書(著者名)出版社名【ISBN】	講義中に適時指示する。
--------------------	-------------

科目名	高齢者福祉			授業コード	121659B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	51C122P06	AL 科目	○	
担当者	児崎 友美(講師)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について学び、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く環境について理解する。また、高齢者に対する法制度と支援お仕組みを学び、高齢期における生活課題を踏まえた社会福祉士としての適切な支援のあり方を習得できる。 (スポ DP:③、④ 臨心 DP:①、⑥)							
学修目標	1)高齢者の定義と特性を社会的側面、身体的・精神的側面より総合的に説明できる。 2)少子高齢社会について説明できる。 3)高齢者の生活実態について説明できる。 4)高齢者を取り巻く社会環境について説明できる。 5)高齢者観の変遷・高齢者福祉の発展過程について説明できる。 6)高齢者福祉の理念と介護保険制度の枠組みについて説明できる。 7)介護保険制度の概要(介護保険財政・保険者と被保険者・保険料)について説明できる。 8)介護保険制度の概要(要介護認定のプロセス・保健給付・介護保険事業計画)について説明できる。 9)地域支援事業について説明できる。 10)介護保険サービスの体系(居宅サービス、介護予防サービス、地域密着型サービス、居宅介護住宅改修費、居宅介護支援、施設サービス)について説明できる。 11)高齢者保健福祉の法体系(老人福祉法、高齢者医療確保法、高齢者虐待防止法、認知症基本法、バリアフリー法)について説明できる。 12)高齢者保健福祉の法体系(高齢者住まい法、高齢者雇用安定法、育児・介護休業法、市町村独自の高齢者支援)について説明できる。 13)関係機関の役割や関連する専門職等の役割について説明できる。 14)高齢者領域におけるソーシャルワーカーの役割について説明できる。 15)高齢者と家族等に対する支援の実践について説明できる。							
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、福祉現場である特別養護老人ホームに 3 年、地域包括支援センターに 13 年という期間、社会福祉士として実務経験を担ってきた。このような実務経験に基づき、介護保険制度の理解と実践、および他の専門職との具体的な連携方法の理解を促す。また、高齢者福祉にかかわる幅広い課題に対応できる視点や考え方の習得を目的とした授業を行う。							
評価及びフィード バックの方法	* 定期試験を 80% * 出席時に毎回提出するレポート、提出物(課題など)、中間テストを 10% * 取り組み姿勢を 10%とし、総合的に評価する。							
準備学習・ 履修上の注意等	社会福祉士の資格取得予定者は履修すること。 授業前後に 2 時間ずつの予習復習を設けること プリントを配布するためファイル等を準備し、しっかりと管理すること							
オフィスアワー	研究室ドアに貼り出す							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	【オリエンテーション、高齢者と少子高齢社会】 高齢期の社会的理解、高齢者を身体的・精神的・総合的な視座を学ぶ。					講義・SGD	児 崎
2	2)	【高齢者と少子高齢社会】 高齢化と高齢化率、日本の高齢化の状況、高齢化が進む理由、今後の高齢化の見通し、日本の高齢化の特徴と課題について学ぶ。					講 義	児 崎
3	3)	【高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境】 高齢者の経済・就労・健康・要介護・社会参加・生活環境の状況について学ぶ。					講 義	児 崎
4	4)	【高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境】 高齢者世帯の特徴・家族介護(者)の状況・家族介護の多様化・高齢者と家族の生活保障について学ぶ。					講 義	児 崎
5	5)	【高齢者福祉の歴史と理念】 社会における高齢者観の変遷、老年学における高齢者観の変化、現代における高齢者観の諸概念、社会福祉の発達前から老人福祉法の誕生、介護保険制度の誕生、地域包括ケアシステム構築を学ぶ。					講 義	児 崎
6	6)7)	【介護保険制度】 介護保険制度の枠組み、介護保険財政、保険者と被保険者、保険料について学ぶ。					講 義	児 崎
7	7)8)	【介護保険制度】 要介護認定の仕組みとプロセス、保険給付、介護保険事業計画を学ぶ。					講 義	児 崎
8	9)	【介護保険制度】 地域支援事業の内容、地域包括支援センターを学ぶ。					講 義	児 崎
9	10)	【介護保険制度】 居宅サービス、介護予防サービス、地域密着型サービス、居宅介護住宅改修費、居宅介護支援、施設サービスを学ぶ。					講 義	児 崎
10	11)	【高齢者に対する関連諸制度】 福祉と保健、高齢社会対策基本法、老人福祉法(法成立の背景・改正経過・目的と理念・法に基づく措置・有料老人ホーム)を学ぶ。					講 義	児 崎
11	11)	【高齢者に対する関連諸制度】 高齢者医療確保法(旧老人保健法の流れ、特定健康診査と特定保健指導、後期高齢者医療制度)、高齢者虐待防止法(法の概要、高齢者虐待の未然防止)、認知症基本法、バリアフリー法(わが国におけるバリアフリー政策の展開、法の概要)を学ぶ。					講 義	児 崎
12	12)	【高齢者に対する関連諸制度】					講 義	児 崎

		高齢者住まい法(法の内容、これからの高齢者住まい法と高齢者の住まいの展望、バランスのとれた住宅行政)、高年齢者雇用安定法(高年齢者雇用安定法の概要、高年齢期の就労と経済状況、定年制と年金保険制度、高年齢者雇用安定法の改正)を学ぶ。		
13	12)	【高齢者に対する関連諸制度】 育児・介護休業法(法の趣旨、主な内容、今後の課題)、市町村独自の高齢者支援(介護保険外の高齢者支援サービスの意義、一般会計としての位置づけ)を学ぶ。	講 義	兒 崎
14	13)	【高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割】 行政機関・指定サービス事業者・国民健康保険団体連合会・地域包括支援センター・ハロワークと人材センター、フォーマルとインフォーマルな援助者の役割を学ぶ。	講 義	兒 崎
15	14) 15)	【高齢者と家族等に対する支援の実際】 高齢者領域におけるソーシャルワーカーの役割や高齢者とその家族などに対する支援の実際を学ぶ。	講 義	兒 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		2 最新社会福祉士養成講座、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集、第2版、「高齢者福祉」中央法規【978-4-8243-0154-3】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		

科目名		介護概論		授業コード	120194B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・臨床心理学科、2 年		ナンバリング	51C221P06	AL 科目	○
担当者		藤原 幸子(福・ス)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態 講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.		高齢者を取り巻く社会情勢、福祉・介護需要を踏まえ、介護の知識・技術とその実践能力を持った専門職が必要である。そのため本講義では、介護の概念や対象及びその理念等について理解し、介護過程における介護の生活支援技術や終末期の援助の基本的な考え方について理解する。(ス DP1～3,CP1～3/福 DP1～3,CP1～3/心 DP1～3, CP1～3)					
学修目標		1)介護の意義・目的が説明できる。 2)介護の原則と倫理を学び、介護の専門職のあり方を討議できる。 3)介護に関する歴史を理解し、現在の介護を取り巻く制度やサービスを説明できる。 4)体験を通して、高齢者や障がい者の立場や介護者のあり方について考察できる。 5)ICF の視点から利用者理解の方法を学ぶ。 6)医療的ケアについて説明できる。 7)リスクマネジメントの実際を理解できる。 8)介護過程の目的や流れが説明できる。 9)介護の目的や基本技法を理解し、実践できる。 10)尊厳を支える介護の視点を説明できる。					
実務経験のある 教員による教育		該当なし					
評価及びフィード バックの方法		定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。					
準備学習・ 履修上の注意等		教科書は必ず熟読し、予習・復習をすること。					
オフィスアワー		研究室前に掲示する。					
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 介護の目的、介護福祉職の役割				講 義	藤 原
2	2)	介護の原則と職業倫理				講 義	藤 原
3	4)5)	介護を必要とする人々の理解				講 義	藤 原
4	3)	介護に関する制度 1				講 義	藤 原
5	3)	介護に関する制度 2				講 義	藤 原
6	6)7)	医療的ケア				講 義	藤 原
7	4)5)	コミュニケーション技術				講 義	藤 原
8	5)8)	介護過程とチームアプローチ				講 義	藤 原
9	9)	介護の基本(体位変換、身じたく)				講 義	藤 原
10	9)	介護の基本(食事、入浴・清潔保持)				講 義	藤 原
11	9)	介護の基本(排泄、家事)				講 義	藤 原
12	9)	介護の基本(睡眠)				講 義	藤 原
13	9)	介護の基本(療養が必要な人の介護)				講 義	藤 原
14	10)	緊急・事故時に求められる介護福祉職の対応				講 義	藤 原
15	10)	終末期の介護				講 義	藤 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		社会福祉学習双書 2025 第 15 巻 介護概論 全国社会福祉協議会					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に紹介する。					

科目名	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ			授業コード	121660B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 スポーツ健康福祉学科(1 年) 臨床心理学部 臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	51C121P04	AL 科目	
担当者	川崎 順子(福・福)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰでは、社会福祉士と精神保健福祉士の法的位置づけやソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。また、ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解することを通して、ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理を学び、社会福祉士、精神保健福祉士に求められる基本的な知識を習得する。ス ポ DP(2)(3)(4)。						
学修目標	1)社会福祉士、精神保健福祉士の法的位置づけと専門性が説明できる。 2)ソーシャルワークの概念が説明できる。 3)ソーシャルワークの基盤となる考え方(原理・理念)が概説できる。 4)ソーシャルワークの形成過程における実践と理論化の内容が概説できる。 5)ソーシャルワークの発展期から統合化を概説できる。 6)ソーシャルワークの倫理のあり方が説明できる。 7)社会福祉士・精神保健福祉士の倫理綱領の位置づけや倫理的ジレンマへの対応が考えられる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(川崎)は、社会福祉士として行政や社会福祉協議会等での実践現場 5 年以上の経験に基づき、相談援助の基本的 概念や専門職に求められる基本的知識を修得することを目的に授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を 30%及び前期末試験 70%として総合的に形成的評価を行う。 毎時間後のレポートと適宜小テストにより理解度を確認しながら、フィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	1コマあたり 4 時間を目安に予習・復習を行うこと。具体的に、授業前の予習では、次回シラバスの授業内容について、テキスト を読み、まとめておくこと。復習では、授業時に配布された資料・レジュメをファイリングし、再度テキストと照らし合わせ再確認を 行うこと。適宜の小テストに備え、重要事項をノートにまとめておくこと。提示された課題に取り組むことなどである。						
オフィスアワー	時間割確定後研究室に掲示						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	現代社会に起きている地域での生活状況とソーシャルワークの必要性を理解する				講 義	川 崎
2	1)2)	社会福祉士の法的位置づけを理解し、制度創設から見直しの概要が説明できる。				講 義	川 崎
3	1)2)	精神保健福祉士の法的位置づけを理解し、成立経緯や制度見直しの概要が説明できる。				講 義	川 崎
4	1)2)	社会福祉士・精神保健福祉士に求められる専門性を理解する。				講 義	川 崎
5	2)3)	ソーシャルワークの概念、ソーシャルワークとは何かを考え、ソーシャルワーク専門職のグローバル定義の内容を 理解する。				講 義	川 崎
6	2)3)	ソーシャルワークを構成する要素としてのクライアントシステム、ニーズ、ソーシャルワーカー、社会資源・サービス 等の内容や関係性を理解する。				講 義	川 崎
7	2)3)	ソーシャルワークの諸原理に基づいて、ソーシャルワークの必要性を理解する。 ソーシャルワークの理念の意味を理解し、理念に基づく行動のあり方を考えることができる。(当事者主権、尊厳の 保持、権利擁護、自立支援、エンパワメント、ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン)				講 義	川 崎
8	2)3)	ソーシャルワークの理念の意味を理解し、理念に基づく行動のあり方を考えることができる。(当事者主権、尊厳の 保持、権利擁護、自立支援、エンパワメント、ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン)				講 義	川崎・外部講師
9	3)4)	ソーシャルワークの形成過程①ソーシャルワークの源流(COS,セツルメント運動等)と基礎確立期を理解する。				講 義	川 崎
10	3)4)	ソーシャルワークの形成過程②ソーシャルワークの発展期(ケースワーク、グループワーク、コミュニティオーガニゼ ーションの発展)の流れを理解する。				講 義	川 崎
11	3)4)5)	ソーシャルワークの形成過程③ソーシャルワークの展開期と統合化(ジェネラリスト・ソーシャルワークへの流れ)を 理解する。				講 義	川 崎
12	3)4)5)	日本におけるソーシャルワークの形成過程(社会事業前史から戦後のソーシャルワークの導入)を理解する。				講 義	川 崎
13	6)7)	ソーシャルワークにおける専門職倫理の概念や専門職倫理の必要性について理解する。				講 義	川 崎
14	6)7)	倫理綱領の意義と各専門職能団体の倫理綱領の内容を知り、倫理綱領の活用方法について理解する。				講 義	川 崎
15	6)7)	ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマの実際を知り、倫理的判断過程に基づいて対応することの必要性を 理解する。				講 義	川 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 (一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集) 中央法規 【978-4-8058-8241-2】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ			授業コード	121661B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 スポーツ健康福祉学科(1 年) 臨床心理学部 臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	51C122P07	AL 科目	
担当者	川崎 順子(福・スポ)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱでは、ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲を学ぶとともに、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と連関性について理解する。さらに、総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義や内容について理解し、社会福祉士に求められる基本的な知識を習得するスポ(1)(3)(4)						
学修目標	1)社会福祉士の職域と求められる役割について概説できる。 2)ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について概説できる。 3)ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象や介入、支援の方法について説明できる。 4)総合的かつ包括的な支援の意義と内容について概説できる。 5)総合的かつ包括的な支援のための多職種連携やチームアプローチの意義、内容について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(川崎)は、社会福祉士として行政や社会福祉協議会等での実践現場 5 年以上の経験に基づき、相談援助の基本的概念や専門職に求められる基本的知識を修得することを目的に授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を 30%及び前期末試験 70%として総合的に形成的評価を行う。毎時間後のレポートと適宜小テストにより理解度を確認し、フィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	1コマあたり 4 時間を目安に予習・復習を行うこと。具体的に、授業前の予習では、次回シラバスの授業内容について、テキストを読み、まとめておくこと。復習では、授業時に配布された資料・レジュメをファイリングし、再度テキストと照らし合わせ再確認を行うこと。適宜の小テストに備え、重要事項をノートにまとめておくこと。提示された課題に取り組むことなどである。						
オフィスアワー	時間割確定後研究室に掲示						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。 ソーシャルワーカーが専門職であるための成立条件と職能団体の役割を学ぶ。				講 義	川 崎
2	1)2)	社会福祉士が活躍する職域とそこでのソーシャルワーカーの役割を理解する①。				講 義	川 崎
3	1)2)	社会福祉士が活躍する職域とそこでのソーシャルワーカーの役割を理解する②。				講 義	川 崎
4	1)2)	ソーシャルワーク実践を担う様々な組織・機関・団体における専門職について理解する。				講 義	川 崎
5	1)2)	主要先進諸国のソーシャルワーカー養成制度の現状などを知り、ソーシャルワークの多様性を理解する。				講 義	川 崎
6	2)3)	ソーシャルワークにおけるミクロ・メゾ・マクロの意味を知り、その対象から、相互の関係性を理解する。				講 義	川 崎
7	2)3)	ミクロ・メゾ・マクロレベルの介入の考え方やソーシャルワーク実践の展開について理解する。				講 義	川崎・外部講師
8	2)3)	ミクロ・メゾ・マクロレベルの連関性とそれに基づく支援の実際を理解する。				講 義	川 崎
9	3)4)	総合的かつ包括的な支援としてのソーシャルワークの意義と必要性を理解する。				講 義	川 崎
10	3)4)	ソーシャルワークにおけるジェネラリストの視点を学び、ソーシャルワークの特徴を理解する。				講 義	川 崎
11	3)4)5)	ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援の意義と内容を理解する。特に、多機関・多職種による包括的支援体制の構築について理解する。				講 義	川 崎
12	3)4)5)	社会資源となる人や組織などの協働体制の構築やソーシャルサポートネットワーキングの実践方法について理解する。				講 義	川 崎
13	3)4)5)	多職種連携及びチームアプローチの意義を理解する。				講 義	川 崎
14	3)4)5)	ジェネラリスト視点から多職種連携の際の合意形成の促進とクライアントとの連携・協働の意味を理解する。				講 義	川 崎
15	1)2)3) 4)5)	総括 ソーシャルワークの基盤と専門職の概要を総括し、具体的理論と方法を学ぶ必要性を理解する。				講 義	川 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 (一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集) 中央法規 【978-4-8058-8241-2】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		社会福祉の原理と政策Ⅰ		授業コード	121662B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(1 年)		ナンバリング	51C111P02	AL 科目	○	
担当者		日田 剛	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	必修(心理)・選択(スポ)	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		本科目は、社会福祉士関連科目の基礎科目(概論)として、以下の 7 つを目標とする。なお、同教科Ⅱにおいても扱う項目がある。 ① 社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解する。 ② 社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を理解する。 ③ 社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解する。 ④ 福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解する。 ⑤ 福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解する。 ⑥ 福祉サービスの供給と利用の過程について理解する。 ⑦ 福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解する。 以上 7 つの目標をとおして、福祉分野における福祉実践力(DP3)を涵養したい。また、SGD をとおして、コミュニケーション能力(DP4)を身につけることも目標とする。						
学修目標		本科目は、一般目標に基づき以下の達成目標を定める。なお、同教科Ⅱにおいても扱う項目がある。 ① 社会福祉の原理をめぐる思想と哲学に関する理論を述べることができる。 ② 社会福祉の歴史展開を時系列に述べることができ、わが国の社会福祉の特質を海外の社会福祉と比較してまとめることができる。 ③ 社会福祉を取り巻く社会構造から社会問題を明らかにして、それが福祉政策にいかに関反映されているのかを理解して、人々の生活上のニーズに結びつけた政策を 考えることができる。加えて関連する政策を理解して、包括的な政策のあり方を述べるようになる。 ④ 社会福祉を担う専門職について、その養成課程や専門職性について、その概要をまとめて、説明することができるようになる。 ⑤ 福祉サービスの供給主体とその提供過程を理解して、その利用過程も含めて説明することができる。						
実務経験のある 教員による教育		科目教員は、社会福祉士及び精神保健福祉士として、実践現場、教育現場、専門職養成の経験に基づき、社会福祉原理について研究を続けており、その知見を活かして社会福祉を担う人材としての基本的理念を習得することを目的に授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法		毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を 30%及び後期末試験 70%として総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		シラバスに掲載されている学修予定を確認して、テキストの該当部分を予習すること。 くわえて、厚生労働省 web ページなどインターネットを活用して、事前に必要な法令や制度を確認すること。これらに 90 分以上の予習時間が必要である。 講義後は、本人が筆記した講義ノートを整理して、必要に応じて不明な語句を調べなおすなど、復習に 90 分以上を費やす必要がある。 講義中口頭質問を多用するので、積極的に本人の考えや意見を述べるようにすること。また、必要に応じて SGD も実施する。						
オフィスアワー		時間割が確定次第、告知する。						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当	
1	1)	社会福祉の原理とは何か？その問われる意義について考える				講義・SGD	日 田	
2	2)	社会福祉の歴史を学ぶ意義・支援等について SGD を通して相互理解を深める				講義・SGD	日 田	
3	2)	欧米の社会福祉の歴史的展開を学びつつ、なぜこのような変遷を遂げたのかを理解する				講義・SGD	日 田	
4	2)	日本の社会福祉の歴史的展開を学びつつ、なぜこのような変遷を遂げたのかを理解する				講義・SGD	日 田	
5	3)	社会福祉の理想・哲学について学び、イデオロギーと社会福祉の関係について理解する				講 義	日 田	
6	3)	社会福祉の理想・哲学について学び、ニーズという言葉の概念を理解する				講 義	日 田	
7	3)	社会福祉学におけるニーズの捉え方とその現代的課題を理解する				講義・SGD	日 田	
8	3)	現代における社会問題について、社会が抱える問題の全体像について理解する				講 義	日 田	
9	3)	現代における社会問題について、個別・具体的な社会問題について理解する				講義・SGD	日 田	
10	3)	社会問題の構造的背景(人口構造と世帯構造の変化)について歴史的背景とつなげて理解する				講 義	日 田	
11	1),4)	福祉政策の概念・理念を学び、「狭義の福祉」と「広義の福祉」を理解する				講義・SGD	日 田	
12	3),4)	福祉政策を学ぶ中で「自立」と「依存」の概念と関係性について理解する				講義・SGD	日 田	
13	3)	心理学、マーケティング、社会福祉におけるニーズの概念を学ぶ				講 義	日 田	
14	4)	福祉政策におけるニーズ概念をデマンドの違いと併せて理解を深める				講義・SGD	日 田	
15	4)	社会資源とは何か？フォーマル・インフォーマルな資源を調べたうえで身近なものとして理解する				講義・SGD	日 田	
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座4 社会福祉の原理と政策 中央法規						

参考書(著者名)出版社名【ISBN】	適時印刷物を配布する。
--------------------	-------------

科目名		社会福祉の原理と政策Ⅱ			授業コード	121663B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	51C122P08	AL 科目	○
担当者		日田 剛	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リジ-No.		本科目は、社会福祉士関連科目の基礎科目(概論)として、以下の 7 つを目標とする。なお、同教科Ⅰにおいても扱う項目がある。 ① 社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解する。 ② 社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を理解する。 ③ 社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解する。 ④ 福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解する。 ⑤ 福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解する。 ⑥ 福祉サービスの供給と利用の過程について理解する。 ⑦ 福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解する。 以上 7 つの目標をとおして、福祉分野における福祉実践力(DP3)を涵養したい。また、SGD をとおして、コミュニケーション能力(DP4)を身につけることも目標とする。						
学修目標		本科目は、一般目標に基づき以下の達成目標を定める。なお、同教科Ⅰにおいても扱う項目がある。 ① 社会福祉の原理をめぐる思想と哲学に関する理論を述べることができる。 ② 社会福祉の歴史展開を時系列に述べることができ、わが国の社会福祉の特質を海外の社会福祉と比較してまとめることができる。 ③ 社会福祉を取り巻く社会構造から社会問題を明らかにして、それが福祉政策にいかに関反映されているのかを理解して、人々の生活上のニーズに結びつけた政策を 考えることができる。加えて関連する政策を理解して、包括的な政策のあり方を述べるようになる。 ④ 社会福祉を担う専門職について、その養成課程や専門職性について、その概要をまとめて、説明することができるようになる。 ⑤ 福祉サービスの供給主体とその提供過程を理解して、その利用過程も含めて説明することができる。						
実務経験のある 教員による教育		担当教員は、社会福祉士及び精神保健福祉士として、実践現場、教育現場、専門職養成の経験に基づき、社会福祉原理の研究を続けており、その知見を活かして、社会福祉を担う人材としての基本的理念を習得することを目的に授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法		毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を30%及び後期末試験 70%として総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		シラバスに掲載されている学修予定を確認して、テキストの該当部分を予習すること。 くわえて、厚生労働省 web ページなどインターネットを活用して、事前に必要な法令や制度を確認すること。これらに 90 分以上の予習時間が必要である。 講義後は、本人が筆記した講義ノートを整理して、必要に応じて不明な語句を調べなおすなど、復習に 90 分以上を費やす必要がある。 講義中口頭質問を多用するので、積極的に本人の考えや意見を述べるようにすること。また、必要に応じて SGD も実施する。						
オフィスアワー		時間割が確定次第、告知する。						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	3)	福祉政策の構成要素を、政策の分野と各分野の目的から理解する					講 義	日 田
2	3)	福祉サービスの提供方式が多様化する中で、政府や事業者、国民が果たす役割について学ぶ					講義・SGD	日 田
3	3)	福祉政策の過程と評価について全体像と各過程について理解する					講 義	日 田
4	3)	社会福祉基礎構造改革と社会福祉法について理解を深める					講 義	日 田
5	3)	「地域包括ケア」から「地域共生社会」への変遷について、時系列的に理解する					講 義	日 田
6	4)	地域共生社会の実現と地域づくりに向けた課題について理解し、自分の地域について調べる					講義・SGD	日 田
7	4)	福祉人材の確保と多文化共生の推進のための課題について、実際の福祉現場と照らし合わせて理解する					講 義	日 田
8	4)	保健医療施策の重要性を認識しそこに関わる専門職の役割を理解する					講 義	日 田
9	5)	教育施策について役割と重要性を理解しつつ、子どもの貧困について話し合う					講義・SGD	日 田
10	4),5)	住宅政策と労働政策について関連する制度を含めて包括的に理解する					講 義	日 田
11	4),5)	災害政策の現状を知り、災害対策の必要性を理解する。近年の災害対策の実際を知る					講義・SGD	日 田
12	6)	福祉サービスの供給が多様な供給主体によって担われていることを理解する					講 義	日 田
13	6)	福祉サービスの供給過程について、情報の非対称性について理解を深める					講義・SGD	日 田
14	7)	福祉政策の国際比較をしつつ、近年の福祉政策の展開における「サービス保障」の重要性を学ぶ					講 義	日 田
15	1),3),7)	これからの社会福祉についてこれまでの学習をもとに、自身の考えをまとめる					講義・SGD	日 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座4 社会福祉の原理と政策 中央法規						

参考書(著者名)出版社名【ISBN】	適時印刷物を配布する。
--------------------	-------------

科目名	貧困に対する支援			授業コード	121665B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51C221P07	AL 科目	
担当者	日田 剛(福・福)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	公的扶助分野は、現代社会が生み出す貧困・低所得問題に対処するための一連の制度的な取組を指し、市民生活を守る社会保障・社会福祉制度の最後のセーフティーネットとして位置づけられている。公的扶助の概念と範囲、意義と役割についての理解、「貧困」「低所得」などの問題の理解、公的扶助制度の主要制度である生活保護制度の仕組み、動向、福祉事務所を中心とした実施体制などの理解、相談活動実践事例など、自立支援プログラムの在り方などの理解を通じて、専門家としての知識の修得を図る(DP3)。						
学修目標	1)「貧困」について、その定義と概念を説明できる。 2)公的扶助の対象となる貧困・低所得とは何なのかなどを説明できる。 3)公的扶助の制度的沿革、わが国の貧困・低所得対策などが説明できる。 4)生活保護制度の仕組み(目的・原理・原則など)、不服審査制度など説明できる。 5)最低生活保障水準の考え方、生活扶助基準の算定方法など説明できる。 6)生活保護の受給人員、世帯の動向、各種扶助別人員数などの説明ができる。 7)低所得者対策としての生活福祉資金制度の内容を説明できる。 8)生活保護運営実施体制と関係機関、団体の役割などについて説明できる。 9)貧困・低所得者に対する相談援助活動(関連専門職・専門機関との連携など)を説明できる。 10)生活保護における自立支援プログラムについて説明ができる。						
実務経験のある 教員による教育	生活保護行政にかかわる外部講師を招聘予定						
評価及びフィード バックの方法	ミニテスト、単位認定試験、授業態度などを総合的に判断して評価。						
準備学習・ 履修上の注意等	予習・復習を行うこと。 授業中にミニテストを実施する。社会福祉士国家資格試験の過去問を使用して実施する。生活保護は社会情勢との関連があるので、新聞などを読むこと。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	「貧困」が現代においてどのように語られているか、また、どのような問題があるのかを理解する。合わせて「貧困」について自らの問題として考える。				講 義	日 田
2	2)	貧困・低所得とは何か、貧困と社会的排除(絶対的貧困・相対的貧困、社会的排除としての貧困、わが国における貧困の研究、貧困・低所得者問題の現代的課題				講 義	日 田
3	3)	公的扶助制度の歴史:海外の歴史、日本の歴史、貧困・低所得者対策の近年の動向				講 義	日 田
4	4)	生活保護法の目的・基本原理・原則、保護の種類と内容および方法、保護施設				講 義	日 田
5	4)	被保護者の権利および義務、不服申立と訴訟、生活保護の財源・予算				講 義	日 田
6	5)	最低生活保障水準の考え方、生活保護基準の考え方				講 義	日 田
7	5)	生活保護基準の実際、最低生活保障水準の実際				講 義	日 田
8	6)	生活保護の動向:被保護人員・世帯数、保護の開始・廃止				講 義	日 田
9	6)	生活保護の動向:医療扶助の動向。介護扶助の動向				講 義	日 田
10	7)	低所得者の概要:生活福祉資金貸付制度				講 義	日 田
11	7)	低所得者の概要:社会手当制度、ホームレス対策、その他の低所得者対策				講 義	日 田
12	8)	生活保護の運営実施体制と関係機関・団体:国・都道府県・市町村の役割、福祉事務所の役割、福祉事務所専門職員の役割				講 義	日 田
13	9)	貧困・低所得者に対する相談援助活動:生活保護制度における相談援助活動				講 義	日 田
14	9)	貧困・低所得者に対する相談援助活動:他機関・他職種との連携・協働				講 義	日 田
15	10)	生活保護における自立支援:自立とは何か				講 義	外部講師
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座4 貧困に対する支援 中央法規					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		歴史との対話―現代府福祉の源流を探る―(西尾祐吾 塚口伍喜夫)大学教育出版					

科目名	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ			授業コード	121666B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51C221P08	AL 科目	
担当者	加藤 正憲(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択		授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	地域共生社会の実現に向けて、包括的な相談支援を実施し、地域住民等が主体的に地域課題を解決していくよう支援できるソーシャルワーカーを養成するため、本科目では地域福祉と包括的支援体制の考え方について、その理論、方法を体系的に理解するとともに、それらを推進するうえで欠かせない福祉行財政と福祉計画について学ぶ。また、地域福祉と包括的支援体制を推進していくための地域を基盤としたソーシャルワークの展開について理解を深め、具体的な展開方法について修得する。臨床 DP(3)(5)(6)、スポ DP(3)(4)、心理 DP(3)(6)						
学修目標	1) 地域福祉の基本的な考え方について説明できる。 2) 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題について説明できる。 3) 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制について説明できる。 4) 地域福祉ガバナンスと多機関協働について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(加藤)は、社会福祉士の資格を有し、地域福祉の実践現場(社会福祉協議会)での 5 年以上の実務経験に基づき、実践的な内容を取り入れ、「地域福祉と包括的支援体制」の習得を目的とした授業を行う予定。						
評価及びフィード バックの方法	授業後における小レポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(小レポート及び確認テストの内容、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を 7 割として、包括的に評価する。 小レポート、確認テスト等の結果から、学習進捗状況を把握し、各講義の最初にフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	国家資格試験対象科目なのでテキスト以外の文献についても自己学習を進めること。また予習・復習をしっかりとやること。						
オフィスアワー	講義前後の時間に対応。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	1.ガイダンス(講義の概要と予定) 地域福祉とは何か 2.地域福祉の基本的な考え方 (1) 地域福祉の概念と理論 ① 地域福祉の概念と理論の変遷／新たな展開と理論的な視点について理解する。				講 義	加 藤
2	1)	(2)地域福祉の歴史 ① 欧米の地域福祉の源流の内容について理解する。 ② 我が国の地域福祉の源流の内容について理解する。 ③ 戦後から今日に至る地域福祉の歴史的変遷の内容について理解する。				講 義	加 藤
3	1)	(3)地域福祉の動向 ① 人口減少・超高齢社会における地域生活課題について把握する。 ② 地域生活課題に対応する地域福祉の新たな動向について理解する。 (4)地域福祉の推進主体 ① 地域福祉の推進主体(組織)とは何か、その役割の実際について理解する。(社会福祉協議会を中心に)				講義・SGD	加 藤
4	1)	(5)地域福祉の主体と福祉教育 ① 人々の直面する地域生活課題の傾向を理解する。 ② 地域福祉の推進主体／地域住民の主体形成と福祉教育について考える。				講 義	加 藤
5	1)2)	3.地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題 (1)地域社会の概念と理論 ① 地域社会の概念と地域社会の理論について理解する。				講 義	加 藤
6	1)2)	(2)地域社会の変化 ① 近年の地域社会の変化の諸相を把握する。 ② 地域社会の変化による課題と対応策を考える。				講義・SGD	加 藤
7	1)2)	(3)多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニーズ ① 地域社会を多様なシステムの複雑な相互作用から捉え、理解する視点を身につける。 ② 多様化・複雑化する地域生活課題と表出にかかわる状況とニーズについて考える。				講 義	加 藤
8	1)2)	(4)地域福祉と社会的孤立 ① 地域福祉の概念と我が国の政策上の位置づけについて理解する。 ② 社会的孤立とセルフ・ネグレクト、社会的排除の概念について理解する。				講 義	加 藤
9	3)	4.地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制 (1)地域包括ケアシステム ① 地域包括ケアシステムの考え方、確立の経過、展開について理解する。 ② 包括的な相談支援体制について理解する。				講 義	加 藤
10	3)	(2)生活困窮者自立支援の考え方 ① 生活困窮者自立支援制度の目的と基本理念、概要について理解する。 ② 自立相談支援事業の役割と支援過程について理解する。 ③ 生活困窮者自立支援に必要な倫理と基本姿勢を理解する ④ 高齢者、生活困窮者以外を対象とする包括的な相談支援体制について理解する。				講 義	加 藤
11	3)	(3) 包括的支援体制とは ① 包括的支援体制に実現に向けての展開と具体的展開方法について理解する。 (4)地域共生社会の構築とは ① 地域共生社会と実現の方向について理解する。				講 義	加 藤
12	3)	(5) 地域共生社会の実現に向けた各種施策 ① 包括的支援体制構築事業と市町村での体制整備について理解する。 ② 包括的支援体制の確立に向けての社会福祉法改正(2020(令和2)年)を理解する。 ③ 包括支援体制の確立に向けてのソーシャルワーカーの役割を理解する。				講 義	加 藤

13	3)4)	5.地域福祉ガバナンスと多機関協働 (1) 地域福祉ガバナンス ① 地域福祉ガバナンスの考え方と他機関協働のマネジメントについて理解する。 ② 地域住民の参加と協働について考える。 ③ 地域福祉ガバナンスを進める協議の場の形成と運営、専門職の役割について考える。 (2) 多機関協働を促進する仕組み ① 総合相談と包括的な支援体制を支える各種相談機関の連携協働の意義と仕組みについて理解する。	講義	加藤
14	3)4)	(3) 多職種連携 ① 多職種連携の目的と多職種連携を促進する要因やコンピテンシーについて理解する。	講義	加藤
15	3)4)	(4) 福祉以外の分野との機関協働の実際 ① さまざまな主体のさまざまな発想と協働で地域福祉を進める目的と意義について考える。 ② 福祉以外の分野との協働による開発的实践について理解する。 ③ 地方創生の政策と社会的企業について理解する。 【前期講義の振り返り】	講義	加藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟(編集) 「最新・社会福祉士養成講座第6巻 地域福祉と包括的支援体制」中央法規出版(978-4-8058-8236-8)		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。必要に応じて参考資料を提供する。		

科目名	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ			授業コード	121667B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51C222P02	AL 科目	
担当者	加藤 正憲(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	地域共生社会の実現に向けて、包括的な相談支援を実施し、地域住民等が主体的に地域課題を解決していくよう支援できるソーシャルワーカーを養成するため、本科目では地域福祉と包括的支援体制の考え方について、その理論、方法を体系的に理解するとともに、それらを推進するうえで欠かせない福祉行政と福祉計画について学ぶ。また、地域福祉と包括的支援体制を推進していくための地域を基盤としたソーシャルワークの展開について理解を深め、具体的な展開方法について修得する。臨床 DP(3)(5)(6)、スポ DP(3)(4)、心理 DP(3)(6)						
学修目標	1) 地域を基盤としたソーシャルワークの展開について説明できる。 2) 災害時における総合的かつ包括的な支援体制について説明できる。 3) 福祉計画の意義と種類、策定と運用について説明できる。 4) 国・都道府県・市町村の役割、祉行政の組織及び専門職の役割について説明できる。 5) 福祉における財源について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(加藤)は、社会福祉士の資格を有し、地域福祉の実践現場(社会福祉協議会)での 5 年以上の実務経験に基づき、実践的な視点から「地域福祉と包括的支援体制」の習得を目的とした授業を行う予定。						
評価及びフィード バックの方法	授業後における小レポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(小レポート及び確認テスト、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を 7 割として、包括的に評価する。 小レポート、確認テスト等の結果から、学習進捗状況を把握し、各講義の最初にフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	国家資格試験対象科目なのでテキスト以外の文献についても自己学習を進めること。また予習・復習をしっかりとやること。						
オフィスアワー	講義前後の時間に対応。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	6.地域を基盤としたソーシャルワークの展開 (1)地域を基盤としたソーシャルワークの方法 ① 地域を基盤としたソーシャルワークの概念、求められてきた背景について理解する。 ② 生活困窮者自立支援とコミュニティソーシャルワークについて理解する。 ③ 地域共生社会の実現に向けたアプローチについて考える。				講 義	加 藤
2	1)	(2)住民の主体形成に向けたアプローチ ① 地域福祉における住民の主体形成の意義と方法について理解する。 ② 住民の主体形成を援助するソーシャルワークの視点と方法を理解する ③ 社会的包摂(地域共生社会)形成に向けた福祉学習について理解する				講 義	加 藤
3	1)	(3)具体的な展開 ① 地域を基盤としたソーシャルワーク展開の具体を理解する。 ② 事例の展開をとおして、五つのポイントを知る。				講義・SGD	加 藤
4	1)	③ 住民の主体性を尊重し、育む多職種連携について考える。				講義・SGD	加 藤
5	1)2)	7.災害時における総合的かつ包括的な支援体制 (1)非常時や災害時における法制度 ① 災害対策基本法、災害救助法について理解する。				講 義	加 藤
6	1)2)	② 特定非常災害特別措置法、災害弔慰金の支給等に関する法律について理解する。 ③ 被災者生活再建支援法、その他の支援の仕組みについて理解する。				講 義	加 藤
7	1)2)	(2)非常時や災害時における総合的かつ包括的な支援 ① 災害と被災者が抱える多様なニーズについて考える。 ② 他職種との連携による包括的な支援について考える。				講 義	加 藤
8	1)2)	③ 災害に備えた平時からの取り組みの重要性について理解する。				講 義	加 藤
9	3)	8.福祉計画の意義と種類、策定と運用 (1)福祉計画の定義、目的、機能と歴史的展開 ① 福祉計画の定義、歴史的展開について理解し、福祉計画の基本的視点を知る。 ② 我が国の福祉制度の展開を理解し、福祉計画の種類と類型、果たす機能について知る。				講 義	加 藤
10	3)	(2)市町村地域福祉計画・都道府県地域福祉支援計画の内容 ① 地域福祉計画の歴史的展開について理解する。 ② 社会福祉法改正と市町村地域福祉計画・都道府県地域福祉支援計画について理解する。				講 義	加 藤
11	3)	(3)福祉計画の策定過程と方法 ① 福祉計画の主体、計画の過程モデルについて理解する。 ② 福祉計画の過程と特徴、問題の分析と合意形成過程について理解する。 ③ 福祉計画の過程における方法・技術、留意点について理解する。				講 義	加 藤
12	3)	(4)福祉計画におけるニーズ把握の方法・技術 ① ニーズの概念、類型について理解する。 ② ニーズ把握の方法・技術、留意点について理解する。 (5)福祉計画における評価 ① 福祉計画における評価の方法・技術、実際、留意点について理解する。				講 義	加 藤
13	4)	9.福祉行政システム (1)国の役割 ① 行政の骨格、国の福祉行政体制とその役割について理解する。 ② 法定受託事務と自治事務について理解する。 (2)都道府県の役割				講 義	加 藤

		① 都道府県の福祉行政体制と組織、役割について理解する。 (3)市町村の役割 ① 市町村の福祉行政体制と組織、役割について理解理解する理解する。 (4)国と地方の関係 ① 中央集権から地方自治への流れを理解する。 ② 地方分権の意義と改革の流れを把握し、地方創生について理解する。		
14	4)	(5)福祉行政の組織および専門職の役割 ① 社会福祉の実施体制、社会福祉の専門機関について理解する。 ② 社会福祉の専門職について理解する。	講 義	加 藤
15	5)	(6)福祉における財源 ① 国と地方の財源について理解する。 ② 保険料財源について理解する。 ③ 民間の財源について理解する。 【後期講義の振返り】	講 義	加 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟(編集) 「最新・社会福祉士養成講座第6巻 地域福祉と包括的支援体制」中央法規出版(978-4-8058-8236-8)		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。必要に応じて参考資料を提供する。		

科目名	社会保障Ⅰ			授業コード	121493B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51C221P09	AL 科目	○
担当者	末永 恭(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	この科目は、社会福祉士国家試験の指定科目である。厚生労働省から以下 6 つのねらいが提示されている。 ①社会保障の概念や対象及びその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて理解する。 ②現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について理解する。 ③社会保障制度の財政について理解する。 ④公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。 ⑤社会保障制度の体系と概要について理解する。 ⑥諸外国における社会保障制度の概要について理解する。 以上 6 つのねらいを受けて、この科目①～④までを学ぶ。また、社会保障制度の概要を理解することをとおして、将来福祉現場 で活躍する社会福祉士としての福祉実践力(DP(3))の涵養をはかる。さらに講義の中で SGD を実施して、コミュニケーション能力 (DP(4))の向上をはかる。くわえて、社会福祉士国家試験の受験資格を取得するため、他の科目も含めて体系的・系統的に学ぶ (CP(5))ことも目標とする。						
学修目標	1) 現代社会における社会保障制度の現状(少子高齢化と社会保障制度の関係を含む)を理解する～人口動態、経済環境、労働環境 の変化から現状を説明することができる。 2) 社会保障の概念や対象及びその理念を理解する～社会保障の概念とその範囲および役割と意義、理念と対象およびその展 開を述べるができる。 3) 社会保障と財政 を理解する～社会保障の財源 を一般会計や地方経費などから述べるができる。また、社会保障給付費 の内訳と動向を説明できる。さらに国民負担率とは何か説明して、それが経済に与える影響について自身意見も含めて述べるこ とができる。について述べるができる。 4) 社会保険と社会扶助の関係を理解する～社会保険の概念と範囲及び社会扶助の概念と範囲を理解して、その相違を明確に 説明することができる。 5) 公的保険制度と民間保険制度の関係を理解する～それぞれの特徴を把握して、その課題を明確にして、相違及び補完性を 述べることができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(末永)は、社会福祉士及び精神保健福祉士として、精神科病院や障害児・者施設等での実践現場 5 年以上の経験に 基づき社会保障に関する基本的概念や制度の変遷、最新の動向などを含めた基本的知識を習得することを目的に授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を 30%及び後期末試験 70%として総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	シラバスに記載されている学習予定を確認して、テキストの該当部分を予習する事 加えて厚生労働省 web ページなどを活用して、事前に必要な法令や制度を確認する事。これらに 90 分以上の予習時間が必要 である。 講義後は、教員が配布したプリント及び自身が筆記した講義ノートを整理して、必要に応じて不明な語句を調べなおすなど、復 習に 90 分以上を費やす必要がある。 講義中、口頭質問や SGD を実施するので、積極的に自身の考えや意見を述べるようにすること						
オフィスアワー	時間割が確定次第、告知する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	「社会保障とは」という概念について、人口減少と少子高齢化をもとに社会保障の成り立ちを理解する				講 義	末 永
2	1)	人口減少と少子高齢化が社会及び社会保障に与える影響について理解する				講義・SGD	末 永
3	1)	日本の経済成長と共に変化してきた社会保障についてどのように変化してきたのかを理解する				講義・SGD	末 永
4	1)	労働環境の変化がもたらす社会への影響と社会保障の課題について理解する				講義・SGD	末 永
5	2)	社会保障の概念や対象、及びその理念について総合的に理解する				講義・SGD	末 永
6	2)	社会保障の役割と意義について、総合的に理解するとともに、救貧と防貧の違いについて理解する				講 義	末 永
7	2)	社会保障の理念として生存権と社会連帯、社会保障との関連について理解する				講義・SGD	末 永
8	3)	社会保障制度の展開について、歴史的背景を学ぶとともに、社会保険・社会手当が出来た経緯について理解する				講 義	末 永
9	3)	戦後の社会保障の拡充と近年の制度改正について整理して理解する				講 義	末 永
10	3)	社会保障の財政について種類や財源の確保の方法、内訳等について理解する				講 義	末 永
11	3)	社会保障の財政について国民の負担が生活にどのような影響を及ぼしているかを理解する				講義・SGD	末 永
12	4)	保険と扶助のメリットデメリットについて SGD にて考える				講義・SGD	末 永
13	4)	社会保険と社会扶助の特徴について理解し、「自助」「共助」「公助」の関係性を理解する				講 義	末 永
14	5)	社会保険と民間保険の種類や違いについて、自分が加入している保険と照らし合わせながら理解する				講義・SGD	末 永
15	5)	社会保険と民間保険の相互関係について理解する				講義・SGD	末 永
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 7 社会保障(日本ソーシャルワーク学校連盟編集)中央法規出版 ISBN978-4-8058-8237-5					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】	講義の中で適時紹介する。
--------------------	--------------

科目名	社会保障Ⅱ			授業コード	121494B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51C222P03	AL 科目	○
担当者	末永 恭 (非常勤講師)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	この科目は、社会福祉士国家試験の指定科目である。厚生労働省から以下 6 つのねらいが提示されている。 ①社会保障の概念や対象及びその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて理解する。 ②現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について理解する。 ③社会保障制度の財政について理解する。 ④公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。 ⑤社会保障制度の体系と概要について理解する。 ⑥諸外国における社会保障制度の概要について理解する。 この科目では、社会保障制度を理解することをおして、福祉実践力(DP(3))の涵養をはかることを目標にする。さらに講義の中 で SGD を実施して、コミュニケーション能力(DP(4))の向上をはかる。くわえて、社会福祉士国家試験の受験資格を取得するた め、他の科目も含めて体系的・系統的に学ぶ(CP(5))ことも目標とする。						
学修目標	1) 社会保障制度の体系を把握する～医療保険制度の体系を説明することができるようになる。 2) 社会保障制度の体系を把握する～介護保険制度の体系を説明できるようになる。 3) 社会保障制度の体系を把握する～年金保険制度の体系を説明することができる。 4) 社会保障制度の体系を把握する～労働者災害補償保険と雇用保険の体系を説明することができる。 5) 社会保障制度の体系を把握する～生活保護制度の概要を説明することができる。 6) 社会保障制度の体系を把握する～社会手当制度の概要を説明することができる。 7) 社会保障制度の体系を把握する～社会福祉制度の概要を説明することができる。 8) 諸外国における社会保障制度の理解～諸外国の社会保障制度を、わが国の制度と比較して、各国の特徴を説明することが できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(末永)は、社会福祉士及び精神保健福祉士として、精神科病院や障害児・者施設等での実践現場 5 年以上の経験に 基づき社会保障に関する基本的概念や制度の変遷、最新の動向などを含めた基本的知識を習得することを目的に授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を 30%及び後期末試験 70%として総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	シラバスに記載されている学習予定を確認して、テキストの該当部分を予習する事 加えて厚生労働省 web ページなどを活用して、事前に必要な法令や制度を確認する事。これらに 90 分以上の予習時間が必要 である。 講義後は、教員が配布したプリント及び自身が筆記した講義ノートを整理して、必要に応じて不明な語句を調べなおすなど、復 習に 90 分以上を費やす必要がある。 講義中、口頭質問や SGD を実施するので、積極的に自身の考えや意見を述べるようにすること						
オフィスアワー	時間割が確定次第、告知する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	医療保険制度の概要・体系・種類等を自分の状況と照らし合わせて理解する				講義・SGD	末 永
2	1)	医療保険制度の具体的な流れや支払い方法等について理解する				講義・SGD	末 永
3	2)	介護保険制度の概要について、近年の高齢者福祉の動向と照らし合わせながら理解する				講義・SGD	末 永
4	2)	介護保険制度の詳細について、最新の情報を調べて理解を深める				講義・SGD	末 永
5	3)	年金制度の概要について、種類や加入状況、給付状況など最新の情報を調べて把握する				講義・SGD	末 永
6	3)	年金制度の種類について、それぞれの特徴や概要を理解する。				講 義	末 永
7	4)	労働災害保険と雇用保険制度の概要について、実際の現状と照らし合わせながら理解する				講義・SGD	末 永
8	4)	労働災害保険と雇用保険の実際について、事例をあげながら詳細を把握する				講 義	末 永
9	5)	生活保護制度の歴史的な流れや、現在の制度の概要(原理・原則)について理解する				講 義	末 永
10	5)	生活保護法の実際を学び、関連施策についても理解を深める				講 義	末 永
11	6)	社会手当制度の概要について、家族関係の社会的背景とリンクさせながら理解する				講義・SGD	末 永
12	7)	社会福祉制度の概要について、歴史的背景も含めて時系列的に理解する				講 義	末 永
13	8)	海外の社会保障制度を学ぶ				講 義	末 永
14	8)	海外の社会保障制度と我が国の社会保障制度を比較する				講 義	末 永
15	1)～8)	社会保障に関する総まとめとして、社会保障制度の全体像を把握する				講義・SGD	末 永
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 7 社会保障(日本ソーシャルワーク学校連盟編集)中央法規出版 ISBN978-4-8058-8237-5					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特に指定しない。					

科目名	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ			授業コード	121668B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51C221P10	AL 科目	○
担当者	児崎 友美(講師)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	今般の新カリキュラムの改正により、社会福祉士と精神保健福祉士の共通科目が拡充され、「相談援助」の名称が「ソーシャルワーク」に変更された。国による社会福祉・社会保障施策に注目すると、その潮流は、「地域共生社会の実現」「我が事・丸ごと」「制度横断的」「包括的な相談支援体制の構築」「住民主体の地域課題解決体制の構築」等をキーワードとして確認できる。このような流れにおいて、地域共生社会の実現を推進する観点からソーシャルワークの機能や社会福祉士や精神保健福祉士といったソーシャルワーク専門職への社会的期待が高まっていることが窺える。 両資格に共通するソーシャルワークの実践基盤となる人と環境の交互作用に関する理論やソーシャルワークの一連のプロセス等について、深く学ぶことを目的とする。 (臨福 DP:②、⑤、 スポ DP:③、④、 心理 DP:①、⑥)						
学修目標	1)システム理論の成り立ちやソーシャルワーク分野におけるシステム理論について説明できる。 2)生態学理論やバイオ・サイコ・ソーシャルモデル、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて説明できる。 3)ケース発見やエンゲージメントにおけるソーシャルワーカーの役割について説明できる。 4)アセスメントの意義や目的について説明できる。 5)アセスメントの方法や留意点を説明できる。 6)プランニングの意義と目的やプランニングのプロセスについて説明できる。 7)プランニングの方法や留意点を説明できる。 8)支援の実施やモニタリングを説明できる。 9)効果測定について説明できる。 10)支援の終結や支援の結果評価について説明できる。 11)アフターケアについて説明できる。 12)ソーシャルワークの実践モデルとアプローチの考え方について説明できる。 13)治療モデルやストレングスモデル、生活モデルについて説明できる。 14)心理社会的アプローチや機能的アプローチ、問題解決アプローチについて説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当社は、福祉現場である特別養護老人ホームに3年、地域包括支援センターに13年という期間、社会福祉士として実務経験を担ってきた。このような実務経験に基づき、実践においてソーシャルワーク理論や援助技術をどのように用いるのか事例を使いながらより具体的な理解を促す。						
評価及びフィード バックの方法	* 定期試験を 80% * 出席時に毎回提出するレポート、提出物(課題など)、中間テストを 10% * 授業姿勢を 10%とし、総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	社会福祉士・精神保健福祉士の資格取得予定者は履修すること。 事前に必ずテキストを読んでくること。 授業前後に関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。 一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。 プリントを配布するためファイル等を準備し、しっかりと管理すること。						
オフィスアワー	研究室ドアに貼り出す						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【ソーシャルワークの理論と方法の講義オリエンテーション】 講義のねらいと進め方を理解する。				講義・SGD	児 崎
2	1)	【人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク①】 システム理論の成り立ちやソーシャルワーク分野におけるシステム理論を学ぶ。				講 義	児 崎
3	2)	【人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク②】 生態学理論やバイオ・サイコ・ソーシャルモデル、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて学 ぶ。				講 義	児 崎
4	4)	【ソーシャルワークの過程/ケース発見とエンゲージメント】 ケース発見やエンゲージメントにおけるソーシャルワーカーの役割について学ぶ。				講 義	児 崎
5	5)	【ソーシャルワークの過程/アセスメント①】 アセスメントの意義や目的について学ぶ。				講 義	児 崎
6	6)	【ソーシャルワークの展開/アセスメント②】 アセスメントの方法や留意点を学ぶ。				講 義	児 崎
7	7)	【ソーシャルワークの過程/プランニング①】 プランニングの意義と目的やプランニングのプロセスを学ぶ。				講 義	児 崎
8	8)	【ソーシャルワークの過程/プランニング②】 プランニングの方法や留意点を学ぶ。				講 義	児 崎
9	9)	【ソーシャルワークの過程/支援実施とモニタリング①】 支援の実施やモニタリングを学ぶ。				講 義	児 崎
10	10)	【ソーシャルワークの過程/支援の実施とモニタリング②】 効果測定について学ぶ。				講 義	児 崎
11	11)	【ソーシャルワークの過程/支援の終結と結果評価、アフターケア①】 支援の終結や支援の結果評価について説明学ぶ。				講 義	児 崎
12	12)	【ソーシャルワークの過程/支援の終結と結果評価、アフターケア②】 アフターケアについて学ぶ。				講 義	児 崎
13	13)	【ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ①】 ソーシャルワークの実践モデルとアプローチの考え方について学ぶ。				講 義	児 崎
14	14)	【ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ②】 治療モデルやストレングスモデル、生活モデルについて学ぶ。				講 義	児 崎

15	14)	【ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ③】 心理社会的アプローチや機能的アプローチ、問題解決アプローチを学ぶ。	講義	児崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		12 ソーシャルワークの理論と方法〔共通科目〕（一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集） 中央法規【978-4-8058-8242-9】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		

科目名	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ			授業コード	121669B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51C222P04	AL 科目	○
担当者	児崎 友美(講師)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.	今般の新カリキュラムの改正により、社会福祉士と精神保健福祉士の共通科目が拡充され、「相談援助」の名称が「ソーシャルワーク」に変更された。国による社会福祉・社会保障施策に注目すると、その潮流は、「地域共生社会の実現」「我が事・丸ごと」「制度横断的」「包括的な相談支援体制の構築」「住民主体の地域課題解決体制の構築」等をキーワードとして確認できる。このような流れにおいて、地域共生社会の実現を推進する観点からソーシャルワークの機能や社会福祉士や精神保健福祉士といったソーシャルワーク専門職への社会的期待が高まっていることが窺える。 両資格に共通するソーシャルワークの実践基盤となる人と環境の交互作用に関する理論やソーシャルワークの一連のプロセス等について、深く学ぶことを目的とする。 (臨福 DP:②、⑤、 スポ DP:③、④、 心理 DP:①、⑥)						
学修目標	1)ソーシャルワークの実践モデルとアプローチを説明できる。 2)ソーシャルワークの面接の意義と目的を説明できる。 3)ソーシャルワーク面接の方法と実際を説明できる。 4)ソーシャルワークの記録の意義と目的を説明できる。 5)ソーシャルワークの記録内容と記録のフォーマットを説明できる。 6)ケアマネジメントの原則や意義、方法を説明できる。 7)グループワークの意義や目的を説明できる。 8)グループワークの展開過程やグループワークとセルフヘルプグループを説明できる。 9)コミュニティワークの意義や目的、展開について説明できる。 10)コミュニティワークの理論的系譜を説明できる。 11)ソーシャルアドミニストレーションの概念や意義、組織介入・組織改善の実践モデル、財政の確保を説明できる。 12)ソーシャルアクションの概念とその意義やコミュニティ・オーガナイズジングを説明できる。 13)スーパービジョンの意義、目的、方法を説明できる。 14)コンサルテーションの意義、目的、方法を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、福祉現場である特別養護老人ホームに 3 年、地域包括支援センターに 13 年という期間、社会福祉士として実務経験を担ってきた。このような実務経験に基づき、事例を通して実践に近い面接場面を設け、さらにアセスメントや記録方法等ソーシャルワークに必要な具体的な技術の習得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	* 定期試験を 80% * 出席時に毎回提出するレポート、提出物(課題など)、中間テストを 10% * 授業姿勢を 10%とし、総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	社会福祉士・精神保健福祉士の資格取得予定者は履修すること。 「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」と関連した内容であるため、「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」を履修した上で受講することが望ましい。 学生は授業前後に 4 時間の予習復習時間をもつこと。 授業前に必ずテキストを読んでくること。 プリントを配布するためファイル等を準備し、しっかりと管理すること。						
オフィスアワー	研究室ドアに貼り出す						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【ソーシャルワークの理論と方法 講義のオリエンテーション、ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ①】 行動変容アプローチ、認知アプローチ、危機介入アプローチを学ぶ。				講義・SGD	児 崎
2	2)	【ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ②】 エンパワメントアプローチ、ナラティブアプローチ、解決志向アプローチ、さまざまなアプローチを学ぶ。				講 義	児 崎
3	3)	【ソーシャルワークの面接①】 面接の意義と目的を学ぶ。				講 義	児 崎
4	4)	【ソーシャルワークの面接②】 ソーシャルワーク面接の方法と実際を学ぶ。				講 義	児 崎
5	5)	【ソーシャルワークの記録①】 ソーシャルワークの記録の意義と目的を学ぶ。				講 義	児 崎
6	6)	【ソーシャルワークの記録②】 ソーシャルワークの記録内容と記録のフォーマットを学ぶ。				講 義	児 崎
7	7)	【ケアマネジメント】 ケアマネジメントの原則や意義、方法を学ぶ。				講 義	児 崎
8	8)	【グループを活用した支援①】 グループワークの意義や目的を学ぶ。				講 義	児 崎
9	9)	【グループを活用した支援②】 グループワークの展開過程やグループワークとセルフヘルプグループを学ぶ。				講 義	児 崎
10	10)	【コミュニティワーク①】 コミュニティワークの意義や目的、展開について学ぶ。				講 義	児 崎
11	11)	【コミュニティワーク②】 コミュニティワークの理論的系譜を学ぶ。				講 義	児 崎
12	12)	【ソーシャルアドミニストレーション】 ソーシャルアドミニストレーションの概念や意義、組織介入・組織改善の実践モデル、財政の確保を学ぶ。				講 義	児 崎
13	13)	【ソーシャルアクション】 ソーシャルアクションの概念とその意義やコミュニティ・オーガナイズジングを学ぶ。				講 義	児 崎
14	14)	【スーパービジョンとコンサルテーション①】 スーパービジョンの意義、目的、方法を学ぶ。				講 義	児 崎

15	14)	【スーパービジョンとコンサルテーション②】 コンサルテーションの意義、目的、方法を学ぶ。	講義	児崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		12 ソーシャルワークの理論と方法〔共通科目〕(一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集) 中央法規【978-4-8058-8242-9】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		

科目名	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ			授業コード	121670B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科 (3 年)			ナンバリング	51C321P02	AL 科目	○
担当者	鹿嶋 隆志 (非常勤講師)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	相談援助の過程を理解し、個人、家族、小集団・組織、地域社会といったクライアント・シスエムに対して、社会福祉士がソーシャルワーカーとしていかに対応していくかの実践力を有する力を身につけるために、福祉課題を抱えた者からの相談への対応や、これを受けて総合的かつ包括的にサービスを提供することの必要性及びその具体的方法にかかわる知識・技術を修得する。						
学修目標	1) 相談援助における対象について説明できる。 2) 総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークとは何かを理解できる。 3) ソーシャルワークにおける援助関係の形成における意義・概念・方法と留意点について理解できる。 4) ネットワークにおけるネットワーキングとネゴシエーションについて理解できる。 5) ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発について理解ができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(鹿嶋)は、社会福祉士として知的障がい、児童(スクールソーシャルワーカー)、成年後見活動等での実践を 25 年して参りました。その経験に基づき、実務に必要な相談援助の理論と方法についての知識を習得することを目的に指導を行います。						
評価及びフィード バックの方法	授業後におけるレポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行い、随時フィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態度、SGD での参加状況)の評価を3割、学期末の単位認定試験を 7 割として、包括的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	ソーシャルワークの基盤と専門職及びソーシャルワークの理論と方法を十分復習して授業に臨むこと。 遅刻・私語は厳禁。 1 回の授業ごとに、4時間の予習、復習の学習を行うこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して45時間の予習復習を行うこと。						
オフィスアワー	時間割が確定後研究室に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	相談援助における対象について(ソーシャルワーカーの立ち位置とアプローチ)理解する。				講 義	鹿 嶋
2	1)	総合的かつ包括的な支援の考え方(多様化・複雑化した生活課題への対応プロセスとスキル)を学ぶ。				講義・SGD	鹿 嶋
3	2)	家族支援の基礎的な理論とツールを学ぶ。				講 義	鹿 嶋
4	2)	地域支援の必要な知識とスキルを学ぶ。				講 義	鹿 嶋
5	2)	非常時や災害時支援の実際(目的と留意点)を学ぶ。				講義・SGD	鹿 嶋
6	3)	援助関係形成の意義と概念(クライアントシステムとソーシャルワークの実践レベル)を学ぶ。				講義・SGD	鹿 嶋
7	3)	援助関係の形成方法と留意点(自己覚知と他者理解)を学ぶ。				講 義	鹿 嶋
8	3)	援助関係の形成方法と留意点(クライアントシステムとの援助関係の形成)を学ぶ。				講義・SGD	鹿 嶋
9	4)	ネットワークの構築プロセスと手法について学ぶ。				講 義	鹿 嶋
10	4)	コーディネーションの意義と目的及び地域共生社会としてのソーシャルキャピタルについて学ぶ。				講義・SGD	鹿 嶋
11	4)	地域福祉推進のための総合的なネットワークの形成とシステム化を考える。				講義・SGD	鹿 嶋
12	5)	社会資源の活用、調整、開発の意義や目的、方法を知る。				講義・SGD	鹿 嶋
13	5)	クライアントの権利を擁護していくソーシャルアクションの方法を知る。				講 義	鹿 嶋
14	5)	社会資源開発に必要なソーシャルワーカーのスキルについて理解する				講 義	鹿 嶋
15	5)	地域共生社会を目指すジェネラリストソーシャルワーカーとしての役割について考える。				講 義	鹿 嶋
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法【社会専門】 中央法規出版株式会社 【978-4-8058-8249-8】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ			授業コード	121671B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	51C322P01	AL 科目	○
担当者		鹿嶋 隆志(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.		個人、家族、小集団・組織、地域社会といったクライアント・システムに対して、社会福祉士がソーシャルワーカーとしていかに対 応していくかの実践力を有する力を身につけるために、福祉課題を抱えた者からの相談への対応や、これを受けて総合的かつ 包括的にサービスを提供することの必要性及びその具体的方法にかかわる知識・技術を修得する。						
学修目標		1)社会福祉士としての業務や実践における会議について説明する。 2)事例分析から検討並びに研究の重要性について理解する。 3)ネゴシエーションについて説明できる。 4)コンフリクト・レゾリューションについて説明ができる。 5)ファシリテーションについて説明ができる。 6)プレゼンテーションについて説明ができる。 7)ソーシャルマーケティングについて説明ができる。 8)地域共生社会におけるソーシャルワーカーとしての役割を説明する。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当(鹿嶋)は、社会福祉士として知的障がい、児童(スクールソーシャルワーカー)、成年後見活動等での実践を 25 年して 参りました。その経験に基づき、実務に必要な相談援助の理論と方法についての知識を習得することを目的に指導を行います。						
評価及びフィード バックの方法		授業後におけるレポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行い、随時フィードバック行う。学習への取り組み姿勢(レポ ートの提出状況、授業態度、SGD の参加状況)の評価を3割、学期末の単位認定試験を 7 割として、包括的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		ソーシャルワークの基盤と専門職及びソーシャルワークの理論と方法を十分復習して授業に臨むこと。 遅刻・私語は厳禁。 1 回の授業ごとに、4時間の予習、復習の学習を行うこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを 利用して45時間の予習復習を行うこと。						
オフィスアワー		時間割が確定後研究室に掲示する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	会議の種類と方法について理解する。					講 義	鹿 嶋
2	1)	ミクロ・メゾ・マクロの会議について理解する。					講義・SGD	鹿 嶋
3	2)	事例分析について理解する。					講 義	鹿 嶋
4	2)	事例検討について理解する。					講 義	鹿 嶋
5	2)	事例研究について理解する。					講 義	鹿 嶋
6	3)	ネゴシエーションのプロセスについて理解する。					講義・SGD	鹿 嶋
7	4)	コンフリクト・レゾリューションに向けた方法について理解する。					講 義	鹿 嶋
8	5)	ファシリテーションプロセスについて理解する。					講義・SGD	鹿 嶋
9	6)	プレゼンテーションの方法と留意点について理解する。					講 義	鹿 嶋
10	7)	ソーシャル・マーケティングのプロセスについて理解する。					講義・SGD	鹿 嶋
11	8)	地域福祉推進のための総合的なネットワークの形成とシステム化を考える。					講 義	鹿 嶋
12	8)	社会資源の活用、調整、開発の意義や目的、方法を知る。					講 義	鹿 嶋
13	8)	クライアントの権利を擁護していくソーシャルアクションの方法を知る。					講 義	鹿 嶋
14	8)	相談援助における個人情報の保護の基礎的知識を理解する。					講 義	鹿 嶋
15	8)	相談援助における情報通信技術 (ICT) の活用を知る。					講 義	鹿 嶋
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法【社会専門】 中央法規出版株式会社 【978-4- 8058-8249-8】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない						

科目名		権利擁護を支える法制度		授業コード	121672B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(2 年)・臨床心理学部(2 年)		ナンバリング		AL 科目	○
担当者		末永 恭(非常勤講師)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態 講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		「権利」とは何か、その根源的な意味を問い直し、憲法、民法、行政法の基本的な知識を習得し、相談援助を展開する上で、想定される法律問題に対応ができる。また、具体的に成年後見制度や関連制度の内容を理解し、誰のための何の権利擁護を実践しなければならないのかが明らかにできる。この科目での学習を通して社会福祉士として果たすべき使命と役割を理解し、鋭い人権感覚を養うことができる(DP3)。					
学修目標		1)憲法、民法、行政法が生活にどのように関わっているか説明できる。 2)成年後見制度の基本的な仕組みや申立ての流れを理解し、その特性、最近の動向を把握できる。 3)日常生活自立支援事業の概要を理解し、成年後見制度と関連付けて把握できる。 4)成年後見利用支援事業の概要を理解し、問題点を指摘できる。 5)利用者の権利擁護を図るために、専門機関、専門職がどのように連携しているのか説明できる。 6)権利擁護にかかわる専門職の役割と社会福祉士の立ち位置を確認できる。 7)判断能力の不十分な高齢者、障害者を支援する社会福祉士の活動の実際を理解し、その重要性を把握できる。 8)事例を通じて権利擁護の実践について具体的にイメージすることができる。					
実務経験のある 教員による教育		実務経験(成年後見人等 10 年以上)のある担当教員(末永)による実務に即した内容の講義である。					
評価及びフィード バックの方法		科目単位認定試験及び適宜出題するレポート、出席状況などを総合的に評価する。 適宜、授業前後に小テストを実施し、その後回答および解説をフィードバックを行う。					
準備学習・ 履修上の注意等		シラバスに記載されている学習予定を確認して、テキストの該当部分を予習する事 加えて厚生労働省 web ページなどを活用して、事前に必要な法令や制度を確認する事。これらに 90 分以上の予習時間が必要である。 講義後は、教員が配布したプリント及び自身が筆記した講義ノートを整理して、必要に応じて不明な語句を調べなおすなど、復習に 90 分以上を費やす必要がある。 講義中、口頭質問や SGD を実施するので、積極的に自身の考えや意見を述べるようにすること。					
オフィスアワー		時間割が確定次第、告知する。					
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	権利擁護に必要な法制度と憲法について基本的な概念を理解する				講 義	末 永
2	2)	民法と行政法について、権利擁護とのつながりを意識できるようになる				講 義	末 永
3	3)	法律の規範・体系・種類など基礎的な知識を理解する				講 義	末 永
4	4)	権利擁護とは何か、なぜ必要なのかを理解する				講義・SGD	末 永
5	5)	権利擁護の観点からみる福祉サービス及び制度のつながりを知る				講 義	末 永
6	6)	虐待・暴力防止関係法及び、障害者差別解消法等と権利擁護の関係性を理解する				講義・SGD	末 永
7	7)	権利擁護における意思決定支援及び意思決定支援ガイドラインを学び、最近の動向を学ぶ				講義・SGD	末 永
8	8)	インフォームド・コンセントの概念及び必要性について理解する				講 義	末 永
9	9)	個人情報保護法における守秘義務が権利擁護とどのようにつながっているかを理解する。				講 義	末 永
10	10)	権利擁護に関わる様々な組織の役割を知り、地元にある施設と関連付けて理解する				講義・SGD	末 永
11	11)	成年後見制度の概要及び歴史的変遷を理解する				講 義	末 永
12	12)	それぞれの後見類型(後見・保佐・補助)の違いについて理解する				講 義	末 永
13	13)	後見人としての立ち位置及び身上保護の重要性について理解する				講義・SGD	末 永
14	14)	成年後見制度の最近の動向を知り、民法改正について把握する				講 義	末 永
15	15)	成年後見制度と日常自立支援事業の概要と関係性と理解する				講義・SGD	末 永
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座9 権利擁護を支える法制度 中央法規					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	社会福祉調査の基礎			授業コード	121673B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科 3 年・臨床福祉学科 3 年・臨床心理学科 3 年			ナンバリング		AL 科目	○
担当者	三宮 基裕(福・臨)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】社会福祉調査の意義・目的や歴史的変遷、調査を実施するための具体的方法、実施するうえで配慮すべき点などについて学び、社会福祉調査の基礎を修得する。 【一般目標(GIO)】社会福祉調査の意義・目的と歴史的変遷、関連法律、調査・研究者としての倫理を理解するとともに、量的研究と質的研究という二つの研究方法の概要、実際の手続き、それぞれの長所と短所を修得し、社会福祉調査が実践できるようになる。 【対応するポリシーNo.】 臨床福祉学科:DP(6)、CP1(5)、CP3(1) スポーツ健康福祉学科:DP(3)、CP1(2)、CP2(3) 臨床心理学科:DP(3)、CP1(4)、CP2(2)						
学修目標	1) 社会福祉調査の意義と目的について説明できる 2)社会福祉調査と社会福祉の歴史的関係について説明できる 3)社会福祉調査における倫理や個人情報保護について説明できる 4)量的調査の方法及び調査の結果について説明できる 5)質的調査の方法及び調査の結果について説明できる 6)ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について説明できる						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	単元ごとに予習プリントの提出を求める。また、各回の授業で学習内容の確認テストを行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(予習プリントの提出率、確認テストの得点率、授業への参加)を 30%及び学期末の単位認定試験を 70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業内容の項目について、教科書を読み予習しておくこと。 復習として講義で学んだ内容を教科書で確認し、配布資料等を整理しておくこと。※単位認定試験は教科書のみ持ち込みを認める						
オフィスアワー	月・火・水・16:00～17:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)6)	社会福祉調査の意義				講 義	三 宮
2	1)6)	ソーシャルワークと社会福祉調査				講 義	三 宮
3	1)2)	社会福祉調査の種類と歴史				講 義	三 宮
4	1)4)5)	社会福祉調査の方法				講 義	三 宮
5	1)4)5)	サンプリング				講 義	三 宮
6	4)5)	量的・質的調査の種類				講 義	三 宮
7	4)5)	質問紙の作成				講 義	三 宮
8	4)	量的調査の集計と分析1(尺度とデータの視覚化)				講 義	三 宮
9	4)	量的調査の集計と分析2(記述統計量)				講 義	三 宮
10	4)	量的調査の集計と分析3(検定と解析)				講 義	三 宮
11	5)	質的調査の方法と記録				講 義	三 宮
12	5)	質的調査の分析方法				講 義	三 宮
13	3)	統計法				講 義	三 宮
14	3)	社会福祉調査における倫理と個人情報保護				講 義	三 宮
15	6)	ソーシャルワークにおける評価の意義と方法				講 義	三 宮
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座5 社会福祉調査の基礎(一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟＝編集) 中央法規出版 【978-4-8058-8235-1】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時間内に紹介					

科目名		保健医療と福祉			授業コード	121674B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科、3 年			ナンバリング	51C321P04	AL 科目	○
担当者		藤原 幸子(福・ス)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		保健医療サービスにおいて社会福祉士が利用者の生活の質の向上に貢献できるよう、保健医療制度、保健医療サービスの知識や医療機関及び特徴を学習する。近年、専門職・機関の多職種他機関連携が求められていることから、連携をキーワードに社会福祉士の役割について理解を深める。福 DP2～4						
学修目標		1) ソーシャルワーク実践において必要となる保健医療の動向を理解する。 2) 保健医療にかかわる政策、制度、サービスについて理解する。 3) 保健医療領域にかかわる社会福祉士の役割、連携・協働について理解する。 4) 保健医療の課題をもつ人に対する社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。						
実務経験のある 教員による教育		該当なし						
評価及びフィード バックの方法		定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		教科書は必ず熟読し、予習・復習をすること。						
オフィスアワー		研究室前に提示する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)4)	保健医療の課題をもつ人の理解					講 義	藤 原
2	1)4)	患者の権利					講 義	藤 原
3	1)	医療倫理と倫理的課題					講 義	藤 原
4	1)	患者の意思決定をめぐる課題					講 義	藤 原
5	1)	疾病構造の変化					講 義	藤 原
6	1)	入院医療から在宅医療へ					講 義	藤 原
7	1)2)	保健医療における福祉的課題 1					講 義	藤 原
8	1)2)	保健医療における福祉的課題 2					講 義	藤 原
9	2)	保健医療制度の概要					講 義	藤 原
10	2)	保健医療対策の概要					講 義	藤 原
11	3)	保健医療領域における専門職の役割					講 義	藤 原
12	3)	保健医療領域における連携・協働					講 義	藤 原
13	3)	保健医療領域における社会福祉士の役割					講 義	藤 原
14	4)	保健医療領域における支援の実際 1					講 義	藤 原
15	4)	保健医療領域における支援の実際 2					講 義	藤 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集「最新 社会福祉士養成講座5 保健医療と福祉」中央法規、2024					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			随時紹介する。					

科目名	福祉サービスの組織と経営			授業コード	121502B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51C322P02	AL 科目	○
担当者	山崎 睦男(非常勤講師)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.	新たな時代における福祉サービスの提供組織とその新たな経営モデルの必要性が叫ばれる中で、社会福祉士は、従来からの相談援助を中心とした職務から、幅広く福祉サービス全体の運営管理にかかわっていくことが期待される。また、地域共生社会づくりが求められている今日、利用者と地域をつなぎ、地域の包摂力を高め、地域をつくる福祉マネジメント能力が期待されている。そのために、福祉サービスの組織と経営のあり方を理解し、新たな社会福祉実践の視点の獲得と関連する知識・技術を修得する。臨床 DP(2) (3) (5)(6)、スポ DP(1)(3)(4)、心理 DP(1)(3)(6)						
学修目標	1)福祉サービスにかかわる組織や団体の概要と役割について理解し、福祉サービスの沿革や組織間連携のあり方について説明できる。 2)福祉サービスの組織と経営の基礎理論について説明できる。 3)福祉サービス提供組織の経営と実際について理解し、適切な福祉サービスの経営について説明できる。 4)福祉人材のマネジメントについて理解し、福祉人材の育成や働きやすい労働環境について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(山崎)は、社会福祉法人の経営やサービス現場への支援(社会福祉協議会)での 5 年以上の実務経験に基づき、実践的な視点から「福祉サービスの組織と経営」にかかわる知識と方法の習得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業後における小レポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(小レポート及び確認テスト、授 業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を 7 割として、包括的に評価する。また、授業時に毎回行う小レポート及び確認テストについては翌週の授業で解説を行いフィードバックする。						
準備学習・ 履修上の注意等	国家資格試験対象科目なのでテキスト以外の文献についても自己学習を進めること。また予習・復習をしっかりとやること。						
オフィスアワー	質問、相談等については、メールにて受け付ける。(講師のメールアドレスについては、講義で提示する。)						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	ーガイダンス(講義の概要と予定)ー 福祉サービスの組織と経営とは 1.福祉サービスに係る組織や団体の概要と役割 ①福祉サービスを提供する組織 ・社会福祉法人について理解する。				講 義	山 崎
2	1)	・特定非営利活動法人(NPO 法人)、医療法人、その他の法人や団体について理解する。				講 義	山 崎
3	1)	②福祉サービスの沿革と概要 ・福祉サービスの歴史を知る。 ・社会福祉制度にかかわる各種改革の概要を理解する。 ・公益的活動の推進について理解する。				講 義	山 崎
4	1)2)	③組織間連携と促進 ・組織間連携と基礎理論を理解する。 ・組織間連携の意義とマネジメントの要素を理解する。				講 義	山 崎
5	2)3)	2.福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論 ①組織運営に関する基礎理論 ・社会福祉分野における組織の特徴と組織に関する基礎理論を理解する。 ・組織における三要素、コンフリクトへの対応、モチベーションと組織の活性化について理解する。				講 義	山 崎
6	2)3)	②集団の力学に関する基礎理論 ・集団力学について理解する。 ・チーム機能とチームアプローチについて理解する。				講 義	山 崎
7	2)3)	③リーダーシップに関する基礎理論 ・リーダーとは何か、代表的なリーダーシップ理論について理解する。 ・福祉サービスにおけるリーダーシップ、フォローシップについて理解する。				講義・SGD	山 崎
8	2)3)	3.福祉サービス提供組織の経営と実際 ①経営体制 ・社会福祉法人と株式会社の経営体制の違いを知る。 ② 福祉サービス提供組織のコンプライアンスとガバナンス ・コンプライアンスとガバナンスについて理解する。				講 義	山 崎
9	2)3)	③適切な福祉サービスの経営管理 ・福祉経営における理念と戦略を理解する。 ・福祉経営におけるマーケティングについて理解する。				講 義	山 崎
10	2)3)	・苦情対応とリスクマネジメントの方法を考える。 ・サービスの質の向上と適正なサービスマネジメントを考える。				講義・SGD	山 崎
11	4)	④情報管理 ・福祉サービスの経営・運営と情報の担う役割について考える。 ・福祉サービスの情報の管理と運営について考える。				講 義	山 崎
12	2)3)	⑤会計管理と財務管理 ・財務管理・会計管理の基礎を理解する。				講 義	山 崎
13	2)3)	・福祉サービスの財源を知る。 ・社会福祉法人の財務諸表について理解する。				講 義	山 崎
14	4)	4.福祉人材のマネジメント ①福祉人材のマネジメント ・福祉人材マネジメントの基本を知る。 ・福祉人材マネジメントの方法を理解する。				講 義	山 崎

		② 福祉人材の育成 ・経営組織における福祉人材育成について理解する。 ・キャリアパスの構築とキャリアアップ支援について理解する。		
15	1)2)3)4)	③働きやすい労働環境の整備についてを理解する。 ・働きやすい労働環境の整備について理解する。 ― 講義の振り返り―	講義	山崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟(編集) 最新・社会福祉士養成講座1「福祉サービスの組織と経営」中央法規出版【978-4-8058-8244-3】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。必要に応じて参考資料を提供する。		

科目名	刑事司法と福祉			授業コード	121675B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科、3 年			ナンバリング	51C322P03	AL 科目	○
担当者	藤原 幸子(福・ス)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	近年では、刑事司法とかかわる人にさまざまな支援ニーズがあることがあることが広く認識されるようになり、司法と福祉の連携の必要性が指摘されている。本講義では、司法領域でソーシャルワークが必要とされる根拠と背景、刑事司法における近年の動向と課題に関する知識の習得を目指す。福 DP1～4						
学修目標	1) 司法分野でソーシャルワークが必要となった背景を説明することができる。 2) 相談援助活動において必要となる更生保護制度について理解する。 3) 更生保護を中心に、刑事司法・少年司法分野で活動する組織、団体及び専門職について理解する。 4) 犯罪被害者支援分野で活動する組織、団体及び専門職について理解する。 5) 刑事司法・少年司法分野の他機関等との連携の在り方について理解する。 6) 司法分野でソーシャルワークの実際と今後の展望を具体的にイメージし、描けることができる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	教科書は必ず熟読し、予習・復習をすること。						
オフィスアワー	研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	刑事司法における近年の動向				講 義	藤 原
2	1)	社会と犯罪				講 義	藤 原
3	1) 2) 3)	犯罪原因論と対策				講 義	藤 原
4	2)3)	刑罰とは何か 刑罰制度の歴史、刑罰の種類と適用の状況				講 義	藤 原
5	2)3)	刑事司法 刑事手続の概要				講 義	藤 原
6	3)5)	少年司法				講 義	藤 原
7	3)5)	施設内処遇① 成人				講 義	藤 原
8	3)5)	施設内処遇② 少年				講 義	藤 原
9	3)5)	社会内処遇① 更生保護の理念と概要				講 義	藤 原
10	3)5)	社会内処遇② 更生保護の実際				講 義	藤 原
11	6)	多様なニーズを有する犯罪行為者① 精神障害者を対象とした医療観察制度				講 義	藤 原
12	6)	多様なニーズを有する犯罪行為者② 高齢者・障害者による犯罪・非行と福祉				講 義	藤 原
13	6)	多様なニーズを有する犯罪行為者③ アディクションを抱える人と刑事司法				講 義	藤 原
14	4)	犯罪被害者等支援				講 義	藤 原
15	1) 5)6)	コミュニティと刑事司法				講 義	藤 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編「最新 社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座 10 刑事司法と福祉」中央法規出版、2025					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		随時紹介する。					

科目名	ソーシャルワーク演習Ⅰ			授業コード	121676A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(2 年) 臨床心理学部 臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51C221P11	AL 科目	○
担当者	清水 径子(福・ス)、兒崎 友美 (福・ス)、川崎 順子(福・ス)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、実践的に習得するスポ DP(3)、心理 DP(3)、臨床 DP(3)。 専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 ソーシャルワーク演習Ⅰでは、基本的な援助者としてのあり方を問い、価値観の相違や自己理解、他者理解を通して自己覚知を行うとともに、基本的な面接技術・コミュニケーション技法を習得するスポ DP(1)、心理 DP(2)、臨床 DP(4)。 授業は、個別指導ならびに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導(ロールプレイ等)を中心とする演習形態で行う。スポ DP(3)、心理 DP(2)、臨床 DP(4)。						
学修目標	1)自己覚知を行い、自身の援助者としてのあり方が説明できる。 2)基本的なコミュニケーション技術を習得する。 3)ロールプレイを通して、基本的な援助技術を習得する。 4)フィールドワークを通して面接体験を試みる。 * 木城町連携推進事業により実践場面で体験する。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(清水・兒崎・川崎)は、いずれも相談援助の実践現場 5 年以上の経験に基づき、相談援助における基本的面接技術を修得することを目的として授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業中における演習実施中の態度 50%(出席レポート、グループワークでの役割遂行、積極的な参加姿勢)、レポート試験(ソーシャルワークの視点で記述されているか等)を 50%とし、統合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	社会福祉士・精神保健福祉士資格取得予定者は履修すること 履修を可能とする関連科目の履修条件が設定されているため、該当科目を確認すること 演習授業では、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。 授業前後に関係する項目のトピックを予習する。方法は図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき 4 時間程度の予習復習をすること。						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準ずる。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。				演 習	全 員
2	1)2)	自己覚知① 自己紹介、他者紹介を通して自己観察を行い、自分を理解する。				演 習	全 員
3	1)2)	自己覚知② 他者との価値観の違いを学び、自身と専門職としての価値観の置き方を理解する。				演 習	全 員
4	1)2)	コミュニケーション技法① コミュニケーションの基本形を体験的に理解する。(言語的・非言語的)				演 習	全 員
5	1)2)	コミュニケーション技法② 基本的応答技法を理解する 初回面接の基本的応答をロールプレイで行い、面接技法を理解する。				演 習	全 員
6	1)2)3)	コミュニケーション技法③ 初回面接の基本的応答をロールプレイで行い、面接技法を理解する。				演 習	全 員
7	1)2)	カードワーク法① カードワーク法の理解とグループワークのあり方について考える 人と環境との相互作用について、構造化を試み関係性を理解する				演 習	全 員
8	1)2)	カードワーク法② カードワーク法を用いて構造化した関連図から、人と環境との相互作用のあり方を理解する。				演 習	全 員
9	1)2)	カードワーク法③ カードワーク法を用いて構造化した関連図から、人と環境との相互作用のあり方を理解する。				演 習	全 員
10	1)2)3)	フィールドワーク事前準備 調査方法の準備を行う。				演 習	全 員
11	1)2)3)	フィールドワーク事前準備② 調査方法の準備を行う。				演 習	全 員
12	4)	具体的場面による実践① フィールドワークを通して対人援助コミュニケーション技法を試みる。				演 習	全 員
13	4)	具体的場面による実践② フィールドワークを通して面接の展開を試みる。				演 習	全 員
14	4)	具体的場面による実践③ フィールドワークを通して対人援助の技法を習得する。				演 習	全 員
15	1)2)3) 4)	【授業のまとめと振り返り】 基本的面接技術の習得状況を評価し、前期演習を振り返る。				演 習	全 員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。					

科目名	ソーシャルワーク演習Ⅱ			授業コード	121677A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(2年) 臨床心理学部 臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51C222P06	AL 科目	○
担当者	清水 径子(福・ス)、児崎 友美 (福・ス)、川崎 順子(福・ス)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシーNo.	ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められるソー シャルワークの知識と技術について、実践的に習得する。スポ DP(1)(3)、心理 DP(1)(3)、臨床 DP(2)(3)。 専門援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 ソーシャルワーク演習Ⅱでは、具体的な相談援助場面及び相談援助過程を想定した実技指導(ロールプレイ)を中心とする演 習形態により行う。スポ DP(1)、心理 DP(2)(5)、臨床 DP(2)(4)。 * 木城町との連携推進事業に伴う実践も行う。スポ DP(1)(2)(4)、心理 DP(1)(2)(3)、臨床 DP(1)(2)(3)(4)。 また、ソーシャルワーク実習指導Ⅰと連動させながら、実習準備に向けて必要な知識・技術を習得する。						
学修目標	1)ソーシャルワークに係る基本姿勢・基本原則について説明できる。 2)基本的なソーシャルワークの展開プロセスが説明でき、体験的に理解する。 3)総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助について説明でき、体験的に理解する。 4)ソーシャルワークの対象領域を理解し、ソーシャルワーク実習における課題を明確にして、実習に臨む準備ができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(清水・児崎・川崎)は、いずれも相談援助の実践現場 5 年以上の経験に基づき、相談援助の過程を理解し、実践力を 修得することを目的として授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業中における演習実施中の態度 50%(出席レポート、グループワークでの役割遂行、積極的な参加姿勢)、レポート試験(ソー シャルワークの視点で記述されているか等)を 50%とし、統合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	社会福祉士・精神保健福祉士資格取得予定者は履修すること 履修を可能とする関連科目の履修条件が設定されているため、該当科目を確認すること 演習授業では、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。 授業前後に関係する項目のトピックを予習する。方法は、図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマ につき 4 時間程度の予習復習をすること。						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準ずる。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)4)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。 対象領域におけるソーシャルワーカーの具体的実践場面を理解する。				演 習	全 員
2	1)2)3) 4)	ソーシャルワークの理解 対象領域におけるソーシャルワーカーの具体的実践場面を理解する(先輩との面談・SGD)				演 習	全 員
3	1)2)3) 4)	展開プロセスの理解① ソーシャルワークの援助展開プロセスについて、ソーシャルワーク実習 19 項目と関連づけながら理解する。				演 習	全 員
4	1)2)3) 4)	展開プロセスの理解② ソーシャルワークの援助展開プロセスについて、ソーシャルワーク実習 19 項目と関連づけながら理解する。				演 習	全 員
5	1)2)	フィールド調査による課題分析① 調査から抽出された課題を整理し、まとめ作業を行う (ニーズ把握からアセスメント手法を学ぶ)				演 習	全 員
6	1)2)	フィールド調査による課題分析② 調査から抽出された課題を整理し、まとめ作業を行う。 (アセスメントの結果を元に、課題整理っを行い、プランニング段階に進める)				演 習	全 員
7	3)	フィールド調査によるプランニング① 調査から抽出された課題を整理し、目標設定、計画作成作業を行う。 (プランニングしたものをプレゼンテーションできるように準備する) 総合的かつ包括的な視点をもったプランニング手法を学ぶ。				演 習	全 員
8	3)	フィールド調査によるプランニング② 調査から抽出された課題を整理し、目標設定、計画作成作業を行う。 (プランニングしたものをプレゼンテーションできるように準備する)				演 習	全 員
9	3)	プレゼンテーション準備① プレゼンテーションの資料作成を行い、発表準備を行う。				演 習	全 員
10	3)	プレゼンテーション準備② プレゼンテーションの資料作成を行い、発表準備を行う。				演 習	全 員
11	3)	プレゼンテーションの実施と評価 プレゼンテーションを実施し、評価を得る 地域住民に対する提案、アウトリーチの重要性を理解する。《木城町連携事業》				演 習	全 員
12	3)	地域を基盤とした演習 地域福祉推進に係る住民参加と組織化活動の必要性を理解する。《木城町連携事業》				演 習	全 員
13	3)	実践の振り返り① ソーシャルワークの展開プロセスの一連の流れを再確認する。 社会資源の把握・活用の方法を理解する。《木城町連携事業》				演 習	全 員
14	3)	実践の振り返り② ソーシャルワークの展開プロセスの一連の流れを再確認する。 実践の記録を行い、記録の活用の方法を理解する。《木城町連携事業》				演 習	全 員
15	1)2)3)	【授業のまとめと振り返り】 グループを評価し後期演習を振り返る。				演 習	全 員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】	講義時に配布するプリントなどを使用する。
--------------------	----------------------

科目名	ソーシャルワーク演習Ⅲ			授業コード	121678A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(3 年) 臨床心理学部 臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51C321P05	AL 科目	○
担当者	清水 径子(福・福)、兒崎 友美 (福・福)、川崎 順子(福・福)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.	ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、実践的に習得する。臨床 DP(3)、スポ DP(1)、心理 DP(3) 専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 ソーシャルワーク演習Ⅲでは、ソーシャルワーク実習Ⅰの振り返りと同時にソーシャルワーク実習指導Ⅱの事前学習の観点からも、事例を活用したソーシャルワークの展開プロセスについて演習を通して実践できる能力を習得する臨床 DP(2)、スポ DP(1)、心理 DP(1)(2)。 授業は、個別指導ならびに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導(ロールプレイ等)を中心とする演習形態で行う。臨床 DP(4)、スポ DP(3)、心理 DP(2)。						
学修目標	1)演習のねらいと進め方を理解する。 2)ソーシャルワークの展開プロセスの具体的内容を理解するとともに、利用者や法制度、社会資源の活用状況を理解し、実践に応用できる。 3)ソーシャルワークの事例を活用し、総合的かつ包括的な相談援助について実践的に考え、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(清水・兒崎・川崎)は、いずれも相談援助の実践現場 5 年以上の経験に基づき、具体的なソーシャルワーク場面における援助技術の活用方法を修得することを目的として授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業中における演習実施中の態度(グループワークでの役割遂行、積極的な参加姿勢など)、出席レポート 50%、レポート試験(ソーシャルワークの視点で記述されているかなど)など 50%とし、統合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	社会福祉士・精神保健福祉士資格取得予定者は履修すること。 履修を可能とする関連科目の履修条件が設定されているため、該当科目を確認すること。 演習授業では、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。 授業前後に関係する項目のトピックを予習する。方法は図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき 4 時間程度の予習復習をすること。						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準ずる。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い、演習のねらいと進め方を理解する。 ソーシャルワーク実習のふりかえり①(体験の言語化/カードワーク法を用いて、実習での学びを整理する)				演 習	全 員
2	2)	ソーシャルワーク実習Ⅰの振り返り② 具体的なソーシャルワーク展開プロセスの場面を整理し、確認する。 対象者の置かれている状況や背景を理解する。(社会的排除・虐待・家庭内暴力・低所得者・ホームレスなど) ソーシャルワーク実践の実際について、自身の実践課題を明確にする。				演 習	全 員
3	2)	ソーシャルワーク実習Ⅰの振り返り③ 具体的なソーシャルワーク展開プロセスの場面を整理し、確認する。 対象者の置かれている状況や背景を理解する。(社会的排除・虐待・家庭内暴力・低所得者・ホームレスなど) ソーシャルワーク実践の実際について、自身の実践課題を明確にする。 グループメンバーでソーシャルワーク実習での学びを共有し、言語化、可視化する。				演 習	全 員
4	2)	ソーシャルワーク実習Ⅰの振り返り④ 具体的なソーシャルワーク展開プロセスの場面を整理し、確認する。 対象者の置かれている状況や背景を理解する。(社会的排除・虐待・家庭内暴力・低所得者・ホームレスなど) ソーシャルワーク実践の実際について、自身の実践課題を明確にする。 グループメンバーでソーシャルワーク実習Ⅰの学びを共有し、言語化、可視化したものを説明できるよう準備する。 メンバー間で役割分担を行い、プレゼンテーションの練習を行う。				演 習	全 員
5	2)(3)	ソーシャルワーク実践場面の理解 ソーシャルワーク実習Ⅰの実習先の状況について、相互に説明し合い、実践領域の理解を深める。 ソーシャルワーク実習Ⅱの実習先領域のイメージを具体化し、実習計画の作成準備ができる。 プレゼンテーションの練習後、グループメンバーで発表練習の課題を共有し、言語化、可視化したものを修正する。				演 習	全 員
6	2)(3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習① 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 インテーク場面における面接技法を確認する(DVD・ロールプレイ)。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション)				演 習	全 員
7	2)(3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習② 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション)				演 習	全 員
8	2)(3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習③ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション)				演 習	全 員
9	2)(3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習④ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション)				演 習	全 員
10	2)(3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習⑤ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション)				演 習	全 員

		* 領域別事例を用いて、具体的援助実践のあり方を理解する。		
11	2)3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習⑥ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション) * 領域別事例を用いて、具体的援助実践のあり方を理解する。	演 習	全 員
12	2)3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習⑦ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション) * 領域別事例を用いて、具体的援助実践のあり方を理解する。	演 習	全 員
13	2)3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習⑧ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション) * 領域別事例を用いて、具体的援助実践のあり方を理解する。	演 習	全 員
14	2)3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習⑨ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション) * 領域別事例の実践プロセスについて、全体発表を行い、共通点、相違点を理解する。	演 習	全 員
15	1)2)3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習⑩ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション) * 領域別事例の実践プロセスについて、全体発表を行い、共通点、相違点を理解する。 【授業のまとめと振り返り】 総合的かつ包括的な相談援助実践のあり方を総括し、前期演習を振り返る。	演 習	全 員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		

科目名	ソーシャルワーク演習Ⅳ			授業コード	121679A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(3年) 臨床心理学部 臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51C322P04	AL 科目	○
担当者	川崎 順子(福・スポ)、清水 径子 (福・スポ)、兒崎 友美(福・スポ)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リナーNo.	ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、実践的に習得する。臨床 DP(3)、スポ DP(1)心理 DP(3) 専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 ソーシャルワーク演習Ⅳでは、ソーシャルワーク実習Ⅱにおいてプランニングした事例をもとに、展開プロセスの理解を深める。 次に、地域福祉に関する相談援助実践の価値・知識・技術を災害をテーマに用いて、具体的な演習課題を通して実践できる能力を習得する臨床 DP(2)、スポ DP(1)、心理 DP(1)。 災害ソーシャルワークの授業は、地震、津波、洪水などの発生を想定し、個人やグループワークにてフィールドワークを行う臨床 DP(1)(2)(3)(4)、スポ DP(1)(2)(3)、心理 DP(3)(4)。						
学修目標	1)ソーシャルワーク実習Ⅱで学んだ展開プロセスを説明できる。 2)災害ソーシャルワーク演習のねらいと進め方を説明できる。 3)防災のあり方、支援のあり方を学び、説明できる。 4)防災・災害ボランティアの実際を学び説明できる。 5)防災・災害に関するフィールドワーク実践ができる。 6)地域における防災・災害対策について調査分析を行い、まとめることができる。 7)総括として、調査結果をまとめ説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(川崎・清水・兒崎)は、いずれも相談援助の実践現場 5 年以上の経験に基づき、具体的な相談援助場面における相談援助技術の活用方法を修得することを目的として授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業中における演習実施中の態度 50%、レポート課題など 50%とし、統合的に評価する。毎時間のレポートや演習状況を踏まえ、理解度や修得度を確認し、フィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	社会福祉士・精神保健福祉士資格取得予定者は履修すること 履修を可能とする関連科目の履修条件が設定されているため、該当科目を確認すること 演習授業では、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。 授業前後に 関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき 4 時間程度の予習復習をすること。						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準ずる。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	・オリエンテーション授業目的 ・ソーシャルワーク実習におけるプランニングの実施状況を確認する ・災害ソーシャルワーク実践活動・調査実施方法について確認する 演習(グループワーク) ・ソーシャルワーク実習Ⅱで作成した支援計画をグループで共有する				演 習	全 員
2	1)	ソーシャルワーク実践の理解① ソーシャルワーク実習Ⅱで作成した計画書を発表しあい、実践課題を明確にする。				演 習	全 員
3	1)	ソーシャルワーク実践の理解② ソーシャルワーク実習Ⅱで作成した計画書を共有し、今後のプランニングの実践課題を明確にする。				演 習	全 員
4	1)	災害ソーシャルワーク① 行政の災害対応の取り組みを知る (延岡市危機管理課からの講話)				演 習	全 員
5	2)3)	災害ソーシャルワーク② 災害のメカニズムを理解する(延岡市危機管理課)				演 習	全員・外部講師
6	2)3)	災害ソーシャルワーク③ ハザードマップから災害リスクの情報収集ができ、災害リスクを想定することができる。 個別避難計画や地区防災計画の作成方法を理解する。 (延岡市危機管理課)				演 習	全員・外部講師
7	2)3) 4)	災害ソーシャルワーク④ 災害時の支援状況の実際を理解する(消防署)				演 習	全員・外部講師
8	2)3) 4)	災害ソーシャルワーク⑤ 被災地への災害ボランティアセンターによる支援の実際を理解する(社会福祉協議会)				演 習	全員・外部講師
9	3)4) 5)	災害ソーシャルワーク⑥ 災害ボランティアセンターの設置運営訓練を行い、ソーシャルワークの展開プロセスの実践を理解する。 (社会福祉協議会)				演 習	全員・外部講師
10	3)4) 5)	災害ソーシャルワーク⑦ 個別避難計画・地区防災計画との関連から調査を実施する (避難経路のフィールドワーク実施 または、地区防災計画の実践活動のフィールドワーク)				演 習	全員・外部講師
11	4)5)	災害ソーシャルワーク⑧ フィールドワークの調査結果の分析・報告書作成 (避難経路のフィールドワーク実施 または、地区防災計画の実践活動のフィールドワーク)				演 習	全 員
12	3)4) 5)6)	災害ソーシャルワーク⑨ フィールドワークの調査結果の分析・報告書作成 (避難経路のフィールドワーク実施 または、地区防災計画の実践活動のフィールドワーク)				演 習	全 員
13	5)6)	災害ソーシャルワーク⑩ フィールドワークの調査結果の分析・報告書作成				演 習	全 員

		(避難経路のフィールドワーク実施 または、地区防災計画の実践活動のフィールドワーク)		
14	5)6)7)	災害ソーシャルワーク⑪ 災害 避難グッズ制作体験 フィールドワーク報告書発表準備	演 習	全 員
15	5)6)7)	災害ソーシャルワーク⑫ フィールドワーク報告書発表・評価 【演習全体振り返り】 災害ソーシャルワークにおける展開プロセスが、他の領域でのソーシャルワークと共通することを理解する。 さらに、被災者となる対象者は、平時のソーシャルワーク対象者でもあることとの関連性を見出すことができる。	演 習	全 員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		

科目名		ソーシャルワーク演習Ⅴ			授業コード	121680A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(4 年)			ナンバリング	51C421P01	AL 科目	○
担当者		鹿嶋隆志(非常勤講師)、黒須依子(心・心)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.		演習Ⅰ～演習Ⅳ並びに相談援助現場実習を通して得た相談援助技術をさらに深める。 特に社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助にかかる知識と技術を再確認し、地域を基盤とした相談援助者としての 実践能力を高める。 理論的枠組みの理解を深め、多様な場面における実践に対しても対応できるよう体系立てて考えることができる						
学修目標		1. レジデンシャルソーシャルワークの特徴と機能を理解し、説明できる。 2. レジデンシャルソーソーシャルワークの実践事例から理論との関連性を導き出すことができる。 3. フィールドソーシャルワークの特徴や機能を説明できる。 4. フィールドソーシャルワークの実践事例から理論との関連性を導き出すことができる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当は、社会福祉士又は精神保健福祉士の資格を有し、実践現場による5年以上の幅広い経験に基づき、実践現場にお ける多様な事例を教授しながら、理論的枠組みが理解できるように授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法		演習への主体的取り組みや姿勢を40%とし、演習理解度の試験を60%として総合的に評価し、随時フィードバック行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		社会福祉士・精神保健福祉士資格取得予定者は必須である。 履修条件として、他の関連科目履修状況との整合性を確認し、履修すること。 演習授業であるため、自ら積極的に発言すること。 授業前後に、4時間の予習・復習を行うこと。 課題が提示された場合は、指示に従うこと。						
オフィスアワー		各教員が提示するのオフィスアワーに準ずる。非常勤講師の場合は、授業の前後で行う。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション 演習の目的と進め方について ソーシャルワークの基本的機能					演 習	鹿嶋・黒須
2	1)	レジデンシャルソーシャルワークの特徴と機能を説明できる					演 習	鹿嶋・黒須
3	3)	フィールドソーシャルワークの特徴と機能を説明できる					演 習	鹿嶋・黒須
4	1)2)	レジデンシャルソーシャルワークの具体的実践事例①から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。					演 習	鹿嶋・黒須
5	1)2)	レジデンシャルソーシャルワークの具体的実践事例②から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。					演 習	鹿嶋・黒須
6	1)2)	レジデンシャルソーシャルワークの具体的実践事例③から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。					演 習	鹿嶋・黒須
7	1)2)	レジデンシャルソーシャルワークの具体的実践事例④から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。					演 習	鹿嶋・黒須
8	1)2)	レジデンシャルソーシャルワークの具体的実践事例⑤から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。					演 習	鹿嶋・黒須
9	3)4)	フィールドアルソーシャルワークの具体的実践事例①から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。					演 習	鹿嶋・黒須
10	3)4)	フィールドアルソーシャルワークの具体的実践事例②から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。					演 習	鹿嶋・黒須
11	3)4)	フィールドアルソーシャルワークの具体的実践事例③から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。					演 習	鹿嶋・黒須
12	3)4)	フィールドアルソーシャルワークの具体的実践事例④から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。					演 習	鹿嶋・黒須
13	3)4)	フィールドアルソーシャルワークの具体的実践事例⑤から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。					演 習	鹿嶋・黒須
14	1)2)3) 4)	まとめ					演 習	鹿嶋・黒須
15	1)2)3) 4)	まとめ					演 習	鹿嶋・黒須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			講義時にプリント等必要な教材を配布する					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			講義時に必要な教材等について紹介を行う。					

科目名	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ				授業コード	121681A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科 2 年・スポーツ健康福祉学科 2 年・臨床心理学科 2 年				ナンバリング	51C222P07	AL 科目	○
担当者	三宮基裕(福・ス)、川崎順子(福・ス)、清水径子(福・ス)、兒崎友美(福・ス)、黒須依子(心・心)、藤原幸子(福・ス)、日田剛(福・ス)	開講学期	2025 年 度 後 期		必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】 SW 実習1で実習する実習施設等の概要の理解、具体的な実習内容の理解、実習計画書の作成など、SW 実習1に向けた準備指導をおこなう。 【一般目標】 SW 実習1を円滑かつ効果的にこなすために、実習の意義を明確にするとともに、実習生としての基本的態度やマナー、専門職としての倫理・行動規範を修得する。また、実習のねらいや目標を理解し、実習計画書が作成できるようになることを目標とする。 【対応するポリシーNo.】 臨床福祉学科:DP(3)、CP1(5)、CP2(3)、CP3(1) スポーツ健康福祉学科:DP(3)、CP1(2)、CP2(3) 臨床心理学科:DP(3)、CP1(4)、CP2(2)							
学修目標	1)SW 実習の意義について説明できる。 2)実習を行う実習分野の役割・機能が説明できる。 3)実習分野の選定動機が説明できる。 4)実習に向けての事前学習・事前準備ができる。 5)実習先の法的根拠や業務内容が説明できる。 6)実習に必要なとされる基本的態度を示すことができる 7)具体的な実習課題を明確に説明できる。							
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員の半数は社会福祉士の有資格者で、福祉分野での実務経験が5年以上ある教員もあり、その経験に基づき社会福祉士として必要な知識、技術、価値の修得を目標とした授業を行う。							
評価及びフィード バックの方法	学期中および学期末に実施する試験の成績、課題の提出状況、受講態度などにより、総合的に評価する。 各評価の配分は、実習ファイルに掲載している評価表に記しているので確認をしておくこと。 途中、中間試験を実施する。中間試験が不合格の場合はその段階で不可とする。							
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習】 授業時間外での作業(書類作成や関係資料の収集)を求める 【履修上の注意等】 社会福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 SW 実習指導2～3および SW 実習1・2の修得を前提とした講義のため、資格取得を目指していない場合は履修できない。 本学既定の内規を満たしていること。(学生便覧を参照) 第1回目の授業でスケジュールを配布するので、60 分を目安に予習・復習を行うこと。 授業や実習先で得られた資料は適切に整理・管理し、実習ファイルとともに授業に必ず持参すること。 指示された課題、書類等は提出期日を厳守すること。 ソーシャルワーク演習と連動して進めるため、下記の授業計画を変更することがある。 【授業計画の補足】 15 週目に実習指導者との面談会をおこない、16 週目を授業計画の 15 回目とする							
オフィスアワー	実習センター 9:00～17:00							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)	実習の理解:実習の目的、指導内容、履修条件、評価方法など ソーシャルワーク実習の意義と目的					演 習	全 員
2	2)3)	実習先の理解:実習分野の概要について					演 習	全 員
3	1)3)	個別面談:実習に対する意欲、資格所得の考え					演 習	全 員
4	4)	実習生としての心得①:体調管理、健康管理について					演 習	全 員
5	1)2)	基本実習プログラムと実習計画・実習課題の理解					演 習	全 員
6	1)2)3) 4)	中間試験①:倫理綱領・行動規範 実習関係書類の作成①:自己紹介書の書き方説明・作成					演 習	全 員
7	7)	実習計画書の作成①:計画書の意義と作成方法					演 習	全 員
8	2)3)5) 7)	実習関係書類の作成②:実習先の概要					演 習	全 員
9	7)	実習計画書の作成②:実習計画の立案					演 習	全 員
10	4)	中間試験②:ソーシャルワーク全般・分野理解					演 習	全 員
11	6)	実習生としての心得②:実習マナー、電話のかけ方					演 習	全 員
12	1)2)4)	実習日誌の書き方①:日誌の意義と書き方					演 習	全 員
13	1)2)4)	実習日誌の書き方②:書き方演習					演 習	全 員

14	3)7)	実習指導者との面談会準備	演 習	全 員
15	1)4)7)	事前指導の総括 SW 実習1の注意事項説明	演 習	全 員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		大学が配布する実習ファイル(授業時間内に配布)		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。		

科目名		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ			授業コード	121682A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科 3 年・スポーツ健康福祉学科 3 年・臨床心理学科 3 年			ナンバリング	51C321P06	AL 科目	○
担当者		三宮基裕(福・臨)、川崎順子(福・臨)、清水径子(福・臨)、兒崎友美(福・臨)、黒須依子(心・心)、藤原幸子(福・臨)、日田剛(福・臨)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		【授業の概要】 SW 実習1での実習経験を振り返り理論と実践の統合化を図るとともに、SW 実習2の実習先を理解して具体的な実習課題を立てるためのものである。 【一般目標】 SW 実習1の体験と理論を統合化するとともに、SW 実習2を円滑かつ効果的にこなすために、実習先の法的根拠、業務内容、対象者の理解、相談援助専門職として求められる資質、技術、価値等を修得し、実習における自己の課題を明確にすることを目 標とする。 【対応するポリシーNo.】 臨床福祉学科:DP(3)、CP1(5)、CP2(3)、CP3(1) スポーツ健康福祉学科:DP(3)、CP1(2)、CP2(3) 臨床心理学科:DP(3)、CP1(4)、CP2(2)						
学修目標		1)実習で得た資料や記録を整理することができる 2)理論と実践を統合化した結果を説明できる 3)実習の事前準備に必要な心構えができる。 4)実習先の概要や法的根拠・役割・機能が説明できる。 5)実習先の業務内容や利用者の特性が説明できる。 6)専門職に必要とされる知識・技術について説明できる。 7)実習目標・課題を明確に設定することができる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当教員の半数は社会福祉士の有資格者で、福祉分野での実務経験が5年以上ある教員もあり、その経験に基づき社会福祉士として必要な知識、技術、価値の修得を目標とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法		学期中および学期末に実施する試験の成績、課題の提出状況、実習課題の内容などにより、総合的に評価する。 各評価の配分は、実習ファイルに掲載している評価表に記しているので確認をしておくこと。 途中、中間試験を実施する。中間試験が不合格の場合はその段階で不可とする。						
準備学習・ 履修上の注意等		社会福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 SW 実習指導1および SW 実習1が修得済であり、本学既定の内規を満たしていること。(学生便覧を参照) SW 実習指導1・3および SW 実習1・2の修得を前提とした講義のため、資格取得を目指していない場合は履修できない。 第1回目の授業でスケジュールを配布するので、60分を目安に予習・復習を行うこと。 下記授業計画のうち、15回目は分野別指導③とし、16回目に「感染症教育・総括」の授業をおこなう。 授業や実習先で得られた資料は適切に整理・管理し、実習ファイルとともに授業に必ず持参すること。 指示された課題、書類等は提出期日を厳守すること。 6月下旬の土曜日に SW 実習1の実習施設指導者への報告会と SW 実習2の実習施設指導者との面談会を実施する。 SW 演習と連動して進めるので、授業内容を変更することがある。						
オフィスアワー		実習センター 9:00～17:00						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)3)	講義概要の説明、SW 実習1の資料・記録の整理					演 習	全 員
2	2)4)5) 6)7)	SW 実習1の振り返り指導① 実習体験の共有					演 習	全 員
3	2)6)	SW 実習1の振り返り指導② 体験と理論の統合化と図解化					演 習	全 員
4	2)4)5) 6)7)	SW 実習1の振り返り指導③ 実習報告書の作成					演 習	全 員
5	2)4)5) 6)7)	分野別実習報告会					演 習	全 員
6	3)4)	SW 実習2 実習先の理解					演 習	全 員
7	3)7)	SW 実習2 実習計画の立案① 自己紹介書の作成					演 習	全 員
8	3)7)	SW 実習2 実習計画の立案② 実習計画書の作成					演 習	全 員
9	3)4)7)	実習指導者会議の主旨説明					演 習	全 員
10	3)4)7)	実習指導者会議の準備					演 習	全 員
11	3)4)7)	実習指導者会議の振り返り					演 習	全 員
12	5)6)	中間試験(SW・分野理解)					演 習	全 員
13	4)5)6)	分野別指導① 利用者・地域理解					演 習	全 員
14	4)5)6)	分野別指導② 日誌の書き方、ロールプレイ					演 習	全 員

15	3)7)	感染症教育、総括	演 習	全 員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		大学が配布する実習ファイル(授業時間内に配布)		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜、紹介する		

科目名	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ			授業コード	121683A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科 3 年・スポーツ健康福祉学科 3 年・臨床心理学科 3 年			ナンバリング	51C322P05	AL 科目	○
担当者	三宮基裕(福・臨)、川崎順子(福・臨)、清水径子(福・臨)、児嶋友美(福・臨)、黒須依子(心・心)、藤原幸子(福・臨)、日田剛(福・臨)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】 ソーシャルワーク実習の体験や成果を振り返り、ソーシャルワーカーとしての資質、価値、技術进行评估し、今後の自己課題を明確にするためのものである。 【一般目標】 ソーシャルワーク実習での具体的な援助活動や体験をグループワークや個別指導により振り返り、実習課題の達成状況の確認や評価をおこない、自己課題を見出していく。実習の最終段階として、報告会での発表や報告書の作成により、社会福祉士として求められるコミュニケーションや円滑な人間関係の形成、さらに利用者やその関係者への権利擁護や支援のあり方、多職種との連携、社会資源の活用など必要な専門知識・技術及び関連知識の理解を深め、総合的に対応できる能力を習得することを目指す。 【対応するポリシーNo.】 臨床福祉学科:DP(3)、CP1(5)、CP2(3)、CP3(1) スポーツ健康福祉学科:DP(3)、CP1(2)、CP2(3) 臨床心理学科:DP(3)、CP1(4)、CP2(2)						
学修目標	1)実習の振り返りを行い、実習課題の達成状況を整理することができる。 2)援助関係の形成状況を振り返り、自己課題が明確に説明できる。 3)実習を踏まえて、専門的知識・技術を体系化して説明できる。 4)実習の総括を行い、報告書にまとめることができる。 5)実習状況の相互発表、指導者からの評価を受け、自己評価できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員の半数は社会福祉士の有資格者で、福祉分野での実務経験が 5 年以上ある教員もあり、その経験に基づき社会福祉士として必要な知識、技術、価値の修得を目標とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	学期中に実施する試験の成績、課題の提出状況、実習の報告内容などにより、総合的に評価する。 各評価の配分は、実習ファイルに掲載している評価表に記しているので確認をしておくこと。						
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習】 授業時間外での作業(記録の整理やグループワーク資料の収集・作成など)を求める 【履修上の注意等】 社会福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 SW 実習指導 1・2および SW 実習 1・2を終えていなければ履修できない。 第1回目の授業でスケジュールを配布するので、60 分を目安に予習・復習を行うこと。 授業や実習先で得られた資料は適切に整理・管理し、実習ファイルとともに授業に必ず持参すること。 指示された課題、書類等は提出期日を厳守すること。						
オフィスアワー	実習センター 9:00～17:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 授業スケジュールに基づく実習事後の振り返りの必要性の理解、実習のまとめに向けての心構え				演 習	全 員
2	1)2)	【分野別実習事後振り返り1】 実習の総体的な振り返り、SGD や成果発表などによる実習課題の達成状況の確認				演 習	担当教員
3	1)2)	【分野別実習事後振り返り2】 実習の総体的な振り返り、SGD や成果発表などによる実習課題の達成状況の確認				演 習	担当教員
4	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り3】 実習における具体的な援助関係の形成状況の振り返り、SGD や成果発表による自己課題の明確化				演 習	担当教員
5	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り4】 分野別発表会				演 習	担当教員
6	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り5】 実習における専門的知識や技術の活用状況の振り返り、SGD や成果発表などによる自己課題の明確化				演 習	担当教員
7	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り6】 実習における専門的知識や技術の活用状況の振り返り、SGD や成果発表などによる自己課題の明確化				演 習	担当教員
8	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り7】 実習における専門的知識や技術の活用状況の振り返り、SGD や成果発表などによる自己課題の明確化				演 習	担当教員
9	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り8】 実習における専門的知識や技術の活用状況の振り返り、SGD や成果発表などによる自己課題の明確化				演 習	担当教員
10	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り9】 実習先からの実習評価表を踏まえ指導教員との個別面談の実施。実習の自己課題や到達状況の整理。				演 習	担当教員
11	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り 10】 実習先からの実習評価表を踏まえ指導教員との個別面談の実施。実習の自己課題や到達状況の整理。				演 習	担当教員
12	4)	【分野別実習事後振り返り 11】 実習の総体的なまとめ、実習報告書の作成				演 習	担当教員
13	4)	【分野別実習事後振り返り 12】 実習の総体的なまとめ、実習報告書の作成				演 習	担当教員
14	5)	【実習報告全体会1】 実習報告書によるまとめ、他分野の実習状況について代表学生から実習報告発表。実習指導者・教員からの講評				演 習	全 員

15	5)	【実習報告全体会2】 実習報告書によるまとめ、他分野の実習状況について代表学生から実習 報告発表。実習指導者・教員からの講評。実習の総括	演 習	全 員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		大学が配布する実習ファイル(授業時間内に配布)		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。		

科目名	ソーシャルワーク実習Ⅰ			授業コード	121684B101	単位数 (時間数)	2 単位 (60)
配当学科(学年)	臨床福祉学科 2 年・スポーツ健康福祉学科 2 年・臨床心理学科 2 年			ナンバリング	51C222P08	AL 科目	○
担当者	三宮基裕(福・臨)、川崎順子(福・臨)、清水径子(福・臨)、兒崎友美(福・臨)、黒須依子(心・心)、藤原幸子(福・臨)、日田剛(福・臨)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】ソーシャルワークに係る知識と技術について、学外実習により具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術などを 体得する。 【一般目標】実習課題・実習計画に基づいて、利用者や関係者の権利擁護や支援のあり方、多職種との連携、社会資源の活用 など、必要な専門知識・技術および関連知識を実践的に理解し、社会福祉士として求められる資質、技術、倫理、自己に求めら れる課題を明確にしながら、総合的に対応できる能力を習得することを目標とする。実習期間を通じて以下の授業内容に示す 15 の項目について到達目標達成に向けて実習に取り組む。 【対応するポリシーNo.】 臨床福祉学科:DP(3)、CP1(5)、CP2(3)、CP3(1) スポーツ健康福祉学科:DP(3)、CP1(2)、CP2(3) 臨床心理学科:DP(3)、CP1(4)、CP2(2)						
学修目標	1)社会人としての基本的態度を習得する。 2)実習課題を意識しながら、積極的・主体的に実習を行うことができる。 3)実習記録等提出物を期限内に的確に提出できる。 4)利用者や関係者と円滑な人間関係・援助関係を形成し、支援計画の作成・実施・評価ができる。 5)多職種や地域の社会資源等と連携しチームアプローチや地域への働きかけができる。 6)施設・機関・団体等の経営や運営管理の説明ができる 7)専門職としての職業倫理と役割・責任が説明できる 8)ソーシャルワークの技術が活用できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員の半数は社会福祉士の有資格者で、福祉分野での実務経験が 5 年以上ある教員もあり、その経験に基づき社会 福祉士として必要な知識、技術、価値の修得を目標とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	実習先の指導者の評価ならびに帰校・巡回指導での個別指導に基づいて総合的に評価する。 評価項目および評価の配分は実習ファイルに掲載している評価表に基づいて評価する。 また詳細な評価方法については授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習】 SW 実習指導1で学んだことを整理し SW 実習1に臨むこと。 【履修上の注意等】 SW 実習指導1～3および SW 実習1・2の修得を前提とした講義のため、資格取得を目指していない場合は履修できない。 実習に関する申し合わせの条件を満たしておくこと。 本学が指定した実習先で 8 日間以上 60 時間以上実習する。実習期間は 2 月中旬から 3 月中旬を原則とする。 実習期間中は実習に専念すること。 実習期間中、指導が困難と判断されたときは実習を中止することがある。						
オフィスアワー	実習センター 9:00～17:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	① 社会人としての態度・マナー				実 習	全 員
2	1)	② 出勤時間や注意事項等の業務遂行の規則の遵守				実 習	全 員
3	2)	③ 積極的・主体的な実習態度				実 習	全 員
4	2)	④ 実習に関わった職員や関係者との強調性				実 習	全 員
5	3)	⑤ 実習記録やその他の書類等の的確な作成および期限内の提出				実 習	全 員
6	4)	⑥ 利用者や関係者等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成				実 習	全 員
7	4)	⑦ 利用者やその関係者等との援助関係の形成				実 習	全 員
8	4)	⑧ 利用者や地域の状況を理解し、生活上の課題の把握、支援計画の作成と実施及び評価				実 習	全 員
9	4)	⑨ 利用者やその関係者等への権利擁護活動とその評価				実 習	全 員
10	5)	⑩ 多職種連携及びチームアプローチの実践的理解				実 習	全 員
11	5)	⑪ 実習先が地域社会の中で果たす役割の理解及び具体的な地域社会への働きかけ				実 習	全 員
12	5)	⑫ 地域における分野横断的・業種横断的な関係形成と社会資源の活用・調整・開発に関する理解				実 習	全 員
13	6)	⑬ 施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際				実 習	全 員
14	7)	⑭ 社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任の理解				実 習	全 員
15	8)	⑮ ソーシャルワーク実践に求められる技術の実践的理解				実 習	全 員

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	大学が配布する実習ファイル(授業時間内に配布)
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	使用しない。

科目名		ソーシャルワーク実習Ⅱ			授業コード	121685D101	単位数 (時間数)	4 単位 (180)
配当学科(学年)		臨床福祉学科 3 年・スポーツ健康福祉学科 3 年・臨床心理学科 3 年			ナンバリング	51C321P07	AL 科目	○
担当者		三宮基裕(福・臨)、川崎順子(福・臨)、清水径子(福・臨)、兒崎友美(福・臨)、黒須依子(心・心)、藤原幸子(福・臨)、日田剛(福・臨)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		【授業の概要】ソーシャルワークに係る知識と技術について、学外実習により具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術などを 体得する。 【一般目標】実習課題・実習計画に基づいて、利用者や関係者の権利擁護や支援のあり方、多職種との連携、社会資源の活用 など、必要な専門知識・技術および関連知識を実践的に理解し、社会福祉士として求められる資質、技術、倫理、自己に求めら れる課題を明確にしながら、総合的に対応できる能力を習得することを目標とする。実習期間を通じて以下の授業内容に示す 15 の項目について到達目標達成に向けて実習に取り組む。 【対応するポリシーNo.】 臨床福祉学科:DP(3)、CP1(5)、CP2(3)、CP3(1) スポーツ健康福祉学科:DP(3)、CP1(2)、CP2(3) 臨床心理学科:DP(3)、CP1(4)、CP2(2)						
学修目標		1)社会人としての基本的態度を習得する。 2)実習課題を意識しながら、積極的・主体的に実習を行うことができる。 3)実習記録等提出物を期限内に的確に提出できる。 4)利用者や関係者と円滑な人間関係・援助関係を形成し、支援計画の作成・実施・評価ができる。 5)多職種や地域の社会資源等と連携しチームアプローチや地域への働きかけができる。 6)施設・機関・団体等の経営や運営管理の説明ができる 7)専門職としての職業倫理と役割・責任が説明できる 8)ソーシャルワークの技術が活用できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当教員の半数は社会福祉士の有資格者で、福祉分野での実務経験が 5 年以上ある教員もあり、その経験に基づき社会 福祉士として必要な知識、技術、価値の修得を目標とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法		実習先の指導者の評価ならびに帰校・巡回指導での個別指導に基づいて総合的に評価する。 評価項目および評価の配分は実習ファイルに掲載している評価表に基づいて評価する。 また詳細な評価方法については授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等		【準備学習】 SW 実習指導1および SW 実習指導2、SW 実習1で学んだことを整理し SW 実習2に臨むこと。 【履修上の注意等】 SW 実習指導1～3および SW 実習1・2の修得を前提とした講義のため、資格取得を目指していない場合は履修できない。 実習に関する申し合わせの条件を満たしておくこと。 本学が指定した実習先で 24 日間以上 180 時間以上実習する。実習期間は 8 月中旬から 9 月中旬を原則とする。 実習期間は実習に専念すること。 実習期間中、指導が困難と判断されたときは実習を中止することがある。						
オフィスアワー		実習センター 9:00～17:00						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	① 社会人としての態度・マナー					実 習	全 員
2	1)	② 出勤時間や注意事項等の業務遂行の規則の遵守					実 習	全 員
3	2)	③ 積極的・主体的な実習態度					実 習	全 員
4	2)	④ 実習に関わった職員や関係者との強調性					実 習	全 員
5	3)	⑤ 実習記録やその他の書類等の的確な作成および期限内の提出					実 習	全 員
6	4)	⑥ 利用者や関係者等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成					実 習	全 員
7	4)	⑦ 利用者やその関係者等との援助関係の形成					実 習	全 員
8	4)	⑧ 利用者や地域の状況を理解し、生活上の課題の把握、支援計画の作成と実施及び評価					実 習	全 員
9	4)	⑨ 利用者やその関係者等への権利擁護活動とその評価					実 習	全 員
10	5)	⑩ 多職種連携及びチームアプローチの実践的理解					実 習	全 員
11	5)	⑪ 実習先が地域社会の中で果たす役割の理解及び具体的な地域社会への働きかけ					実 習	全 員
12	5)	⑫ 地域における分野横断的・業種横断的な関係形成と社会資源の活用・調整・開発に関する理解					実 習	全 員
13	6)	⑬ 施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際					実 習	全 員
14	7)	⑭ 社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任の理解					実 習	全 員
15	8)	⑮ ソーシャルワーク実践に求められる技術の実践的理解					実 習	全 員

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	大学が配布する実習ファイル(授業時間内に配布)
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	使用しない。

科目名	社会福祉学			授業コード	120543B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	51C122P01	AL 科目	
担当者	横山裕(臨床心理)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選択(臨床心理職にニーズを有する者)	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	(1)現代社会における社会福祉の意義・理念を理解するために、日本や海外の社会福祉の歴史を学習する。(DP1,CP1) (2)医療従事者の基礎知識として、社会保障関連の法律・制度・機関・サービス等について理解を深める。(DP3,CP2) (3)日本が直面する少子高齢社会の要因と今後の課題、セーフティネットとしての社会保障施策を具体的に学習する。 (4)医療・保健・福祉に関わる専門職としての役割や援助者としての基本的姿勢について学ぶ。(DP3,CP7)						
学修目標	1)医療と社会福祉制度との関連について説明できる。 2)社会福祉の形成過程について理解し、説明できる。 3)社会福祉保障制度の課題、改革について説明できる。 4)生活保護に関する特徴的事項を説明できる。 5)高齢者福祉、介護保険に関する特徴的事項を説明できる。 6)児童福祉に関する特徴的事項を説明できる。 7)身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がいに関する特徴的事項を説明できる。 8)所得保障制度(年金、雇用、労災、医療保険)に関する特徴的事項を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	非該当						
評価及びフィード バックの方法	学内の「教務内規」又は、「単位認定基準」等に基づいた「筆記試験」による評価。 オフィスアワーなどを活用して個別にフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	1. 教科書を毎回必ず持参すること。 2. 講義ごとの資料で授業内容の要点を復習すること。 3. 次回講義内容について、配布資料、インターネット等で予習して受講すること。 4. 1回の授業にあたり4時間を目安に予習、復習を行うこと。						
オフィスアワー	月水金 12:30~13:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)4)~8)	【社会福祉の概念とその範囲】 医療従事者として社会福祉制度を学ぶ基本的な取り組みの姿勢や、多面的な捉え方の重要性を認識する。ノーマライゼーションの理念を実社会で発揮できるよう、社会福祉学を知識のみならず、人間価値として理解できるよう学習する。				講 義	横 山
2	2)	【日本及び欧米の社会福祉の歴史】 我が国の社会福祉事業の基礎を築いた先人達の偉業を学ぶ。また、日本の社会福祉制度に影響を及ぼした欧米を中心とした諸国の社会福祉の歴史、思想の背景を理解する。				講 義	横 山
3	2)	【日本国憲法第25条及び福祉六法の成立と概要】 終戦と同時に法治国家の基本として成立した日本国憲法、中でも社会福祉の理念を司る第 25 条を詳細に分析する。関連する福祉三法や福祉六法について、成立時期、各法の目的の概要を学習し、日本の福祉施策の全体像を理解する。				講 義	横 山
4	2)	【社会保障制度変遷の概要と今後の取り組み】 戦後から現在に至るまで、医療・福祉・保険制度の変遷と具体的な取り組みを理解し、我が国の社会・経済活動との関連を理解する。社会保障制度の充実が国民にとって不可欠な制度であることを理解する。				講 義	横 山
5	2)3)	【社会福祉基礎構造改革の骨子とねらい】 戦後間もなく構築された福祉関連法は時代の推移に伴い改正せざるを得ない状況が生じた。時代に呼応し変化する国民社会生活と社会保障のニーズに応えるべく実施された社会福祉基礎構造改革の内容と目的を理解する。				講 義	横 山
6	2)3)	【日本の社会福祉の現況と今後の推移】 国勢調査を基にしたデータを分析し、過去との比較により人口動態や出生率の低下による少子社会の原因や平均寿命の延びに伴う高齢社会の進展等の現状を把握し、将来の推計により今後の福祉施策を推察する。				講 義	横 山
7	4)	【生活保護法の解説及び現況と課題】 日本国憲法第 25 条を具現化する生活保護法の成立経緯と変遷を学習する。制度内容、低所得者や生活困窮者に対する救済と自立に向けた事業の内容を理解し、医療従事者として制度を活用できるような見識を深める。				講 義	横 山
8	5)	【高齢者保健福祉と老人福祉法をはじめとする高齢者福祉施策の経緯】 高齢者の特質や老人福祉法成立の経緯、基本的理念及び目的について学習し、高齢社会の現況を理解する。また、介護保険制度導入までの取り組みを学習する。				講 義	横 山
9	5)	【介護保険法の成立経緯、詳細と現況及び課題】 2000 年 4 月より導入された介護保険法成立の経緯や法の基本的理念・目的・制度の内容について理解し、高齢社会を支える法制度の導入に至った理由と現況を理解する。				講 義	横 山
10	5)	【高齢者福祉の現状及び課題】 ケアマネジメント、ケアプラン、認知症、福祉用具貸与など介護保険制度に関連する具体的取組みを理解し、医療従事者として高齢者福祉の課題の認識を深める。介護保険制度の取組みについて自らの身近な問題として意識できるよう学習する。				講 義	横 山
11	6)	【児童福祉法・母子及び寡婦福祉法の現況と課題】 児童福祉法及び母子寡婦福祉法の成立の経緯、基本的理念及び目的について理解し、保育施策、障がい児施策、その他児童にかかわる諸課題について学習する。更に母子寡婦家庭の現況を理解すると共に、医療従事者としての問題意識を持つ。				講 義	横 山
12	7)	【障害保健福祉の法律、障害の概念、リハビリテーションについて】 障害に関連する身体障害者福祉法・知的障害者福祉法・障害者基本法の経緯や基本的理念及び目的を理解する。また、国際的及び日本における障害の概念について経緯を考察し、障害概念の変化を確認する。また、障害とリハビリテーションの関連についても理解を深める。				講 義	横 山
13	7)	【障害者総合支援法、障害者保健施策と課題】				講 義	横 山

		身体障害者、知的障害者、精神障害者などの障害者総合支援法の基本的理念及び目的を理解し、現実的な障がい者福祉制度の現況を把握する。障がい者福祉への取り組みを理解し、今後、医療従事者として障がい者医療に携わる当事者としての問題意識を持つ。		
14	8)	【社会保障制度としての年金、雇用、労働者災害補償、医療保険制度の解説と課題】 社会保障制度としての公的年金制度、雇用保険、労働者災害保険、医療保険制度の詳細を理解し、セーフティネット機能としての社会保障制度を理解する。	講 義	横 山
15	4)～8)	【社会保障の機能、体系と範囲、社会福祉の実施体制について】 社会保障機能の全般的視点から所得再配分、ナショナルミニマム・セーフティネット機能など再確認する。社会保障制度体系として、社会保険・公的扶助・社会福祉・公衆衛生及び医療・老人保健制度など医療従事者が把握しておくべき制度を再整理する。	講 義	横 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度③ 社会福祉 第17版 メヂカルフレンド社		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。		

科目名	基礎医学			授業コード	121883B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(1 年生)			ナンバリング		AL 科目	
担当者	吉武 重徳(臨・臨)、川野 純一 (非常勤講師)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	必 須	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	基礎医学では、医学総論、解剖学、生理学及び病理学の観点から、言語聴覚療法に関わる人体の構造と機能の知識を系統的に学ぶ。人体の正常な基本構造を知ることが医学の根本をなし、病理・病態を理解するために不可欠である。解剖学では、正常な人体の構造と機能を理解するために、人体を構成する細胞・組織・器官の顕微解剖および肉眼解剖レベルでの構造と機能に関する基本的知識を修得する。授業は、講義及び人体模型・パールチャルスライドを用いたスモールグループディスカッション(SGD)で進められ、解剖学総論、細胞、組織、骨格系、筋系、循環器系、消化器系などについて学習する。						
学修目標	1)課題について概念について説明できる。 2)課題について成因と分類について説明できる。 3)課題について概略について説明できる。 4)課題について診断と検査について説明できる。 5)課題について代表的な疾患の症状や経過、治療方法について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	本教員は医療の臨床経験を有する医師として、大学付属病院等で習得した知識とスキルを本講義に活かして受講生に適合する教育を提供する。						
評価及びフィード バックの方法	学習への取り組み姿勢(講義後のレポート提出、質問・発言など授業への参加)を 10%及び、学期末の単位認定試験を 90%として、単位認定を行う。 なお、講義後レポートの内容を勘案し、次回講義時に適宜、フォロー・フィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	準備学習として事前に課題が提示された場合は必ず事前学習として授業前に概略を把握することを目標とする。 授業終了後は、復習が容易になるように簡潔に要点をまとめることを目標とする。						
オフィスアワー	水曜日 10:45～13:00 金曜日 10:45～12:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1-5	医学総論1 健康・疾患・障害と社会環境				講 義	吉 武
2	1-5	医学総論2 医療倫理と医療行為				講 義	吉 武
3	1-5	医学総論3 人口、保健統計、疫学の基礎				講 義	吉 武
4	1-5	医学総論4 健康管理、予防医学				講 義	吉 武
5	1-5	医学総論(5) 保健(母子、成人、老人、精神、環境)				講 義	吉 武
6	1-5	解剖学 1 人体の構成, 細胞, 組織, 運動器系				講 義	川 野
7	1-5	解剖学 2 神経系 1(中枢神経, 脳神経)				講 義	川 野
8	1-5	解剖学 3 神経系 2(脊髄神経, 自律神経), 循環器系				講 義	川 野
9	1-5	解剖学 4 呼吸器系, 消化器系				講 義	川 野
10	1-5	解剖学 5 泌尿生殖器系, 内分泌器系, 発生				講 義	川 野
11	1-5	生理・病理学(2) 生理学基礎				講 義	吉 武
12	1-5	生理・病理学2 運動機能				講 義	吉 武
13	1-5	生理・病理学3 感覚機能				講 義	吉 武
14		生理・病理学4 睡眠と脳波、記憶と学習				講 義	吉 武
15	1-5	生理・病理学5 自立機能、呼吸、循環、消化、吸収				講 義	吉 武
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし。」					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし。					

科目名	臨床医学Ⅰ			授業コード	121884B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(1 年生)			ナンバリング		AL 科目	
担当者	吉武 重徳(臨・臨)、堀 徹也(非常勤講師)、山崎 俊輔(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	必 須	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	臨床医学Ⅰでは、言語聴覚療法に必要な臨床医学(内科、小児科、精神医学の基礎的知識を学び、言語聴覚領域の疾患との関連を系統的に理解する。内科学は、臨床医学の基礎をなす。日常診療のなかで頻度の高い疾患と、最近話題になることの多い疾患について、概要、頻度、症候と病態生理、診断、治療と予後の要点を理解する。また、小児の発達と成長や精神医学の知識について学習する。						
学修目標	1)課題について概念について説明できる。 2)課題について成因と分類について説明できる。 3)課題について概略について説明できる。 4)課題について診断と検査について説明できる。 5)課題について代表的な疾患の症状や経過、治療方法について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	本教員は医療の臨床経験を有する医師として、大学付属病院等で習得した知識とスキルを本講義に活かして受講生に適合する教育を提供する。						
評価及びフィード バックの方法	学習への取り組み姿勢(講義後のレポート提出、質問・発言など授業への参加)を 10%及び、学期末の単位認定試験を 90%として、単位認定を行う。 なお、講義後レポートの内容を勘案し、次回講義時に適宜、フォロー・フィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	準備学習として事前に課題が提示された場合は必ず事前学習として授業前に概略を把握することを目標とする。 授業終了後は、復習が容易になるように簡潔に要点をまとめることを目標とする。						
オフィスアワー	水曜日 10:45～13:00 金曜日 10:45～12:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
前期学1)	1)~5)	内科学1 臨床医学の基礎				講 義	吉 武
前期学2)	1)~5)	内科学2 高頻度診療疾患の概要、頻度、症候				講 義	吉 武
前期学3)	1)~5)	内科学3 高頻度診療疾患の病態生理				講 義	吉 武
前期学4)	1)~5)	内科学4 高頻度診療疾患の診断				講 義	吉 武
前期学5)	1)~5)	内科学5 高頻度診療疾患の治療と予防				講 義	吉 武
小児学1)	1)~5)	小児科学1 小児の発達と成長				講 義	山 崎
小児学2)	1)~5)	小児科学2 胎児医学と出生前医学				講 義	山 崎
小児学3)	1)~5)	小児科学3 言語聴覚領域の疾患				講 義	山 崎
小児学4)	1)~5)	小児科学4 言語聴覚領域の治療				講 義	山 崎
小児学5)	1)~5)	小児科学5 まとめ				講 義	山 崎
精神医学1)	1)~5)	精神医学1【精神疾患の症状と診断】 異常を判定する基準、精神医学特有の方法(了解、追体験、解釈等)				講義・SGD	堀
精神医学2)	1)~5)	精神医学2【精神疾患の症状と診断】 精神症状の概略				講 義	堀
精神医学3)	1)~5)	精神医学3【精神疾患の症状と診断】 伝統的分類(器質性、内因性、心因性)、国際的診断分類(ICD、DSM)				講 義	堀
精神医学4)	1)~5)	精神医学4【精神疾患の症状と診断】 精神障害の評価と診断、薬物療法				講 義	堀
精神医学5)	1)~5)	精神医学5【精神障害の理解】 精神障害の概念、健康の定義、健康と精神障害の違い、ICF の考え方				講 義	堀
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 精神保健福祉士養成講座 1 精神医学と精神医療 一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集【ISBN 978-4-8058-8252-8】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし。					

科目名	リハビリテーション医学				授業コード	120088B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(1年)				ナンバリング	51S321P01	AL 科目	
担当者	松山 光生(臨・臨)、荒川 英樹 (非常勤講師)、山口 洋一郎(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 前期		必修・選択	必修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.	言語聴覚障害に関わる知識・技能を用い、評価に必要なプロセスが遂行でき(DP3)、適切な訓練目標を設定し、目標に基づいた訓練プログラムを実施できる言語聴覚士となるために(DP4)、リハビリテーション医学について、総論においてはリハビリテーションの理念、プロセス、診断評価の基礎的アプローチについて、各論においては主な疾患の評価法や治療等の、コメディカルに携わる者にとって必須の知識を修得する(CP1(4))。							
学修目標	リハビリテーション医学では、リハビリテーション医学総論、検査と評価、治療総論、各種疾患・障害のリハビリテーションを通して、言語聴覚障害に関わる知識・技能を用い、評価に必要なプロセスが遂行でき、適切な訓練目標を設定し、目標に基づいた訓練プログラムを実施できる言語聴覚士となるために、リハビリテーションの理念、プロセス、診断評価の基礎的アプローチについて、各論においては主な疾患の評価法や治療等の、コメディカルに携わる者にとって必須の知識の修得を目指す。 (オムニバス方式／全 15 回) (1:松山光生／6 回) 各疾患について必要な知識の修得のもとに、それぞれの疾患に応じたリハビリテーションとして、言語聴覚療法に必要な評価や訓練、目標設定を踏まえたアプローチについて修得する。 (2:荒川英樹／7 回) 総論としてリハビリテーション医学・医療の概要について理解し、リハビリテーション診療として、必要な様々な疾患について包括的な知識を修得する。 脳血管障害、脳損傷等末梢神経障害、閉塞性動脈硬化症、糖尿病性壊疽、外傷に伴う切断と補装具 筋・神経疾患、変性疾患、歩行障害等障害別の病態生理、疾患としての評価治療についての知識を修得する。 (3:山口 洋一郎／2 回) 骨・関節・筋肉疾患、脊髄損傷、排尿障害、褥瘡、脊椎疾患、自己免疫性疾患、膠原病、リウマチ性疾患等障害別の病態生理、疾患としての評価治療についての知識を修得する。							
実務経験のある 教員による教育	臨床に携わった経験のある教員、医師が、経験に基づき教授する。							
評価及びフィード バックの方法	筆記試験による知識・理解度、考え方について評価を行う。							
準備学習・ 履修上の注意等	1 コマ当たり 4 時間を目安に予習・復習をおこなうこと。 資料を中心に行うので、欠席した場合の補充は各自で行うこと。							
オフィスアワー	講義前後の可能な時間。							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	【総論:リハビリテーションの各分野と歴史】 リハビリテーションの各分野とその歴史、関連職種が説明できる					講 義	松 山
2	1)	【総論:リハビリテーションの理念】 リハビリテーションの今日に共通する理念とその実現方法を把握する					講 義	松 山
3	1)	【総論:疾病と障害】 ICF の枠組みと、それを活用して障害の階層を説明できる					講 義	松 山
4	1)	【総論:機能的状態の評価】 機能的状態の意味、対象領域、具体的な評価方法を説明できる					講 義	松 山
5	1)	【総論:言語聴覚療法と各疾患】 言語聴覚療法で扱う各疾患の概要を理解する					講 義	松 山
6	1)	【総論:言語聴覚療法の評価と訓練】 言語聴覚療法における評価と訓練の基本的流れ及びその枠組みを説明できる					講 義	松 山
7	2)	【総論】リハビリテーション医学・医療の概要について理解する					講 義	荒 川
8	2)	【総論】リハビリテーション診療として、各種診察手順、検査、リハ評価等を理解し、概説できる					講 義	荒 川
9	2)	【総論】リハビリテーション診療として、運動学的アプローチや評価、ADL動作やその評価、およびQOLについて理解し、概説できる					講 義	荒 川
10	2)	【各論】障害別の病態生理、疾患としての評価治療 ①脳血管障害、脳損傷等 ③筋・神経疾患:ALS、ポリオ、筋ジス、変性疾患:パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多発性硬化症(固縮・痙縮)、歩行障害					講 義	荒 川
11	2)	【各論】⑩がんのリハビリテーション(悪性腫瘍、骨転移、がん性疼痛、チーム医療)、複合性局所疼痛症候群含む ⑪加齢による障害:サルコペニア、フレイル)、発達障害:脳性麻痺、自閉症、ADHDなど)					講 義	荒 川
12	2)	【各論】⑦内部障害:呼吸器疾患、嚥下障害関連⑧内部障害:循環器疾患、腎関連疾患、廃用症候群、熱傷					講 義	荒 川
13	2)	【各論】⑨-1 高次脳機能障害関連(記憶、失行、失認、失語、注意、遂行機能障害、認知)、精神疾患関連 2 高次脳機能障害関連(記憶、失行、失認、失語、注意、遂行機能障害、認知)、精神疾患関連					講 義	荒 川
14	3)	【各論】②末梢神経障害(顔面神経障害、糖尿病性神経障害等)閉塞性動脈硬化症、糖尿病性壊疽、外傷に伴う切断と補装具④骨・関節・筋肉疾患:骨折、骨粗しょう症、スポーツ外傷、運動器関連疼痛(頸部、上肢&下肢痛、腰痛)					講 義	山 口
15	3)	【各論】⑤脊髄損傷、排尿障害、褥瘡、脊椎疾患(二分脊椎)⑥自己免疫性疾患、膠原病、リウマチ性疾患(関節リウマチ、強皮症、多発性筋炎)					講 義	山 口
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新リハビリテーション医学 第 3 版(江藤文夫・里宇明元 監修)医歯薬出版株式会社【978-4-263-21730-6】						

参考書(著者名)出版社名【ISBN】	リハビリテーション技術全書(服部一郎・細川忠義・和才嘉昭)医学書院【978-4-260-24290-5】 現代リハビリテーション医学 改訂 第3版(千野直一 編)金原出版【978-4-307-25142-6】 標準リハビリテーション医学 第3版(上田敏)医学書院【978-4-260-01394-9】 リハビリテーションビジュアルブック第2版(監修 落合慈之) 学研メディカル秀潤社【978-4780911930】
--------------------	--

科目名	臨床歯科医学・口腔外科学			授業コード	121631B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(3年生)			ナンバリング	51S321P02	AL 科目	
担当者	中村 真理子(臨心・臨心)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い評価・訓練に必要なプロセスを遂行する(DP3, 4)ために歯科医学および口腔外科学について学び、口腔内の形態的および機能的障害について修得する(CP1)。また言語聴覚士として臨床現場に臨む際に必要な基本的知識を習得し、歯科専門職との更なる連携を目指す(CP5)。						
学修目標	1)歯・歯周組織の発生、機能、疾患およびそれに対する治療法について説明できる。 2)口腔ケアの意義および内容について説明できる。 3)口腔器官の構造、機能、疾患およびそれに対する治療法について説明できる。 4)言語障害と関係のある疾患およびそれに対する治療法について説明できる。 5)口腔領域の障害に対する歯科医学的対応について説明できる。 6)口腔機能障害(後天的疾患、中枢性疾患、加齢による)およびその治療法について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(中村)は臨床現場(岡山大学附属病院矯正歯科外来)における 5 年以上の矯正歯科医師としての臨床経験に基づいた授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	単位認定試験 90%、課題の提出状況を 10%とし、単位認定を行う						
準備学習・ 履修上の注意等	口腔解剖学を修得済みであること。1 回の授業につき 60 分を目安に予習・復習を行うこと。 講義時には教科書を使うため、必ず持ってくること。						
オフィスアワー	火、水、木 12:30～13:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【歯科医学について①】 歯科医学の特徴、概要 歯・歯周組織の発生、機能				講 義	中 村
2	1)	【歯科医学について②】 歯・歯周組織の疾患、治療				講 義	中 村
3	2)	【口腔ケアについて】 口腔ケアの意義、内容				講義、演習	中 村
4	3)	【口腔外科学について①】 口腔・顎・顔面の発生、構造、機能				講 義	中 村
5	3)	【口腔外科学について②】 口腔・顎・顔面の疾患、治療				講 義	中 村
6	3)	【口腔外科学について③】 顎関節・唾液腺の発生、構造、疾患、治療				講 義	中 村
7	4)	【言語障害と関係のある疾患について①】 唇顎口蓋裂および関連類似疾患、治療				講 義	中 村
8	4)	【言語障害と関係のある疾患について②】 口腔軟組織異常・顎変形症・顎の先天および発育異常・顎関節疾患、治療				講 義	中 村
9	4)	【言語障害と関係のある疾患について③】 唾液腺疾患・末梢神経障害・口腔乾燥症、治療				講 義	中 村
10	5)	【言語障害と関係のある疾患について④】 口腔粘膜疾患、治療 口腔を構成する器官に影響を与える症候群				講 義	中 村
11	5)	【言語・咀嚼・摂食障害に対する歯科医学的対応について】 手術的療法、人工材料による機能回復、訓練、歯科画像検査				講 義	中 村
12	6)	【口腔機能障害について①・後天的疾患 その1】 歯・口腔・顎・顔面の炎症・腫瘍による口腔機能障害、治療				講 義	中 村
13	6)	【口腔機能障害について②・後天的疾患 その2】 歯・口腔・顎・顔面のう胞・外傷による口腔機能障害、治療、再建と機能回復				講 義	中 村
14	6)	【口腔機能障害について③】 中枢性疾患による口腔機能障害、治療、評価				講 義	中 村
15	6)	【口腔機能障害について④】 加齢による口腔機能障害および対応 筋機能療法				講義、演習	中 村
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新言語聴覚学講座 臨床歯科医学・口腔外科学(道健一)医歯薬出版【978-4-263-27073-8】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜指示します					

科目名	言語学			授業コード	120338B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	51S122P01	AL 科目		
担当者	太田 栄次(非常勤講師)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	言語聴覚コースのみ必修	授業形態	オンライン	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い、評価に必要なプロセス(情報収集・観察・正確な検査・検査の解釈・問題の抽出・全体像の把握)が遂行できる(DP3)ためには、ことばを客観的に記述及び分析する力が求められる。言語聴覚士としてことばを記述分析するためには、ことばが持っている基本的な特徴や、個別言語の構造について理解しておく必要がある。本講義では、人間の言語とはどのような性質を持っているのかを様々な角度から考え、同時に、日本語の特徴も紹介しながら言語学の基本的な知識を身につけるとことを目的とする。							
学修目標	1)ことばに対する好奇心を持つ。 2)言語学の概説(目標、諸分野、基本的問題について説明できる)。 3)言語学に関する基本的概念と用語を説明できる。 4)言語類型論的に見た日本語の特徴を説明できる。							
実務経験のある 教員による教育	担当者は、平成 16 年 9 月から平成平成 17 年 8 月まで台湾銘伝大学応用日本語学科にて、日本語教育担当教員としての勤務経験がある。その中で、日本語非母語話者に対して、日本語の統語的・形態的特徴、及び語用論的な側面について教示した。							
評価及びフィード バックの方法	平常点(授業態度+レポート等)30%と定期試験の点数 70%で総合的に評価する。							
準備学習・ 履修上の注意等	特になし。							
オフィスアワー	毎週木曜日 10:00～17:00							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授 業 方法	担当
1	1)	【講義概要の説明、言語の一般的な性質】 本講義が目指すことや、言語学の研究対象について理解する。					講義・演習	太 田
2	2)	【言語学の基本概念を知る(ソシュール)】 コトバに対するソシュールの考え方を理解する。					講義・演習	太 田
3	2)	【日本語の「語」を分析する(1)形態論 1】 「語」の分析方法を理解し、分析できる。					講義・演習	太 田
4	2)	【日本語の「語」を分析する(2)形態論 2】 「語」の分析方法を理解し、分析できる。					講義・演習	太 田
5	2)	【日本語の文を分析する(1)文の構造 統語論 1】 「文」がどのような構造で 成り立っているか理解する。					講義・演習	太 田
6	2)	【日本語の文を分析する(2)文の構造 統語論 2】 「文」がどのような構造で 成り立っているか理解する。					講義・演習	太 田
7	2)	【日本語の文を分析する(3)文の構造 統語論 3】 「文」がどのような構造で 成り立っているか理解する。					講義・演習	太 田
8	2)	【言語の分析方法(1)生成文法 1】 言語の分析方法の一つである生成文法の基本的な考え方を理解する。					講義・演習	太 田
9	2)	【言語の分析方法(2)生成文法 2】 言語の分析方法の一つである生成文法の基本的な考え方を理解する。					講義・演習	太 田
10	2)	【言語の分析方法(3)語用論 1】 言語の分析方法の一つである語用論の基本的な考え方を理解する。					講義・演習	太 田
11	2)	【言語の分析方法(4)語用論 2】 言語の分析方法の一つである語用論の基本的な考え方を理解する。					講義・演習	太 田
12	3)	【日本語について考える(1)】 日本語の特徴について理解する。					講義・演習	太 田
13	3)	【日本語について考える(2)】 日本語の特徴について理解する。					講義・演習	太 田
14	3)	【日本語について考える(3)】 日本語の特徴について理解する。					講義・演習	太 田
15	3)	【日本語について考える(4)】 日本語の特徴について理解する。					講義・演習	太 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						

科目名	音声学			授業コード	120175B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科 (2年)			ナンバリング	51S221P03	AL 科目	○
担当者	太田 栄次(非常勤講師)・中村 真理子(臨床心理学科)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	言語コースのみ必修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ ーシ-No.	言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い、評価に必要なプロセス(情報収集・観察・正確な検査・検査の解釈・問題の抽出・全体像の把握)が遂行できる(DP3)ためには、音声の違い、またその違いがどのように生成されるかについての知識が必要となる。例えば言葉の音が何かの理由でうまくいかない人(小児も含む)に言葉の指導をする場合、音声器官のどの部分をどの ように使って、どのような音が作り出されるのかを物理的、現実的な事実として捉えておく必要がある。本講では、音声を作り出すしくみや音声器官がどのように 動く ことによってそれぞれの音声の違いが作り出されるのかについて説明できることと、それぞれの音声の違いを聞きとりIPA表記として記述できることを目指す。						
学修目標	1) 音声学の概説(目標、諸分野、基本的問題を説明できる)。 2) 音声生成の基本的な仕組みについて説明できる。 3) 日本語における母音や子音を国際音声字母(IPA)の方法に基づき記述できる。 4)歯科疾患と発音の関係を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	主担当者の太田は、平成 16 年 9 月から平成平成 17 年 8 月まで台湾銘伝大学応用日本語学科にて日本語教育担当教員としての勤務経験がある。その中で、日本語非母語話者に対して日本語発音指導を含む日本語教育に携わった。また、副担当の中村は、歯科医師としての豊富な実務経験を持ち、日本語の構音と歯科の関係について深い専門知識と業務知識を有する。						
評価及びフィード バックの方法	平常点(授業態度+レポート等)30%と定期試験の点数 70%で総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	特になし。						
オフィスアワー	毎週木曜日 10:00～17:00(太田)						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【講義概要の説明】 本講義の目標について理解する。				講義・演習	太 田
2	2)	【音声とは何か】 音声学の研究対象について理解する。				講義・演習	太 田
3	2)	【音声生成の仕組み】 音声生成の基本的な仕組みについて理解し、音声生成にかかわる音声器官を列挙できる。				講義・演習	太 田
4	3)	【音声学と音韻論】 音韻論と音声学の違いについて理解し、例を挙げて説明することができる。				講義・演習	太 田
5	3)	【単音(1) 単音の分類と音声表記】 音素、単音の概念、国際音声字母(IPA)の分類基準について説明できる。				講義・演習	太 田
6	3)	【単音(2) 日本語の母音 1】 日本語の母音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。				講義・演習	太 田
7	3)	【中間試験】 音声器官の名称と日本語の母音の記述法についての知識を定着させる。				講義・演習	太 田
8	3)	【単音(3) 日本語の子音 1】 日本語の子音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。				講義・演習	太 田
9	3)	【単音(4) 日本語の子音 2】 日本語の子音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。				講義・演習	太 田
10	2)	【単音(5) 日本語の子音 3】 日本語の子音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。				講義・演習	太 田
11	3)	【単音(6) 日本語の子音 4】 日本語の子音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。				講義・演習	太 田
12	3)	【単音(7) 日本語の子音 5】 日本語の子音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。				講義・演習	太 田
13	4)	【歯科疾患と発音の関係】 (1):不正咬合と発音の関係				講義・演習	中 村
14	4)	【歯科疾患と発音の関係】 (2):舌癖と発音の関係①				講義・演習	中 村
15	4)	【歯科疾患と発音の関係】 (3):舌癖と発音の関係②				講義・演習	中 村
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		たのしい音声学 (竹内 京子, 木村 琢也他) くろしお出版 【4-87424-788-1】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		音響学・聴覚心理学			授業コード	121632B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学科(3 年次)言語聴覚コースに必修			ナンバリング	51S321P03	AL 科目	
担当者		村田公一(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		コミュニケーション機能および言語機能と聴覚機能とは密接に関連するので、聴覚を生起させる音響そのものについて理解を深めることは、言語聴覚士を目指す上で重要である。そこで、言語聴覚障害に関わる知識・技能を用いて、評価に必要なプロセス(情報収集・観察・正確な検査の解釈・問題の抽出・全体像の把握)を遂行できるようになるために(DP3)、本科目では、言語聴覚士にとって必要な音響に関する基礎知識、音響・聴覚機能・発声発語機能等に関する測定、あるいは臨床検査に際して必要となる音響学的知識を修得する(CP1(4))。						
学修目標		1) 音について理解、説明できる 2) デシベルについて理解、説明できる 3) 音の心理物理学について理解、説明できる 4) 閾値の概念について理解、説明できる 5) 聴覚理論について理解、説明できる 6) 音の高さについて理解、説明できる 7) 感覚閾値と弁別閾値について理解、説明できる 8) 等ラウドネス曲線について理解、説明できる 9) スペクトル、マスキングについて理解、説明できる 10) 両耳聴について理解、説明できる						
実務経験のある 教員による教育		該当なし						
評価及びフィード バックの方法		最終試験(100%)にて評価を行う。 最終講義前日までに学生から講義に関する質問を集め、最後の講義時間にそれらの質問に対する解説とテスト対策を行い、フィードバックとする。						
準備学習・ 履修上の注意等		事前配布した資料について講義の前に通読し、すぐに理解できる内容と理解できない内容に分けてから講義に臨んでください。 試験以外に課題は設けませんので、フィードバックもありません。試験については読みやすい字で、日本語として理解しやすい文章をお願いします。						
オフィスアワー		集中講義時の休憩時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	音について1:音とは何か。波としての特徴					講 義	村 田
2	1)	音について2:波の独立性(音の干渉、定常波、唸り、ノイズキャンセリング)					講 義	村 田
3	1)	音について3:ホイヘンスの原理、回折、反射、屈折					講 義	村 田
4	1)	音について 4:ドップラー現象					講 義	村 田
5	1)	音について 5:管共鳴(開管共鳴と閉管共鳴及び外耳道共鳴、声道共鳴)					講 義	村 田
6	2)	デシベルについて:音圧とデシベルの関係(デシベルの必要性)					講 義	村 田
7	3)	音の心理物理学:心理量と物理量、感覚とは、感覚の種類、心理量と物理量との関係(音と聴覚の三属性)					講 義	村 田
8	4)	閾値の概念:可聴範囲、閾値、most comfortable level、uncomfortable level					講 義	村 田
9	5)	聴覚理論:場所説、頻度説、斉射説、進行波説					講 義	村 田
10	6)	音の高さ:周波数と高さの関係(mel 尺度)、二つの高さ知覚の機能(時間ピッチと場所ピッチ)					講 義	村 田
11	7)	感覚閾値と弁別閾値:音の弁別閾、ウェーバーフェヒナーの法則					講 義	村 田
12	8)	等ラウドネス曲線:ラウドネスレベル(phon)、ラウドネス(sone)、短音の最小可聴値					講 義	村 田
13	9)	スペクトル:サウンドスペクトログラム					講 義	村 田
14	9)	マスキング:I.同耳マスキング(A.同時マスキング(1.純音同士のマスキング 2.雑音によるマスキング、臨海帯域幅)、 両耳間マスキング II.経時マスキング					講 義	村 田
15	10)	両耳聴:1.両耳聴現象 2.方向知覚					講 義	村 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			なし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			なし					

科目名	言語発達学			授業コード	120362B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科 言語コース(1 年)			ナンバリング	51S112P01	AL 科目	○
担当者	松山 光生(臨心)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用いて評価、支援を行う言語聴覚士になるために、コミュニケーションと言語の機能を把握し、乳幼児期を中心に、各時期の言語発達とその原理、評価方法について言語聴覚士にとって必須の知識を習得する。						
学修目標	1)コミュニケーションと言語の役割や、各機能が理解できる。 2)言語発達の各時期とその特徴について説明できる。 3)言語発達に関連する研究と諸説について説明できる。 4)言語発達の把握方法を理解できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(松山)は、臨床発達心理士、公認心理師としての実務経験に基づき、実践を意識した授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	毎回の講義中に学生に質問し、解答を求める。また、学生からの積極的な質問を歓迎する。私語は厳禁する。居眠りも慎むこと。これらが授業態度と関係する。 毎回、授業終了時に、小テストを行う(資料閲覧可)。中間試験の範囲と実施日は2週間前に告知するが、出来る限り参加すること(中間試験の再試、追試は原則、行ないません)。						
準備学習・ 履修上の注意等	次のように、1回授業につき 240 分を目安に予習、復習を行うこと。 授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。 返却された小テストを再び、自分で解き完全に答えられるようにしておくこと。						
オフィスアワー	毎週火・水曜日 18:15～19:15						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)3)	【コミュニケーションの意味と方法を学ぶ】 バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションの役割と種類を説明できる。				講 義	松 山
2	1)3)	【言語を捉える側面を学ぶ】 言語を捉える3側面と語用論について説明できる。				講 義	松 山
3	1)3)	【言語の機能について考える①】 言語の3大機能を理解し、行動調節機能として言語について考えることができる。				講 義	松 山
4	1)3)	【言語の機能について考える②】 思考の体制化として言語について考えることができる。				講 義	松 山
5	1)2)	【言語発達の区分について学ぶ】 乳児期から児童期までの言語発達の区分を列挙できる。				講 義	松 山
6	1)2)	【前言語期の発達について学ぶ①】 前言語の音声言語発達について説明できる。				講 義	松 山
7	1)2)	【前言語期の発達について学ぶ②】 前言語のコミュニケーション発達について説明できる。 ※この単元終了後、中間試験を実施する				講 義	松 山
8	1)2)	【幼児期前期の言語発達について学ぶ】 幼児期前期の言語発達の過程について説明できる。				講 義	松 山
9	1)2)	【幼児期後期の言語発達について学ぶ】 幼児期後期の言語発達の過程について説明できる。				講 義	松 山
10	1)2)	【書きことばの発達について学ぶ】 書きことばと、話しことば、把握の発達の関連性について説明できる。				講 義	松 山
11	1)2)	【書きことばの障害について考える】 書きの障害と、その事例から書きことばの指導を考えることができる。				講 義	松 山
12	4)	【言語発達の測定方法について学ぶ①】 PVT-R の目的と実施方法について説明できる。				講 義	松 山
13	4)	【言語発達の測定方法について学ぶ②】 PVT-R の採点ができ、結果から言語発達水準が読み取ることができる。				講 義	松 山
14	1)3)	【言語獲得理論について学ぶ①】 言語獲得理論の諸理論について列挙できる。				講 義	松 山
15	1)3)	【言語獲得理論について学ぶ②】 言語獲得理論の諸理論の原理について説明できる。				講 義	松 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特に指定しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		言語聴覚障害総論Ⅱ (山崎 京子 編) 建帛社 【7679-4502-X】 発達心理学辞典 (岡本 夏木・清水 御代明・村井 潤一 監修) ミネルヴァ書房 【4-623-02470-9】					

科目名	言語コミュニケーション学			授業コード	121888B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(1 年生)			ナンバリング		AL 科目	○
担当者	倉澤 美智子(臨・臨)、瀬良 有里奈(外部講師)、岩村 秀世(外部講師)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	必 須	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	言語コミュニケーション論では、言語学、音声学、音響学、聴覚心理学、言語発達学の観点から言語聴覚士に必要な基礎的知識を習得する。言語学の基礎、日本語の音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論についての基本的な理解を深め、発声発語器官と構音、音声の基礎知識、音の物理的側面、音響管の周波数特性、音声生成の音響理論、言語音の生成と知覚、音声の音響分析、音の心理物理学、聴覚の周波数分析とマスキング分析、両耳の聞こえ、言語の発達に関する知識といった総合的な言語聴覚士としての基本的な知識を踏まえ、言語聴覚障害の全体像の概要を理解するために、人間のコミュニケーションや言語に関する基本事項を修得を目指す。具体的には、1)言語とコミュニケーションの特徴について説明できる、2)「スピーチ・チェーン」について説明できる、3)成人の言語聴覚障害の概要について説明できる、4)小児の言語聴覚障害の概要について説明できることを目指す。(DP1,2,6) (CP1(1,2,5,6),2(1,2))						
学修目標	1) 言語学の基本的知識について説明できる。 2) コミュニケーションにおける言語の特徴を説明できる。 3) スピーチチェーンとコミュニケーションの関係について説明できる。 4) 対象者に応じた言語聴覚障害の概要について説明できる。 5) 効果的なコミュニケーション方略について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	言語聴覚士として臨床経験を持ち、かつ、日本語教員免許を持つ主担当倉澤は、これまで培ってきた言語学分野における知識の元に講義を行う。また、アナウンサーとして活躍している外部講師の元、コミュニケーションを行う上での必要な方略について講義を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業毎のレポート課題や小テストにより形成的評価を行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、レポート、小テスト等)の評価を 30%、学期末の単位認定試験(レポートを含む)を 70%として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	日頃より行っているコミュニケーションに意識を向け、今後言語聴覚士を目指す上で必要なスキル UP のため、日々振り返りを行ってください。						
オフィスアワー	毎週水曜日の 12:30～13:00、講義の前後の時間						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	言語の基本的性質				講義・演習	倉 澤
2	1)2)	記号体系としての言語と生産性を支える性質				講義・演習	倉 澤
3	1)2)	言語記号の表象				講義・演習	倉 澤
4	1)2)	形態論と語構造の形成				講義・演習	倉 澤
5	1)2)	統語論と文法				講義・演習	倉 澤
6	1)2)	動詞形態素と関わる文法要素				講義・演習	倉 澤
7	1)2)	意味論と語用論				講義・演習	倉 澤
8	2)3)	スピーチチェーンとコミュニケーション				講義・演習	倉 澤
9	4)	成人の言語聴覚障害の概要①				講義・演習・SGD	倉 澤
10	4)	成人の言語聴覚障害の概要②				講義・演習・SGD	倉 澤
11	4)5)	コミュニケーション方略①				講義・演習・SGD	山田(外部講師)
12	4)5)	コミュニケーション方略②				講義・演習・SGD	山田(外部講師)
13	4)	小児の言語聴覚障害の概要①				講義・演習・SGD	岩村(外部講師)
14	4)	小児の言語聴覚障害の概要②				講義・演習・SGD	岩村(外部講師)
15	1)～5)	まとめ:学習の振り返り				講義・演習・SGD	倉 澤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		言語聴覚士テキスト 第 4 版 (大森 孝一 他編)医歯薬出版【978-4-263-26690-8】 その他スライド資料等を配布					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて配布します。					

科目名	言語聴覚障害学総論			授業コード	121889B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(1 年)			ナンバリング		AL 科目	○
担当者	伊藤 さゆり(臨心・臨心)、倉澤 美智子(臨心・臨心)、戸高 翼(臨心・臨心)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	言語聴覚障害総論では、言語聴覚障害の特性と種類、言語聴覚士の役割・専門性および言語聴覚療法の基本概念を修得する。言語聴覚障害研究の基本的知識・技能を修得を目指す。						
学修目標	言語聴覚障害総論では、言語聴覚障害の特性と種類、言語聴覚士の役割・専門性および言語聴覚療法の基本概念を修得する。言語聴覚障害研究の基本的知識・技能を修得を目指す。言語聴覚障害学総論、臨床の基礎、言語聴覚士の職務内容、職業倫理、評価・診断の理念、評価・診断の過程、研究倫理、文献検索の方法、論文の読み方、)研究の種類、研究の進め方、基本的統計分析法、発表、報告の方法 言語聴覚士の仕事および言語聴覚障害に関連する分野についての理解を深める。 1)言語とコミュニケーションの特徴について説明できる 2)言語聴覚障害の種類について説明できる 3)成人の言語聴覚障害の概要について説明できる 4)小児の言語聴覚障害の概要について説明できる 5)言語聴覚士の歴史の概要について説明できる 6)言語聴覚士の仕事と役割について説明できる 7)地域言語聴覚療法の概要について説明できる 8)言語聴覚士と多職種との連携について説明できる						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(伊藤、倉澤、戸高)は、医療機関での言語聴覚士としての豊富な臨床経験を活かして、より実践的な授業を展開する。						
評価及びフィード バックの方法	授業毎の小テストやレポートにより形成的に評価し単位認定を行う。小テストやレポートについては最終回のまとめの回でフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	各授業の前に予習を行うこと。 予習範囲は初回に指定する。						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準じる。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)5)	言語聴覚士の仕事				講義・演習	倉 澤
2	1)2)	言語聴覚障害入門				講義・演習	倉 澤
3	6)	言語聴覚士の養成				講義・演習	倉 澤
4	3)4)	言語聴覚療法の評価				講義・演習	戸 高
5	3)4)8)	言語聴覚療法とチームアプローチ				講義・演習	伊 藤
6	6)	言語聴覚士の職業倫理				講義・演習	伊 藤
7	6)	言語聴覚士のリスクマネジメント				講義・演習	倉 澤
8	6)	言語聴覚士の研究活動				講義・演習	伊 藤
9	6)	言語聴覚士の社会的活動				講義・演習	伊 藤
10	7)	地域言語聴覚療法①				講義・演習	伊 藤
11	7)	地域言語聴覚療法②				講義・演習	伊 藤
12	8)	言語聴覚士と他職種連携(理学療法士の立場から)				講義・演習	伊 藤
13	8)	言語聴覚士と他職種連携(作業療法士の立場から)				講義・演習	伊 藤
14	8)	言語聴覚士と他職種連携(看護師の立場から)				講義・演習	外部講師(井上)
15	1)~8)	まとめ				講義・演習	伊 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		クリア言語聴覚療法1 言語聴覚障害総論 (内山量史・鈴木真生編)【978-4-7679-4551-4】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		標準言語聴覚障害学 言語聴覚障害概論第 2 版(藤田郁代他編)医学書院【978-4-260-03816-4】 最新言語聴覚学講座 言語聴覚障害学概論(倉智雅子他編)医歯薬出版株式会社【978-4-263-27071-4】					

科目名	高次脳機能障害学			授業コード	120383B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51S321P04	AL 科目	○
担当者	伊藤さゆり(臨・臨)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	この授業では、言語聴覚士の臨床で重要な位置を占める高次脳機能障害について、階層性を軸として障害の下位分類を学び、各障害から生じる問題を分析・的確に把握して解決法や支援プログラムを導き出す力を身に着けることを目標とする (DP(3))。また、演習活動を通して、各評価の正しい実施方法を身に着けることを目標とする(CP(5))。授業は、講義、演習、学習内容の確認テスト、レポート課題に関連したスモールグループディスカッション(SGD)で進められる。授業最終日にまとめの演習を行う。						
学修目標	1) 高次脳機能障害の階層性と脳機能との関連性を説明できる。 2) 高次脳機能障害の各障害の定義と症候を説明できる。 3) 高次脳機能の各障害と病巣の対応関係を説明できる。 4) 高次脳機能の各障害に対応した評価方法を実施できる。 5) 高次脳機能の各障害に対応したリハビリテーション方法を挙げられる。						
実務経験のある 教員による教育	担当者は、病院等臨床現場における言語聴覚士としての 20 年以上の実務経験に基づき、脳と神経の解剖や疾患と障害に関する知識の修得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業では毎回、確認テストまたはレポートを課す。 確認テストおよびレポートの成績を 40%、学期末の単位認定試験の成績を 60%の割合として換算し、評価を行う。 レポートは検査練習の内容や、練習で生じた疑問点を記載する。 疑問点は授業中のスモールグループディスカッション(SGD)でも活用する。 疑問点を挙げた回数や SDG への参加態度は成績の加算対象となる。 確認テストやレポートの提出・フィードバックは Google Classroom を通して行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	確認テストやレポートの提出・フィードバックで活用するため、各自 Google Classroom をスマートフォンにインストールし、各自のノートパソコンでもブックマークして、すぐに情報がみられるようにしておくこと。 1 コマあたり、2 時間の予習・2 時間の復習を行うこと。各授業の授業前と授業後に、予習と復習の範囲を連絡する。 授業内容の項目について、授業プリントを読み予習しておくこと。Google Classroom 上の確認テストを用い、学習内容のまとめを作成して復習すること。 SGD では間違っても良いので自分の考えを述べる。疑問があれば SGD 間にグループ単位での質問を推奨する。クラス全体に有益な質問であればグループ全員に加点する。 授業資料は授業回ごとにファイルしておくこと。 Google Classroom 上の確認テストやレポートの結果はチューター面談にも使用する。 質問で担当教員の研究室へ来室する際には、授業プリント等の資料を持参すること。						
オフィスアワー	毎週(月・水・木)12:30-13:00、講義時間以外の在室中(研究室)						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	総論				講 義	伊 藤
2	1)2) 3)	注意機能の障害の定義・症候・病巣				講 義	伊 藤
3	4)	注意機能の障害の評価とリハビリテーション				講義・演習	伊 藤
4	2)3)	行為・動作の障害の定義・症候・病巣				講 義	伊 藤
5	4)	行為・動作の障害の評価とリハビリテーション				講義・演習	伊 藤
6	2)3)	視覚・聴覚・触覚認知の障害の定義・症候・病巣				講 義	伊 藤
7	4)	視覚・聴覚・触覚認知の障害の評価とリハビリテーション				講義・演習	伊 藤
8	2)3)	視空間認知の障害の定義・症候・病巣				講 義	伊 藤
9	4)	視空間認知の障害の評価とリハビリテーション				講義・演習	伊 藤
10	2)3)	記憶障害の定義・症候・病巣				講 義	伊 藤
11	4)	記憶障害の評価とリハビリテーション				講義・演習	伊 藤
12	1)2) 3)	前頭葉機能障害の定義・症候・病巣				講 義	伊 藤
13	4)	前頭葉機能障害の評価とリハビリテーション				講義・演習	伊 藤
14	1)2) 3)	頭部外傷・認知症				講 義	伊 藤
15	1)2) 3)4)	まとめ				講義・演習	伊 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		高次脳機能障害学 第 3 版(藤田 郁代(著/文))医学書院【9784260043069】 高次脳機能障害学 第 3 版(編著 石合純夫)医歯薬出版【9784263266519】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		CR BOOKS 高次脳機能障害のリハビリテーション Ver.3 (編 武田克彦、三村將、渡邊修) 高次脳機能障害のリハビリテーション [DVD 付] 第 3 版 実践的アプローチ (著 本田哲三)					

科目名		言語発達障害学Ⅰ		授業コード	120363B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		臨床心理学科(2 年)		ナンバリング	51S221P06	AL 科目	○	
担当者		戸高 翼(臨・臨)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		言語聴覚士として言語発達障害のある子どもたちに適切に関わっていくためには、定型的な発達の理解、アセスメントや支援技法を身につける必要がある。 「言語発達障害学Ⅰ」では、多様な状態を示す言語障害、発達障害の子どもや発達が気になる子どもとその家族に対して、適切な支援・助言ができる言語聴覚士になるために(DP3)、定型発達の基礎知識と小児の各種言語・発達障害の特徴を理解し、概説できる力を修得する(CP1(5))。						
学修目標		1)定型的な言語発達のメカニズム、それを支える基盤について説明できる。 2)年代ごとの正常な言語発達について説明できる。 3)小児の各種言語発達障害の概要について説明できる。 4)小児の各種言語発達障害児に関わる際の配慮点を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		戸高: 言語聴覚士として医療・教育現場での5年以上の実務経験に基づき、臨床的視点の習得を含めた講義を行う。						
評価及びフィード バックの方法		各回の授業で学習内容の確認小テストを授業開始時、終了時に実施した授業内容に関する課題配布を行う。小テストについては、採点は授業担当者が行い、返却時に学習成果をフィードバックする。課題は、次回授業開始時に提出し、授業担当者が内容の確認をし、解説内容に過不足がある場合は、解説を行う。授業時間外の学習への取り組み姿勢(確認小テストや課題内容)を 20%、自発的な質問・発言など授業への主体的な参加態度を 10%、学期末の単位認定試験 70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		・授業内容の項目について、教科書の該当ページを読み、予習しておくこと。 ・返却された確認テストや課題を用いて、学習内容の復習すること。 ・確認テストや課題は、返却するので、必ず各自でファイルすること。また、同じファイルに配布資料もまとめ、質問する際には、それらを持参すること。 この資料はチューター面談等にも使用される。 ・SGD では、自ら能動的に考える場であること理解し、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べること。						
オフィスアワー		戸高: 日時-毎週(月)(木)12:20～13:00、場所-研究室						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当	
1	1)	標準的言語発達①(言語発達の基盤) を理解する				講義・SGD	戸 高	
2	1)	発達の生理学と病理学を理解する				講義・SGD	戸 高	
3	2)	標準的言語発達②(前言語期の発達①)を理解する				講義・SGD	戸 高	
4	2)	標準的言語発達③(前言語期の発達②)を理解する				講義・SGD	戸 高	
5	2)	標準的言語発達④(幼児期前期の発達)を理解する				講義・SGD	戸 高	
6	2)	標準的言語発達⑤(幼児期後期の発達)を理解する				講義・SGD	戸 高	
7	2)	標準的言語発達⑥(学童期の発達)を理解する				講義・SGD	戸 高	
8	2)	言語発達障害とは:定義と分類を理解する				講義・SGD	戸 高	
9	3)4)	丁寧な支援を必要とする子ども:知的能力障害を理解する				講義・SGD	戸 高	
10	3)4)	丁寧な支援を必要とする子ども:特異的言語発達障害を理解する				講義・SGD	戸 高	
11	3)4)	丁寧な支援を必要とする子ども:自閉スペクトラム症を理解する				講義・SGD	戸 高	
12	3)4)	丁寧な支援を必要とする子ども:注意欠如・多動性障害を理解する				講義・SGD	戸 高	
13	3)4)	丁寧な支援を必要とする子ども:限局性学習障害を理解する				講義・SGD	戸 高	
14	3)4)	丁寧な支援を必要とする子ども:脳性麻痺・重複障害を理解する				講義・SGD	戸 高	
15	3)4)	標準的言語発達と障害各論のまとめをし、理解を深める				講義・SGD	戸 高	
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 言語聴覚学講座 言語発達障害学(石坂育代他編著)医歯薬出版株式会社【978-4-263-27072-1】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて紹介する。						

科目名		言語発達障害学Ⅱ			授業コード	120364B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51S222P03	AL 科目	○
担当者		戸高 翼(臨・臨)、東江 浩美(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.		言語聴覚士として言語発達障害のある子どもたちに適切に関わっていくためには、定型的な発達の理解、言語発達障害の概要、アセスメントや支援技法を身につける必要がある。 「言語発達障害学Ⅱ」では、多様な状態を示す言語障害、発達障害の子どもや発達が気になる子どもとその家族に対して、適切なアセスメントができる言語聴覚士になるために(DP3)、各種言語発達に対応した検査・評価方法の概要と評価診断のあり方を理解し、概説できる力を修得する(CP1(5))。						
学修目標		1)言語発達障害の評価の観点と方法を説明できる。 2)各種検査の概要を理解し、説明できる。 3)臨床現場におけるアセスメントの概略を理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		戸高:言語聴覚士としての医療・教育現場での 5 年以上の実務経験に基づき、臨床的視点の習得を含めた講義を行う。 東江:言語聴覚士としての豊富な実務経験、および国リハ式＜S-S 法＞言語発達遅滞検査の監修者としての立場から、実践的な講義を行う。						
評価及びフィード バックの方法		各回の授業で学習内容の確認小テストを授業開始時、終了時に実施した授業内容に関する課題配布を行う。小テストについては、採点は授業担当者が行い、返却時に学習成果をフィードバックする。課題は、次回授業開始時に提出し、授業担当者が内容の確認をし、解説内容に過不足がある場合は、解説を行う。授業時間外の学習への取り組み姿勢(確認小テストや課題内容)を 20%、自発的な質問・発言など授業への主体的な参加態度を 10%、学期末の単位認定試験 70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		・授業内容の項目について、教科書の該当ページを読み、予習しておくこと。 ・返却された確認テストや課題を用いて、学習内容の復習すること。 ・確認テストや課題は返却するので、必ず各自でファイルすること。また、同じファイルに配布資料もまとめ、質問する際には、それらを持参すること。 この資料はチューター面談等にも使用される。 ・SGD では、自ら能動的に考える場であること理解し、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べること。						
オフィスアワー		戸高:日時-毎週(月)(木)12:20～13:00、場所-研究室 東江:講義前後の休み時間、場所-講義室						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	評価とは:①評価の目的を知り、流れを理解する、②情報収集の方法を理解する、③検査の対象領域、標準的な検査の流れを知る					講義・SGD	戸 高
2	1)～3)	発達検査:各発達検査の名称と対象、概要を理解する①					講義・SGD	戸 高
3	1)～3)	発達検査:各発達検査の名称と対象、概要を理解する②					講義・SGD	戸 高
4	1)～3)	知能検査:各発達検査の名称と対象、概要を理解する①					講義・SGD	戸 高
5	1)～3)	言語検査:各言語検査の名称と対象、概要を理解する					講義・SGD	戸 高
6	1)～3)	言語検査:国リハ式＜S-S 法＞言語発達遅滞検査(理論的枠組みなど)を理解する					講義・SGD	東 江
7	1)～3)	言語検査:国リハ式＜S-S 法＞言語発達遅滞検査(症状分類など)を理解する					講義・SGD	東 江
8	1)～3)	言語検査:国リハ式＜S-S 法＞言語発達遅滞検査(検査の実施手続き・記録法)を理解する					講義・SGD	東 江
9	1)～3)	言語検査:国リハ式＜S-S 法＞言語発達遅滞検査(検査の実施手続き・記録法)を理解する					講義・SGD	東 江
10	1)～3)	知能検査:各知能検査の名称と対象、概要を理解する②					講義・SGD	戸 高
11	1)～3)	学習・認知検査:各学習・認知検査の名称と対象、概要を理解する①					講義・SGD	戸 高
12	1)～3)	学習・認知検査:各学習・認知検査の名称と対象、概要を理解する②					講義・SGD	戸 高
13	1)～3)	視知覚認知検査、読み書き検査:各検査の名称と対象、概要を理解する					講義・SGD	戸 高
14	1)～3)	コミュニケーション検査:各コミュニケーション検査の名称と対象、概要を理解する					講義・SGD	戸 高
15	1)～3)	まとめ:言語聴覚士が実施する検査の名称と対象、概要をさらに深める					講義・SGD	戸 高
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 言語聴覚学講座 言語発達障害学(石坂育代他編著)医歯薬出版株式会社【978-4-263-27072-1】 国リハ式＜S-S法＞言語発達遅滞検査マニュアル(改訂第 4 版) エスコアール 【4-900851-24-8】 言語聴覚士テキスト 第 3 版(大森 孝一他編集) 医歯薬出版【 978-4263265604】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて紹介する。						

科目名	言語発達障害学演習Ⅰ			授業コード	121636A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング		AL 科目	○
担当者	戸高 翼(臨・臨)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	言語発達障害をもつ子どもたちに適切な支援を行うためには、言語発達を支える基盤と前言語期から学童期までの定型的な言語発達を理解する必要がある。加えて、言語発達を評価し、結果を解釈する力が求められる。そこで、「言語発達障害学演習Ⅰ」では、「言語発達障害学Ⅱ」で学んだ各検査の特徴を理解した上で、対象児に必要な検査を選択し、実施できる言語聴覚士となるために(DP3)、言語発達障害の評価に用いられる知能検査、発達検査、言語検査の概要や記録、分析の方法を知り、多角的・総合的な評価方法を習得する(CP1(5))。						
学修目標	1)言語発達障害の評価方法(基本的な検査方法の原理、施行方法など)について種類と目的を説明できる。 2)発達検査の概要や種類を理解し、各検査について検査内容や適応年齢を列挙することができる。 3)田中ビネー知能検査Ⅴの施行方法、分析方法を理解し、実施することできる。 4)WISC-Ⅴ知能診断検査の施行方法、分析方法を理解し、実施することできる。 5)日本版 K-ABCⅡの施行方法、分析方法を理解し、実施することできる。 6)DN-CAS の施行方法、分析方法を理解し、実施することできる。 7)LC-R の施行方法、分析方法を理解し、実施することできる。 8)LCSAの施行方法、分析方法を理解し、実施することできる。 9)PVT-R、質問応答関係検査の施行方法、分析方法を理解し、実施することできる。 10)視知覚認知検査の試行方法、分析方法を理解し、実施することできる。 11)読み書き検査の試行方法、分析方法を理解し、実施することできる。 12)コミュニケーション評価の概要や種類を理解し、各検査について検査内容や適応年齢を列挙することができる。						
実務経験のある 教員による教育	戸高: 言語聴覚士としての医療・教育現場での 5 年以上の実務経験に基づき、臨床的視点の習得を含めた講義を行う。						
評価及びフィード バックの方法	各回の授業で学習内容の確認小テストを授業開始時、終了時に実施した授業内容に関する課題配布を行う。小テストについては、採点は授業担当者が行い、返却時に学習成果をフィードバックする。課題は、次回授業開始時に提出し、授業担当者が内容の確認をし、解説内容に過不足がある場合は、解説を行う。授業時間外の学習への取り組み姿勢(確認小テストや課題内容)を 20%、自発的な質問・発言など授業への主体的な参加態度を 10%、学期末の単位認定試験 70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	・授業内容の項目について、教科書の該当ページを読み、予習しておくこと。 ・返却された確認テストや課題を用いて、学習内容の復習すること。 ・確認テストや課題は返却するので、必ず各自でファイルすること。また、同じファイルに配布資料もまとめ、質問する際には、それらを持参すること。 この資料はチューター面談等にも使用される。 ・SGD では、自ら能動的に考える場であること理解し、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べること。						
オフィスアワー	戸高: 日時-毎週(月)(木)12:20～13:00、場所-研究室						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション／言語発達障害に関する評価の目的と方法の復習 演習:遠城寺式乳幼児分析的検査法、乳幼児精神発達診断法の実施・記録の仕方を知る				講義・演習	戸 高
2	2)	演習:新版 K 式発達検査の実施・記録の仕方を知る				講義・SGD	戸 高
3	3)	演習:田中ビネー知能検査Ⅴの実施・記録の仕方を知る				講義・SGD	戸 高
4	4)	演習:WISC-Ⅴの実施・記録の仕方を知る①				講義・演習・SGD	戸 高
5	4)	演習:WISC-Ⅴの実施・記録の仕方を知る②				講義・演習・SGD	戸 高
6	5)	演習:KABC-Ⅱの実施・記録の仕方を知る①				講義・演習	戸 高
7	5)	演習:KABC-Ⅱの実施・記録の仕方を知る②				講義・演習	戸 高
8	6)	演習:DN-CAS の実施・記録の仕方を知る				講義・演習・SGD	戸 高
9	7)	演習:LC-R の実施・記録の仕方を知る				講義・演習・SGD	戸 高
10	8)	演習:LCSA の実施・記録の仕方を知る				講義・演習・SGD	戸 高
11	9)	演習:PVT-R、質問-応答関係検査の実施・記録の仕方を知る				講義・演習・SGD	戸 高
12	10)	演習:視知覚認知検査の実施・記録の仕方を知る				講義・演習・SGD	戸 高
13	11)	演習:読み書き検査の実施・記録の仕方を知る				講義・演習・SGD	戸 高
14	12)	演習:コミュニケーション検査の実施・記録の仕方を知る				講義・演習・SGD	戸 高
15	1)～ 12)	まとめ				講義・演習・SGD	戸 高
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 言語聴覚学講座 言語発達障害学(石坂育代他編著)医歯薬出版株式会社【978-4-263-27072-1】 国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査マニュアル(改訂第 4 版) エスコアール 【4-900851-24-8】 言語・コミュニケーション発達の理解と支援:LC スケールを活用したアプローチ(大伴潔著)学苑社【978-4761408107】 言語聴覚士テキスト 第 3 版(大森 孝一他編集) 医歯薬出版【 978-4263265604】					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】	必要に応じて紹介する。
--------------------	-------------

科目名	言語発達障害学演習Ⅱ			授業コード	121637A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング		AL 科目	○
担当者	戸高 翼(臨・臨)、東江 浩美(非常勤講師)、内勢 美絵子(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	言語聴覚士として言語発達障害のある子どもたちに適切に関わっていくためには、定型発達の理解、アセスメントや支援技法を身につける必要がある。 「言語発達障害学演習Ⅱ」では、多様な状態を示す言語障害、発達障害の子どもたちや発達が気になる子どもとその家族に対して、適切な指導・助言ができる言語聴覚士になるために(DP3)、各種言語発達に対応した支援技法とその具体的な指導・助言の在り方を理解し、概説できる力を習得する(CP1(5))。						
学修目標	1)言語発達障害児に対する助言・訓練の在り方について説明できる。 2)養育者に対しての助言・指導の在り方のついて説明できる。 3)具体的な支援・訓練方法について説明できる。 4)言語発達障害児に対する臨床的アプローチの方法を知り、訓練立案および実施のポイントと基本的方法を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	戸高:言語聴覚士としての医療・教育現場での5年以上の実務経験に基づき、臨床的視点の習得を含めた講義を行う。 東江:言語聴覚士としての豊富な実務経験、および国リハ式<S-S 法>言語発達遅滞検査の監修者としての立場から、実践的な講義を行う。 内勢:作業療法士としての豊富な実務経験に基づき、感覚統合療法の概念や具体的な支援方法についての講義を行う。						
評価及びフィード バックの方法	各回の授業で学習内容の確認小テストを授業開始時、終了時に実施した授業内容に関する課題配布を行う。小テストについては、採点は授業担当者が行い、返却時に学習成果をフィードバックする。課題は、次回授業開始時に提出し、授業担当者が内容の確認をし、解説内容に過不足がある場合は、解説を行う。授業時間外の学習への取り組み姿勢(確認小テストや課題内容)を20%、自発的な質問・発言など授業への主体的な参加態度を10%、学期末の単位認定試験70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	・授業内容の項目について、教科書の該当ページを読み、予習しておくこと。 ・返却された確認テストや課題を用いて、学習内容の復習すること。 ・確認テストや課題は返却するので、必ず各自でファイルすること。また、同じファイルに配布資料もまとめ、質問する際には、それらを持参すること。 この資料はチューター面談等にも使用される。 ・SGD では、自ら能動的に考える場であること理解し、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べること。						
オフィスアワー	戸高:日時-毎週(月)(木)12:20~13:00、場所-研究室 東江:講義前後の休み時間、場所-講義室 内勢:講義前後の休み時間、場所-講義室						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	支援の枠組みと目標設定、指導・支援の原則を理解する				講義・演習	戸 高
2	1)3)4)	【支援方法】発達論的アプローチ、学習理論に基づく方法について理解する				講義・SGD	戸 高
3	1)3)4)	【支援方法】認知・言語的アプローチ、包括的アプローチ、語用論的アプローチ、AAC について理解する				講義・SGD	戸 高
4	1)3)4)	感覚統合療法の実際を知る①				講義・演習・SGD	内 勢
5	1)3)4)	感覚統合療法の実際を知る②				講義・演習・SGD	内 勢
6	1)~4)	【発達段階に即した支援】前言語期の支援のポイントを知る				講義・演習	戸 高
7	1)~4)	【発達段階に即した支援】幼児期、学童期の支援のポイントを理解する				講義・演習	戸 高
8	1)~4)	<S-S 法>に基づく包括的言語的働きかけのプログラムを理解する				講義・演習	東 江
9	1)~4)	<S-S 法>に基づく言語的働きかけの原理、実践を理解する				講義・演習	東 江
10	1)~4)	<S-S 法>による言語訓練の実際を知る				講義・演習	東 江
11	1)~4)	障害別の指導・支援のポイントを理解する①:知的能力障害、特異的言語発達障害				講義・演習・SGD	戸 高
12	1)~4)	障害別の指導・支援のポイントを理解する②:自閉スペクトラム症、注意欠如多動症				講義・演習・SGD	戸 高
13	1)~4)	障害別の指導・支援のポイントを理解する③:限局性学習症、重複障害				講義・演習・SGD	戸 高
14	1)~4)	事例を通した訓練プログラムの立案、教材検討				演習・SGD	戸 高
15	1)~4)	まとめ				講義・SGD	戸 高
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 言語聴覚学講座 言語発達障害学(石坂育代他編著)医歯薬出版株式会社【978-4-263-27072-1】 国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査マニュアル(改訂第4版) エスコアル 【4-900851-24-8】 言語・コミュニケーション発達の理解と支援:LC スケールを活用したアプローチ(大伴潔著)学苑社【978-4761408107】 言語聴覚士テキスト 第3版(大森 孝一他編集) 医歯薬出版【978-4263265604】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて紹介する。					

科目名	聴覚障害学Ⅰ			授業コード	120768B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51S221P08	AL 科目	○
担当者	倉澤 美智子(臨)、戸高 翼(臨)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	聴覚障害学Ⅰでは、小児聴覚障害とは、成人聴覚障害とは、について考え、聴覚障害の(リ)ハビリテーションでは、発症時期、難聴の種類、聴力の程度、聴覚補償手段、コミュニケーション・モードの種類などによって多様なアプローチが求められる(DP1,3)。聴覚障害では、新生児期から高齢期までの(リ)ハビリテーションに貢献できる言語聴覚士となるために、聴覚障害の臨床について基礎的な知識の修得を目指す(CP1(5))。						
学修目標	1) 聴覚機能における生活機能について説明できる。 2) 音や音声の特徴や聞こえとの関係について説明できる。 3) 聴覚系の構造や機能について説明できる。 4) 耳疾患の症状について説明できる。 5) 難聴の種類や原因について説明できる。 6) 成人聴覚障害やリハビリテーションの概要について説明できる。 7) 小児聴覚障害やハビリテーションの概要について説明できる。 8) 聴覚補償機器と支援について説明できる。 9)これまで学んだ内容について理解、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(倉澤、戸高)は、医療機関での言語聴覚士としての豊富な臨床経験に基づき、聴覚障害の(リ)ハビリテーションについてより実践的な授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	定期的なレポート課題、小テスト等により形成的評価を行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、レポート、小テスト等)の評価を 30%、学期末の単位認定試験を 70%として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	定期的に提示されるレポート等の課題に取り組み復習に努める。次回行う内容について教科書の該当ページの予習に努める。1回の授業につき1時間を目安に予習・復習を行うこと。						
オフィスアワー	毎週水曜日 12:30～13:00、講義の前後						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	ICFを通しての聴覚障害に対する理解を深める				講義・演習	倉 澤
2	2)	音の物理的特性や聴覚の心理的特性について				講義・演習	倉 澤
3	2)	聴覚評価の基礎及び聞こえの評価について				講 義	倉 澤
4	3)	聴覚系の解剖について				講 義	倉 澤
5	3)	聴覚系の生理機能と発生について				講 義	倉 澤
6	4)	耳疾患の症状について				講 義	倉 澤
7	5)	聴覚障害の種類や原因について① 聴覚障害の原因や種類				講 義	倉 澤
8	5)	聴覚障害の種類や原因について② 外耳疾患、中耳疾患、内耳疾患				講 義	倉 澤
9	5)	聴覚障害の種類や原因について③ その他聴覚障害と平衡疾患				講 義	倉 澤
10	6)	成人聴覚障害概論				講義・演習	倉 澤
11	6)	成人聴覚障害(リ)ハビリテーション				講義・演習	倉 澤
12	7)	小児聴覚障害概論				講義・演習	戸 高
13	7)	小児聴覚障害リハビリテーション				講義・演習	戸 高
14	8)	聴覚補償機器と支援について(補聴器・人工内耳)				講 義	倉 澤
15	9)	まとめ:講義の振り返り				講義・SGD	倉 澤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		標準言語聴覚障害学 聴覚障害学第 3 版 (城間将江他編)医学書院【978-4-260-04350-2】 最新 言語聴覚学講座 聴覚障害学(中川尚志他編)医歯薬出版【978-4-263-27074-5】 言語聴覚士ドリルプラス 聴覚障害(大塚裕一編)診断と治療社【978-4-7878-2459-0】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		発達と障害を考える本(9)ふしぎだね！？聴覚障害のおともたち(倉内紀子監)ミネルヴァ書房【978-4-6230-5108-3】 クリア言語聴覚療法 10 聴覚障害(佐藤紀代子他編) 建帛社 【978-4-7679-4559-0】					

科目名		聴覚障害学Ⅱ			授業コード	120769B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51S222P06	AL 科目	○
担当者		戸高 翼(臨・臨)、倉澤 美智子 (臨・臨)、伊藤 さゆり(臨・臨)、外部講師	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リラーNo.		言語聴覚士として聴覚障害のある児・者に適切に関わっていくためには、聴覚障害についての理解した上で、アセスメントや支援技法を身に付ける必要がある。 「言語聴覚障害学Ⅱ」では、多様な状態を示す聴覚障害児・者に適切な指導・支援ができる言語聴覚士になるために(DP3)、小児聴覚障害、成人聴覚障害、高齢者の聴覚障害、視覚聴覚二重障害の特徴を理解し、聴覚障害に関わる社会・地域資源の活用を含め概説できる力を修得する(CP1(5))。						
学修目標		1) 成人難聴の評価の方法について説明できる。 2) 成人難聴の指導・支援のポイントについて説明できる。 3) 小児難聴の評価の方法について説明できる。 4) 小児難聴の指導・支援のポイントについて説明できる。 5) 特異的な聴覚障害の種類と特徴について説明できる。 6) 音響環境と補聴援助・情報保障機器について説明できる。 7) 聴覚障害に関わる社会・地域資源の活用方法について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者(戸高、倉澤、伊藤、外部講師)は、医療・教育現場での 5 年以上の言語聴覚士としての豊富な経験に基づき、小児から高齢者までの聴覚(リ)ハビリテーションについて、より臨床的な授業を展開する。						
評価及びフィード バックの方法		授業毎のレポート課題や小テストにより形成的評価を行い、学習成果をフィードバックする。小テストを実施した場合は、採点は授業担当者が行い、返却時に学習成果をフィードバックする。課題は、次回授業開始時に提出し、授業担当者が内容の確認をし、解説内容に過不足がある場合は、解説を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、レポート、小テスト等)の評価を 30%、学期末の単位認定試験を 70%として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		・授業内容の項目について、教科書の該当ページを読み、予習しておくこと。 ・返却された確認テストや課題を用いて、学習内容の復習すること。 ・確認テストや課題は、返却するので、必ず各自でファイルすること。また、同じファイルに配布資料もまとめ、質問する際には、それらを持参すること。 この資料はチューター面談等にも使用される。 ・SGD では、自ら能動的に考える場であること理解し、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べること。						
オフィスアワー		毎週月曜～水曜日 12:30～13:00						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	復習:成人聴覚障害リハビリテーション(評価)を理解する					講義・演習	倉 澤
2	2)	復習:成人聴覚障害リハビリテーション(指導・支援)を理解する					講義・演習	倉 澤
3	3)	小児:成人聴覚障害リハビリテーション(評価)を理解する					講義・演習	戸 高
4	4)	復習:小児聴覚障害リハビリテーション(指導・支援)を理解する					講義・演習	戸 高
5	1)2)	成人聴覚障害の事例検討を行う					講義・演習・SGD	外部講師
6	3)4)	小児聴覚障害の事例検討を行う					講義・演習・SGD	外部講師
7	6)	臨床現場における難聴児・者の支援体制や補聴器、人工内耳症例の実際を知る					講義・演習・SGD	外部講師
8	6)7)	小児聴覚障害の学校教育における支援体制を理解する					講義・演習・SGD	戸 高
9	5)	特異的な聴覚障害(一側性難聴、中枢性難聴)を理解する					講義・演習	倉 澤
10	5)	特異的な聴覚障害(聴覚情報処理障害)を理解する					講義・演習	戸 高
11	5)	視覚聴覚二重障害を理解する(原因疾患と病態、コミュニケーション手段)					講義・演習	伊 藤
12	1)～7)	まとめ:聴覚障害の診断から支援までの流れを理解する					講義・演習	外部講師
13	6)	音響環境と補聴援助・情報保障機器を理解する					講義・演習	戸 高
14	7)	聴覚障害に関わる社会・地域資源の活用と参加を理解する					講義・演習	戸 高
15	1)～7)	まとめ					講義・演習	戸 高
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		標準言語聴覚障害学 聴覚障害学第 3 版(城間将江他編)医学書院【978-4-260-04350-2】 最新 言語聴覚障害学講座 聴覚障害学(中川尚志他編)医歯薬出版【978-4-263-2707-45】 言語聴覚士ドリルプラス 聴覚障害(大塚裕一編)診断と治療社【978-4-7878-2459-0】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		発達と障害を考える本(9)ふしぎだね! ? 聴覚障害のおともだち(倉内紀子監)ミネルヴァ書房【978-4-6230-5108-3】						

科目名	補聴器・人工内耳			授業コード	121644B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51S322P04	AL 科目	○
担当者	倉澤美智子(臨・心)、石川 一葉 (非常勤講師)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	補聴器、人工内耳・人工中耳、聴覚・情報保障支援システムについて基本的な知識の修得を目指す。聴覚障害児・者に対して、補聴器および人工内耳の聴覚(リ)ハビリテーションに貢献できる言語聴覚士になるために、適合・調整、プログラミングなどの基本事項を理解した上で、小児および成人の評価や装用指導・訓練について知識・技術を修得する。また、発症時期やライフステージを考慮した本人および家族への支援に必要な臨床的な知識の修得を目指す。(DP1,2,3,4,5,6)(CP1(1,2,5)2(1,2,4))						
学修目標	1) 補聴器・人工内耳についての仕組みや構造について説明できる。 2) 対象者に応じた補聴器・人工内耳の装用指導・支援についての概要が説明できる。 3) 最新の人工聴覚器と適応基準について説明できる 4) 人工内耳のプログラミングの具体的方法について説明できる 5) 人工内耳の装用効果の評価法について説明できる 6) 成人の補聴器・人工内耳の装用指導・訓練の原則と方法について説明できる 7) 小児の補聴器・人工内耳の装用指導・訓練の原則と方法について説明できる						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(倉澤、石川)は、医療機関での言語聴覚士としての豊富な臨床経験に基づき、より実践的な授業を展開する。						
評価及びフィード バックの方法	授業毎のレポート課題等により形成的評価を行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、レポート等)の評価を 30%、学期末の単位認定試験を 70%として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	次のように、1回の授業につき 1 時間を目安に予習・復習を行うこと。 授業毎に提示されるテーマについてレポートを作成する。教科書の次回授業部分(授業時に指示)を読んでおく。						
オフィスアワー	毎週水曜日 12:30～13:00、講義の前後の時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	聴覚補償機器と支援(補聴器)				講義・SGD	倉 澤
2	1)2)	補聴器装用指導・支援(成人・小児)				講義・SGD	倉 澤
3	1)2)	聴覚補償機器と支援(人工内耳)				講義・SGD	倉 澤
4	1)2)	人工内耳プログラミングと装用支援				講義・SGD	倉 澤
5	2)3)	補聴器の仕組み①				講義・演習・SGD	倉澤美智子(臨・心)
6	2)3)	補聴器の仕組み②				講義・演習・SGD	倉澤美智子(臨・心)
7	2)3)	補聴器の適合・調整の適切性の判断と装用効果の評価①				講義・演習・SGD	倉澤美智子(臨・心)
8	2)3)	補聴器の適合・調整の適切性の判断と装用効果の評価②				講義・演習・SGD	倉澤美智子(臨・心)
9	3)	人工聴覚機器の進歩				講義・演習・SGD	倉澤美智子(臨・心)
10	4)	人工内耳システムを用いたプログラミングの実際①				講義・演習	石 川
11	4)	人工内耳システムを用いたプログラミングの実際②				講義・演習	石 川
12	4)5)	人工内耳のプログラミングの適切性の判断と装用効果の評価				講義・演習	石 川
13	6)	成人人工内耳の装用指導・訓練の原則と方法				講義・演習	石 川
14	7)	小児人工内耳の装用指導・訓練の原則と方法				講義・演習	石 川
15	4)5)6) 7)	まとめ:学習の振り返り				講義・演習	倉 澤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		聞こえの障がいと補聴器・人工内耳入門:基礎からわかるQ&A (黒田生子他編)学苑者【978-4-761-40838-1】 標準言語聴覚障害学 聴覚障害学第 3 版(城間将江他編)医学書院【978-4-260-04350-2】 言語聴覚士ドリルプラス 聴覚障害(大塚裕一編)診断と治療社【978-4-7878-2459-0】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		言語聴覚士テキスト 第 3 版(大森孝一他編)医歯薬出版【978-4-263-26560-4】 補聴器のフィッティングと適応の考え方 (小寺一興著)診断と治療社【978-4-7878-2274-1】					

科目名	学外評価臨床実習			授業コード	121476D601	単位数 (時間数)	4 単位 (180)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51S322P06	AL 科目	○
担当者	倉澤 美智子(臨・臨)・戸高 翼 (臨・臨)・伊藤 さゆり(臨・臨)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	本実習の目的は、高い臨床知識・技術を持つ言語聴覚士を目指す者が、利用者中心の言語聴覚療法を行うために必要な臨床能力を身につけるために実施されることにある(DP3,5,6)。本実習では、障害児・者の評価を中心とした業務や、実習指導者とのやり取りを通じ、学生個人が言語聴覚士として必要なスキルや症例の持つ障害の特性に応じた評価の技術、訓練プログラム立案のための能力、討議する能力、分析する能力を身につける。また、病院等の施設において勤務することに必要な積極性や協調性などの基本的態度や、地域に根差した支援の方法、生涯にわたる自己研鑽をするための姿勢を学ぶ(CP1(5,7))。						
学修目標	1) 言語聴覚士としての基本的コミュニケーション態度・マナーを示すことができる。 2) 実習の計画立案と実習後の分析、報告書の作成ができる。 3) 症例に対して問診を実施し、問診の内容から必要なスクリーニング検査・鑑別検査を実施できる。 4) 症例の観察、問診・諸検査結果、逐次記録から、症例の問題点を抽出し、訓練プログラムの立案ができる。 5) 実習日誌、計画書・報告書等、実習に必要な書類・レポートを提出期限までに作成・提出ができる。 6) 症例の障害や原因疾患等に関する文献を探索し、引用ができる。 7) 症例の評価に関するプレゼンテーションと討議ができる。 8) 施設や所属する症例の特性を考慮しつつ、実習指導者や施設スタッフの指導の下、言語聴覚士としての評価・記録・報告ができる。						
実務経験のある 教員による教育	担当教員が言語聴覚士としての豊富な実務経験を活かした実務的な指導を行うことで、言語聴覚士としての態度・知識・技能を修得することができる。						
評価及びフィード バックの方法	学外評価臨床実習(指導者からの評価、課題、日誌等の提出物)50%、筆記試験 30%、事前・事後学修(小テスト・レポート等)20%						
準備学習・ 履修上の注意等	実習に向けて事前学修において、これまでの予習を十分に行った上で学外臨床実習に臨み、事後学修においては、実践的な評価や訓練立案に向けて復習を重ね修得してほしい。 学外評価臨床実習中は、以下の到達目標を達成できるよう、常に疑問を持ち、実習に臨んでほしい。 (1) 実習生としての責任を自覚し、対象児・者、その家族、実習指導者および他の職員と協調して活動することができる。 (2) 言語聴覚療法を行う上で必要な関連情報を収集することができる。 (3) 言語聴覚障害の評価を行い、問題点を抽出することができる。 (4) カルテまたは診療録の記録ができる。 (5) 症例報告書の作成ができる。 学外評価臨床実習は原則、全出席である。そのため、体調管理に努め、体調不良の場合は、報告・連絡・相談を行い、所定の手続きを行うこと。						
オフィスアワー	必要に応じ、可能な時間に対応する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)～8)	学外評価臨床実習				実 習	全担当者
		上記内容で 160 時間の学外実習と 20 時間の事前事後学修を実施する 事前学修:検査演習、検査分析、書類(日誌、症例報告書)の書き方、知識系の復習(小テストを含む)等を実施 事後学修:学外評価臨床実習報告会、知識系の復習(小テスト含む)、検査演習等を実施					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】	図解 言語聴覚療法技術ガイド(深浦順一 編集主幹)文光堂【978-4-8306-4511-2】 言語聴覚士リスク管理ハンドブック(山本 徹他編)ヒューマン・プレス【978-4908933080】 高次脳機能障害ポケットマニュアル 第3版(原 寛美監修)医歯薬出版【978-4263214985】 嚥下障害ポケットマニュアル第4版(聖隷嚥下チーム 著)医歯薬出版【9784263-265697】 その他、今までに受けた講義/演習/実習で用いた教科書・参考書を適宜使用・引用してください。
--------------------	--

[illegible]

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	なるほど！失語症の評価と治療 検査結果の解釈から訓練法立案まで(小嶋知幸 編)金原出版株式会社【978-4-307-75023-3】 ST 評価ポケット手帳 (白波瀬元道 編)ヒューマン・プレス【978-4908933271】 今までに受けた講義/演習/実習で用いた教科書を適宜使用してください。
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	図解 言語聴覚療法技術ガイド(深浦順一 編集主幹)文光堂【978-4-8306-4511-2】 言語聴覚士リスク管理ハンドブック(山本 徹他編)ヒューマン・プレス【978-4908933080】 高次脳機能障害ポケットマニュアル 第3版(原 寛美監修)医歯薬出版【978-4263214985】 嚥下障害ポケットマニュアル第4版(聖隷嚥下チーム 著)医歯薬出版【978-4263-26569-7】 その他、今までに受けた講義/演習/実習で用いた教科書・参考書を適宜使用・引用してください。

科目名		動物人間関係学		授業コード	120802B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学科(1 年)		ナンバリング	51C111P03	AL 科目	×
担当者		加藤 謙介(心理)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態 講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		本講義では、「アニマル・セラピー」の実践に関する心理・福祉専門職になるために、「人間と動物の関係」をめぐる様々な事柄・問題についての正しい理解を深め、幅広く専門知識を習得する。【DP(1)(3)(5)・CP(2)】 具体的には、「アニマル・セラピー」「ペットという関係」「動物観」「動物の権利・動物の福祉」「人と動物の共生」などの小テーマについて学習する。その上で、人間と動物の関係を心理・福祉分野で活用するための知識を習得する。					
学修目標		1)いわゆる「アニマル・セラピー」の特徴と意義について説明できる。 2)「人間と動物の関係」の特徴・多様性を説明できる。 3)「人間と動物の関係」の具体例を列挙できる。 4)「人間と動物の関係」を支える「動物観」の特徴について説明できる。 5)「人間と動物の関係」をめぐる諸問題について、特徴と課題を説明できる。					
実務経験のある 教員による教育		特になし					
評価及びフィード バックの方法		【フィードバック】毎回の授業後のショートレポートに基づく質疑応答によってフィードバックを行う。 【評価】学期末の試験によって評価する(100%)。					
準備学習・ 履修上の注意等		【準備学習(予習・復習等)時間】毎授業後次回授業内容のポイントを示すので、事前準備を行うこと。また、毎授業後に、1 コマあたり 1 時間を目安に、必ず講義ノートを読み返すこと。 【履修上の注意等】本講義に際しては、心理学・福祉・医療等、幅広い分野に関心をもち、様々な講義を受講していることが望ましい。また、他の受講生の迷惑になるような行為(私語等)は厳に謹んで頂きたい。 【出席登録について】本科目では、学生証による出席登録をしなかった場合、出席を認めないので注意すること(「学生便覧」参照)					
オフィスアワー		時間割が確定した後に研究室前に掲示する。					
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	5)	【1】イントロダクション 「人間と動物の関係」に関する問題群の概要について説明する。				講 義	加 藤
2	1)	【2】『アニマル・セラピー』とは何か？(1) いわゆる「アニマル・セラピー」の定義・歴史等について説明する。				講 義	加 藤
3	1)	【3】『アニマル・セラピー』とは何か？(2) いわゆる「アニマル・セラピー」の定義・歴史等について説明する。				講 義	加 藤
4	1)	【4】『アニマル・セラピー』とは何か？(3) いわゆる「アニマル・セラピー」の対象者・効果等について説明する。				講 義	加 藤
5	1)	【5】『アニマル・セラピー』とは何か？(4) いわゆる「アニマル・セラピー」の対象者・効果等について説明する。				S G D	加 藤
6	1)	【6】『アニマル・セラピー』とは何か？(5) いわゆる「アニマル・セラピー」に関する理論的観点について説明する。				講 義	加 藤
7	1)	【7】『アニマル・セラピー』とは何か？(6) いわゆる「アニマル・セラピー」に関する理論的観点について説明する。				講 義	加 藤
8	2)(3)(4) 5)	【8】『人と動物の関係』をめぐる諸問題(1) 「人と動物の関係」のうち、特に「家庭動物」との関わりから見える人間の心理・福祉・医療・生活の課題について説明する。				講 義	加 藤
9	2)(3)(4) 5)	【9】『人と動物の関係』をめぐる諸問題(2) 「人と動物の関係」のうち、特に「産業動物」との関わりから見える人間の心理・福祉・医療・生活の課題について説明する。				講 義	加 藤
10	2)(3)(4) 5)	【10】『人と動物の関係』をめぐる諸問題(3) 「人と動物の関係」のうち、特に「展示動物」との関わりから見える人間の心理・福祉・医療・生活の課題について説明する。				講 義	加 藤
11	2)(3)(4) 5)	【11】『人と動物の関係』をめぐる諸問題(4) 「人と動物の関係」のうち、特に「実験動物」との関わりから見える人間の心理・福祉・医療・生活の課題について説明する。				講 義	加 藤
12	2)(3)(4) 5)	【12】『人と動物の関係』をめぐる諸問題(5) 「人と動物の関係」のうち、特に「野生動物」との関わりから見える人間の心理・福祉・医療・生活の課題について説明する。				講 義	加 藤
13	2)(3)(4) 5)	【13】人と動物の『共生』(1) 都市部での人間と動物の「共生」の課題と展望について、「地域猫」活動の事例をもとに説明する。				講 義	加 藤
14	2)(3)(4) 5)	【14】人と動物の『共生』(2) 動物との「死別」という関係について、その特徴と対応を説明する。				講 義	加 藤
15	2)(3)(4) 5)	【15】人と動物の『共生』(3) これまでの授業内容を踏まえて、「動物人間関係学」の論点を説明する。				講 義	加 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。				
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。				

科目名	動物介在教育学			授業コード	120798B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51C222P09	AL 科目	×
担当者	加藤 謙介(心理)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	本講義では、心理・福祉専門職の育成にあたって、特に「子どもと動物の関係」「動物を介した教育」をめぐる様々な事柄・問題について、幅広く専門知識を習得する。【DP(1)(3)(5)・CP(6)】 具体的には、「動物介在教育」「アニマル・セラピー」「法制度における動物飼育」「動物虐待と児童虐待」「メディアにおける人間と動物の関係」などの小テーマについて学習する。その上で、人間と動物の関係を心理・福祉分野で活用するための知識を習得する。						
学修目標	1)「人間と動物の関係」の特徴・多様性を説明できる。 2)いわゆる「アニマル・セラピー」の特徴と意義について説明できる。 3)いわゆる「動物介在教育」の特徴と意義について説明できる。 4)学校等での動物飼育に関する意義と注意点について説明できる。 5)「動物虐待」の特徴と課題、及び、対応のあり方について説明できる。 6)絵本・映画などに描かれた「人間と動物の関係」の特徴について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし。						
評価及びフィード バックの方法	【フィードバック】毎回の授業後のショートレポートに基づく質疑応答によってフィードバックを行う。 【評価】学期末の試験によって評価する(100%)。						
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習(予習・復習等)時間】毎授業後次回授業内容のポイントを示すので、事前準備を行うこと。また、毎授業後に、1 コマあたり 1 時間を目安に、必ず講義ノートを読み返すこと。 【履修上の注意】本講義に際しては、心理学・福祉・医療、ならびに、保育・教育など、幅広い分野に関心をもち、様々な講義を受講していることが望ましい。また、他の受講生の迷惑になるような行為(私語等)は厳に謹んで頂きたい。 【出席登録について】本科目では、学生証による出席登録をしなかった場合、出席を認めないので注意すること(「学生便覧」参照)						
オフィスアワー	時間割が確定した後に研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)3)	【1】イントロダクション:「子どもと動物の関係」に関する問題群の概要について説明する。				講 義	加 藤
2	1)	【2】『人間と動物の関係とは?』:「人間と動物の関係」の種類について、13 の「動詞」から説明する。				講 義	加 藤
3	2)	【3】『アニマル・セラピー』とは何か?(1):動物を「介在」させたケア実践である「アニマル・セラピー」について、定義・歴史等について説明する。				講 義	加 藤
4	2)	【4】『アニマル・セラピー』とは何か?(2):動物を「介在」させたケア実践である「アニマル・セラピー」について、対象者・効果等について説明する。				講 義	加 藤
5	2)	【5】『アニマル・セラピー』とは何か?(3):動物を「介在」させたケア実践である「アニマル・セラピー」に関する理論的観点について説明する。				講 義	加 藤
6	3)	【6】動物介在教育の実践(1):動物を「介在」させた教育実践である「動物介在教育」について、目的と意義を説明する。				講 義	加 藤
7	3)	【7】動物介在教育の実践(2):動物を「介在」させた教育実践である「動物介在教育」について、注意点と課題を説明する。				講 義	加 藤
8	4)	【8】法制度における「動物飼育」(1):学校等での動物飼育に関する法律・制度について説明する。				講 義	加 藤
9	4)	【9】法制度における「動物飼育」(2):学校等での動物飼育に関する法律・制度に基づき、教育現場での動物活用の課題について説明する。				講 義	加 藤
10	5)	【10】「動物虐待と児童虐待」(1):「動物虐待」の特徴と対応の困難さについて説明する。				講 義	加 藤
11	5)	【11】「動物虐待と児童虐待」(2):「動物虐待」と「児童虐待」「DV」との関連を述べ、対応のあり方について説明する。				講 義	加 藤
12	5)	【12】「動物虐待と児童虐待」(3):「動物虐待」防止に関わる「共感性」の特徴について説明する。				講 義	加 藤
13	6)	【13】メディアにおける「人間と動物の関係」(1):「人間と動物の関係を」をテーマとした絵本の特徴と活用方法について説明する。				講 義	加 藤
14	6)	【14】メディアにおける「人間と動物の関係」(2):「教育現場における動物の活用」をテーマとした映画を取り上げ、その特徴と問題点について説明する。				講 義	加 藤
15	1)2) 3)4) 5)6)	【15】総括:これまでの講義内容を踏まえ、「子どもと動物の関係」に関する意義・課題・展望について説明する。				講 義	加 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	アニマルセラピー概論			授業コード	120004B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51C221P12	AL 科目	×
担当者	加藤 謙介(心理)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシーNo.	アニマルセラピー概論Ⅰでは、心理・福祉専門職育成にあたって、動物を介在したケア実践であるアニマル・セラピーについて、実践の特色、効果、コーディネートの実際等、幅広く専門知識を習得する。【DP(1)(3)(5)・CP(6)】 具体的には、「アニマル・セラピーの概要」、「高齢者を対象とするアニマル・セラピー」、「障がい者を対象とするアニマル・セラピー」、「アニマルセラピーコーディネートの実際」などの小テーマについて学習する。その上で、人間と動物の関係を援助専門職分野で活用するための知識を習得する。						
学修目標	1)アニマルセラピーの概要を整理・説明できる。 2)高齢者を対象とするアニマルセラピーの特徴を説明できる。 3)障がい者を対象とするアニマルセラピーの特徴を説明できる。 4)福祉施設における動物活用の意義と課題について、主に国内での実践事例に基づき説明できる。 5)ボランティア・NPO の特徴と社会的役割について説明できる。 6)「アニマルセラピーコーディネート」の特徴・注意点について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価及びフィード バックの方法	【フィードバック】毎回の授業後のショートレポートに基づく質疑応答によってフィードバックを行う。 【評価】学期末の試験によって評価する(100%)。						
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習(予習・復習等)時間】毎授業後次回授業内容のポイントを示すので、事前準備を行うこと。また、毎授業後に、1 コマあたり 1 時間を目安に、必ず講義ノートを読み返すこと。 【履修上の注意】本講義に際しては、心理学・福祉・医療など、幅広い分野に関心をもち、様々な講義を受講していることが望ましい。また、他の受講生の迷惑になるような行為(私語等)は厳に謹んで頂きたい。 【出席登録について】本科目では、学生証による出席登録をしなかった場合、出席を認めないので注意すること(「学生便覧」参照)						
オフィスアワー	時間割が確定した後に研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【1】イントロダクション:アニマルセラピーと「人と動物の関係」を説明できる。				講 義	加 藤
2	1)	【2】アニマルセラピーの概要(1):アニマルセラピーの定義・対象者・効果等を説明できる。				講 義	加 藤
3	1)	【3】アニマルセラピーの概要(2):より良いアニマルセラピー実践のための「注意点」について、概要を説明できる。				講 義	加 藤
4	2)	【4】高齢者とアニマルセラピー(1):高齢者を対象とするアニマルセラピーの特徴と効果について説明できる。				講 義	加 藤
5	2)	【5】高齢者とアニマルセラピー(2):高齢者を対象とするアニマルセラピーの理論的観点について説明できる。				講 義	加 藤
6	2)4)	【6】高齢者施設における動物活用(1):高齢者の施設ケアにおける動物活用について、国内の実践事例をもとに説明できる。				講 義	加 藤
7	2)4)	【7】高齢者施設における動物活用(2):高齢者の施設ケアにおける動物活用について、国内の実践事例をもとに説明できる。				講 義	加 藤
8	3)	【8】障がい者とアニマルセラピー(1):障がい者を対象とするアニマルセラピーの特徴と効果について説明できる。				講 義	加 藤
9	3)	【9】障がい者とアニマルセラピー(2):障がい者を対象とするアニマルセラピーの理論的観点について説明できる。				講 義	加 藤
10	3)4)	【10】障がい者施設における動物活用:障がい者の施設ケアにおける動物活用について、国内の実践事例をもとに説明できる。				講 義	加 藤
11	5)	【11】ボランティア・NPO の社会的役割:アニマルセラピーの担い手の一翼であるボランティア・NPO の特徴と社会的役割について説明できる。				講 義	加 藤
12	6)	【12】アニマルセラピーコーディネート(1):アニマルセラピー実践に必要な視点について、「5 つの現場の声」をもとに説明できる。				講 義	加 藤
13	6)	【13】アニマルセラピーコーディネート(2):アニマルセラピー実践に必要な視点について、「5 つの現場の声」をもとに説明できる。				講 義	加 藤
14	6)	【14】アニマルセラピーコーディネート(3):アニマルセラピー実践に必要な視点について、「5 つの現場の声」をもとに説明できる。				講 義	加 藤
15	1)2) 3)4) 5)6)	【15】総括:これまでの講義内容を踏まえ、高齢者・障がい者を対象とするアニマルセラピーの意義と課題を説明できる。				講 義	加 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	アニマルセラピー演習Ⅰ			授業コード	121110A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年生)			ナンバリング	51C321P08	AL 科目	○
担当者	加藤 謙介	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・見学
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	本科目では、「アニマルセラピー」をより深く理解するための応用問題として、「災害時の人とペットの関係」を学ぶことを目的とする。具体的には、(1)「人とペットの関係」の意義と課題、(2)過去の災害事例における「人とペットの被災」、(3)「人とペットの災害対策」、等をサブテーマとし、「人とペットの被災」「人とペットの減災」のあり方から、「アニマルセラピー」の意義に関する実践的知識等を習得する。【DP(1)(3)(5)・CP(6)】						
学修目標	1)「人とペットの関係」の意義と課題について説明できる。 2)過去の災害事例における「人とペットの被災」の状況を説明できる。 3)「人とペットの災害対策」の特徴を説明できる。 4)人生の危機的状況における「人とペットの関係」の意義を理解し、アニマルセラピーとの関連を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし。						
評価及びフィード バックの方法	【フィードバック】演習内でのディスカッションを通してフィードバックを行う。 【評価】演習への参加(50%)、及び学期末の試験(50%)によって評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	見学は土・日となることもありうる。毎回の授業にたいして2 時間程度の復習と予習をすること。 なお、各種感染症の拡大状況や、見学予定地の事情などによって、見学・実習等の講義内容が大幅に変更になる可能性があることを付記する。						
オフィスアワー	担当教員の研究室に掲示						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方法	担 当
1	1)~4)	オリエンテーション 演習Ⅰの授業内容を説明できる。				講 義	加 藤
2	1)	「人とペットの関係」の意義と課題(1) 「人とペットの関係」のポジティブな側面を説明できる。				講義・演習	加 藤
3	1)	「人とペットの関係」の意義と課題(2) 「人とペットの関係」のネガティブな側面を説明できる。				講義・演習	加 藤
4	2)	過去の災害事例における「人とペットの被災」(1) 1980 年代～2010 年までの「人とペットの被災」の状況を説明できる。				講義・演習	加 藤
5	2)	過去の災害事例における「人とペットの被災」(2) 東日本大震災における「人とペットの被災」の状況を説明できる。				講義・演習	加 藤
6	2)	過去の災害事例における「人とペットの被災」(3) 東日本大震災における「人とペットの被災」の状況を説明できる。				講義・演習	加 藤
7	2)	過去の災害事例における「人とペットの被災」(4) 熊本地震における「人とペットの被災」の状況を説明できる。				講義・演習	加 藤
8	2)	過去の災害事例における「人とペットの被災」(5) 2020 年代の「人とペットの被災」の状況を説明できる。				講義・演習	加 藤
9	3)	「人とペットの災害対策」 「人とペットの災害対策」の概要を説明できる。				講 義	加 藤
10	1)2)3)	被災地域見学(1) 過去の災害被災地での「人とペットの関係」見学				見 学	加 藤
11	1)2)3)	被災地域見学(2) 過去の災害被災地での「人とペットの関係」見学				見 学	加 藤
12	1)2)3)	被災地域見学(3) 過去の災害被災地での「人とペットの関係」見学				見 学	加 藤
13	1)2)3)	被災地域見学(4) 過去の災害被災地での「人とペットの関係」見学				見 学	加 藤
14	1)2)3)	被災地域見学フォローアップ 被災地域見学の体験を共有し、自分の考えをまとめ説明できる。				演 習	加 藤
15	1)~4)	「人とペットの被災」から「アニマルセラピー」を考える 授業内容を踏まえて、「アニマルセラピー」の意義について説明できる。				演 習	加 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名	アニマルセラピー演習Ⅱ			授業コード	121111A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年生)			ナンバリング	51C322P06	AL 科目	○
担当者	加藤 謙介	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・見学
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	本科目では、「アニマルセラピー演習Ⅰ」での学びを基に、「災害時の人とペットとの関係」をより深く学ぶことを目的とする。具体的には、(1)「人とペットの関係」の意義と課題、(2)過去の災害事例における「人とペットの被災」、(3)「人とペットの災害対策」、(4)「人とペットの防災」と「人とペットの 3 つの避難」等をサブテーマとし、災害時の人とペットの関係のあり方から、「アニマルセラピー」の意義に関する実践的知識等を習得する。【DP(1)(3)(5)・CP(6)】						
学修目標	1)「人とペットの関係」の意義と課題について説明できる。 2)過去の災害事例における「人とペットの被災」の状況を説明できる。 3)「人とペットの災害対策」の特徴を説明できる。 4)「人とペットの防災」のあり方と、「人とペットの 3 つの避難」の特徴と備えを説明できる。 5)より良い「人とペットの関係」のあり方を理解し、アニマルセラピーとの関連を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし。						
評価及びフィード バックの方法	【フィードバック】演習内でのディスカッションを通してフィードバックを行う。 【評価】演習への参加(50%)、及び学期末の試験(50%)によって評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	見学は土・日となることもありうる。毎回の授業にたいして 2 時間程度の復習と予習をすること。 なお、各種感染症の拡大状況や、見学予定地の事情などによって、見学・実習等の講義内容が大幅に変更になる可能性があることを付記する。						
オフィスアワー	担当教員の研究室に掲示						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1-5)	オリエンテーション 演習Ⅱでの学びの内容を説明できる。				講 義	加 藤
2	1)	「人とペットの関係」の意義と課題 「人とペットの関係」のポジティブ・ネガティブな側面を説明できる。				講義・演習	加 藤
3	2)	過去の災害事例における「人とペットの被災」(1) 1980 年代～2010 年までの「人とペットの被災」の状況を説明できる。				講義・演習	加 藤
4	2)	過去の災害事例における「人とペットの被災」(2) 東日本大震災における「人とペットの被災」の状況を説明できる。				講義・演習	加 藤
5	2)	過去の災害事例における「人とペットの被災」(3) 熊本地震における「人とペットの被災」の状況を説明できる。				講義・演習	加 藤
6	2)	過去の災害事例における「人とペットの被災」(4) 2020 年代の「人とペットの被災」の状況を説明できる。				講義・演習	加 藤
7	3)	「人とペットの災害対策」 「人とペットの災害対策」の概要を説明できる。				講 義	加 藤
8	4)	「人とペットの防災」と「人とペットの 3 つの避難」(1) 「人とペットの防災」のあり方と、「人とペットの 3 つの避難」の特徴と備えを説明できる。				講義・演習	加 藤
9	4)	「人とペットの防災」と「人とペットの 3 つの避難」(2) 「人とペットの防災」のあり方と、「人とペットの 3 つの避難」の特徴と備えを説明できる。				講義・演習	加 藤
10	2)(3)4)	地域防災活動見学(1) 地域での「人とペットの防災」活動見学				見 学	加 藤
11	2)(3)4)	地域防災活動見学(2) 地域での「人とペットの防災」活動見学				見 学	加 藤
12	2)(3)4)	地域防災活動見学(3) 地域での「人とペットの防災」活動見学				見 学	加 藤
13	2)(3)4)	地域防災活動見学(4) 地域での「人とペットの防災」活動見学				見 学	加 藤
14	1-4)	地域防災活動見学フォローアップ 地域での「人とペットの防災」活動見学の体験を共有し、自分の考えをまとめ説明できる。				演 習	加 藤
15	1-5)	「災害時の人とペットの関係」から「アニマルセラピー」を考える 授業内容を踏まえて、「アニマルセラピー」の意義について説明できる。				演 習	加 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名		動物適正飼養・トレーニング学			授業コード	121299B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床福祉学科(2 年)			ナンバリング	51C221P13	AL 科目	○
担当者		綾部 ゆみ子(非常勤講師)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・実技
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		人間と犬が共に豊かな生涯を送れる様に、人間は犬のことを理解し知識を得るために犬学・飼い主学を学び、終生飼養ができるよう総合的に学習する。						
学修目標		1・犬全般について知識を深める。 2・犬の健康管理について知る。 3・犬の衛生管理について知る。 4・犬のしつけについて知る。						
実務経験のある 教員による教育		1999 年より仔犬のしつけ教室から老犬のしつけ教室までを行い、犬のしつけをもとに動物介在教育・介在療法・介在活動を行っている。その経験をもとに現場での実習に必要なアニマルセラピーを指導する。						
評価及びフィード バックの方法		レポート: 50% レポート提出 2 回の内容を総合的に評価し、指導にてフィードバックする。 平常点評価: 50% 受講状況、実技習得状況						
準備学習・ 履修上の注意等		毎授業後に授業内容の確認としてレポートにまとめておく事 実技室の清掃を授業前にしておく事						
オフィスアワー		授業前後の可能な時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1	犬全般について知識を深める(2コマ) ・人間と犬の関わりについて ・犬種について ・作業犬、使役犬について ・愛玩犬について					講 義	綾 部
2	2	パピー期についての基礎知識(4コマ) ・子犬の教育方法					講 義	綾 部
3	3	ジュニア期・成犬期・老犬期について基礎知識(1コマ)					講 義	綾 部
4	4	しつけ(2コマ) ・トイレのしつけ実技					実 技	綾 部
10	1234	施設学外実習(1コマ)					実 習	綾 部
6	3	犬の健康管理(2コマ) 獣医師による健康チェック実技					実 技	綾 部
7	4	犬の衛生管理(3コマ) 美容実技					実 技	綾 部
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						

科目名	動物トレーニング実習			授業コード	121577A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51C222P10	AL 科目	○
担当者	綾部 ゆみ子(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・実習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	家族の一員と言われる犬と快適な生活を過ごすために、必要な教育方法を総合的に学習する。 犬の本能や習性、コミュニケーションの取り方等を学び、個々の犬の性格に適した教育方法を学習理論に基づき習得する。 また、トレーニング方法については陽性強化法を用いる事とする。 しつけされた犬とアニマルセラピーについて理解を深める。						
学修目標	1.犬の行動学を理解する。 2.オペラント条件付けトレーニング法を理解する。 3.犬のボディーランゲージやカーミングシグナルを理解する。 4.犬の基本的なトレーニングを実践する。 5.アニマルセラピーについて学び理解を深める。						
実務経験のある 教員による教育	1999 年より子犬の飼い方指導や子犬・成犬・老犬のしつけ教室を行う。また、子犬の保育園から成犬の保育園を運営する。 しつけ教育のできた犬と一緒に動物介在教育・介在療法・介在活動を行っている。 その経験をもとに現場での実習に必要なアニマルセラピーを指導する。						
評価及びフィード バックの方法	レポート : 20% 授業期間中の 1~2 回のレポート課題の内容で評価する。 実 技 : 20% 授業期間中の実技トレーニング課題の内容で評価する。 平常点評価: 60% 受講状況、発言や意欲、行動などを総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	基礎知識を自主的に学び深めること。 実技室事前・事後清掃						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1,2	・犬の行動学を学び理解する。 ・オペラント条件付けについて理解し深める。 ・陽性強化法トレーニングについて理解し実施する。 ・カーミングシグナルやボディーランゲージについて理解し深める。				講 義	綾 部
2-4	2,3	・陽性強化法に基づいたトレーニング法を学ぶ。 ・基本トレーニング実践する。 (名前、呼び戻し、オスワリ、フセ、マテ、アイコンタクト) ・抱き方について確認する。 ・犬のボディーランゲージについて確認する。				実 技	綾 部
5	1,2,4	・衛生管理について学び理解を深める。				講 義	綾 部
6	2,3,4	・福祉用具(車イス)歩行器などの名称を学び使用法を理解する。				講 義	綾 部
7-8	2,3,4	・実際に福祉用具(車イス)や歩行器等を使用し犬の抱き方や歩行の仕方等を学び実践する。				実 技	綾 部
9-11	2,3,4	・衛生管理とケアについて学ぶ。 シャンプーの仕方、ドライヤーのあて方、ブラッシングの仕方				実 技	綾 部
12	4,5	・アニマルセラピーの活動内容について学ぶ。 「小林市 野菊の里」や「国立 宮崎東病院」等の訪問先について理解を深める。				講 義	綾 部
13-14	4,5	・アニマルセラピー実習(小林市 野菊の里)				実 習	綾 部
15	1,2,3,4, 5	・アニマルセラピーを実践し体験したことを各自まとめ発表する。				講 義	綾 部
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		教育心理学			授業コード	120305B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51C321P09	AL 科目	○
担当者		村田 光一郎(非常勤講師)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.		教育心理学は、教育をより効果的なものにするために心理学の分野で明らかにされた事実を教育の分野に応用したり、また教育に関するさまざまな問題や諸現象について心理的な視点から解明したりすることで、教育の心理学的側面からの理論的な体系化や教育実践の方法を開発する分野である。本講義では、教育現場において生じる問題とその背景を理解した上で、教育現場の心理社会的課題を明らかにし、必要な支援について習得することを目的とする。授業は、講義を中心にし、学習内容に関する教育心理学的トピックについてスモールグループディスカッション(SGD)を行う。						
学修目標		1)子どもの発達の代表的な理論を踏まえ、教育における発達理解の意義を理解している。 2)子どもの発達(運動・言語・認知・社会性)の具体的な内容について理解している。 3)学習に関する心理学の基礎を理解している。 4)個人と集団の心理について生徒の心身の発達を踏まえて理解している。 5)学校不適応の問題について発達を関連づけて理解し、指導に活用できる。 6)代表的な教授法と学習評価について理解している。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、小学校や教育行政など、教育現場での長期の実務経験に基づき、教育現場に必要な理論と支援の習得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法		授業中のワークの参加状況や小テストおよび学期末の単位認定試験により総括的評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		・心理学の基本的な知識を習得しておくこと。 ・1 コマ当たり 4 時間を目安に予習・復習を行うこと。 特に、新聞・テレビニュースなどを通して現代の教育の動きに関心を持つこと。						
オフィスアワー		授業前後の可能な時間に教室または非常勤講師室にて対応する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)	教育心理学とは					講義・SGD	柳 田
2	1)2)	【発達①】: 人間の心とからだはどのように変化していくのだろうか？(その1)					講義・SGD	柳 田
3	1)2)	【発達②】: 人間の心とからだはどのように変化していくのだろうか？(その2)					講義・SGD	柳 田
4	2)	【発達③】: 考える力はどのように育つのだろうか？					講義・SGD	柳 田
5	2)3)	【発達③】: 子どもは人間関係の中でどのように成長する？(その1)					講義・SGD	柳 田
6	2)3)	【発達⑤】: 子どもは人間関係の中でどのように成長する？(その2)					講義・SGD	柳 田
7	2)	【学習①】: 子どもの行動はどうやって身につく？					講義・SGD	柳 田
8	2)	【学習②】: 知識をしっかりと身につけるには？(その1)					講義・SGD	柳 田
9	2)	【学習③】: 知識をしっかりと身につけるには？(その2)					講義・SGD	柳 田
10	2)	【学習④】: 意欲を高めるためにはどうすればよい？					講義・SGD	柳 田
11	1)2)3) 4)5)	【学習⑤】: 児童生徒の学びをどのように導けばよい？					講義・SGD	柳 田
12	1)2)3) 4)5)	【学習⑥】: 児童生徒をどのように評価すればよい？					講義・SGD	柳 田
13	2)3)	【学級集団、自己とパーソナリティ、適応①】: クラスはどのようにしてまとまる？					講義・SGD	柳 田
14	3)	【学級集団、自己とパーソナリティ、適応②】: 自分らしさって何だろう？					講義・SGD	柳 田
15	1)3)4)	【学級集団、自己とパーソナリティ、適応③】: 子どもの不適応をどのように理解し、対応すればよい？					講義・SGD	柳 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			『実践につながる教育心理学』改訂版(櫻井茂男監修)北樹出版【978-4-7793-0654-9】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			絶対役立つ教育心理学(第 2 版)実践の理論、理論を実践(藤田哲也)ミネルバ書房【978-4623091638】					

科目名	教育相談			授業コード	120306B102	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51C322P07	AL 科目	○
担当者	小田 史郎(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	教育相談は、生徒が自己理解を深め、好ましい人間関係を築きながら、学校・学級集団に適応する力を育みながら、さらに個性を伸ばし、人格の成長を支援する教育活動である。本講義では、子どもたちの発達や心理学的な支援の技法を学び、学校で起こるさまざまな問題について、学校という場で生徒をどう支援していくか、具体的なアプローチや問題の捉え方を学ぶことを目的とする。生徒の発達の状況や心理的特質を把握し、教育的課題を解決するよう支援するために必要な基礎的知識(カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識)等を身に付ける。授業は、前半講義を中心にし、後半は、毎「探究的学習」のための問題解決型学習とスモールグループディスカッション(SGD)を行う。						
学修目標	1)学校における教育相談の意義と課題を理解している。 2)子どもの心身の発達など教育相談のための心理学の基礎的な理論、概念を理解している。 3)学校生活の中での子どもの問題を把握する方法と支援方法について理解している。 4)学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性を理解している。 5)カウンセリングの基礎的な姿勢や技法を理解している。(SGD を通した他者の傾聴、受容と共感を身に付ける。) 6)校内組織による役割を踏まえ、生徒や保護者への必要な対応を理解している。 7)学校での問題行動に対して、発達を踏まえた教育相談の進め方を理解している。 8)教育相談に必要な校内体制の整備など組織的な取り組みの必要性を理解している。 9)学校内外の相談体制と連携の意義や必要性を理解している。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、教育現場(高等学校)での実務経験に基づき、理論と実践的取り組みの理解・習得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業中のワーク(SGD)の取組み姿勢と課されたレポート等 20%及び学期末の単位認定試験 80%を総括的評価する。 SGD 後のプリントについては、毎時提出させ提出させ、個々に添削コメント等も入れフィードバックを行いながら評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	・教職課程を取ることをまじめに考えているか、あるいは児童福祉分野やスクールカウンセラー等に関心があるか。 ・新聞・ニュースなどを通して現代の教育課題や親子関係等々に常に関心を持つこと。						
オフィスアワー	講義前・講義後に時間を確保し、個々に対話を行う。(課題揭示:個々へのフィードバック等々)						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	教育相談とは何か				講義・SGD	小 田
2	2)3)	【子どもの発達の問題とその支援①】 子どもの発達の特徴:乳幼児期・児童期・青年期				講義・SGD	小 田
3	2)3)6)	【子どもの発達の問題とその支援②】 子どもの発達の特徴をとらえるためのアセスメント : 観察法・面接法・心理検査法				講義・SGD	小 田
4	2)3)4) 6)	【子どもの発達の問題とその支援③】 子どもの発達の問題 : 広汎性発達障害・注意欠陥/多動性障害・学習障害など				講義・SGD	小 田
5	1)2)3) 4)5)	【子どもの発達の問題とその支援④】 特別支援教育とは				講義・SGD	小 田
6	2)3)4) 5)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応①】 不登校の問題とその支援				講義・SGD	小 田
7	2)3)4) 5)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応②】 子どもの問題行動とその支援Ⅰ : 非行など				講義・SGD	小 田
8	2)4)5) 6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応③】 子どもの問題行動とその支援Ⅱ : いじめ				講義・SGD	小 田
9	2)3)4) 5)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応④】 子どもの社会性の問題とその支援				講義・SGD	小 田
10	2)3)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応⑤】 教育相談に関わる精神医学				講義・SGD	小 田
11	1)3)5)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応⑥】 学内外の相談体制・連携のあり方				講義・SGD	小 田
12	1)3)5) 6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応⑦】 教育相談に関わる危機介入				講義・SGD	小 田
13	2)3)4) 5)	【家族への支援】 子育てと家族の問題とその支援				講義・SGD	小 田
14	3)4)6)	【発達相談・教育相談のための心理療法の基礎①】 遊戯療法・表現療法・行動療法・認知行動療法等				講義・SGD	小 田
15	3)4)6)	【発達相談・教育相談のための心理療法の基礎②】 ブリーフセラピー・構成的グループエンカウンター・来談者中心療法・TFT・EMDR				講義・SGD	小 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		子どもの成長を支える発達教育相談 第4版(鎌倉 利光・藤本 昌樹 編著)北樹出版【978-4-7793-0548-1 C3011】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		生徒理解・指導と教育相談(牟田 悦子編)学文社【978-4-7620-1688-2】					

科目名	心理尺度構成法実習			授業コード	121574A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	心理、福祉コース 4 年			ナンバリング	51C421P02	AL 科目	
担当者	松山光生(臨心)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・実習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	本実習の目的は①臨床データの特性を理解した上で、②研究の目的に応じて適切な統計的な手法を選択でき、③統計ソフトを使ってデータを適切に解析ができ、④その結果を文章で表現できるようにする(DP3、6)。						
学修目標	1) 臨床データの特性が説明できる 2) 尺度の水準から統計的手法を適用できる 3) 研究の目的から統計的手法を適用できる 4) 統計ソフトを活用してデータを分析できる。 5) データ分析の結果に基づいて、レポートを書くできる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、臨床発達心理士、公認心理師としての実務経験に基づき、臨床的データの処理に関する知識、技術の習得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	課題レポート 6 回 30%、定期試験 40%、平常点 30%で総合的に評価する。なお、定期試験は、資料持ち込み可。						
準備学習・ 履修上の注意等	・心理学研究法および心理統計学を履修済みであること。 ・心理学の論文執筆等に興味があること。						
オフィスアワー	木曜日 12:30-13:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方法	担 当
1 回	1)2)	【尺度構成法とデータの特性を説明できる】 直接法、間接法、4つの尺度水準について説明できる				講 義	松 山
2 回	1)～4)	【統計ソフトでデータを読み込み、2変数の関連性が分析できる】 SPSS を使ってローデータを読み込み、相関係数を算出できる				講義・実習	松 山
3 回	5)	【2変数の関連性が解釈できる】 SPSS の結果から、相関の強さと有意性が判断できる				実 習	松 山
4 回	1)～3)	【研究目的に応じた変数の設定ができる】 説明変数と目的変数の関係を説明できる				講 義	松 山
5 回	4)	【2変数の相違が分析できる】 SPSS を使って t 検定ができる				実 習	松 山
6 回	5)	【2変数の相違が解釈できる】 SPSS の結果から、2 変数間の有意差が判断でき、変数の平均の大小を記述できる				実 習	松 山
7 回	4)	【3変数以上の相違が分析できる】 SPSS を使って分散分析ができ、その後の多重比較を行うができる				実 習	松 山
8 回	5)	【3変数以上の相違が解釈できる】 SPSS の結果から、3変数以上の間の有意差を判断し、その後の多重比較の解釈ができる				実 習	松 山
9 回	3)	【多変量解析の意味と種類が説明できる】 多変量解析の意味と種類が説明でき、重回帰分析と因子分析を位置づけられる				講 義	松 山
10 回	3)	【重回帰分析を理解できる】 重回帰分析の目的や方法を説明できる				講 義	松 山
11 回	4)	【重回帰分析を実施できる】 SPSS を使って重回帰分析ができ、必要な統計値を算出できる				実 習	松 山
12 回	5)	【重回帰分析の結果が解釈できる】 SPSS の結果から必要な統計値を読み取り、解釈できる				実 習	松 山
13 回	3)	【因子分析を理解できる】 因子分析の目的や方法を説明できる				講 義	松 山
14 回	4)	【因子分析を実施できる】 SPSS を使って因子分析ができ、必要な統計値を算出できる				実 習	松 山
15 回	5)	【因子分析の結果が解釈できる】 SPSS の結果から必要な統計値を読み取り、解釈できる				実 習	松 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		小塩真司 SPSS と AMOS による心理・調査データ解析 第3版または第4版(どちらでもよい) 東京図書					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名	キャリアカウンセリング			授業コード	121113B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(4 年)			ナンバリング	51C421P03	AL 科目	○
担当者	横山 裕(心・心)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	近年の新卒者に顕著な就業のしにくさやストレスフルな職場環境の出現によって様々な問題が引き起こされている。 労働省が2000年に策定した「事業場における労働者の心の健康づくりのための指針」や内閣府に設置された緊急雇用対策本部でのキャリア形成の諸政策からもわかるように、キャリアカウンセリングのニーズは高まっている。 本講義では、産業・キャリアカウンセリングが現状にどう対応可能であるかについて理解する(DP3,CP2)ことを目的とする。						
学修目標	1)カウンセリングの基本的説明ができる。 2)キャリアカウンセリングについて説明できる。 3)就業に関する問題について説明できる。 4)職場環境に起因する就業者の問題について説明できる。 5)カウンセリングの手法が活用できる。 6)キャリアカウンセリングの手法ができる。 7)厚生労働省の心の健康づくりのための指針について説明できる。 8)内閣府の緊急雇用対策の諸政策について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	公益財団法人介護労働安定センター介護人材育成コンサルタント						
評価及びフィード バックの方法	提出物の評価を 30%及び講義内小試験 70%として総括的評価を行う。 オフィスアワーなどを活用して個別にフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	カウンセリングの技法について復習しておくこと。						
オフィスアワー	月水金 12:30~13:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	キャリアカウンセリングの歴史について知る。				講 義	横 山
2	2)	類似領域の産業カウンセリングについて知る。				講 義	横 山
3	1)2)	産業カウンセリングとキャリアカウンセリングの共通点と相違点について理解する。				講 義	横 山
4	3)	近年の就職をとりまく現状について知り、そこから発生する様々な問題について理解する。				講 義	横 山
5	4)	近年の職場環境の現状について知り、そこから発生する様々な問題について理解する。				講 義	横 山
6	4)7)	「事業場における労働者の心の健康づくりのための指針」について理解する。				講 義	横 山
7	4)5)	「事業場における労働者の心の健康づくりのための指針」にもとづく産業カウンセリングのあり方について理解する。				講 義	横 山
8	5)	産業カウンセリングの技法について知り、ロールプレイを通じて実際に活用できるようになる。				講 義	横 山
9	5)6)	産業カウンセリングとキャリアカウンセリングの技法の共通点と相違点について理解する。				講 義	横 山
10	8)	内閣府の緊急雇用対策の背景と実際の諸政策について理解する。				講 義	横 山
11	6)8)	緊急雇用対策におけるキャリアカウンセリングの位置づけについて理解する。				講 義	横 山
12	7)	キャリアカウンセリングの技法について知り、ロールプレイを通じて実際に活用できるようになる。				講 義	横 山
13	5)	各自が職場における就業者の心の健康についての問題を設定し、産業カウンセリングの技法の練習を行う。				演 習	横 山
14	6)	各自が就職活動における求職者の問題を設定し、キャリアカウンセリングの技法の練習を行う。				演 習	横 山
15	1)~8)	総括				講 義	横 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて別途指示する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて別途指示する。					

科目名	福祉住環境論			授業コード	121522B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科 3 年			ナンバリング	51C421P04	AL 科目	○
担当者	三宮 基裕(福・臨)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	【授業の概要】 福祉専門職として住環境整備の点から支援が展開できるようになるために、日本の住宅の問題、住宅改修のプロセスと具体的な 改修方法、そして関係する法律や助成制度について学ぶ。 【一般目標(GIO)】 身体に障害のある方や加齢等により心身機能が低下した方が住宅で生活する時の生活環境上の問題を認識し、将来、福祉職 として必要となる生活環境整備の基本的知識を修得する。 【対応するポリシーNo.】 DP3、CP1(10)、CP2(1)						
学修目標	1)住環境整備の意義を理解し、住環境整備における福祉職の役割を説明できる。 2)住環境整備に関わる基本的な用語を理解し、説明ができる。 3)住環境整備のプロセスとそれに関わる専門職を理解し、それぞれの役割が説明できる。 4)関連する法制度を理解し、制度活用のプロセスが説明できる。 5)建築図面を読み取り簡単な平面図が描ける。 6)高齢者や障がいのある方の生活において生じる日本住宅の問題が列挙できる。 7)住環境整備の方法が列挙できる。 8)住環境整備の方法を立案できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	各回の授業で学習内容の確認テストを行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(確認テストや課題の提出、 授業への参加)を 30%、学期末の単位認定試験を 70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	次回講義の内容をシラバスで確認し、参考書等の該当箇所を予め読んで予習しておくこと。 復習として、毎時間の学習内容をノートにまとめておくこと。※試験は直筆のノートのみ持ち込みを認める。						
オフィスアワー	火・水 15:00～17:00 研究室						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	住環境整備の意義				講 義	三 宮
2	2)	ノーマライゼーションとリハビリテーション				講 義	三 宮
3	2)	バリアフリーとユニバーサルデザイン				講 義	三 宮
4	3)	住環境整備のプロセス				講 義	三 宮
5	4)	介護保険制度と住環境整備				講 義	三 宮
6	5)	住宅図面の読み取りと作図法				講義・演習	三 宮
7	6)	日本住宅の問題と住環境整備				講 義	三 宮
8	4)5)7)	移動空間の整備①(移動に関わる福祉用具)				講 義	三 宮
9	4)5)7)	移動空間の整備②(アプローチ、玄関、廊下、階段)				講 義	三 宮
10	4)5)7)	トイレ空間の整備①(排泄に関わる福祉用)				講 義	三 宮
11	4)5)7)	トイレ空間の整備②(手すり、段差解消、便座、スペース)				講 義	三 宮
12	4)5)7)	浴室空間の整備①(入浴に関わる福祉用具)				講 義	三 宮
13	4)5)7)	浴室空間の整備②(手すり、段差解消、浴槽)				講 義	三 宮
14	5)7)8)	住環境整備の提案①(サニタリー空間の環境整備)				講義・演習	三 宮
15	5)7)8)	住環境整備の提案②(戸建住宅の環境整備)				講義・演習	三 宮
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		改訂 4 版 福祉住環境コーディネーター3 級公式テキスト (東京商工会議所 編) 東京商工会議所 【 978-4924547599】					

科目名	時事福祉学Ⅰ			授業コード	121686B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(4 年)			ナンバリング	51C421P07	AL 科目	○
担当者	西田 美香(スポ) 黒須依子(心理) 藤原幸子(スポ) 三宮基裕(スポ) 外部講師	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	本講義は、これまで学んできた社会福祉士および精神保健福祉士としての知識、技術、価値について、様々な試験問題を通して包括的な理解を深めるとともに、多様化する現代社会の諸課題と福祉について事例問題を通して考える力を涵養することを目的とする。また、社会福祉士・精神保健福祉士としての実践力を習得する。スポ:DP(1)(2)(3)(4)、CP1(2)2(8) 臨床:DP(1)(2)(3)(7)、CP1(6)2(14) 心理:DP(1)(3)(5)、CP1(4)2(1)						
学修目標	1)これまでの知識の習得状況を再確認し、最新の法制度を得て、社会福祉および精神保健福祉の現状を説明できる。 2)これまでの援助技術の習得状況を再確認し、具体的実践事例を通して援助方法を応用できる。 3)グループディスカッションや個別指導により、知識・技術の習得方法を学ぶ。 4)模擬演習の結果を振り返り、必要とされる知識・技術の強化すべき点を理解でき、実践力を高める。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、福祉および医療分野における 5 年以上の現場経験を有しており、また、社会福祉分野の研究活動を継続的に行っている。教員がこれまで培ってきた知識や技術、専門職としての価値を基に、社会における諸課題および最新の法制度等の理解を深めることを目的として授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	模擬演習結果 80%、授業での取り組み姿勢(積極性、集中力、探究心等)20%にて評価する。なお、模擬演習結果の内容で解説を要する箇所について、次回講義時にフォロー・フィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	1.社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験受験予定者を対象とする。 2.授業前後に、図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙等を用いて関連するトピックを予習する。 3.一コマにつき 4 時間程度の予習復習をすること。 4.授業の範囲の部分についての法律条文、各自がもつ社会福祉士参考書の該当箇所を復習しておくこと。 5.国家試験有料模擬試験(7 月中旬)受験のため、受験料(2024 年度の場合:6,600 円)を要する。						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準ずる						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)～4)	【オリエンテーション】 時事福祉学の目的を理解するとともに、各自の目標を設定する。				講 義	全 員
2	1)～4)	【模擬演習①】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。				演 習	全 員
3	1)～4)	【全体授業】 国家試験受験体験者から法制度の理解に向けた体験談や勉強方法を聞くことにより、必要とされる法制度の枠組みの習得方法を理解する。				講義・SGD	外部講師・全員
4	1)～4)	【模擬演習②】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。				演 習	全 員
5	1)～4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (人体の構造と機能及び疾病・心理学概論・社会学)				講義・SGD	全 員
6	1)～4)	【模擬演習③】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。				演 習	全 員
7	1)～4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (社会福祉の原理と政策・社会福祉調査の基礎・ソーシャルワークの基盤と専門職)				講義・SGD	全 員
8	1)～4)	【模擬演習④】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。				演 習	全 員
9	1)～4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (ソーシャルワークの理論と方法・地域福祉と包括的支援体制・福祉サービスの組織と経営)				演習・SGD	全 員
10	1)～4)	【模擬演習⑤】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。				演 習	全 員
11	1)～4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (社会保障・高齢者福祉・障害者福祉・児童家庭福祉)				講義・SGD	全 員
12	1)～4)	【模擬演習⑥】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。				演 習	全 員
13	1)～4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (貧困に対する支援・保健医療と福祉・権利擁護を支える法制度・刑事司法と福祉)				演習・SGD	全 員
14	1)～4)	【模擬演習⑦】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。				講 義	全 員
15	1)～4)	【全体授業】 国家試験受験体験者から法制度の理解に向けた体験談や勉強方法を聞くことにより、必要とされる法制度の枠組みの習得方法を理解する。				講義・SGD	外部講師・全員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		中央法規出版:2026 社会福祉士国家試験過去問解説集 中央法規出版:2026 精神保健福祉士国家試験過去問解説集(精神保健福祉士国家試験受験予定者のみ) ※初回講義にて案内予定					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜、紹介する。					

科目名	時事福祉学Ⅱ			授業コード	121687B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(4 年)			ナンバリング	51C422P01	AL 科目	○
担当者	西田 美香(スポ) 黒須依子(心理) 藤原幸子(スポ) 三宮基裕(スポ)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	本講義は、これまで学んできた社会福祉士および精神保健福祉士としての知識、技術、価値について、様々な試験問題を通して包括的な理解を深めるとともに、多様化する現代社会の諸課題と福祉について事例問題を通して考える力を涵養することを目的とする。また、社会福祉士・精神保健福祉士としての実践力を習得する。スポ:DP(1)(2)(3)(4)、CP1(2)2(8) 臨床:DP(1)(2)(3)(7)、CP1(6)2(14) 心理:DP(1)(3)(5)、CP1(4)2(1)						
学修目標	1)これまでの知識の習得状況を再確認し、最新の法制度を得て、社会福祉および精神保健福祉の現状を説明できる。 2)これまでの援助技術の習得状況を再確認し、具体的実践事例を通して援助方法を応用できる。 3)グループディスカッションや個別指導により、知識・技術の習得方法を学ぶ。 4)模擬演習の結果を振り返り、必要とされる知識・技術の強化すべき点を理解でき、実践力を高める。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、福祉および医療分野における 5 年以上の現場経験を有しており、また、社会福祉分野の研究活動を継続的に行っている。教員がこれまで培ってきた知識や技術、専門職としての価値を基に、社会における諸課題および最新の法制度等の理解を深めることを目的として授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	模擬演習結果 80%、授業での取り組み姿勢(積極性、集中力、探究心等)20%にて評価する。なお、模擬演習結果の内容で解説を要する箇所について、次回講義時にフォロー・フィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	1.社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験受験予定者を対象とする。 2.授業前後に、図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙等を用いて関連するトピックを予習する。 3.一コマにつき 4 時間程度の予習復習をすること。 4.授業の範囲の部分についての法律条文、各自がもつ社会福祉士参考書の該当箇所を復習しておくこと。 5.国家試験有料模擬試験(9 月・10 月・11 月)受験のため受験料(2024 年度の場合:社福のみ 21,400 円 社福精神 28,000 円)を要する。						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準ずる						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)	【オリエンテーション】 時事福祉学の目的を理解するとともに、各自の目標を設定する。				講 義	全 員
2	1)2)	【模擬演習①】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。				演 習	全 員
3	3)4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (人体の構造と機能及び疾病・心理学概論・社会学)				講義・SGD	全 員
4	1)2)	【模擬演習②】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。				演 習	全 員
5	3)4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (社会福祉の原理と政策・社会福祉調査の基礎・ソーシャルワークの基盤と専門職)				演習・SGD	全 員
6	1)2)	【模擬演習③】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。				講 義	全 員
7	1)2)3)	【全体授業】 相談支援専門員との事例検討会				講義・SGD	西 田
8	1)2)	【模擬演習④】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。				演 習	全 員
9	3)4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (ソーシャルワークの理論と方法・地域福祉と包括的支援体制・福祉サービスの組織と経営)				講義・SGD	全 員
10	1)2)	【模擬演習⑤】 これまで習得した知識・援助技術の総合的習得状況の再確認を行う。				演 習	全 員
11	3)4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (社会保障・高齢者福祉・児童家庭福祉)				講義・SGD	全 員
12	1)2)	【模擬演習⑥】 これまで習得した知識・援助技術の総合的に再確認を行う。				演 習	全 員
13	3)4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (貧困に対する支援・保健医療と福祉)				講義・SGD	全 員
14	1)2)	【模擬演習⑦】 これまで習得した知識・援助技術の総合的に再確認を行う。				演 習	全 員
15	3)4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (権利擁護を支える法制度・刑事司法と福祉)				講義・SGD	全 員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		中央法規出版:2026 社会福祉士国家試験過去問解説集 中央法規出版:2026 精神保健福祉士国家試験過去問解説集(精神保健福祉士国家試験受験予定者のみ)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜、紹介する。					

科目名	キャリアデザイン演習Ⅰ			授業コード	121691A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科 臨床福祉学科(2 年)			ナンバリング		AL 科目	
担当者	松原由美(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	子どもの育ちの社会的背景として『少子化 核家族化 情報化 国際化』など急激な変化を受けて、人々の価値観や生活様式が多様化している。その一方で、社会の傾向として『人間関係の希薄化 地域社会のコミュニティ意識の衰退 過度に経済性や効率性を重視する傾向 大人優先の社会風潮』などの状況が見られる。 このような社会状況が、子どもの育ちを巡る環境や家庭における親の子育て環境を変化させ、これらのことが複合的に絡み合い子どもの育ちに影響を及ぼしている。子どもの育ちの現状として、『基本的な生活習慣や態度が身についていない 他者とのかわりが苦手 自制心や耐性④運動能力が低下している』などの課題が指摘されている。また、 子ども虐待として児童相談所が対応した件数は、昨年度、全国で 20 万件を超え過去最多を更新したことが厚生労働省がまとめている。。18 歳未満の子どもが親などの保護者から虐待を受けたとして児童相談所が対応した件数は全国で 20 万 5029 件に上り、年々上昇している。そして、子どもがより良い人生を歩むために、個人への養護や教育を担う「保育士」の役割は重要である。 本講義では「子どもの社会的背景」や「子どもの育ちの現状」を理解し、「保育士」の役割や保育士資格について学ぶ。						
学修目標	①子どもの育ちの社会的背景を理解できる。 ②子どもの育ちについて理解できる。 ③児童施設の『保育士』の役割を理解できる。 ④『保育士資格』の内容に関して理解できる。 ⑤グループディスカッションや個別指導により、知識・技術の習得方法を学ぶ。 ⑥擬試験結果を振り返り、必要とされる知識・技術の強化すべき点を理解でき、実践力を高める。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、児童分野の施設や学校で 20 年以上の経験に基づき、最新の法制度等の理解を深めることを目的として授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	毎回の小レポート 30% 課題の提出 70% により評価する						
準備学習・ 履修上の注意等	課題を確実に行ってほしい できたら児童・家庭福祉を履修してほしい						
オフィスアワー	授業日に対応する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	①③ ④	1.子どもの育ちの社会的背景を理解する。 2.子どもの家庭福祉について理解する。 ・現代社会における子ども過程福祉の意義と歴史 ・子どもの人権 ・子どもの家庭福祉の制度と実施体系				講 義	松 原
2	①③ ④⑤	1.子どもの育ちの社会的背景を理解する。 2.子どもの家庭福祉を理解する。 ・子ども家庭福祉の現状と課題 ・子ども家庭福祉の動向と展望 ・子ども家庭支援論				調べた内容を発表する	松 原
3	②③ ④	1.子どもの育ちについて理解できる。 2.子どものための社会福祉を理解できる。 ・現代社会における社会福祉の意義と歴史 ・社会福祉制度と実施体系 ・社会福祉における相談援助				社会福祉制度の仕組みについて説明する	松 原
4	②③ ④⑤	1.子どもの育ちについて理解できる。 2. 子どもの社会福祉について理解する。 ・利用者保護に関わる仕組み ・社会福祉の動向と課題				調べた内容の発表 習得状況を確認する	松 原
5	②③ ④⑤	1.保育現場において子どもの保健についての「保育士」の役割を実際を見学しながら理解する。 2.子どもの保健に関して理解する。 ・子どもの心身の健康と保険の意義 ・子どもの心身的発育・発達と健康 ・子どもの心身の健康状態とその把握				演習・講義	松原・現場保育士
6	①② ③④	1.保育現場において子どもの保健についての「保育士」の役割を実際を見学し、現職保育士の話によって理解する。 2.子どもの保健について理解する。 ・子どもの疾病の予防と適切な対応 ・子どもの健康と安全について ・保育における保健活動の計画および評価について 中間試験				演習・講義	松 原
7	①② ③④ ⑤⑥	1.子どもをのための「福祉」「家庭福祉」「子どもの保健」に関して模擬試験をして確認する。 2.保育士からの学びをまとめる。				講 義	松原・現場保育士
8	①② ③④	子どもの心理に関して理解する。 ・保育の心理学発達を支える視点 ・子どもの発達過程 ・子どもの学びと保育				講 義	松 原

9	①② ③④	子どもの心理について理解する。 ・子ども家庭支援の心理学 生涯発達 家族・家庭の理解 子育て家庭に関する現状と課題 子どもの精神保健とその課題 ・子どもの理解と援助	講 義	松 原
10	①② ③④	1.児童養護施設における子どもの食と栄養を理解する。 児童養護施設における保育士の食に関わる仕事について見学や質問により学ぶ 2.子どもの食と栄養について学ぶ ・子どもの健康と食生活の意義 ・栄養に関する基本的知識 ・子どもの発達と食生活	演習・講義	松原 施設保育士
11	①② ③④	1.児童養護施設における子どもの食と栄養を理解する。 児童養護施設における保育士の食に関わる仕事について見学や質問により学ぶ 2.子どもの食と栄養について学ぶ 食育の基本と内容 家庭や児童福祉施設における食事と栄養 特別な配慮を要する子どもの食と栄養	演習・講義	松原 施設保育士
12	①② ③④ ⑤	社会的養護とは何かを理解する。 ・社会的養護の意義と歴史 ・社会的養護の基本 ・社会的養護の制度と実施体験	講義・演習	松原 施設保育士
13	①② ③④ ⑤	児童養護施設における社会的養護について学び、発表し理解を深める。 ・社会的養護の内容と実際 ・釈迦的養護の現状と課題	1 3	松原 施設保育士
14	①② ③④ ⑤⑥	1.子どもの食と栄養・社会的養護についてまとめ、理解する。 2.模試を実施しながら学びを整理する。 レポート提出 こどもの養護について	講 義	松 原
15	①② ③④ ⑤⑥	前期の学びをまとめ、理解を深める。	講 義	松 原

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	保育士 完全合格テキスト上 2023 年度版
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	授業内で紹介する

科目名		キャリアデザイン演習Ⅱ			授業コード	121692A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科 臨床福祉学科(2 年)			ナンバリング		AL 科目	
担当者		松原由美(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義 演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		子どもの育ちの社会的背景として『少子化 核家族化 情報化 国際化』など急激な変化を受けて、人々の価値観や生活様式が多様化している。その一方で、社会の傾向として『人間関係の希薄化 地域社会のコミュニティー意識の衰退 過度に経済性や効率性を重視する傾向 大人優先の社会風潮』などの状況が見られる。 このような社会状況が、子どもの育ちを巡る環境や家庭における親の子育て環境を変化させ、これらのことが複合的に絡み合い子どもの育ちに影響を及ぼしている。子どもの育ちの現状として、『基本的な生活習慣や態度が身についていない 他者とのかわりが苦手 自制心や耐性④運動能力が低下している』などの課題が指摘されている。また、子ども虐待として児童相談所が対応した件数は、昨年度、全国で 20 万件を超え過去最多を更新したことが厚生労働省がまとめている。。18 歳未満の子どもが親などの保護者から虐待を受けたとして児童相談所が対応した件数は全国で 20 万 5029 件に上り、年々上昇している。そして、子どもがより良い人生を歩むために、個人への養護や教育を担う「保育士」の役割は重要である。 本講義では「子どもの社会的背景」や「子どもの育ちの現状」を理解し、「保育士」の役割や保育士資格について前期の学習をさらに深める。						
学修目標		①子どもの育ちの社会的背景を理解できる。 ②子どもの育ちについて理解できる。 ③児童施設の『保育士』の役割を理解できる。 ④『保育士資格』の内容に関して理解できる。 ⑤グループディスカッションや個別指導により、知識・技術の習得方法を学ぶ。 ⑥擬試験結果を振り返り、必要とされる知識・技術の強化すべき点を理解でき、実践力を高める。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当教員は、児童分野の施設や学校で 20 年以上の経験に基づき、最新の法制度等の理解を深めることを目的として授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法		授業内レポート30% レポート 70% で評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		キャリアデザインⅠを履修していること。 児童家庭論を履修していることが望ましい。						
オフィスアワー		授業日に実施する						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	①② ③④ ⑤⑥	保育原理を理解する。 ・保育の意義と目的 ・保育に関する法令と制度 ・保育所保育指針における保育の基本					講 義	松 原
2	①② ③④ ⑤⑥	保育原理を理解する ・保育の思想や歴史 ・保育現状と課題 ・子育て支援					講 義	松 原
3	①② ③④ ⑤⑥	【教育原理】に関して理解する。 ・教育の意義・目的と児童福祉との関係 ・教育思想と歴史的変革 ・教育制度					講 義	松 原
4	③④ ⑤⑥	【確認試験】 保育原理と教育原理に関して習得状況を確認する					講 義	松 原
5	①② ③④ ⑤	障がい児施設における保育士の役割を見学や質問により理解する。					講義・演習	松 原
6	①② ③④ ⑤	障がい児施設における保育士の役割を見学と質問により理解する。					講義 演習	松 原
7	①② ③④ ⑤	保育士の役割について理解する ・保育所における保育士の役割 ・児童福祉施設における保育士の役割					講 義	松 原
8	①② ③④ ⑤⑥	【保育実習理論】を学ぶ ・音楽に関する技術 ・造形に関する技術 ・造形に関する技術 ・言語に関する技術					講義 演習	松 原
9	①② ③④	【保育士試験模擬試験】 習得内容を確認し、必要とされる知識・技術を習得する					講 義	松 原
10	①② ③④	【保育士試験模擬試験】 習得内容を確認し、必要とされる知識・技術を習得する					講 義	松 原
11	①② ③④	【保育士試験模擬試験】 習得内容を確認し、必要とされる知識・技術を習得する					講 義	松 原
12	①② ③④	【保育士試験模擬試験】 習得内容を確認し、必要とされる知識・技術を習得する					講 義	松 原
13	①② ③④	【保育士試験模擬試験】 習得内容を確認し、必要とされる知識・技術を習得する					講 義	松 原

14	①② ③④	【保育士試験模擬試験】 習得内容を確認し、必要とされる知識・技術を習得する 【実技試験対策】 音楽・造形・言語の技術	講義 演習	松 原
15	①② ③④ ⑤	【保育士試験模擬試験】 習得内容を確認し、必要とされる知識・技術を習得する 【実技試験対策】 音楽・造形・言語の技術を習得する。	講義 演習	松 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		保育士完全合格テキスト2023年度版 日経印刷株式会社		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		授業内で必要に応じて紹介する。		

科目名		キャリアデザイン演習Ⅲ			授業コード	121693A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(2 年)			ナンバリング		AL 科目	○
担当者		井藤英俊(スポ)・衣笠高広(スポ) 山本順之(スポ)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシ-No.		教育現場において、いじめや不登校をはじめとする教育に関する諸問題は、情報通信技術の急激な進歩に伴って多様化して いる。さらに、家庭や地域の教育力の低下、教育格差など社会を背景とする諸問題も顕在化している。 本講義は、昨今の様々な教育に関する諸問題に対応すべく、教育に関する基礎的な知識、最新の知識に基づいた対応力や柔 軟性、問題解決能力などを習得する。						
学修目標		1)教育に関する問題やその社会的背景など教育現場の現状を説明できる。 2)教育原理、教育史、教育心理、教育法規等の教育に関する基礎的な知識について、自身の弱点を分析し、補完できる。 3)教育に関する基礎的な知識を活かし、教育現場における問題への対応や解決方法を考え、説明できる。 4)人の意見を聞き、教育現場における問題への対応や解決方法を考え、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当教員は、中学校や高等学校の教育現場での経験に基づき、最新の教育現場への理解を深めることを目的として授業 を行う。						
評価及びフィード バックの方法		授業毎に行うテスト理解度により評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		教員採用試験の受験を希望する学生 授業毎に、受講生が最新の教育に関する問題を提起し、グループディスカッションを行う。新聞等により、問題について理解をし ておくこと。授業終了後、テストの復習をすること。						
オフィスアワー		井藤 月曜日 13:00～14:40 水曜日 13:00～14:40 木曜日 13:00～14:40 山本 月曜日 10:45～12:15 火曜日 10:45～12:15						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)	オリエンテーション キャリアデザイン演習(教員)Ⅰの目的と授業の進め方を理解するとともに、自身の目標を設定する。					講 義	井藤・衣笠・山本
2	1)2)3) 4)	教育史 西洋教育史① これまで習得した西洋教育史に関する知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討					講 義	井藤・衣笠・山本
3	1)2)3) 4)	教育史 西洋教育史② これまで習得した西洋教育史についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論す る。					講 義	井藤・衣笠・山本
4	1)2)3) 4)	教育史 日本教育史 これまで習得した日本教育史についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論す る。					講 義	井藤・衣笠・山本
5	1)2)3) 4)	教育心理 教育心理学の系譜 これまで習得した教育心理学の系譜についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討 論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
6	1)2)3) 4)	教育心理 発達① これまで習得した発達についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
7	1)2)3) 4)	教育心理 発達② これまで習得した発達についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
8	1)2)3) 4)	教育心理 学習① これまで習得した学習についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
9	1)2)3) 4)	教育心理 学習② これまで習得した学習についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
10	1)2)3) 4)	教育心理 性格と適応① これまで習得した性格と適応についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
11	1)2)3) 4)	教育心理 性格と適応② これまで習得した性格と適応についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
12	1)2)3) 4)	教育心理 教育評価と学習集団 これまで習得した教育評価と学習集団についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で 討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
13	1)2)3) 4)	教育原理 教育課程と学習指導要領の変遷 これまで習得した教育課程と学習指導要領の変遷についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題につ いて集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
14	1)2)3) 4)	教育原理 道徳教育と特別活動 これまで習得した道徳教育と特別活動についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で 討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
15	1)2)3) 4)	教育原理 学習指導 これまで習得した学習指導についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		教員採用試験対策 セサミノート 教職教養 2024 年度版(オープンセサミシリーズ)東京アカデミー七賢出版 1,760 円 ISBN-13 : 978-4864555692						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて資料を配布する。						

科目名		キャリアデザイン演習Ⅳ			授業コード	121694A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(3 年)			ナンバリング		AL 科目	○
担当者		井藤英俊(スポ)・衣笠高広(スポ) ・山本順之(スポ)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リラーNo.		教育現場では社会の急激な変化に対応すべく、各教科において様々な教授方法が模索されている。特に、情報通信技術の進歩は著しく、各教科の教授方法は日進月歩である。 本講義では、様々な教科の現状に対応すべく、教育に関する基礎的な知識、さらに最新の知識に基づいた教授方法を習得する。						
学修目標		1)教育に関する問題やその社会的背景など教育現場の現状を説明できる。 2)教育原理、教育史、教育心理、教育法規等の教育に関する基礎的な知識について、自身の弱点を分析し、補完できる。 3)教育に関する基礎的な知識を活かし、教育現場における問題への対応や解決方法を考え、説明できる。 4)人の意見を聞き、教育現場における問題への対応や解決方法を考え、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当教員は、中学校や高等学校の教育現場での経験に基づき、最新の教育現場への理解を深めることを目的として授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法		授業毎に行うテスト理解度により評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		教員採用試験の受験を希望する学生 授業毎に、受講生が最新の教育に関する問題を提起し、グループディスカッションを行う。新聞等により、問題について理解をしておくこと。授業終了後、テストの復習をすること。						
オフィスアワー		井藤 月曜日 13:00～14:40 水曜日 13:00～14:40 木曜日 13:00～14:40 山本 月曜日から水曜日 12:30～13:00						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)	教育原理 生徒指導 これまで習得した学習指導についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
2	1)2)3) 4)	教育原理 学校経営と学級経営 これまで習得した学校経営と学級経営についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
3	1)2)3) 4)	教育原理 特別支援教育 これまで習得した特別支援教育についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
4	1)2)3) 4)	教育原理 人権教育 これまで習得した人権教育についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
5	1)2)3) 4)	教育原理 生涯学習と社会教育 これまで習得した生涯学習と社会教育についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
6	1)2)3) 4)	教育原理 これからの教育 これまで習得したこれからの教育についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
7	1)2)3) 4)	教育法規 教育の基本理念 これまで習得した教育の基本理念についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
8	1)2)3) 4)	これまで習得した学校教育についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
9	1)2)3) 4)	これまで習得した学校教育についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
10	1)2)3) 4)	教育法規 学校の管理と運営① これまで習得した学校の管理と運営についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
11	1)2)3) 4)	教育法規 学校の管理と運営② これまで習得した学校の管理と運営①についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
12	1)2)3) 4)	教育法規 児童生徒 これまで習得した児童生徒についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
13	1)2)3) 4)	教育法規 教職員① これまで習得した教職員についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
14	1)2)3) 4)	教育法規 教職員② これまで習得した教職員についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
15	1)2)3) 4)	教育法規 教育委員会 これまで習得した教育委員会についての知識の再確認を行う。教育に関する時事問題について集団で討論する。					講 義	井藤・衣笠・山本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		教員採用試験対策 セサミノート 教職教養 2024 年度版 (オープンセサミシリーズ)東京アカデミー七賢出版 1,760 円 ISBN-13 : 978-4864555692						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて資料を配布する。						

科目名	専門ゼミⅠ			授業コード	121275B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理(3 年)			ナンバリング	51C311P01	AL 科目	○	
担当者	横山裕(臨床心理)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	4年次の卒業論文作成に必要なテーマ設定法、情報収集法、調査方法などを修得することができる。また、自分の関心事や、与えられた課題に関する文献調査を行い、その内容をほかの人に伝えるためのプレゼンテーション能力を磨くことができる。(DP 4,CP7)							
学修目標	1)卒業論文のテーマ設定ができる。 2)必要とする先行研究にアクセスできる。 3)必要文献を精読できる。							
実務経験のある 教員による教育	非該当							
評価及びフィード バックの方法	学習態度、ゼミでの発表内容などから総合的に評価する。 ゼミ時間内及びオフィスアワーなどを活用して個別にフィードバックを行う。							
準備学習・ 履修上の注意等	演習に関することについては教員の指導・指示に従うこと							
オフィスアワー	月水金 12:30~13:00							
授業計画								
回 数	学修 目 標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	演習1の目的、年間スケジュールが理解できる。					演 習	横 山
2	1)2)	テーマ探しの手法が理解できる。					演 習	横 山
3	2)3)	テーマ探しの手法を実践することができる。					演 習	横 山
4	2)3)	テーマ探しの手法を実践することができる。					演 習	横 山
5	2)3)	テーマ探しの手法を実践することができる。					演 習	横 山
6	2)3)	テーマ探しの手法を実践することができる。					演 習	横 山
7	2)3)	テーマ探しの手法を実践することができる。					演 習	横 山
8	2)3)	テーマ探しの手法を実践することができる。					演 習	横 山
9	1)2)	調査方法を理解することができる。					演 習	横 山
10	1)2)	調査方法を理解することができる。					演 習	横 山
11	1)2)	調査方法を理解することができる。					演 習	横 山
12	1)2)	調査方法を理解することができる。					演 習	横 山
13	1)2)	調査方法を理解することができる。					演 習	横 山
14	1)2)	調査方法を理解することができる。					演 習	横 山
15	1)2)3)	調査方法を理解することができる。					演 習	横 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						

科目名	専門ゼミⅠ			授業コード	121275B602	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51C311P01	AL 科目		
担当者	前田直樹(心・心)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	日常生活における人間の行動や心理状態を行動論的観点から考察する。演習の進め方としては、不適応行動や行動変容に関するテーマについて各自分析・検討し、月数回のレポート提出と進行内容についてのプレゼンテーションを行う。加えて、卒業論文・心理学に関する研究法や論文の書き方を学習する。 (DP1) (DP5) (DP6) (CP2)							
学修目標	1)心理学の研究法、及びレポートの書き方を習得する。 2)心理学の論文を作成するための知識と技術を身に着ける。 3)英文論文が読めるようになる。							
実務経験のある 教員による教育	○							
評価及びフィード バックの方法	レポート レポートのフィードバック							
準備学習・ 履修上の注意等	自主的に調査研究する姿勢。行動理論、行動療法、英語に興味を持っている学生。							
オフィスアワー	(月)18:00-18:30							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1回	1)	オリエンテーション					演 習	前 田
2	1)	心理学論文について理解する					演 習	前 田
3	1)2)	テーマ設定の話し合いを行う1					演 習	前 田
4	1)2)	テーマ設定の話し合いを行う2					演 習	前 田
5	1)2)3)	文献研究を行う1					演 習	前 田
6	3)	文献研究を行う2					演 習	前 田
7	3)	文献研究を行う3					演 習	前 田
8	3)	文献研究を行う4					演 習	前 田
9	1)2)3)	プレゼンテーションを行う					演 習	前 田
10	1)2)	心理学論文の書き方を学ぶ1					演 習	前 田
11	1)2)	心理学論文の書き方を学ぶ2					演 習	前 田
12	1)2)	心理学論文の書き方を学ぶ3					演 習	前 田
13	1)2)	心理学論文の書き方を学ぶ4					演 習	前 田
14	1)2)	心理学論文の書き方を学ぶ5					演 習	前 田
15	1)2)3)	総括					演 習	前 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		English Grammar in Use 5th edition Book with answers and interactive ebook						

科目名		専門ゼミⅠ			授業コード	121275B604	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51C311P01	AL 科目	○
担当者		加藤 謙介(心理)	開講学期	2025 年度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		本演習では、学科・コースでの学びで得られた知識・関心を具体化し、「卒業研究」として総合する準備のために、文献講読・発表、及び、卒業論文計画立案・発表を通して、論文の読み方・発表の仕方、研究の組み立て方について習得することを目的とする。特に、グループ・ダイナミックス(社会心理学)からのアプローチの仕方を学び、「卒業研究論文」の準備を進める。 【DP(1)(3)(5)(6)・CP(7)】 専門ゼミⅠでは、様々な文献・学術論文を講読・発表し、「文献の読み方・発表の仕方」を習得する。その上で、先行研究を踏まえて、卒業研究のテーマ(案)を作成する。						
学修目標		1)「研究」「学術論文」の枠組みについて説明できる。 2)専門書を読み、「読書レポート」を作成できる。 3)学術論文を読み、内容をまとめて発表できる。 4)先行研究を踏まえ、卒業研究のテーマ(案)を作成できる。						
実務経験のある 教員による教育		特になし。						
評価及びフィード バックの方法		【フィードバック】専門ゼミ内でのディスカッションを通してフィードバックを行う。 【評価】(1) 演習におけるディスカッションへの参加状況(50%)、及び(2)課題の提出状況・内容(50%)によって評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		【準備学習(予習・復習等)時間】発表担当者は期日までに資料を準備すること。発表担当以外の受講者も、資料・ノートなど読み直すなどして、予習・復習を行うこと。 【履修上の注意等】本科目は演習であるため、毎回授業に参加し、文献を読み進め、発表を行うことに意味がある。また、他の受講生の発表内容について積極的・主体的に議論し、自分の意見を述べることを望む。加えて、人間の心理・福祉、人と動物の関係に関する基礎的な知識については、既にこれまでの講義である程度習得されていることを前提にして授業を進める。						
オフィスアワー		時間割が確定した後に研究室前に掲示する。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	イントロダクション					演 習	加 藤
2	1)	「研究」の枠組みを学ぶ					演 習	加 藤
3	2)	専門書の講読(1)					演 習	加 藤
4	2)	専門書の講読(2)					演 習	加 藤
5	2)	専門書の講読(3)					演 習	加 藤
6	2)	読書レポートの発表(1)					演 習	加 藤
7	2)	読書レポートの発表(2)					演 習	加 藤
8	2)	読書レポートの発表(3)					演 習	加 藤
9	3)	学術論文の講読(1)					演 習	加 藤
10	3)	学術論文の講読(2)					演 習	加 藤
11	3)	学術論文の講読(3)					演 習	加 藤
12	3)	学術論文の内容発表(1)					演 習	加 藤
13	3)	学術論文の内容発表(2)					演 習	加 藤
14	3)	学術論文の内容発表(3)					演 習	加 藤
15	1)2)3) 4)	中間まとめ					演 習	加 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	専門ゼミⅠ			授業コード	121275B605	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51C311P01	AL 科目	○
担当者	松山 光生(臨心)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	常に問題意識を持ち、問題意識を解決するための視点を持ち続ける実践家になるために、各自で、卒業研究に関連する資料・文献を収集し、熟読する。その上で、問題を解決するための視点を、卒業研究の研究計画を通じて学ぶ。						
学修目標	1) 今後の活動を見越して計画的に準備ができる。 2) 文献から得た情報を体系的に整理できる。 3) 情報を基づいて自分の考えを表現できる。 4) 相手の立場に立ち発言ができる。 5) ゼミ運営において自主的な行動ができる。 進路希望に応じて、①大学院入試、②資格試験、③採用試験の準備を随時行う。必要に応じて、英文和訳を勉強する						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(松山)は、臨床発達心理士、公認心理師としての実務経験に基づき、実践を意識した授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	平常点70%、提出物30%で総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	今後をしっかり見据えて、真摯に取り組んでほしい。また、ゼミ運営にも積極的に参加してほしい。 次のように、1回授業につき 120 分を目安に予習、復習を行うこと。 授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。 返却された提出物を再び、独力で完成できるようにしておくこと。						
オフィスアワー	毎週火・水曜日 18:15～19:15						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)～5)	ゼミや卒業論文の把握し、過去の卒業研究について概観する				講 義	松 山
2	1)～5)	【ゼミのあり方について学ぶ①】 心理学や社会福祉学の研究動向や研究方法について概観する 学術論文の読み方、報告の仕方を学ぶ				講 義	松 山
3	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ①】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
4	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ②】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
5	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ③】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
6	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ④】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
7	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ⑤】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
8	1)～5)	【研究テーマについて検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
9	1)～5)	【研究テーマについて検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
10	1)～5)	【研究テーマについて検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
11	1)～5)	【研究テーマについて検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
12	1)～5)	【研究計画について検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
13	1)～5)	【研究計画について検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
14	1)～5)	【研究計画について検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
15	1)～5)	【研究計画について検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特に指定しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜紹介する。					

科目名		専門ゼミⅠ			授業コード	121275B606	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51C311P01	AL 科目	○
担当者		内藤 健一(臨・臨)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義、SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		生涯にわたる自己研鑽力、問題発見・解決力を身につけた心理、福祉の専門職となるために(DP(6))、論文の集め方、読み方、まとめ方、発表の仕方の基礎を修得する(CP(7))。						
学修目標		1)論文の集め方を説明できる。 2)論文の読み方とまとめ方を説明できる。 3)先行研究で明らかになっていること、まだ明らかになっていないこと、研究の意義を説明できる。 4)卒業研究のテーマ案を具体的に説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		該当なし。						
評価及びフィード バックの方法		レジュメと発表(70%)と、SGD への参加状況(30%)						
準備学習・ 履修上の注意等		1 コマ当たり 1 時間を目安に予習(次に発表する論文を検索し読むこと)・復習(発表の際に説明できなかった点などを調べるこ と)をおこなうこと。						
オフィスアワー		毎週火～金曜日 12:15～13:00						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)	研究をおこなう上での基礎事項の確認:論文の集め方, 読み方, まとめ方					講 義	内 藤
2	3)	論文発表:各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
3	3)	論文発表:各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
4	3)	論文発表:各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
5	3)	論文発表:各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
6	3)	論文発表:各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
7	3)	論文発表:各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
8	3)	論文発表:各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
9	3)	論文発表:各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
10	3)	論文発表:各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
11	3)	論文発表:各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
12	3)	論文発表:各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
13	3)	論文発表:各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
14	4)	卒業研究のテーマ案について:各自の卒業研究のテーマ案について発表し、議論する。					S G D	内 藤
15	4)	卒業研究のテーマ案について:各自の卒業研究のテーマ案について発表し、議論する。					S G D	内 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。適宜、資料を配布する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			適宜、紹介する。					

科目名	専門ゼミⅠ			授業コード	121275B609	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(3 年)			ナンバリング	51C311P01	AL 科目	○
担当者	中村 真理子(臨心・臨心)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	言語聴覚療法をめぐる社会的動向を把握し、生涯にわたって自己研鑽を行うことができる自律性を養うため(DP7)本講義では、言語聴覚療法または各学生本人が興味のある医学的領域に関わる雑誌論文の文献抄読を中心に行い、研究手法や研究に必要な要素、プレゼンテーションの方法、質疑応答を通じた討議能力を養う。学外臨床実習に臨むための準備段階として、本講義を通じ、実習対象施設の特性に準じた障害領域の知識を深め、かつ、将来の臨床場面における知識・研究手法考案のための基礎的方法を習得する(CP7)。						
学修目標	1)必要な雑誌論文を図書館等より収集できる。 2)文献より、プレゼンテーションに必要な要素を抜粋し、レジュメを作成することができる。 3)レジュメ等の資料を基に、教員・他学生の前で文献のプレゼンテーションができる。 4)教員や他学生の質問に対し、答えるなどの討議ができる。 5)自己の興味のある、または学外臨床実習に向けた障害領域の知識を深めることができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(中村)は理化学研究所客員研究員として 5 年以上の実務経験に基づき的確な研究方法について教授する。						
評価及びフィード バックの方法	出席、プレゼンテーションのレジュメ、プレゼンテーション・質疑応答の内容により、総括的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	医学領域に関する文献を十分に読み込むこと。レジュメ等の準備も含め、プレゼンテーションには 1 時間以上の準備をかけること。質疑応答の内容を省みて、必要な知識を増やすこと。他学生が提供した情報・知識についても十分に復習すること。						
オフィスアワー	12 時 30 分～13 時(月曜、火曜、水曜)						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)～5)	オリエンテーション・言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議				講義、SGD	中 村
2	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議				講義、SGD	中 村
3	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議				講義、SGD	中 村
4	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議				講義、SGD	中 村
5	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議				講義、SGD	中 村
6	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議				講義、SGD	中 村
7	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議				講義、SGD	中 村
8	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議				講義、SGD	中 村
9	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議				講義、SGD	中 村
10	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議				講義、SGD	中 村
11	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議				講義、SGD	中 村
12	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議				講義、SGD	中 村
13	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議				講義、SGD	中 村
14	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議				講義、SGD	中 村
15	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・まとめ				講義、SGD	中 村
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		雑誌論文を中心に、適宜指示します。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なぜあなたの研究は進まないのか(佐藤雅昭) メディカルレビュー社 【978-4-7792-1725-8】					

科目名		専門ゼミⅠ			授業コード	121275B610	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学科・言語聴覚コース(3 年)			ナンバリング	51C311P01	AL 科目	○
担当者		吉武 重徳(臨床心理学科)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		柔軟な思考力と問題解決能力を培い、臨床現場においてリハビリテーションの一翼を担うことのできる臨床能力を身につけるために、卒業論文の作成を通して、仮説・検証のプロセスに基づく科学的臨床および臨床研究の視点と方法論を修得する(DP7、CP1(6))。						
学修目標		学修目標 1)必要な雑誌論文を図書館等より収集できる。 2)文献より、プレゼンテーションに必要な要素を抜粋し、レジュメを作成することができる。 3)レジュメ等の資料を基に、教員・他学生の前で文献のプレゼンテーションができる。 4)教員や他学生の質問に対し、答えるなどの討議ができる。 5)自己の卒業研究について説明し、討議の中で指導等を受け、卒業論文を完成させることができる。						
実務経験のある 教員による教育		教員は医療の臨床経験を有する医師として、大学付属病院等で習得した知識とスキルを本講義に活かして受講生に適合する教育を提供する。						
評価及びフィード バックの方法		研究への取り組み姿勢(課題提出状況、課題発表、討論等)の評価 50%と、卒業論文 50%で評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		毎回 1 時間以上は、文献抄読・研究テーマのための学習時間を作ること。常に問題意識を持ち、討論には、積極的に参加すること。						
オフィスアワー		水曜日 10:45～13:00 金曜日 10:45～12:00						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)～4)	オリエンテーション・言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究に関する説明					講 義	吉 武
2	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
3	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
4	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
5	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
6	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
7	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
8	1)～4)	卒業研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
9	1)～4)	卒業研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
10	1)～4)	卒業研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
11	1)～4)	卒業研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
12	1)～4)	卒業研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
13	4)5)	卒業論文の完成と修正					S G D	吉 武
14	4)5)	卒業論文の完成と提出					S G D	吉 武
15	4)5)	卒業論文内容のプレゼンテーションと討議					S G D	吉 武
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			特にありませんが、研究に必要な雑誌論文等を適宜指示します。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			こちらより適宜提示します。					

科目名	専門ゼミⅠ			授業コード	121275B612	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51C311P01	AL 科目	○
担当者	黒須 依子(心・心)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	研究活動や研究論文執筆に取り組む上で必要となる基礎的な技術を習得し、福祉領域に焦点をあて研究目的を仮設定すること を本演習の目標とする(D5)。本目標を達成するため本授業では、障がい者の日常生活、社会生活に焦点をあて、障がい者とい われる方が抱える課題、その解消に向け行われている福祉活動、福祉サービスに関する文献を読み、演習形式で意見交換を行 いながら福祉研究に必要な考え方を学ぶ(C1)。合わせて必要な情報の調べ方、文章作成方法を確認し、論文執筆における基礎 的知識を身につける(C7)。						
学修目標	1)論文の特徴、ルールを理解し説明できる。 2)ゼミメンバー間の話合いに主体的に参加し、他者の意見を聴き自身の意見を述べることができる。 3)文献検索方法を理解し、研究に必要な情報を収集できる。 4)論文を批判的に読む意義を理解し説明できる。 5)参考文献を使用しレポートや小論文を作成することができる。 6)指定文字数で文章を要約することができる。 7)論文を読み、著者の主張と自身の疑問点を発表することができる。 8)研究目的設定に向け主体的に取り組むことができる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	前講義出席を原則とし、課題の提出状況・課題レポート内容の評価 40%、発表内容・態度 30%、討論への参加状況 30%の割合 いで評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	ゼミ授業は全出席を原則として評価する。 レポート課題の期限厳守で提出すること。 教員の配布資料はファイルにとじ、毎時持参すること。 グループワークによる演習形式で授業を進める為、ゼミ生は授業準備を指定期限を厳守し提出すること。 ゼミには楽しみながら、主体的に参加すること。 また、ゼミ生は原則1コマあたり1時間の予習・復習を行い授業に参加すること。						
オフィスアワー	時間割確定後に研究室に提示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	(オリエンテーション/論文の特性) 演習Ⅰの目的、内容、評価方法、授業計画について理解する。 論文の特徴を理解する。				講義・演習	黒 須
2	1)	論文作成のルールを理解する。				講義・演習	黒 須
3	1)2)7)	論文を読み方、著者の主張を理解する。				演 習	黒 須
4	2)4)7)	批判的思考の必要性について理解する。 批判的に論文を読み、疑問点や意見をメンバーに発表し討論する。				演 習	黒 須
5	2)4)7)	批判的思考の必要性について理解する。 批判的に論文を読み、疑問点や意見をメンバーに発表し討論する。				演 習	黒 須
6	3)	文献検索の手法を理解し、関心ある研究テーマに関する資料を収集する。				演 習	黒 須
7	2)3)5)	論理的な表現の手法を理解する(1)				演 習	黒 須
8	2)3)5)	論理的な表現の手法を理解する(2)				演 習	黒 須
9	2)3)5)	論理的な表現の手法を理解する(3) テーマに関する小論文を作成、発表する。				演 習	黒 須
10	2)3)5)	論理的な表現の手法を理解する(4) テーマに関する小論文を作成、発表する。				演 習	黒 須
11	6)	文章要約力を身につける(1) ・要約の必要性について考える。 ・要約の手順と書き方を理解する。 ・提示文章を要約する。				演 習	黒 須
12	6)	文章要約力を身につける(2) ・要約のポイントを理解する。				演 習	黒 須
13	2)8)	研究テーマを設定する(1) 研究テーマ、テーマ設定理由、問題意識、社会背景を文章化、発表する。				演 習	黒 須
14	2)8)	研究テーマを設定する(2) ・メンバーから得た質問内容を参考に、研究の論点を再考する。 ・今後、研究を進める上での必要事項を考え、話合う。				演 習	黒 須
15	1)3)7) 8)	授業のまとめ				講義・演習	黒 須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。 授業で紹介する「研究の進め方」に関する指定図書の講読、その他の資料や図書を主体的に講読し授業に臨 むこと。					

科目名	専門ゼミⅠ			授業コード	121275B613	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51C311P01	AL 科目	○
担当者	染矢 真実(心・心)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	本演習では、学科・コースでの学びで得られた知識・関心を具体化し、「卒業研究」として総合する準備のために、文献講読・発表、及び、卒業論文計画立案・発表を通して、論文の読み方・発表の仕方、研究の組み立て方について習得することを目的とする。特に、小児を対象とした行動論的アプローチの仕方を学び、「卒業研究論文」の準備を進める。本演習を通して、専門職としての基本的態度(DP1)、コミュニケーション力(DP2)、問題の分析や解決するための視点(DP6)を得ることができる。 専門ゼミⅠでは、主に行動論的アプローチを中心とした専門書を講読・発表し、「文献の読み方・発表の仕方」を習得する。						
学修目標	1)「研究」「学術論文」の枠組みについて説明できる。 2)専門書を読み、内容をまとめて発表できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、医療機関や教育現場での長期の臨床経験に基づき、学生が主体的に心理学的な卒業研究を行うことを目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	・演習におけるディスカッションへの参加状況(50%)、及び発表・レポート等の課題の提出状況・内容 50%として、単位認定を行う。 ・課題についての講評・解説については、原則、授業時に行う。また、復習を促すためにユニバを活用し講評(フィードバック)を行う場合もある。						
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習(予習・復習等)時間】発表担当者は期日までに資料を準備すること。発表担当以外の受講者も、資料・ノートなど読み直すなどして、予習・復習を行うこと。 【履修上の注意等】本科目は演習であるため、毎回授業に参加し、文献を読み進め、発表を行うことを求める。また、他の受講生の発表内容について積極的・主体的に議論し、自分の意見を述べることを望む。						
オフィスアワー	研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	イントロダクション				演 習	染 矢
2	1)	「研究」の枠組みを学ぶ				演 習	染 矢
3	2)	専門書の講読(1)				演 習	染 矢
4	2)	専門書の講読・発表(2)				演 習	染 矢
5	2)	専門書の講読・発表(3)				演 習	染 矢
6	2)	専門書の講読・発表(4)				演 習	染 矢
7	2)	専門書の講読・発表(5)				演 習	染 矢
8	2)	専門書の講読・発表(6)				演 習	染 矢
9	3)	専門書の講読・発表(7)				演 習	染 矢
10	2)	専門書の講読・発表(8)				演 習	染 矢
11	2)	専門書の講読・発表(9)				演 習	染 矢
12	2)	専門書の講読・発表(10)				演 習	染 矢
13	2)	専門書の講読・発表(11)				演 習	染 矢
14	2)	専門書の講読・発表(12)				演 習	染 矢
15	1)2)	中間まとめ				演 習	染 矢
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		講義内にて紹介。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜紹介。					

科目名		専門ゼミⅡ			授業コード	121276B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理(3 年)			ナンバリング	51C312P01	AL 科目	○
担当者		横山 裕(臨床心理)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		4年次の卒業論文作成に必要なテーマ設定法、情報収集法、調査方法などを修得することができる。また、自分の関心事や、与えられた課題に関する文献調査を行い、その内容をほかの人に伝えるためのプレゼンテーション能力を磨くことができる。(DP 4,CP7)						
学修目標		1)必要文献を精読できる。 2)伝えたい情報を口頭でわかりやすく説明できる。 3)伝えたい情報を文章で性格に記述できる。						
実務経験のある 教員による教育		非該当						
評価及びフィード バックの方法		学習態度、ゼミでの発表内容などから総合的に評価する。 ゼミ時間内及びオフィスアワーなどを活用して個別にフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		演習に関することについては教員の指導・指示に従うこと						
オフィスアワー		月水金 12:30~13:00						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	演習1の目的、年間スケジュールが理解できる。					演 習	横 山
2	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。					演 習	横 山
3	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。					演 習	横 山
4	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。					演 習	横 山
5	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。					演 習	横 山
6	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。					演 習	横 山
7	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。					演 習	横 山
8	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。					演 習	横 山
9	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。					演 習	横 山
10	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。					演 習	横 山
11	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。					演 習	横 山
12	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。					演 習	横 山
13	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。					演 習	横 山
14	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。					演 習	横 山
15	3)	これまでの成果を発表することができる。					演 習	横 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	専門ゼミⅡ			授業コード	121276B602	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51C312P01	AL 科目	
担当者	前田直樹(心・心)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	日常生活における人間の行動や心理状態を行動論的観点から考察する。演習の進め方としては、不適応行動や行動変容に関するテーマについて各自分析・検討し、月数回のレポート提出と進行内容についてのプレゼンテーションを行う。加えて、卒業論文・心理学に関する研究法や論文の書き方を学習する。 (DP1) (DP5) (DP6) (CP2)						
学修目標	1)心理学の研究法、及びレポートの書き方を習得する。 2)心理学の論文を作成するための知識と技術を身に着ける。 3)英文論文が読めるようになる。 4)研究計画を作成する。						
実務経験のある 教員による教育	○						
評価及びフィード バックの方法	レポート						
準備学習・ 履修上の注意等	主体的に調査研究する姿勢。行動理論、行動療法、英語に興味を持っている学生。						
オフィスアワー	(月)18:00-18:30						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	卒業論文テーマを設定する1				演 習	前 田
2	1)2)	卒業論文テーマを設定する2				演 習	前 田
3	1)2)	心理学研究法について理解する1				演 習	前 田
4	1)2)	心理学研究法について理解する2				演 習	前 田
5	1)2)	心理学研究法について理解する3				演 習	前 田
6	1)2)3)	卒業論文を作成する1				演 習	前 田
7	1)2)3)	卒業論文を作成する2				演 習	前 田
8	1)2)3)	卒業論文を作成する3				演 習	前 田
9	1)2)3)	卒業論文を作成する4				演 習	前 田
10	1)2)3)	卒業論文を作成する5				演 習	前 田
11	4)	研究計画書を作成する				演 習	前 田
12	1)2)3) 4)	プレゼンテーションを行う				演 習	前 田
13	4)	卒業論文を作成する6				演 習	前 田
14	4)	卒業論文を作成する7				演 習	前 田
15	1)2)3) 4)	総括				演 習	前 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名	専門ゼミⅡ			授業コード	121276B604	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51C312P01	AL 科目	○
担当者	加藤 謙介(心理)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	本演習では、本学科・専攻での学びで得られた知識・関心を具体化し、「卒業研究」として総合する準備のために、文献講読・発表、及び、卒業論文計画立案・発表を通して、論文の読み方・発表の仕方、研究の組み立て方について習得することを目的とする。特に、グループ・ダイナミクス(社会心理学)からのアプローチの仕方を学び、「卒業研究論文」の準備を進める。 【DP(1)(3)(5)(6)・CP(7)】 専門ゼミⅡでは、受講生自身のテーマに沿ってさらに文献を読み進め、卒業研究論文の「問題」部分にあたる「レビュー論文」を執筆する。						
学修目標	1)「研究」「学術論文」の枠組みについて説明できる。 2)文献を引用しながら、研究テーマを作成できる。 3)自分の研究テーマについて、文献引用に基づき「レビュー論文」を作成できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし。						
評価及びフィード バックの方法	【フィードバック】専門ゼミ内でのディスカッションを通してフィードバックを行う。 【評価】(1)演習におけるディスカッションへの参加状況(50%)、及び(2)課題の提出状況・内容(50%)によって評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習(予習・復習等)時間】発表担当者は期日までに資料を準備すること。発表担当以外の受講者も、資料・ノートなど読み直すなどして、予習・復習を行うこと。 【履修上の注意等】本科目は演習であるため、毎回授業に参加し、文献を読み進め、発表を行うことに意味がある。また、他の受講生の発表内容について積極的・主体的に議論し、自分の意見を述べることを望む。加えて、人間の心理・福祉、人と動物の関係に関する基礎的な知識については、既にこれまでの講義である程度習得されていることを前提にして授業を進める。						
オフィスアワー	時間割が確定した後に研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	関連文献の渉猟・整理と「研究計画」の作成(1)				演 習	加 藤
2	1)2)	関連文献の渉猟・整理と「研究計画」の作成(2)				演 習	加 藤
3	1)2)	関連文献の渉猟・整理と「研究計画」の作成(3)				演 習	加 藤
4	1)2)	関連文献に基づく「研究計画」の発表(1)				演 習	加 藤
5	1)2)	関連文献に基づく「研究計画」の発表(2)				演 習	加 藤
6	1)3)	「レビュー論文」の作成(1)				演 習	加 藤
7	1)3)	「レビュー論文」の作成(2)				演 習	加 藤
8	1)3)	「レビュー論文」の作成(3)				演 習	加 藤
9	1)3)	「レビュー論文」の作成(4)				演 習	加 藤
10	1)3)	「レビュー論文」の作成(5)				演 習	加 藤
11	1)3)	レビュー論文の発表(1)				演 習	加 藤
12	1)3)	レビュー論文の発表(2)				演 習	加 藤
13	1)3)	レビュー論文の発表(3)				演 習	加 藤
14	1)3)	レビュー論文の発表(4)				演 習	加 藤
15	1)2)3)	総括				演 習	加 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	専門ゼミⅡ			授業コード	121276B605	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51C312P01	AL 科目	○
担当者	松山 光生(臨心)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	常に問題意識を持ち、その解決するための視点を持ち続けられる実践家になるために、各自で、卒業研究に関連する資料・文献を収集し、熟読する。その上で、問題を解決するための視点を、卒業研究の研究計画を通じて学ぶ。						
学修目標	1) 今後の活動を見越して計画的に準備ができる。 2) 文献から得た情報を体系的に整理できる。 3) 情報を基づいて自分の考えを表現できる。 4) 相手の立場に立ち発言ができる。 5) ゼミ運営において自主的な行動ができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(松山)は、臨床発達心理士、公認心理師としての実務経験に基づき、実践を意識した授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	平常点70%、提出物30%で総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	今後をしっかり見据えて、真摯に取り組んでほしい。また、ゼミ運営にも積極的に参加してほしい。 次のように、1回授業につき 120 分を目安に予習、復習を行うこと。 授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。 返却された提出物を再び、独力で完成できるようにしておくこと。 進路希望に応じて、①大学院入試、②資格試験、③採用試験の準備を随時行う。必要に応じて、英文和訳を勉強する						
オフィスアワー	毎週火・水曜日 18:15～19:15						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)～5)	ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
2	1)～5)	【ゼミのあり方について学ぶ①】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
3	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ①】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
4	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ②】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
5	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ③】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
6	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ④】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
7	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ⑤】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
8	1)～5)	【研究テーマについて検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
9	1)～5)	【研究テーマについて検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
10	1)～5)	【研究テーマについて検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
11	1)～5)	【研究テーマについて検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
12	1)～5)	【研究計画について検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
13	1)～5)	【研究計画について検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
14	1)～5)	【研究計画について検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
15	1)～5)	【研究計画について検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特に指定しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜紹介する。					

科目名		専門ゼミⅡ			授業コード	121276B606	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51C312P01	AL 科目	○
担当者		内藤 健一(臨・臨)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	S G D
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		生涯にわたる自己研鑽力、問題発見・解決力を身につけた心理、福祉の専門職となるために(DP(6))、研究の進め方を修得する(CP(7))。						
学修目標		1) 先行研究で明らかになっていること、まだ明らかになっていないこと、研究の意義を説明できる。 2) 卒業論文における序論と方法を作成できる。						
実務経験のある 教員による教育		該当なし。						
評価及びフィード バックの方法		レジュメと発表(70%)と、SGD への参加状況(30%)						
準備学習・ 履修上の注意等		1 コマ当たり 1 時間を目安に予習(論文発表などのための準備)・復習(論文発表などで指摘を受けた点の修正)をおこなうこと。						
オフィスアワー		毎週火～金曜日 12:15～13:00						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
2	1)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
3	1)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
4	1)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
5	1)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
6	1)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
7	1)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
8	2)	卒業論文の序論と方法の作成: 各自の卒業論文の序論と方法を発表し、議論する。					S G D	内 藤
9	2)	卒業論文の序論と方法の作成: 各自の卒業論文の序論と方法を発表し、議論する。					S G D	内 藤
10	2)	卒業論文の序論と方法の作成: 各自の卒業論文の序論と方法を発表し、議論する。					S G D	内 藤
11	2)	卒業論文の序論と方法の作成: 各自の卒業論文の序論と方法を発表し、議論する。					S G D	内 藤
12	2)	卒業論文の序論と方法の作成: 各自の卒業論文の序論と方法を発表し、議論する。					S G D	内 藤
13	2)	卒業論文の序論と方法の作成: 各自の卒業論文の序論と方法を発表し、議論する。					S G D	内 藤
14	2)	卒業論文の序論と方法の作成: 各自の卒業論文の序論と方法を発表し、議論する。					S G D	内 藤
15	2)	卒業論文の序論と方法の作成: 各自の卒業論文の序論と方法を発表し、議論する。					S G D	内 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。適宜、資料を配布する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			適宜、紹介する。					

科目名		専門ゼミⅡ			授業コード	121276B609	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学科・言語聴覚コース(3 年)			ナンバリング	51C312P01	AL 科目	
担当者		中村 真理子(臨心・臨心)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		常に問題意識を持ち、問題を解決するための視点を研究を通じて養うため(DP7)本ゼミでは、学外臨床実習で経験し、かつ各学生が興味を持つ言語聴覚療法的知見について、雑誌論文の抄読を行う。その過程を通じて、文献の読み方やまとめ方の習得、ポスタープレゼンテーション能力、質疑応答を通じた討議能力を養う(CP1-6)。また本ゼミは、卒業論文完成の位置づけをもつ。						
学修目標		1)必要な雑誌論文をインターネット、図書館等より収集することができる。 2)文献より、論文作成に必要な要素を抜粋することができる。 3)教員や学生の質問内容に対し、十分な回答や説明をすることができる。 4) 収集したデータをポスターならびに論文にまとめ卒業論文を完成する。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者(中村)は理化学研究所客員研究員として 5 年以上の実務経験に基づき的確な研究方法について教授する。						
評価及びフィード バックの方法		出席、教員とのやり取りにおけるポスターの改善の様子、ポスターとプレゼンテーション用抄録の内容、プレゼンテーションと質疑応答の内容により、総括的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		文献をできるだけ多く収集し、十分に読み込むこと。抄読会では他学生からの質疑応答の内容を振り返り、4 年次の卒業研究に関して必要な知識を増やすこと。						
オフィスアワー		火、水、木 12:30～13:00						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)	研究に必要な文献収集と抄読・ポイントのまとめ(1)					S G D	中 村
2	1)2)	研究に必要な文献収集と抄読・ポイントのまとめ(2)					S G D	中 村
3	1)2)	研究に必要な文献収集と抄読・ポイントのまとめ(3)					S G D	中 村
4	1)～4)	研究計画の立案、教員・他学生との討議(1)					S G D	中 村
5	1)～4)	研究計画の立案、教員・他学生との討議(2)					S G D	中 村
6	1)～4)	研究計画の立案、教員・他学生との討議(3)					S G D	中 村
7	1)～4)	研究計画の立案、教員・他学生との討議(4)					S G D	中 村
8	1)～4)	研究計画の立案、教員・他学生との討議(5)					S G D	中 村
9	4)～6)	調査・研究の実施(1)					S G D	中 村
10	4)～6)	調査・研究の実施(2)					S G D	中 村
11	4)～6)	調査・研究の実施(3)					S G D	中 村
12	5)6)	ポスター発表会					S G D	中 村
13	7)	論文作成					S G D	中 村
14	7)	論文作成					S G D	中 村
15	7)	論文作成					S G D	中 村
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			学術論文を中心に、適宜指示します。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			なぜあなたの研究は進まないのか(佐藤雅昭) メディカルレビュー社 【978-4-7792-1724-1】					

科目名		専門ゼミⅡ			授業コード	121276B610	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学科・言語聴覚コース(3 年)			ナンバリング	51C312P01	AL 科目	○
担当者		吉武 重徳(臨床心理学科)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		柔軟な思考力と問題解決能力を培い、臨床現場においてリハビリテーションの一翼を担うことのできる臨床能力を身につけるた めに、卒業論文の作成を通して、仮説・検証のプロセスに基づく科学的臨床および臨床研究の視点と方法論を修得する(DP7、 CP1(6))。						
学修目標		学修目標 1)必要な雑誌論文を図書館等より収集できる。 2)文献より、 プレゼンテーションに必要な要素を抜粋し、レジュメを作成することができる。 3)レジュメ等の資料を基に、教員・他学生の前で文献のプレゼンテーションができる。 4)教員や他学生の質問に対し、答えるなどの討議ができる。 5)自己の卒業研究について説明し、討議の中で指導等を受け、卒業論文を完成させることができる。						
実務経験のある 教員による教育		教員は医療の臨床経験を有する医師として、大学付属病院等で習得した知識とスキルを本講義に活かして受講生に適合する教 育を提供する。						
評価及びフィード バックの方法		研究への取り組み姿勢(課題提出状況、課題発表、討論等)の評価 50%と、卒業論文 50%で評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等		毎回 1 時間以上は、文献抄読・研究テーマのための学習時間を作ること。常に問題意識を持ち、討論には、積極的に参加するこ と。						
オフィスアワー		水曜日 10:45～13:00 金曜日 10:45～12:00						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)～4)	オリエンテーション・言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究に関する説明					講 義	吉 武
2	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
3	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
4	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
5	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
6	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
7	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
8	1)～4)	卒業研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
9	1)～4)	卒業研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
10	1)～4)	卒業研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
11	1)～4)	卒業研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
12	1)～4)	卒業研究の進捗状況説明と討議					S G D	吉 武
13	4)5)	卒業論文の完成と修正					S G D	吉 武
14	4)5)	卒業論文の完成と提出					S G D	吉 武
15	4)5)	卒業論文内容のプレゼンテーションと討議					S G D	吉 武
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			特にありませんが、研究に必要な雑誌論文等を適宜指示します。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			こちらより適宜提示します。					

科目名	専門ゼミⅡ			授業コード	121276B612	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51C312P01	AL 科目	○
担当者	黒須 依子(心・心)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	専門ゼミⅡの目的は卒業研究の目的、方法を決定し、研究計画を策定し各自の研究活動を進める。そのために専門ゼミⅠで仮 設定した研究テーマに関する情報・文献を主体的に収集・購読し、レポート発表、ゼミメンバー間でのディスカッションを通じ研究 テーマに関する理解を深める。						
学修目標	1)研究目的を決定することができる。 2)研究方法を決定することができる。 3)ゼミメンバー間での討論に主体的に参加し、他者の意見を聴き、自身の意見を述べることができる。 4)研究に必要な情報・文献を主体的に検索・収集し購読することができる。 5)研究計画概要を文章化し報告することができる。 6)自身の研究進捗状況を文章化し、わかりやすく発表することができる。 7)研究計画を策定し、研究計画に基づき主体的に研究を進めることができる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	課題レポート提出状況と内容 30%、演習参加状況 30%、研究活動への取組状況 40%で評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業出席を原則とする。やむを得ない事情で授業を欠席する際は、教員へ事前連絡すること。 毎時、教員が提示する課題は期限厳守で提出し、授業中の配布資料はファイルに同じ毎時持参すること。 授業は上記配布資料、授業内で伝えていく参考文献を資料としグループワーク形式で進める。 したがって学生は授業準備をしっかりと行い、授業に主体的に参加することが求められる。 なお、学生は1コマあたり1 時間以上の予習・復習行い、各自の研究を進めること。						
オフィスアワー	時間割確定後に研究室に提示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	3)	(オリエンテーション/研究課題の発表(1)) 演習Ⅱの目的、内容、評価方法、授業計画について理解する。 研究課題を発表し、メンバーより質問を受け回答する。				講義・演習	黒 須
2	3)4)	課題の発表(2) 研究課題を発表し、メンバーより質問を受け回答する。				演 習	黒 須
3	2)4)	研究方法(1) 量的調査と質的調査				演 習	黒 須
4	2)4)	研究方法(2) 研究方法の設定方法 調査実施における研究倫理				演 習	黒 須
5	1)2)	研究方法(3) 研究目的、研究方法を設定する。				演 習	黒 須
6	1)2)5)	研究概要を作成し、発表する。				演 習	黒 須
7	1)2)3) 5)	研究概要に対し得た質問をもとに、研究目的と方法を再検討する。				演 習	黒 須
8	5)	研究計画を策定することができる(1)				演 習	黒 須
9	3)4)	研究計画に基づき研究を行う(1) 先行研究を検索し、研究目的について明らかになっていること、いないことを 調べ、整理する。				演 習	黒 須
10	2)3)	研究計画に基づき研究を行う(2) 研究目的を確認し、先行研究を踏まえ、研究目的を明らかにするために必要な情報内容、調査方法を整理する。				演 習	黒 須
11	3)7)	4 年生の卒業研究発表会へ参加し、自身の卒業研究計画を具体化する。				演 習	黒 須
12	2)7)	研究計画に基づき研究を行う(3) 研究方法を具体的に決定・計画する。				演 習	黒 須
13	2)7)	研究計画に基づき研究を行う(4) 研究の進捗状況発表を通じこれまでの研究内容を振り返り、研究の進め方を決定する①				演 習	黒 須
14	2)6)7)	研究計画に基づき研究を行う(5) 研究の進捗状況発表を通じこれまでの研究内容を振り返り、研究の進め方を決定する②				演 習	黒 須
15	3)7)	研究の進捗状況を確認し、各自の春季休暇の課題を設定する。				演 習	黒 須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。 研究方法に関する文献は、授業中に紹介する「研究の進め方」「研究方法」「論文の書き方」に関する図書(授業 で紹介)を各自取り寄せ、主体的に読んでください。 ゼミ生各自の研究目的に関連する文献は、各自で主体的に読んでください。					

科目名	専門ゼミⅡ			授業コード	121276B613	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51C312P01	AL 科目	○
担当者	染矢 真実(心・心)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	本演習では、本学科・専攻での学びで得られた知識・関心を具体化し、「卒業研究」として総合する準備のために、文献講読・発表、及び、卒業論文計画立案・発表を通して、論文の読み方・発表の仕方、研究の組み立て方について習得することを目的とする。特に、行動論的アプローチの仕方を学び、「卒業研究論文」の準備を進める。 本演習では、専門職としての基本的態度(DP1)、課題を抱えた人々や、地域、協働する各機関や多職種等とコミュニケーションを図り、適切な支援や連携を取ることができる力(DP2)、支援が必要な対象者や地域社会に対し、専門的な知識や技術を駆使し、情報収集や検査等により、保健・医療・福祉・教育・司法・産業各領域の問題を分析・的確に把握し、解決法や支援プログラムを導き出していくことができる実践力(DP3)、自己研鑽力(DP5)、問題発見・解決(DP6)するための視点を、研究を通じて持つことができる。 専門ゼミⅡでは、先行研究を踏まえて、卒業研究のテーマ(案)を作成、自身のテーマに沿ってさらに文献を読み進める。						
学修目標	1)「研究」「学術論文」の枠組みについて説明できる。 2)文献を引用しながら、研究テーマを作成できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、医療機関や教育現場での長期の臨床経験に基づき、学生が主体的に心理学的な卒業研究を行うことを目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	・演習におけるディスカッションへの参加状況(50%)、及び発表・レポート等の課題の提出状況・内容 50%として、単位認定を行う。 ・課題についての講評・解説については、原則、授業時に行う。また、復習を促すためにユニパを活用し講評(フィードバック)を行う場合もある。						
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習(予習・復習等)時間】発表担当者は期日までに資料を準備すること。発表担当以外の受講者も、資料・ノートなど読み直すなどして、予習・復習を行うこと。 【履修上の注意等】本科目は演習であるため、毎回授業に参加し、文献を読み進め、発表を行うことに意味がある。また、他の受講生の発表内容について積極的・主体的に議論し、自分の意見を述べることを望む。						
オフィスアワー	研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	関連文献の整理と「研究計画」の作成(1)				演 習	染 矢
2	1)2)	関連文献の整理と「研究計画」の作成(2)				演 習	染 矢
3	1)2)	関連文献の整理と「研究計画」の作成(3)				演 習	染 矢
4	1)2)	関連文献の整理と「研究計画」の作成(4)				演 習	染 矢
5	1)2)	関連文献に基づく「研究計画」の発表(1)				演 習	染 矢
6	1)2)	関連文献の整理と「研究計画」の発表(2)				演 習	染 矢
7	1)2)	関連文献の整理と「研究計画」の発表(3)				演 習	染 矢
8	1)2)	「レビュー論文」の作成(1)				演 習	染 矢
9	1)2)	「レビュー論文」の作成(2)				演 習	染 矢
10	1)2)	「レビュー論文」の作成(3)				演 習	染 矢
11	1)2)	レビュー論文の発表(1)				演 習	染 矢
12	1)2)	レビュー論文の発表(2)				演 習	染 矢
13	1)2)	レビュー論文の発表(3)				演 習	染 矢
14	1)2)	レビュー論文の発表(4)				演 習	染 矢
15	1)2)	総括				演 習	染 矢
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜紹介					

科目名		専門ゼミⅢ			授業コード	121277B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学科(4 年)			ナンバリング	51C411P01	AL 科目	○
担当者		横山裕(臨床心理)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		本演習を通して、ゼミ生が卒業論文のテーマ設定、論文作成のスケジュールの立案、調査の実施、論文の著述、成果の報告な どがスムーズにできるようになる。(DP6,CP7)						
学修目標		1)卒業論文のテーマ設定ができる。 2)必要とする先行研究にアクセスできる。 3)必要文献を精読できる。 4)伝えたい情報を口頭でわかりやすく説明できる。 5)伝えたい情報を文章で性格に記述できる。						
実務経験のある 教員による教育		非該当						
評価及びフィード バックの方法		学習態度、ゼミでの発表内容などから総合的に評価する。 ゼミ時間内及びオフィスアワーなどを活用して個別にフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		演習に関することについては教員の指導・指示に従うこと						
オフィスアワー		月水金 12:30~13:00						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	卒業論文作成のプロセス、心構えが理解できる。					演 習	横 山
2	1)2)	論文作成のスケジュールが立案できる。					演 習	横 山
3	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。					演 習	横 山
4	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。					演 習	横 山
5	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。					演 習	横 山
6	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。					演 習	横 山
7	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。					演 習	横 山
8	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。					演 習	横 山
9	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。					演 習	横 山
10	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。					演 習	横 山
11	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。					演 習	横 山
12	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。					演 習	横 山
13	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。					演 習	横 山
14	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。					演 習	横 山
15	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。					演 習	横 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					

科目名	専門ゼミⅢ			授業コード	121277B602	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	心理・福祉コース(4 年)			ナンバリング	51C411P01	AL 科目		
担当者	前田直樹(心・心)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	専門ゼミⅠ、Ⅱで学習したことを踏まえて、各自の興味のある研究テーマをより具体的に絞り込む。テーマを絞り込んだらそれに関連する文献を集めて文献研究を行う。臨床心理学の研究法は様々なものがあり、自分のテーマに合う研究法を学習し、どのような手順で研究を進めていくのか具体的な計画を立てる。この演習はできるだけ多くの文献や研究法に触れて学習を進めていく。 (DP1) (DP5) (DP6) (CP2)							
学修目標	1)文献研究ができるようになる。 2)臨床心理学の各種研究法を使用することができる。 3)研究論文の作成ができるようになる。							
実務経験のある 教員による教育	○							
評価及びフィード バックの方法	レポート、卒業論文							
準備学習・ 履修上の注意等	自主的に調査研究する姿勢。行動理論、行動療法、英語に興味を持っている学生							
オフィスアワー	(月)18:00-18:30							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)3)	オリエンテーション					演 習	前 田
2	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
3	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
4	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
5	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
6	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
7	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
8	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
9	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
10	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
11	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
12	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
13	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
14	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
15	1)2)3)	卒業研究中間発表を行う					演 習	前 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない						

科目名	専門ゼミⅢ			授業コード	121277B604	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(4 年)			ナンバリング	51C411P01	AL 科目	○	
担当者	加藤 謙介	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	演 習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	これまでの学科・コース・ゼミでの学びで得られた知識・関心を具体化し、「卒業研究」を完成させるために、受講生各自の卒業論文研究計画の遂行、及び途中経過の発表・ディスカッションを実施する。その上で、卒業研究論文の作成を進める。 【DP(1)(3)(5)(6)・CP(7)】							
学修目標	1) 自分の研究テーマをもとに、「研究」「学術論文」の枠組みについて説明できる。 2) 卒業研究の計画を遂行できる。 3) 研究計画・結果をもとにディスカッションができる。 4) 研究成果に基づき、卒業研究論文を執筆できる。							
実務経験のある 教員による教育	特になし。							
評価及びフィード バックの方法	【フィードバック】専門ゼミ・オフィスアワーでのディスカッションを通してフィードバックを行う。 【評価】(1) 演習におけるディスカッションへの参加状況(50%)、及び(2) 課題の提出状況・内容(50%)によって評価する。							
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習(予習・復習等)時間】発表担当者は期日までに資料を準備すること。発表担当以外の受講者も、資料・ノートなど読み直すなどして、予習・復習を行うこと。 【履修上の注意等】本科目は演習であるため、毎回授業に参加し、文献を読み進め、発表を行うことに意味がある。また、他の受講生の発表内容について積極的・主体的に議論し、自分の意見を述べることを望む。加えて、人間の心理・福祉、人と動物の関係に関する基礎的な知識については、既にこれまでの講義である程度習得されていることを前提にして授業を進める。							
オフィスアワー	時間割が確定した後に研究室前に掲示する。							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	イントロダクション					演 習	加 藤
2	2)3)	卒業論文研究計画発表(1)					演 習	加 藤
3	2)3)	卒業論文研究計画発表(2)					演 習	加 藤
4	2)3)	卒業論文研究計画発表(3)					演 習	加 藤
5	2)3)	卒業論文研究計画発表(4)					演 習	加 藤
6	2)3)	卒業論文研究計画発表(5)					演 習	加 藤
7	2)3)	卒業論文研究計画発表(6)					演 習	加 藤
8	2)3)	卒業論文研究計画発表(7)					演 習	加 藤
9	2)3)	卒業論文研究計画発表(8)					演 習	加 藤
10	2)3)4)	卒業論文研究計画発表(9)					演 習	加 藤
11	2)3)4)	卒業論文研究計画発表(10)					演 習	加 藤
12	2)3)4)	卒業論文研究計画発表(11)					演 習	加 藤
13	2)3)4)	卒業論文研究計画発表(12)					演 習	加 藤
14	2)3)4)	卒業論文研究計画発表(13)					演 習	加 藤
15	1)2)3) 4)	中間総括					演 習	加 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						

科目名	専門ゼミⅢ			授業コード	121277B605	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	言語聴覚療法学科(3 年)			ナンバリング	51C411P01	AL 科目	○
担当者	松山 光生(臨心)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	常に問題意識を持ち、問題意識を解決するための視点を、研究を通じてもつことができる言語聴覚士になるために、各自で、卒業研究に関連する資料・文献を収集し、熟読する。その上で、問題を解決するための視点を、卒業研究の研究計画を通じて学ぶ。						
学修目標	1) 今後の活動を見越して計画的に準備ができる。 2) 文献から得た情報を体系的に整理できる。 3) 情報に基づいて自分の考えを表現できる。 4) 相手の立場に立ち発言ができる。 5) ゼミ運営において自主的な行動ができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(松山)は、臨床発達心理士、公認心理師としての実務経験に基づき、実践を意識した授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	平常点70%、提出物30%で総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	今後をしっかり見据えて、真摯に取り組んでほしい。また、ゼミ運営にも積極的に参加してほしい。 次のように、1回授業につき 120 分を目安に予習、復習を行うこと。 授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。 返却された提出物を再び、独力で完成できるようにしておくこと。						
オフィスアワー	毎週火・水曜日 18:15～19:15						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)～5)	ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
2	1)～5)	【ゼミのあり方について学ぶ①】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
3	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ①】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
4	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ②】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
5	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ③】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
6	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ④】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
7	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ⑤】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
8	1)～5)	【研究テーマについて検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
9	1)～5)	【研究テーマについて検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
10	1)～5)	【研究テーマについて検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
11	1)～5)	【研究テーマについて検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
12	1)～5)	【研究計画について検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
13	1)～5)	【研究計画について検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
14	1)～5)	【研究計画について検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
15	1)～5)	【研究計画について検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特に指定しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜紹介する。					

科目名		専門ゼミⅢ			授業コード	121277B606	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学科(4 年)			ナンバリング	51C411P01	AL 科目	○
担当者		内藤 健一(臨・臨)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		生涯にわたる自己研鑽力、問題発見・解決力を身につけた心理、福祉の専門職となるために(DP(6))、研究における結果の分析の仕方を修得する(CP(7))。						
学修目標		1)自分の研究計画に沿ってデータを収集できる。 2)結果を適切に分析できる。 3)得られた結果を元に、卒業論文を執筆できる。						
実務経験のある 教員による教育		該当なし。						
評価及びフィード バックの方法		卒業論文の進捗状況、及び内容をもとに評価する(100%)。						
準備学習・ 履修上の注意等		1コマ当たり1時間を目安に予習(論文作成)・復習(指摘を受けた点の修正)をおこなうこと。						
オフィスアワー		毎週火～金曜日 12:15～13:00						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)3)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
2	1)2)3)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
3	1)2)3)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
4	1)2)3)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
5	1)2)3)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
6	1)2)3)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
7	1)2)3)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
8	1)2)3)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
9	1)2)3)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
10	1)2)3)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
11	1)2)3)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
12	1)2)3)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
13	1)2)3)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
14	1)2)3)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
15	1)2)3)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			適宜、紹介する。					

科目名	専門ゼミⅢ			授業コード	121277B607	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(4 年)			ナンバリング	51C411P01	AL 科目	○
担当者	黒須 依子(心・心)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	専門ゼミⅢでは、専門ゼミⅣでの卒論完成を目標に、担当教員の個別指導を受けながら専門ゼミⅠ・Ⅱで進めた研究活動を踏 まえ各自の研究を進め、研究目的に照らし研究結果や考察を社会福祉の視座から卒業論文としてまとめ(C7)、文章化することを 目的とする(D3)。 また、ゼミ研究経過報告会へ参加し他ゼミメンバーの研究内容聴講、自身の研究経過報告、質疑応答を通じ(D2)、自身の研究 内容を見直し研究内容の質を高める(D6)。						
学修目標	1)卒業研究・卒業論文執筆の目的を理解し、説明できる。 2)卒論提出期限、中間発表会に合わせて研究計画を立て、主体的に研究活動に取り組むことができる。 3)研究に必要な必要な資料・情報を主体的に収集、講読し、研究論文に活用することができる。 4)研究目的に沿った調査計画を立て、調査活動を進めることができる。 5)自身の研究内容をメンバーに分かりやすく報告し、質疑応答に対応することができる。 6)論文構成を決定し、主体的に論文作成に取り組むことができる。 7)研究倫理に配慮し論文を執筆し、研究内容を報告することができる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	専門ゼミⅢでは研究活動への主体性、ゼミでのディスカッション、研究経過報告状況、その他の研究活動への参加状況、論文執 筆状況を総合的に評価する。 なお、計 3 回実施する研究経過報告会への参加、報告を通じ、ゼミ生各自が自身の研究内容や研究計画を見直し、新たな気づ きを得る機会とする。						
準備学習・ 履修上の注意等	全授業出席を原則する。専門ゼミⅢは個別指導を中心に研究指導、論文指導を受けると共に、研究経過報告会への参加、報告 を通じ卒業研究の論点を焦点化、調査結果分析を進める。 ゼミ生は1コマあたり2 時間以上の自宅学習を目安に各自の研究、論文執筆に取組み、指定課題(研究論文や調査結果)を準備 しゼミ指定時間に発表すること。						
オフィスアワー	時間割確定後に研究室前に提示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)4)	(オリエンテーション) 専門ゼミⅢの目的、内容、評価方法、授業計画、卒論提出までの流れについて理解する。 研究の進捗状況を発表し、今後の研究計画を立てる。				講義・演習	黒 須
2	2)3)4)	研究活動と論文執筆(1) ゼミ生間で論文の目的と方法を発表し、質疑応答を通じ各自の研究内容を見直す。				演 習	黒 須
3	2)3)6)	研究活動・論文執筆(2) 卒業論文の論文構成を決定する。				演 習	黒 須
4	2)3)4)	研究活動・論文執筆(3) 個別指導を受けながら、各自の研究計画にそって研究活動、論文執筆を進める。				演 習	黒 須
5	4)5)6)	研究経過報告1 ゼミ生間で研究の進捗状況を報告し合い、質疑を受け、研究内容、研究計画を見直す。				演 習	黒 須
6	4)5)6) 7)	研究活動・論文執筆(4) 個別指導を受けながら、各自の研究計画にそって研究活動、論文執筆を進める。				演 習	黒 須
7	1)2)3) 6)	研究活動・論文執筆(5) 個別指導を受けながら、各自の研究計画にそって研究活動、論文執筆を進める。				演 習	黒 須
8	1)2)3) 6)	研究活動・論文執筆(6) 個別指導を受けながら、各自の研究計画にそって研究活動、論文執筆を進める。				演 習	黒 須
9	1)2)3) 6)	研究活動・論文執筆(7) 個別指導を受けながら、各自の研究計画にそって研究活動、論文執筆を進める。				演 習	黒 須
10	4)5)7)	研究経過報告2 ゼミ生間で研究の進捗状況を報告し合い、質疑を受け、研究内容、研究計画を見直す。				演 習	黒 須
11	1)2)3) 6)	研究活動・論文執筆(8) 個別指導を受けながら、各自の研究計画にそって研究活動、論文執筆を進める。				演 習	黒 須
12	1)2)3) 6)	研究活動・論文執筆(9) 個別指導を受けながら、各自の研究計画にそって研究活動、論文執筆を進める。				演 習	黒 須
13	1)2)3) 6)	研究活動・論文執筆(10) 個別指導を受けながら、各自の研究計画にそって研究活動、論文執筆を進める。				演 習	黒 須
14	1)2)3) 6)	研究活動・論文執筆(11) 個別指導を受けながら、各自の研究計画にそって研究活動、論文執筆を進める。				演 習	黒 須
15	2)3)5) 7)	研究経過報告3 ゼミ生間で研究の進捗状況を報告し合い、質疑を受け、研究内容、研究計画を見直す。 研究の進捗状況を確認し、研究計画を見直し、卒論完成に向け夏季休暇の課題を設定する。				演 習	黒 須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	専門ゼミⅢ				授業コード	121277B609	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(4 年)				ナンバリング	51C411P01	AL 科目	○
担当者	伊藤 さゆり(臨心・臨心)、倉澤 美智子(臨心・臨心)、戸高 翼(臨心・臨心)	開講学期	2025 年度 前期		必修・選択	必修	授業形態	講義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシ-No.	本講義では、これまでの講義や実習で得た知識を整理・統合し、将来の言語聴覚士としてリハビリテーションの一翼を担うことのできる確かな能力を身につけることを目標とする(DP3、4)。専門科目の重要な柱である失語・高次脳機能障害学、言語発達障害学、発声発語・嚥下障害学、聴覚障害学を中心に学習する(CP1(5))。							
学修目標	1) 失語・高次脳機能障害学の重要事項について説明できる 2) 言語発達障害学の重要事項について説明できる 3) 発声発語・嚥下障害学の重要事項について説明できる 4) 聴覚障害学の重要事項について説明できる							
実務経験のある 教員による教育	科目担当者の伊藤、倉澤、戸高の 3 名は、言語聴覚士としての豊富な臨床経験を活かして、言語聴覚療法に関連する国家試験科目の講義を行う。							
評価及びフィード バックの方法	授業では毎回、国試過去問を活用した確認テストを実施する。また、4 月と 9 月に模擬試験を実施する。 確認テストの成績を 20%、模擬試験の成績を 80%の割合として換算し、評価を行う。 模試後の面談を通して、確認テストや模擬試験のフィードバックを行う。 授業は、教員によるミニ講義(要点や解き方について)→学生同士でペアを組み、模擬試験や国試過去問を解く→教員に質問をする→確認テスト、という流れになる。 疑問点を挙げた回数は、成績の加算対象となる。							
準備学習・ 履修上の注意等	本講義は実習の準備および国家試験対策にも直結する講義である。授業前後だけでなく、毎日最低 2 時間以上の予習・復習が必要になる。特に各授業回で該当する参考書のページは必ず予習しておくこと。							
オフィスアワー	各教員の時間に準ずる。							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション、ST 専門科目の整理:失語症①					講義・演習	伊 藤
2	1)	ST 専門科目の整理:失語症②					講義・演習	伊 藤
3	1)	ST 専門科目の整理:高次脳機能障害					講義・演習	伊 藤
4	2)	ST 専門科目の整理:言語発達障害①					講義・演習	戸 高
5	3)	ST 専門科目の整理:運動障害性構音障害					講義・演習	伊 藤
6	3)	ST 専門科目の整理:嚥下障害					講義・演習	伊 藤
7	4)	ST 専門科目の整理:補聴器・人工内耳					講義・演習	倉 澤
8	1)	ST 専門科目の整理:失語症③					講義・演習	伊 藤
9	2)	ST 専門科目の整理:言語発達障害②					講義・演習	戸 高
10	2)	ST 専門科目の整理:機能性構音障害、吃音					講義・演習	戸 高
11	3)	ST 専門科目の整理:音声障害、器質性構音障害					講義・演習	伊 藤
12	4)	ST 専門科目の整理:小児聴覚障害①					講義・演習	戸 高
13	4)	ST 専門科目の整理:小児聴覚障害②					講義・演習	戸 高
14	4)	ST 専門科目の整理:成人聴覚障害①					講義・演習	倉 澤
15	4)	ST 専門科目の整理:成人聴覚障害②					講義・演習	倉 澤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		言語聴覚士テキスト 第 4 版(大森孝一他編)医歯薬出版株式会社【978-4-263-26690-8】 その他、専門科目の教科書を適宜、活用すること。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		言語聴覚士国家試験必修ポイント 2024ST 基礎科目(医歯薬出版編)医歯薬出版株式会社【978-4-263-27150-6】 言語聴覚士国家試験必修ポイント 2024ST 専門科目(医歯薬出版編)医歯薬出版株式会社【978-4-263-27151-3】						

科目名		専門ゼミⅢ			授業コード	121277B612	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		臨床心理学科(4 年)			ナンバリング	51C411P01	AL 科目	○	
担当者		染矢 真実(心・心)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		本演習では、本学科・専攻での学びで得られた知識、自身の関心などを具体化し、「卒業研究」を完成させるために、受講生各自の卒業論文研究計画の遂行、及び途中経過の発表・ディスカッションを実施する。本演習を通して、専門職としての基本的態度(DP1)、コミュニケーション力(DP2)、問題の分析や解決するための視点(DP6)を得ることができる。							
学修目標		1)「研究」「学術論文」の枠組みについて説明することができる。 2)自分の研究テーマをもとに卒業研究の計画を遂行することができる。 3)中間発表において互いに建設的なディスカッションができる。							
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は、医療機関や教育現場での長期の臨床経験に基づき、学生が主体的に心理学的な卒業研究を行うことを目的とした授業を行う。							
評価及びフィード バックの方法		・演習におけるディスカッションへの参加状況(50%)、及び発表・レポート等の課題の提出状況・内容 50%として、単位認定を行う。 ・課題についての講評・解説については、原則、授業時に行う。また、復習を促すためにユニバを活用し講評(フィードバック)を行う場合もある。							
準備学習・ 履修上の注意等		・研究テーマの内容については特に限定をしないが、心理学的視点から研究を深めるものとする。 ・時間割上の時間だけでなく、卒業論文の完成に必要な多大な研究時間を費やすこと。							
オフィスアワー		研究室前に掲示							
授業計画									
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容						授業 方法	担当
1	1)	イントロダクション						演 習	染 矢
2	1)2)3)	卒業論文研究計画発表(1)						演 習	染 矢
3	1)2)3)	卒業論文研究計画発表(2)						演 習	染 矢
4	1)2)3)	卒業論文研究計画発表(3)						演 習	染 矢
5	1)2)3)	卒業論文研究計画発表(4)						演 習	染 矢
6	1)2)3)	卒業論文研究計画発表(5)						演 習	染 矢
7	1)2)3)	卒業論文研究計画発表(6)						演 習	染 矢
8	1)2)3)	卒業論文研究計画発表(7)						演 習	染 矢
9	1)2)3)	卒業論文研究計画発表(8)						演 習	染 矢
10	1)2)3)	卒業論文研究計画発表(9)						演 習	染 矢
11	1)2)3)	卒業論文研究計画発表(10)						演 習	染 矢
12	1)2)3)	卒業論文研究計画発表(11)						演 習	染 矢
13	1)2)3)	卒業論文研究計画発表(12)						演 習	染 矢
14	1)2)3)	卒業論文研究計画発表(13)						演 習	染 矢
15	1)2)3)	卒業論文研究計画発表(14)						演 習	染 矢
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			特に指定なし。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			講義内にて適宜紹介。						

科目名		専門ゼミⅣ			授業コード	121648B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		臨床心理学科(4 年)			ナンバリング	51C412P01	AL 科目	○	
担当者		横山 裕(福・福)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		本演習を通して、ゼミ生が卒業論文のテーマ設定、論文作成のスケジュールの立案、調査の実施、論文の著述、成果の報告な どがスムーズにできるようになる。(DP6,CP7)							
学修目標		1)卒業論文のテーマ設定ができる。 2)必要とする先行研究にアクセスできる。 3)必要文献を精読できる。 4)伝えたい情報を口頭でわかりやすく説明できる。 5)伝えたい情報を文章で性格に記述できる。							
実務経験のある 教員による教育		非該当							
評価及びフィード バックの方法		学習態度、ゼミでの発表内容などから総合的に評価する。 ゼミ時間内及びオフィスアワーなどを活用して個別にフィードバックを行う。							
準備学習・ 履修上の注意等		演習に関することについては教員の指導・指示に従うこと							
オフィスアワー		毎週月水金 12:00～13:00							
授業計画									
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容						授業 方法	担当
1	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。						演 習	横 山
2	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。						演 習	横 山
3	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。						演 習	横 山
4	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。						演 習	横 山
5	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。						演 習	横 山
6	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。						演 習	横 山
7	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。						演 習	横 山
8	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。						演 習	横 山
9	4)5)	卒業論文の校正・指導をうけて論文形態にまとめることができる。						演 習	横 山
10	4)5)	卒業論文の校正・指導をうけて論文形態にまとめることができる。						演 習	横 山
11	4)5)	卒業論文の校正・指導をうけて論文形態にまとめることができる。						演 習	横 山
12	4)5)	卒業論文の校正・指導をうけて論文形態にまとめることができる。						演 習	横 山
13	4)5)	卒業論文の校正・指導をうけて論文形態にまとめることができる。						演 習	横 山
14	4)5)	卒業論文の校正・指導をうけて論文形態にまとめることができる。						演 習	横 山
15	4)	発表ができる。						演 習	横 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。						

科目名	専門ゼミⅣ			授業コード	121648B602	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	心理・福祉コース(4 年)			ナンバリング	51C412P01	AL 科目	○	
担当者	前田 直樹(心・心)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	演習Ⅰで学習したことを踏まえて、各自の興味のある研究テーマをより具体的に絞り込む。テーマを絞り込んだらそれに関連する文献を集めて文献研究を行う。臨床心理学の研究法は様々なものがあり、自分のテーマに合う研究法を学習し、どのような手順で研究を進めていくのか具体的な計画を立てる。この演習はできるだけ多くの文献や研究法に触れて学習を進めていく。 (DP1) (DP5) (DP6) (CP2)							
学修目標	1)文献研究ができるようになる。 2)臨床心理学の各種研究法を使用することができる。 3)研究論文の作成ができるようになる。							
実務経験のある 教員による教育	○							
評価及びフィード バックの方法	レポート、卒業論文							
準備学習・ 履修上の注意等	自主的に調査研究する姿勢。行動理論、行動療法、英語に興味を持っている学生。							
オフィスアワー	(月)18:00-18:30							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)3)	オリエンテーション					演 習	前 田
2	1)2)3)	卒業研究中間発表を行う					演 習	前 田
3	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
4	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
5	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
6	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
7	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
8	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
9	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
10	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
11	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
12	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
13	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
14	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
15	1)2)3)	卒業研究最終発表を行う					演 習	前 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						

科目名	専門ゼミⅣ			授業コード	121648B604	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(4 年)			ナンバリング	51C412P01	AL 科目	○
担当者	加藤 謙介	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	これまでの学科・コース・ゼミでの学びで得られた知識・関心を具体化し、「卒業研究」を完成させるために、受講生各自の卒業論文研究計画の遂行、及び途中経過の発表・ディスカッションを実施する。その上で、卒業研究論文を完成させる。 【DP(1)(3)(5)(6)・CP(7)】						
学修目標	1) 自分の研究テーマをもとに、「研究」「学術論文」の枠組みについて説明できる。 2) 卒業研究の計画を遂行できる。 3) 研究計画・結果をもとにディスカッションができる。 4) 卒業研究論文を執筆できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし。						
評価及びフィード バックの方法	【フィードバック】専門ゼミ・オフィスアワーでのディスカッションを通してフィードバックを行う。 【評価】(1) 演習におけるディスカッションへの参加状況(10%)、(2) 課題の提出状況・内容(30%)、(3) 卒業研究論文の内容(60%) によって評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習(予習・復習等)時間】発表担当者は期日までに資料を準備すること。発表担当以外の受講者も、資料・ノートなど読み 直すなどして、予習・復習を行うこと。 【履修上の注意等】本科目は演習であるため、毎回授業に参加し、文献を読み進め、発表を行うことに意味がある。また、他の受 講生の発表内容について積極的・主体的に議論し、自分の意見を述べることを望む。加えて、人間の心理・福祉、人と動物の関 係に関する基礎的な知識については、既にこれまでの講義である程度習得されていることを前提にして授業を進める。						
オフィスアワー	時間割が確定した後に研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	イントロダクション				演 習	加 藤
2	2)(3)(4)	卒業論文中間報告(1)				演 習	加 藤
3	2)(3)(4)	卒業論文中間報告(2)				演 習	加 藤
4	2)(3)(4)	卒業論文中間報告(3)				演 習	加 藤
5	2)(3)(4)	卒業論文中間報告(4)				演 習	加 藤
6	2)(3)(4)	卒業論文中間報告(5)				演 習	加 藤
7	2)(3)(4)	卒業論文中間報告(6)				演 習	加 藤
8	2)(3)(4)	卒業論文中間報告(7)				演 習	加 藤
9	2)(3)(4)	卒業論文中間報告(8)				演 習	加 藤
10	2)(3)(4)	卒業論文中間報告(9)				演 習	加 藤
11	2)(3)(4)	卒業研究論文作成最終作業(1)				演 習	加 藤
12	2)(3)(4)	卒業研究論文作成最終作業(2)				演 習	加 藤
13	2)(3)(4)	卒業研究論文作成最終作業(3)				演 習	加 藤
14	2)(3)(4)	卒業研究論文作成最終作業(4)				演 習	加 藤
15	1)(2)(3) 4)	総括				演 習	加 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	専門ゼミⅣ			授業コード	121648B605	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(4 年)			ナンバリング	51C412P01	AL 科目	○
担当者	松山 光生(臨心)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	常に問題意識を持ち、その解決するための視点を持ち続けられる実践家になるために、各自で、卒業研究に関連する資料・文献を収集し、熟読する。その上で、問題を解決するための視点を、卒業研究の研究計画を通じて学ぶ。						
学修目標	1) 今後の活動を見越して計画的に準備ができる。 2) 文献から得た情報を体系的に整理できる。 3) 情報を基づいて自分の考えを表現できる。 4) 相手の立場に立ち発言ができる。 5) ゼミ運営において自主的な行動ができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(松山)は、臨床発達心理士、公認心理師としての実務経験に基づき、実践を意識した授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	平常点70%、提出物30%で総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	今後をしっかり見据えて、真摯に取り組んでほしい。また、ゼミ運営にも積極的に参加してほしい。 次のように、1回授業につき 120 分を目安に予習、復習を行うこと。 授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。 返却された提出物を再び、独力で完成できるようにしておくこと。 進路希望に応じて、①大学院入試、②資格試験、③採用試験の準備を随時行う。必要に応じて、英文和訳を勉強する						
オフィスアワー	毎週火・水曜日 18:15～19:15						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)～5)	ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
2	1)～5)	【ゼミのあり方について学ぶ①】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
3	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ①】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
4	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ②】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
5	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ③】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
6	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ④】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
7	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ⑤】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
8	1)～5)	【研究テーマについて検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
9	1)～5)	【研究テーマについて検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
10	1)～5)	【研究テーマについて検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
11	1)～5)	【研究テーマについて検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
12	1)～5)	【研究計画について検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
13	1)～5)	【研究計画について検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
14	1)～5)	【研究計画について検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
15	1)～5)	【研究計画について検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特に指定しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜紹介する。					

科目名		専門ゼミⅣ			授業コード	121648B606	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学科(4 年)			ナンバリング	51C412P01	AL 科目	○
担当者		内藤 健一(臨・臨)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		生涯にわたる自己研鑽力、問題発見・解決力を身につけた心理、福祉の専門職となるために(DP(6))、卒業論文を完成させる(CP(7))。						
学修目標		1)得られた結果を元に、卒業論文を執筆できる。						
実務経験のある 教員による教育		該当なし。						
評価及びフィード バックの方法		卒業論文の最終版の内容をもとに評価する(100%)。						
準備学習・ 履修上の注意等		1コマ当たり1時間を目安に予習(論文作成)・復習(指摘を受けた点の修正)をおこなうこと。						
オフィスアワー		毎週火～金曜日 12:15～13:00						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
2	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
3	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
4	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
5	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
6	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
7	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
8	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
9	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
10	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
11	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
12	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
13	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
14	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
15	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			適宜、紹介する。					

科目名	専門ゼミⅣ			授業コード	121648B607	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(4 年)			ナンバリング	51C412P01	AL 科目	○
担当者	黒須 依子(心・心)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	専門ゼミⅣの目標は卒業研究に主体的に取り組み(C7)、卒業研究論文執筆と卒業研究論文要旨執筆を指定期限までに完成すること(D5、D6)、ゼミでの卒業研究発表会で聴者にわかりやすく研究結果を発表し、質疑応答できることである(D2)。						
学修目標	1)専門ゼミⅣの目的を理解し、説明できる。 2)研究計画に基づき、卒論執筆を進めることができる。 3)グループ討議において、自分の意見を明確に伝えることができる。 4)グループ討議において、メンバーの発表や意見を傾聴することができる。 5)パワーポイントを使用して報告資料を作成、研究内容を発表することができる。 6)研究内容を要約し、規定に従い抄録にまとめることができる。 7)卒業論文作成の意義と課題を理解する。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	専門ゼミⅣでは、卒論本文・卒論要旨の提出期限までの提出状況を中心に、ゼミ生の研究活動に対する意欲、主体性等の卒業研究活動への取組み姿勢、各課題の提出状況、研究活動内容、卒論中間発表会、卒論発表会での報告状況を総合評価する。各ゼミ生が研究報告、質疑応答等を通じ、各自の研究内容、論文内容を客観的な視点で振り返り、新たな研究課題を見出す場として、卒論中間報告会や卒論発表会を開催する。						
準備学習・ 履修上の注意等	専門ゼミⅣでは個別指導を中心に、卒業研究・卒業論文執筆指導を行う。授業は全出席を原則とする。卒業論文発表会、ゼミメンバー間で行う中間報告会では発表用資料を作成を求めめるため、発表データ、資料作成にも主体的に取り組むこと。卒業論文、卒業論文抄録を提出期限までに完成するために、研究計画書を立て、計画的に論文執筆を進めていくこと。予習、復習の目安は1コマあたり2 時間以上とする。						
オフィスアワー	時間割確定後に研究室前に提示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3)4)	(オリエンテーション) 専門ゼミⅣの目的、内容、評価方法、授業計画について理解する。 自身の研究進捗状況、研究計画・論文作成計画を報告する。 研究計画・論文作成計画を見直し、必要に応じて立て直す。				講義・演習	黒 須
2	1)2)	研究活動・論文作成(1) ・研究活動を進めながら論文を執筆にとりくみ、担当教員の指導を受け、研究内容、論文執筆内容を修正し研究活動を進める。 ・研究論文を執筆し担当教員の指導を受け、必要に応じて追記、修正する。				演 習	黒 須
3	1)2)	研究活動・論文作成(2) ・研究活動を進めながら論文を執筆にとりくみ、担当教員の指導を受け、必要に応じて研究内容を見直す。 ・研究論文を執筆し担当教員の指導を受け、必要に応じて追記、修正する。				演 習	黒 須
4	1)2)	研究活動・論文作成(3) ・研究活動を進めながら論文を執筆にとりくみ担当教員の指導を受け、必要に応じて研究内容を見直す。 ・研究論文を執筆し担当教員の指導を受け、必要に応じて追記、修正する。				演 習	黒 須
5	1)2)	研究活動・論文作成(4) ・研究活動を進めながら論文を執筆にとりくみ担当教員の指導を受け、必要に応じて研究内容を見直す。 ・研究論文を執筆し担当教員の指導を受け、必要に応じて追記、修正する。				演 習	黒 須
6	1)2)	研究活動・論文作成(5) ・研究活動を進めながら論文を執筆にとりくむ。担当教員の指導を受け、必要に応じて研究内容を見直す。 ・研究論文を執筆し担当教員の指導を受け、必要に応じて追記、修正する。				演 習	黒 須
7	1)2)5)	ゼミ中間報告会資料作成・準備 ゼミ卒論中間報告会参加に向け、研究概要、論文章立て、および研究進捗状況における報告資料を作成する。				演 習	黒 須
8	1)3)4)5)	ゼミ卒論中間報告会の開催、参加、研究経過報告 ゼミ生主体で卒論中間報告会を開催する。 ゼミ生は卒論中間発表会(研究報告、質疑応答、他メンバーの研究内容聴講)は、自身の研究内容、論文内容を振り返り、さらに深めていくための重要な学びの機会である。				演 習	黒 須
9	1)2)	論文作成(6) ・研究活動を進めながら担当教員の指導を受け、必要に応じて研究内容を見直す。 ・研究論文を執筆し担当教員の助言・指導を受け、必要に応じて追記、修正する。				演 習	黒 須
10	1)2)	論文作成(7) ・研究活動を進めながら担当教員の指導を受け、必要に応じて研究内容を見直す。 ・研究論文を執筆し担当教員の助言・指導を受け、必要に応じて追記、修正する。				演 習	黒 須
11	1)2)	論文作成(8) ・研究活動を進めながら研究論文を執筆にとり組む。担当教員の指導を受け必要に応じて研究内容を見直す ・研究論文を執筆し担当教員の助言・指導を受け、必要に応じて追記、修正する。				演 習	黒 須
12	2)6)	論文作成(9)・論文要旨作成(1) ・研究活動を進めながら研究論文を執筆にとり組む。担当教員の指導を受け必要に応じて研究内容を見直す ・研究論文を執筆し担当教員の助言・指導を受け、必要に応じて追記、修正する。 ・卒業論文完成後、卒業論文要旨を作成する。				演 習	黒 須
13	2)6)	論文作成(10)・論文要旨作成(2) ・研究活動を進めながら研究論文を執筆にとり組む。担当教員の指導を受け必要に応じて研究内容を見直す ・研究論文を執筆し担当教員の助言・指導を受け、必要に応じて追記、修正する。				演 習	黒 須

		・卒業論文完成後、担当教員の指導を受け卒業論文要旨を作成、完成する。		
14	3)4)5)	ゼミ卒業研究発表会の発表資料の作成 ゼミ3年生、ゼミ4年生を対象とするゼミ卒業研究発表の発表データ、資料作成を行う。	演 習	黒 須
15	3)4)7)	ゼミ卒論発表会 ・ゼミ3年生・4年生を対象に、パワーポイントによる発表資料を使用した卒論研究発表を行う。 ・ゼミ生間のディスカッションを通じ、卒業研究、論文執筆の意義を理解する。	演 習	黒 須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。		

科目名	専門ゼミⅣ			授業コード	121648B608	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(4 年)			ナンバリング	51C412P01	AL 科目	○
担当者	染矢 真実(心・心)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	本演習では、本学科・専攻での学びで得られた知識、自身の関心などを具体化し、「卒業研究」を完成させるために、受講生各自の卒業論文研究計画の遂行、及び途中経過の発表・ディスカッションを実施する。本演習を通して、専門職としての基本的態度(DP1)、コミュニケーション力(DP2)、問題の分析や解決するための視点(DP6)を得ることができる。						
学修目標	1) 自分の研究テーマをもとに、「研究」「学術論文」の枠組みについて説明することができる。 2) 卒業研究の計画を遂行することができる。 3) 研究計画・結果をもとにディスカッションができる。 4) 卒業研究論文を執筆することができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、医療機関や教育現場での長期の臨床経験に基づき、学生が主体的に心理学的な卒業研究を行うことを目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	・演習におけるディスカッションへの参加状況(50%)、及び発表・卒業論文の内容を 50%として、単位認定を行う。 ・課題についての講評・解説については、原則、授業時に行う。また、復習を促すためにユニバを活用し講評(フィードバック)を行う場合もある。						
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習(予習・復習等)時間】発表担当者は期日までに資料を準備すること。発表担当以外の受講者も、資料・ノートなど読み直すなどして、予習・復習を行うこと。 【履修上の注意等】本科目は演習であるため、毎回授業に参加し、文献を読み進め、発表を行う。また、他の受講生の発表内容について積極的・主体的にディスカッションし、自分の意見を述べることを望む。						
オフィスアワー	研究室前に掲示する。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	イントロダクション				演 習	染 矢
2	2)3)4)	卒業論文中間報告(1)				演 習	染 矢
3	2)3)4)	卒業論文中間報告(2)				演 習	染 矢
4	2)3)4)	卒業論文中間報告(3)				演 習	染 矢
5	2)3)4)	卒業論文中間報告(4)				演 習	染 矢
6	2)3)4)	卒業論文中間報告(5)				演 習	染 矢
7	2)3)4)	卒業論文中間報告(6)				演 習	染 矢
8	2)3)4)	卒業論文中間報告(7)				演 習	染 矢
9	2)3)4)	卒業論文中間報告(8)				演 習	染 矢
10	2)3)4)	卒業論文中間報告(9)				演 習	染 矢
11	2)3)4)	卒業研究論文作成最終作業(1)				演 習	染 矢
12	2)3)4)	卒業研究論文作成最終作業(2)				演 習	染 矢
13	2)3)4)	卒業研究論文作成最終作業(3)				演 習	染 矢
14	2)3)4)	卒業研究論文作成最終作業(4)				演 習	染 矢
15	1)2)3) 4)	総括				演 習	染 矢
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義内にて紹介					

科目名	専門ゼミⅣ			授業コード	121648B609	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(4 年)			ナンバリング	51C412P01	AL 科目	○
担当者	伊藤 さゆり(臨心・臨心)、倉澤 美智子(臨心・臨心)、戸高 翼(臨心・臨心)、吉武 重徳(臨心・臨心)、中村 真理子(臨心・臨心)、松山 光生(臨心・臨心)、内藤 健一(臨心・臨心)、染矢 真実(臨心・臨心)、太田 栄次(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講 義
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	これまでの講義や実習で得た知識を整理・統合し、将来の言語聴覚士としてリハビリテーションの一翼を担うことのできる確かな能力を身につけることを目標とする(DP3、4)。前半は基礎科目、後半は専門科目を中心に授業を実施し、互いに共通する領域を関連づけながら総合的に学ぶ(CP1(5))。						
学修目標	1) 言語聴覚士国家試験の基礎科目の重要事項について説明できる 2) 言語聴覚士国家試験の専門科目の重要事項について説明できる 3) 国家試験の過去問題・模擬試験問題について根拠を挙げながら解説できる						
実務経験のある教員による教育	科目担当者のうち倉澤、伊藤、戸高の3名は、言語聴覚士としての豊富な臨床経験を活かして、言語聴覚療法に関連する国家試験科目の講義を行う。 科目担当者のうち吉武は、医師としての豊富な臨床経験を活かして、基礎医学、臨床医学に関連する国家試験科目の講義を行う。 科目担当者のうち中村は、歯科医師としての豊富な臨床経験を活かして、臨床歯科医学、口腔外科学、リハビリテーション医学に関連する国家試験科目の講義を行う。 科目担当者のうち松山は、本学にて言語発達学と生涯発達心理学、医療統計学演習の担当教員としての勤務経験がある。この豊富な臨床経験を活かして、言語発達学生涯発達心理学、心理測定法に関連する国家試験科目の講義を行う。 科目担当者のうち内藤は、本学にて学習・認知心理学の担当教員としての勤務経験がある。この豊富な臨床経験を活かして、認知・学習心理学に関連する国家試験科目の講義を行う。 科目担当者のうち染矢は、公認心理師として病院や学校、児童相談所での勤務経験がある。この豊富な臨床経験を活かして、臨床心理学に関連する国家試験科目の講義を行う。 科目担当者のうち太田は、平成16年9月から平成17年8月まで台湾銘伝大学応用日本語学科にて、日本語教育担当教員としての勤務経験がある。この豊富な経験を活かし、言語学・音声学に関連する国家試験科目の講義を行う。						
評価及びフィードバックの方法	授業では毎回、確認テストを実施する。また、毎月模擬試験を実施する。 確認テストの成績を20%、模擬試験の成績を80%の割合として換算し、評価を行う。 模試後の面談を通して、確認テストや模擬試験のフィードバックを行う。						
準備学習・履修上の注意等	本講義は専門科目の総まとめとなる国家試験対策にも直結する講義である。授業前後だけでなく、毎日最低2時間以上の予習・復習が必要になる。 担当教員の都合により授業の順番が変更となったり、曜日や時間の変更が生じる可能性がある。						
オフィスアワー	各教員の時間に準ずる。						
授業計画							
回数	学修目標No.	授 業 内 容				授業方法	担当
1	1)3)	ST 専門科目の整理:生涯発達心理学, 言語発達学				講義・演習	松 山
2	1)3)	ST 基礎科目の整理:認知・学習心理学				講義・演習	内 藤
3	1)3)	ST 基礎科目の整理:基礎医学, 臨床医学				講義・演習	吉 武
4	1)3)	ST 基礎科目の整理:臨床心理学				講義・演習	染 矢
5	1)3)	ST 基礎科目の整理:心理測定法				講義・演習	松 山
6	1)3)	ST 基礎科目の整理:医学総論, 臨床歯科医学, 口腔外科学, 医療福祉教育・関係法規				講義・演習	中 村
7	1)3)	ST 基礎科目の整理:音声学、言語学、音響学				講義・演習	太 田
8	2)3)	ST 専門科目の整理:失語症, 高次脳機能障害				講義・演習	伊 藤
9	2)3)	ST 専門科目の整理:音声障害、器質性構音障害				講義・演習	伊 藤
10	2)3)	ST 専門科目の整理:言語発達障害②				講義・演習	戸 高
11	2)3)	ST 専門科目の整理:言語発達障害②, 機能性構音障害, 吃音				講義・演習	戸 高
12	2)3)	ST 専門科目の整理:運動障害性構音障害、嚥下障害				講義・演習	倉 澤
13	2)3)	ST 専門科目の整理:小児聴覚障害				講義・演習	戸 高
14	2)3)	ST 専門科目の整理:成人聴覚障害				講義・演習	倉 澤
15	2)3)	ST 専門科目の整理:補聴器・人工内耳				講義・演習	倉 澤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		担当教員の指示による。 その他、専門科目の教科書を適宜、活用すること。					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】

言語聴覚士国家試験必修ポイント 2024ST 基礎科目(医歯薬出版編)医歯薬出版株式会社【978-4-263-27150-6】
言語聴覚士国家試験必修ポイント 2024ST 専門科目(医歯薬出版編)医歯薬出版株式会社【978-4-263-27151-3】

科目名	臨床医学			授業コード	121044B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学部臨床心理学科言語聴覚コース 2 年			ナンバリング	51C221P01	AL 科目	
担当者	園田 徹(社・ス)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	内科学は、臨床医学の基礎をなす。日常診療のなかで頻度の高い疾患と、最近話題になることの多い疾患について、概要、頻度、症候と病態生理、診断、治療と予後の要点を言語聴覚療法との関連で理解し、国家試験はもとより、将来の職業で役立つために、内科学の知識を修得する。						
学修目標	1)全身的症状あるいは訴えの生理学的背景と発生機序について説明できる。 2)代表的な疾患の診断法を説明できる。 3)代表的な疾患につて、その概念、病態、臨床検査、治療法な、予後などについて説明できる。 4)免疫・アレルギーについて説明できる。 5)各器官・臓器の構造と機能について説明できる。 6)ビタミンとビタミン欠乏症につて説明できる。 7)血液の成分、性状、機能、造血組織の解剖と生理、血液幹細胞について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	教員(園田)は医師であり、専門は小児科であるが、場合によっては内科疾患も診察治療する。						
評価及びフィード バックの方法	毎回の授業時間のなかで重要な部分(ヤマ)を示し、そのストックのなかから期末に行う筆記試験の点数(75%)、および学習への取り組み姿勢(授業態度)(25%)で評価する。評価の基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。毎授業後に必ずレジュメを読み返すこと。 高校時代に生物学を履修しなかった学生は、自分で勉強して生物学の基礎知識を身につけておくこと。						
オフィスアワー	毎週月・火曜日 12:00~13:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	臨床医学総論、症候学				講 義	園 田
2	1)~3)	感染症①				講 義	園 田
3	1)~3)	感染症②				講 義	園 田
4	1)~4)	膠原病、アレルギー疾患、免疫不全①				講 義	園 田
5	1)~4)	膠原病、アレルギー疾患、免疫不全②				講 義	園 田
6	1)~ 3)5)	循環器疾患①				講 義	園 田
7	1)~ 3)5)	循環器疾患②				講 義	園 田
8	1)~ 3)5)	呼吸器疾患①				講 義	園 田
9	1)~ 3)5)	呼吸器疾患②				講 義	園 田
10	1)~ 3)5)	消化器疾患①				講 義	園 田
11	1)~ 3)5)	消化器疾患②				講 義	園 田
12	1)~ 3)5)	内分泌疾患				講 義	園 田
13	1)~3) 5)6)	代謝性疾患				講 義	園 田
14	1)~ 3)5)7)	血液・造血疾患				講 義	園 田
15	1)~ 3)5)	腎・泌尿器疾患				講 義	園 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		生理・病理学		授業コード	121254B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学科(2 年)		ナンバリング	51C222P01	AL 科目	.
担当者		吉武重徳(臨床心理)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態 講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		臨床で遭遇する患者さんの病態を、生理学的機能を理解することで、その機能異常が病気や疾患につながるという観点を習得 することを目標とする。					
学修目標		学修目標 ①身体の機能の生理を習得しする。 ②その機能不全を起こす原因や病態を学修する。 ③診断と治療がどのようにになっているのかを習得する。					
実務経験のある 教員による教育		医師					
評価及びフィード バックの方法		授業に取り組む姿勢と定期試験による評価					
準備学習・ 履修上の注意等		各課題(各臓器)についての基本的な働きを俯瞰しておくこと。					
オフィスアワー		金曜日 11:00～12:30 研究室 B-331					
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
.	①	【呼吸器:解剖と生理 1)】肺の解剖と機能生理について学習して理解する。				講 義	吉 武
	①②	【呼吸器:生理機能と機能障害】解剖と機能生理について理解して、原因と次の病態について何が起こるのかを考 える。				講 義	吉 武
	①② ③	【呼吸器:生機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して、治療、特に酸素療法につい て考える。				講 義	吉 武
	①②	【循環器:解剖と生理 1)】肺の解剖と機能生理について学習して、病態について何が起こるのかを考 える。				講 義	吉 武
	①② ③	【循環器:生理機能と機能障害】解剖と機能生理について理解して、高血圧の原因と次の病態について何が起 こるのかを考 える。				講 義	吉 武
	①② ③	【循環器:生機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して、治療、特に心臓不整脈につい て考 える。				講 義	吉 武
	①②	【腎臓:生機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して考 える。				講 義	吉 武
	①② ③	【腎臓:生機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して、治療、特に血液透析につい て考 える。				講 義	吉 武
	①②	【肝臓:生機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して、治療、肝炎について考 える。				講 義	吉 武
	①② ③	【肝臓:生機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して、治療、特に肝硬変の症状と治療につ いて考 える。				講 義	吉 武
	①②	【内分泌:生理機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して、治療法につい て考 える。				講 義	吉 武
	①② ③	【内分泌:機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して、治療、甲状腺・副腎の関連疾患につ いて考 える。				講 義	吉 武
	①② ③	【消化器:機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して、治療、特に胃潰瘍や炎症性大腸疾患に ついて考 える。				講 義	吉 武
	①② ③	【膠原病・血管炎:生機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して、治療、特にステロイドを中心 に薬 剤療法につい て考 える。				講 義	吉 武
	①② ③	【中枢神経系神経:生機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して、治療、特に脳卒中につ いて考 える。				講 義	吉 武
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		カラー図解 症状の基礎からわかる病態生理 . ISBN-10 : 4895926885					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし。					

科目名	医療統計学演習			授業コード	110022B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51C221P05	AL 科目	○
担当者	松山 光生(臨心)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	卒業研究やデータ処理に、必要な統計学の知識を習得することを目的として、データの意味とその収集方法について知識・技能の獲得を図る(DP3)。						
学修目標	1)エビデンスとしてのデータの役割を理解する。 2)図表からデータをよみとることができる。 3)データやデータ処理に関連する基本事項が説明できる。 4)データ収集の方法が説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(松山)は、臨床発達心理士、公認心理師としての実務経験に基づき、実践を意識した授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	平常点 10%と期末試験 90%の点数で総合的に評価する。 小テスト全ては模範解答を提示する。						
準備学習・ 履修上の注意等	次のように、1回授業につき 240 分を目安に予習、復習を行うこと。 授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。 返却された小テストを再び、自分で解き完全に答えられるようにしておくこと。						
オフィスアワー	毎週木曜日 18:15～19:15						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	データとは何か説明できる				講 義	松 山
2	1)	測定と尺度の関係が説明できる				講 義	松 山
3	1)	尺度の4つの水準が解説できる				講 義	松 山
4	1)2)	研究目的に応じた尺度の設定ができる				演 習	松 山
5	1)2)	データをグラフにすることができる				演 習	松 山
6	3)	代表値のいくつかを挙げることができる				講 義	松 山
7	3)	データの標準化が理解できる				講 義	松 山
8	3)	相関や相関係数の意味を解説できる				講 義	松 山
9	3)	帰無仮説の棄却域と採択域の設定と判断ができる				講 義	松 山
10	3)	検定を決めるポイントを解説できる				講 義	松 山
11	3)4)	量的データによる2つの変数の差の検定ができる				講 義	松 山
12	3)4)	カテゴリーによる差の検定ができる				講 義	松 山
13	3)4)	量的データによる3つの変数の差の検定ができる				講 義	松 山
14	3)4)	標本と母集団の関係を説明できる				講 義	松 山
15	3)4)	推測統計が説明できる				講 義	松 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		その都度、資料を配付する					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		データの処理と解析 (岩淵 千明) 福村出版 【4-571-20058-7】					

科目名		耳鼻咽喉科学			授業コード	120498B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51S222P01	AL 科目	○
担当者		戸高 翼(臨・臨)、島田 亜紀(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		言語聴覚士として耳鼻咽喉科領域の知識は、言語聴覚障害児・者と適切に関わっていくためには必須のものである。「耳鼻咽喉科学」では、多様な状態を示す言語聴覚障害児・者に適切な評価および言語聴覚療法を行うことができる言語聴覚士となるために(DP3)、耳鼻咽喉科学領域の耳科学および鼻科学の基礎知識を理解し、構造・機能・病態の関係性を概説できる力を修得する(CP1(5))。						
学修目標		1)聴覚器の解剖学に精通し、聴覚機能のメカニズムおよび疾患を説明できる。 2)鼻・副鼻腔の解剖学に精通し、鼻機能のメカニズムおよび疾患を説明できる。 3)咽頭・喉頭の解剖学に精通し、咽頭・喉頭のメカニズムおよび疾患を説明できる。 4)耳鼻咽喉科学に関する国家試験の出題基準を知り、問題を作成することができる。 5)4)について、他者が理解できる解説を作成することができる。 6)耳鼻咽喉科学に関する問題を解き、回答に至るプロセスを概説できる。						
実務経験のある 教員による教育		戸高: 言語聴覚士として医療機関(耳鼻咽喉科)での 5 年以上の実務経験および国家試験受験経験に基づき、SGD において指導・助言を行う。 島田: 医師(耳鼻咽喉科)としての豊富な臨床経験に基づき、臨床的視点を含めた講義を行う。						
評価及びフィード バックの方法		各回の授業で学習内容の確認小テストを授業開始時、終了時に実施した授業内容に関する課題配布を行う。小テストについては、採点は授業担当者が行い、返却時に学習成果をフィードバックする。課題は、次回授業開始時に提出し、授業担当者が内容の確認をし、解説内容に過不足がある場合は、解説を行う。授業時間外の学習への取り組み姿勢(確認小テストや課題内容)を 20%、自発的な質問・発言など授業への主体的な参加態度を 10%、学期末の単位認定試験 70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		・授業内容の項目について、教科書の該当ページを読み、予習しておくこと。 ・返却された確認テストや課題を用いて、学習内容の復習すること。 ・質問する際には、講義資料等を綴じたファイルを持参すること。この資料はチューター面談等にも使用される。 ・SGD では、自ら能動的に考える場であること理解し、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べること。						
オフィスアワー		戸高: 日時-毎週(月)(火)(木)12:20~13:00、場所-研究室 島田: 講義前後の休み時間、場所-講義室						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	6)	これから学ぶことを知る: 耳鼻咽喉科学領域の国家試験出題基準を知る／国家試験の過去問を解いてみる					講義・SGD	戸 高
2	1)	【耳科学】聴覚器の解剖と生理を理解する①					講 義	島 田
3	1)	【耳科学】聴覚器の解剖と生理を理解する②					講 義	島 田
4	1)	【耳科学】耳の疾患と症候、診断、治療を理解する①					講 義	島 田
5	1)	【耳科学】耳の疾患と症候、診断、治療を理解する②					講 義	島 田
6	1)	【耳科学】耳の疾患と症候、診断、治療を理解する③					講 義	島 田
7	2)	【鼻科学】鼻・副鼻腔の構造と機能を理解する①					講 義	島 田
8	2)	【鼻科学】鼻・副鼻腔の構造と機能を理解する②					講 義	島 田
9	2)	【鼻科学】鼻・副鼻腔の疾患と症候、診断、治療を理解する①					講 義	島 田
10	2)	【鼻科学】鼻・副鼻腔の疾患と症候、診断、治療を理解する②					講 義	島 田
11	3)	【口腔・咽頭・喉頭科学】口腔・咽頭・喉頭の構造、機能、病態を理解する					講 義	島 田
12	3)	【口腔・咽頭・喉頭科学】口腔・咽頭・喉頭の疾患、症候、診断、治療を理解する					講 義	島 田
13	1)~ 3)	まとめ: 耳鼻咽喉科疾患について臨床的な理解を深める					講 義	島 田
14	4)5)	国家試験の出題基準に従い、耳鼻咽喉科学で学んだ知識を使用し、グループで問題・解説を作成する					S G D	戸 高
15	6)	第 14 回の授業で作成した各グループ作成問題を解き、耳鼻咽喉科学に関する知識を整理し、グループで発表をする					S G D	戸 高
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			病気がみえる vol.13 耳鼻咽喉科 (医療情報科学研究所 編) MEDIC MDIA 【978-4896328158】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			必要に応じて紹介する。					

科目名	聴覚・発声発語系の構造、機能、病態				授業コード	121655B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2 年)				ナンバリング	51S221P01	AL 科目	
担当者	村田 公一(非常勤講師)、倉澤 美智子(臨・臨)、吉武 重徳(臨・ 臨)	開講学期	2025 年 度 前 期		必修・選択	選択(言語聴覚コースに必修)	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	本科目では、言語聴覚士として必要な知識・技能を身につけるために(DP3)、聴覚系の構造・機能・病態、呼吸発声発語に関する基礎知識を修得する(CP1(1))。							
学修目標	1) 聴覚系の構造概略について理解、説明できる 2) 伝音系の構造・機能について理解、説明できる 3) 感音系の機能について理解、説明できる 4) デシベルについて理解、説明できる 5) 純音聴力検査について理解、説明できる 6) 伝音系、感音系の障害について理解、説明できる 7) 各種 検査について理解、説明できる 8) 喉頭の発声機能や構造について理解、説明できる 10)呼吸機能と構造について理解、説明できる							
実務経験のある 教員による教育	聴覚系、発声発語系に関しての豊富な教育経験をもとに、授業を展開する。							
評価及びフィード バックの方法	最終試験(100%)にて評価を行う。 最終講義前日までに学生から講義に関する質問を集め、最後の講義時間にそれらの質問に対する解説とテスト対策を行い、フィードバックとする。							
準備学習・ 履修上の注意等	事前配布した資料について講義の前に通読し、すぐに理解できる内容と理解できない内容に分けてから講義に臨んでください。 試験以外に課題は設けませんので、フィードバック也没有ありません。							
オフィスアワー	講義前後の可能な時間に行う。							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	聴覚系の構造概略: 模型を用いて、聴覚系の構造について全体を把握する					講 義	村 田
2	2)	伝音系の構造・機能: 解剖学的構造についての説明、インピーダンス整合メカニズム、キャンセルエフェクト、耳小骨筋の役割、耳管の役割					講 義	村 田
3	3)	感音系の機能: 解剖学的構造についての説明、5 感音系の機能 2 1. 蝸牛構造と周波数同調、聴覚の生ずるメカニズム。2. 外有毛細胞の閾値、周波数同調、リクルートメント防御に対する役割					講 義	村 田
4	4)	デシベルについて: 音圧とデシベルの関係(デシベルの必要性)					講 義	村 田
5	5)	純音聴力検査 1.: 聴覚系の病態に入る前に、聴力低下をどのように測定するか知識は必須である。ここでは純音聴力検査とプラトー法について学ぶ。 1. 純音聴力検査、2. 移行減衰量とマスキング、3. 骨導聴力検査に影響を及ぼす 3 つの要因					講 義	村 田
6	5)	純音聴力検査 2.(プラトー法): クロスヒアリングやオーバーマスキング及び正しく閾値を測定するとはどういうことかを図を用いて説明する					講 義	村 田
7	6)	伝音系の障害: 外耳系の障害、中耳系の障害					講 義	村 田
8	6)	感音系の障害: 迷路系障害、後迷路系障害、混合性難聴					講 義	村 田
9	7)	耳音響放射: 耳音響放射の種類、歪み成分耳音響放射と外有毛細胞の運動との関係及び感音性難聴検出への応用					講 義	村 田
10	7)	聴性電気反応: 聴性電気反応 ABR を通して耳性電気反応の概略について学ぶ					講 義	村 田
11	7)	AABR および ASSR: AABR と周波数特異性を備えた ASSR の特性を ABR との比較を通して学ぶ					講 義	村 田
12	8)	喉頭の基本構造、機能、病態①					講 義	倉 澤
13	8)	喉頭の基本構造、機能、病態②					講 義	倉 澤
14	9)	呼吸器系の基本構造、機能、病態①					講 義	吉 武
15	9)	呼吸器系の基本構造、機能、病態②					講 義	吉 武
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		資料配付致します。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		資料配付致します。						

科目名	神経系の構造、機能、病態			授業コード	120618B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51S221P02	AL 科目	○
担当者	吉武義徳(臨心・臨心)、稲富雄一郎(非常勤講師)、橋本洋一郎(非常勤講師)、武居光雄(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	講義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	脳・神経系の構造と機能、および病態(神経症候学)を知することは、言語聴覚士になるために必須の知識である。本講義では、脳・神経系の構造と機能を、運動・感覚・内臓(自律神経)という側面より理解する(DP1)。さらに、神経症候学(脳血管障害、感染症、変性疾患等)、高次脳機能障害の概要を理解し、言語聴覚障害の正確な評価や訓練に必要なプロセスを遂行できるようにする(DP3&4)。						
学修目標	学修目標 1)運動と脳、神経の関係を説明できる。 2)感覚と脳、神経の関係を説明できる。 3)内臓(自律神経)と脳、神経の関係を説明できる。 4)神経症候学全般について概要を説明できる。 5)神経系の疾患と言語聴覚療法との関連性について説明できる。 6)脳血管障害について説明できる。 7)神経系の臨床検査について説明できる。 8)大脳の主要な解剖学的領域について、画像診断学的に説明できる。 9)変性疾患・脱髄疾患・末梢神経疾患について説明できる。 10)発作性疾患について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(全員)は、病院等臨床現場での5年以上の実務経験に基づき、脳と神経の解剖や生理学的特徴、疾患と障害に関する知識の修得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	単位認定試験(100%)						
準備学習・ 履修上の注意等	授業時間後には、脳の解剖学的部位やその機能、脳神経疾患に関する復習を行ってください。						
オフィスアワー	吉武重徳: 水・金曜日の昼休み 12:30-13:00 その他講師: 講義前後の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2) 3)	神経症候学概論①				講義	吉 武
2	1)2) 3)	神経症候学概論②				講義	吉 武
3	4)	神経疾患概論①				講義	稲 富
4	4)	神経疾患概論②				講義	稲 富
5	1)-5)	言語聴覚士と関連の深い神経系の構造・機能・病態①				講義	稲 富
6	1)-5)	言語聴覚士と関連の深い神経系の構造・機能・病態②				講義	稲 富
7	6)	脳血管障害① 一過性脳虚血発作、脳梗塞の症候と発生機序				講義	橋 本
8	6)	脳血管障害② 脳出血の症候と発生機序				講義	橋 本
9	6)	脳血管障害③ くも膜下出血等出血性疾患の症候				講義	橋 本
10	7)	神経系臨床検査の方法と結果の解釈				講義	橋 本
11	8)	神経系の画像診断①				講義・演習	吉 武
12	8)	神経系の画像診断②				講義・演習	吉 武
13	9)	変性疾患の症候と発生機序				講義	稲 富
14	10)	発作性疾患の症候と発生機序①				講義	武 居
15	10)	発作性疾患の症候と発生機序②				講義	武 居
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		病気がみえる〈vol.7〉脳・神経 第2版:医療情報科学研究所 (編)メディックメディア【978-4896326864】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		リハに役立つ脳画像 改訂第2版(酒匂正春 監修)メディカルビュー社【ISBN 978-4-7583-2013-9】 言語脳アトラス(永井知代子)インテルナ出版【ISBN 978-4-900637-50-4】					

科目名	公衆衛生学			授業コード	120370B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(4年生)			ナンバリング	51S421P01	AL 科目	
担当者	中村 真理子(臨心・臨心)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	必修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	人間集団における生活環境と健康、その集団を構成する人間の出生と死亡、疾病罹患の状況、健康障がいの発生原因等を学 習する。すなわち、保健、医療、福祉、教育に参画・連携し地域に根差した障害にわたる支援を行うことができる言語聴覚士 (DP5)として必要な予防医学、健康科学、環境問題の概念を習得する。(CP1)						
学修目標	1) 公衆衛生の概要、健康の概念を把握し、公衆衛生の歴史から現在の公衆衛生活動を理解できる。 2) 日本の人口統計から、人間集団の健康を評価するための健康指標についてグラフや表を読み取ることができる。 3) 疾病の自然史を予防という観点から把握するとともに、健康管理、医療制度などの予防対策を理解できる。 4) 日本における感染症の予防対策について法律と政策を理解し、主な感染症や病院内感染について知識を理解できる。 5) 日本における主な疾患と生活習慣病の動向を把握し、行政における予防政策の基本的な知識を理解できる。 6) 環境保健、母子保健、地域保健、学校保健、産業保健、老人保健、精神保健の各分野において、現在の動向、課題、行政 の予防対策とそれに関わる法律について基本的な知識を理解できる。 7) 医療関連従事者の資格に関する法律を理解できる。 8) 疫学調査の方法や計算法を理解できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(中村)は臨床現場(岡山大学附属病院歯科矯正科)で5年以上矯正歯科医としての臨床経験を有する。歯科臨床 において公衆衛生活動は非常に重要であり、臨床で得た経験に基づいた授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	定期試験、講義中の小試験およびレポートの成績で総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	教科書「シンプル衛生公衆衛生学 2024」の最新内容とデータを学習するので必ず持参すること。						
オフィスアワー	火、水、木 12:30～13:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【公衆衛生の歴史・公衆衛生の概要・健康の概念】 公衆衛生の概要、健康の概念と、公衆衛生の歴史から現在の公衆衛生活動について				講 義	中 村
2	2)	【保健統計・人口の動き】 日本の人口統計とさまざまな人間集団の健康を評価するための健康指標について				講 義	中 村
3	3)	【予防医学と健康増進】 予防医学による疾病の自然史と健康管理、医療制度などの予防対策について				講 義	中 村
4	2)3)4)	【感染症の概念と予防①】 日本における感染症の予防対策における重要な法律と行政の政策について				講 義	中 村
5	2)3)4)	【感染症の概念と予防②】 世界的に問題となっている主な感染症の基本的な知識や動向について				講 義	中 村
6	2)3)4)	【感染症の概念と予防③】 主な感染症と病院内感染について。正常細菌叢に関するミニデモンストレーション				講 義	中 村
7	2)3)5)	【疾病の概念と予防①】 生活習慣病に関わる主な疾病とその動向と、行政における予防政策について				講 義	中 村
8	2)3)5)	【疾病の概念と予防②】 主な疾患とその動向と、行政における予防対策について				講 義	中 村
9	2)3)6)	【環境保健】 人の健康に影響を与える生活環境と汚染問題および地球規模での環境問題について				講 義	中 村
10	2)3)6)	【母子保健】 母子保健活動と少子化問題について 【地域保健】 地域保健活動における保健所の役割について				講 義	中 村
11	2)3)6)	【学校保健】 子どもの心と身体の問題について 【産業保健】 健康で安全な職業生活を送るためのさまざまな法律について				講 義	中 村
12	2)3)6)	【老人保健と福祉】 高齢化の社会における医療制度、老人福祉対策、介護保険制度について				講 義	中 村
13	2)3)6)	【精神保健】 精神保健活動の現状を把握と、行政における予防対策活動について				講 義	中 村
14	7)	【国家資格と関係法規】 医療関連従事者(言語聴覚士)の資格に関する法律について				講 義	中 村
15	8)	【疫学研究法】 疫学調査の方法や計算法について				講 義	中 村
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		シンプル衛生公衆衛生学 2025(小山洋・辻一郎) 南江堂【978-4-524-21874-5】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		よくわかる公衆衛生学の基本としくみ第2版秀和システム【ISBN978-4-7980-6244-0】					

科目名	言語聴覚障害診断学			授業コード	121656B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51S221P04	AL 科目	○
担当者	伊藤 さゆり(臨・臨)、倉澤 美智子 (臨・臨)、戸高 翼(臨・臨)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リナーNo.	言語聴覚士になるためには、言語聴覚療法に必要な知識に加えて、利用者中心の言語聴覚療法を行うために必要な臨床技 術、態度を身につける必要がある。 「言語聴覚障害診断学」では、言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い、評価に必要なプロセスが遂行できる言語聴覚士に なるために(DP3)、言語聴覚障害診断に関連する基礎的概念を習得し、言語聴覚障害の評価・支援にかかわる知識・技能の獲 得をはかる(CP1(5))。						
学修目標	1)評価、診断の枠組みや実施に関連した基本概念を理解し、説明することができる。 2)スクリーニング検査の役割と項目を知る。 3)各領域に必要とされる検査や観察の視点を知り、説明することができる。 4)観察所見の書き方を知り、一人で所見を書くことができる。 5)評価報告書の基本的な形式を知り、フォーマットがあれば一人で所見を書くことができる。						
実務経験のある 教員による教育	言語聴覚士や医療専門職として臨床経験5年以上の者(戸高、倉澤、伊藤)が担当する。						
評価及びフィード バックの方法	各回の授業でドリルテストを授業開始時に行う。ドリルテストについては、採点は授業担当者が行い、次回の授業の冒頭で解答 内容の傾向についてフィードバックを行う。 課題は、次回授業開始時に提出し、授業担当者が内容の確認をし、解説内容に過不足がある場合は、解説を行う。 授業時間外の学習への取り組み姿勢(ドリルテストや課題内容)を 20%、自発的な質問・発言など授業への主体的な参加態度 を 10%、学期末の単位認定試験 70%として、単位認定を行う。 15 回目の授業において、全ての回の質問や提出課題に関するフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	・本授業は、「言語聴覚障害演習Ⅰ～Ⅲ」と関連が深く、かつ「学外評価臨床実習」、「学外総合臨床実習」に繋がっていく科目で ある。そのため、学外実習時を想定し、自らの体調管理に努める、積極的行動する、言葉遣いに気をつける等、実習の事前学修 として意識しながら参加をすること。 ・演習内容は、復習を積極的に行い、技術の定着を目指すこと。 ・返却された確認テストや課題を用いて、学習内容を復習すること。 ・SGD や演習活動時には、自ら能動的に考える場であることを理解し、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べること。						
オフィスアワー	各教員に確認すること。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	リハビリテーションにおける評価・診断を理解する				講義・演習	伊 藤
2	2)	成人言語聴覚障害のスクリーニングを知る				講義・演習・SGD	伊 藤
3	1)	臨床データの解釈に必要な用語を理解する				講義・演習・SGD	伊 藤
4	2)	小児の言語聴覚障害のスクリーニングを知る				講義・演習・SGD	戸 高
5	3)	各領域の評価・診断の実際①:成人の聴覚障害				講義・演習・SGD	倉 澤
6	3)	各領域の評価・診断の実際②:成人・言語認知系				講義・演習・SGD	伊 藤
7	3)	各領域の評価・診断の実際③:成人・構音、摂食嚥下障害系				講義・演習・SGD	倉 澤
8	3)	各領域の評価・診断の実際④:小児・言語発達障害				講義・演習・SGD	戸 高
9	4)5)	観察所見・評価報告書の書き方(成人)①				講義・演習・SGD	伊 藤
10	4)5)	観察所見・評価報告書の書き方(成人)②				講義・演習・SGD	伊 藤
11	4)5)	観察所見・評価報告書の書き方(成人)③				講義・演習・SGD	伊 藤
12	4)5)	観察所見・評価報告書の書き方(小児)①				講義・演習・SGD	戸 高
13	4)5)	観察所見・評価報告書の書き方(小児)②				講義・演習・SGD	戸 高
14	4)5)	観察所見・評価報告書の書き方(小児)③				講義・演習・SGD	戸 高
15	1)～7)	言語聴覚療法における評価・診断のまとめ				講義・演習・SGD	伊 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		標準言語聴覚障害学 言語聴覚療法 評価・診断学 (藤田郁代 監修)医学書院【ISDN 978-426004148】 授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス 器質性構音障害 診断と治療社【978-4787825230】 授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス 聴覚障害 診断と治療社【978-4787824950】 授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス 機能性構音障害 診断と治療社【978-4787824943】 授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス 高次脳機能障害					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		随時紹介する					

科目名	失語症学Ⅰ			授業コード	121634B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科、言語聴覚コース(2 年)			ナンバリング	51S221P05	AL 科目	○
担当者	倉澤 美智子(臨・臨)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	必 須	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	失語症学Ⅰでは、失語症の基本的知識を修得する。言語聴覚士の臨床において、その技術が最も問われるコミュニケーション障害の一つである本講義では、失語症の定義と鑑別、原因疾患、病巣言語側性化、失語症の一般症状、発話面の症状、理解面の症状、復唱障害、読字障害、書字障害、古典型失語症群、その他の失語症、純粋型、原発性進行性失語、後天性小児失語、など基本的な知識について学ぶ。(DP1, 3)、(CP1(1,2,5)、2(1,2))						
学修目標	1)失語症の概要について理解し、説明ができる。 2)失語症の定義・言語と脳の関係について理解し、説明ができる。 3)失語症の原因疾患と言語症状について理解し、説明ができる。 4)失語症の近縁症状や随伴しやすい障害について理解し、説明ができる。 5)失語症症候群について理解し、説明できる。 6)失語症の言語聴覚療法の全体像について理解し、説明できる。 7)失語症の評価・診断について理解し、説明できる。 8)情報収集～評価・診断の一連の流れについて理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(倉澤)は、病院等臨床現場における言語聴覚士としての 20 年以上の実務経験に基づき、失語症に関わる脳神経の解剖や疾患、障害に関する知識の修得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	定期的なレポート課題等により形成的評価を行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、レポート等)の評価を 30%、学期末の単位認定試験を 70%として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	定期的に講義内容について、レポート提出等を行うので準備をしておいてください。 講義ごとに予習・復習をしっかりと行い、失語症ドリルでの確認も行っておくこと。						
オフィスアワー	毎週水曜日 12:30-13:00、講義時間以外の在室中(研究室)						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	失語症概論				講義・SGD	倉 澤
2	2)	失語症の定義・言語と脳の関係性について				講 義	倉 澤
3	3)	失語症の原因疾患及び言語症状				講 義	倉 澤
4	4)	失語症の近縁症状と随伴しやすい障害				講 義	倉 澤
5	5)	失語症候群(1)				講 義	倉 澤
6	5)	失語症候群(2)				講 義	倉 澤
7	5)	失語症候群(3)				講 義	倉 澤
8	5)	失語症候群(4)				講 義	倉 澤
9	6)	失語症の言語聴覚療法の全体像				講 義	倉 澤
10	7)	失語症の評価と診断				講義・演習・SGD	倉 澤
11	8)	失語症の回復過程				講 義	倉 澤
12	6)7)8)	言語治療の基本原則				講 義	倉 澤
13	6)7)8)	言語治療の理論と技法				講 義	倉 澤
14	6)7)8)	失語症の言語治療の実際				講義・演習・SGD	倉 澤
15	1)~8)	まとめ:学習の振り返り				講義・演習・SGD	倉 澤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		標準言語聴覚障害学 失語症学第 3 版(藤田郁代・他編)医学書院【9784260043076】 なるほど!失語症の評価と治療 検査結果の解釈から訓練法立案まで(小嶋知幸 編)金原出版株式会社 【ISBN978-4-307-75023-3】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		失語症 臨床標準テキスト(種村純 監修)医歯薬出版株式会社 【ISBN978-4-263-26610-6】 病気が見える 7 脳・神経 (医療情報科学研究所 編)メディックメディア 【ISBN978-4-89632-686-4】 リハに役立つ脳画像 改訂第 2 版(酒匂正春 監修)メディカルビュー社 【ISBN 978-4-7583-2013-9】 失語症(授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス)(大塚 裕一 編)診断と治療社【978-4787823953】					

科目名	失語症学Ⅱ			授業コード	121635B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51S222P02	AL 科目	○
担当者	伊藤 さゆり(臨・臨)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	失語症は、言語聴覚士の臨床において、その技術が最も問われるコミュニケーション障害の一つである。本講義は、標準失語症検査を中心とした、失語症評価の方法・記録・分析、鑑別診断について学ぶ。また、訓練プログラム立案に役立てるための言語の情報処理過程について理解することで、高い臨床的知識と技能を持った言語聴覚士を目指す(DP3&4)。						
学修目標	1) 失語症の評価方法の概要を理解し、説明できる。 2) 言語情報処理の認知神経心理学的モデルについて理解し、説明できる。 3) 失語症の総合的検査、掘り下げ検査について理解し、説明できる。 4) 失語症の訓練プランについて理解し、説明できる。 5) 標準失語症検査(以下 SLTA)の施行方法を理解し、実施できる。 6) SLTA のプロフィールの作成や内容の説明ができる。 7) SLTA の評価結果を分析し、失語症の鑑別診断ができる。 8) 失語症評価報告書の作成ができる。 9) 失語症の訓練プランの立案ができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(伊藤)は、病院等臨床現場における言語聴覚士としての 20 年以上の実務経験に基づき、失語症に関わる脳神経の解剖や疾患、障害に関する知識の修得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	学習への取り組み姿勢(確認テストや課題の提出、返却物の受け取り、質問・発言など授業への参加を 40%、及び学期末の単位認定試験成績を 60%として総合的に評価を行う。 確認テストやレポートの提出・フィードバックは Google Classroom を通して行う。 各自 Google Classroom をスマートフォンにインストールし、各自のノートパソコンでもブックマークして、すぐに情報がみられるようにしておくこと。						
準備学習・ 履修上の注意等	原則として、毎回、講義内容について確認テスト、レポート提出等を行うので準備をしておいてください。						
オフィスアワー	毎週(月・水・木)12:30-13:00、講義時間以外の在室中(研究室)						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)3)	失語症の評価				講 義	伊 藤
2	2)3)	言語情報処理の認知神経心理学的モデル①				講 義	伊 藤
3	2)3)	言語情報処理の認知神経心理学的モデル②				講 義	伊 藤
4	2)3)	言語情報処理の認知神経心理学的モデル③				講 義	伊 藤
5	1)2)3)	失語症の掘り下げ検査				講 義	伊 藤
6	4)	失語症の訓練①				講 義	伊 藤
7	4)	失語症の訓練②				講 義	伊 藤
8	5)6)	SLTA 検査演習「聞く」の施行方法、プロフィール作成				講義・演習	伊 藤
9	5)6)	SLTA 検査演習「話す」の施行方法、プロフィール作成				講義・演習	伊 藤
10	5)6)	SLTA 検査演習「読む」の施行方法、プロフィール作成				講義・演習	伊 藤
11	5)6)	SLTA 検査演習「書く」の施行方法、プロフィール作成				講義・演習	伊 藤
12	5)6)	SLTA 検査演習「計算」の施行方法、プロフィール作成				講義・演習	伊 藤
13	7)8)9)	検査結果報告書の作成・訓練立案①				講義・演習・SGD	伊 藤
14	7)8)9)	検査結果報告書の作成・訓練立案②				講義・演習・SGD	伊 藤
15	7)8)9)	検査結果報告書の作成・訓練立案③				講義・演習・SGD	伊 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		標準言語聴覚障害学 失語症学 第 3 版(藤田郁代 編)医学書院 【ISBN978-4-2600-4307-6】 標準失語症検査マニュアル (日本高次脳機能障害学会) 新興医学出版社 【4-88002-618-2】 なるほど！失語症の評価と治療 検査結果の解釈から訓練法立案まで(小嶋知幸 編)金原出版株式会社 【ISBN978-4-307-75023-3】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		失語症 臨床標準テキスト(種村純 監修)医歯薬出版株式会社 【ISBN978-4-263-26610-6】 失語症言語治療の基礎 (紺野 加奈恵) 診断と治療社 【4-7878-1158-4】 病気が見える 7 脳・神経 (医療情報科学研究所 編)メディックメディア 【ISBN978-4-89632-686-4】 リハに役立つ脳画像 改訂第 2 版(酒匂正春 監修)メディカルビュー社 【ISBN 978-4-7583-2013-9】 失語症(授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス)(大塚 裕一 編)					

科目名		発声発語障害学			授業コード	121638B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51S221P07	AL 科目	○
担当者		倉澤 美智子(臨・臨)、戸高 翼 (臨・臨)、土屋 美智子(非常勤講師)、 児玉 成博(非常勤講師)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.		音声障害者への支援、構音障害の概念と理論、構音障害の検査・評価など一連の話し言葉の障害(神経疾患による運動障害性構音障害、呼吸・発声・共鳴・構音およびプロソディーから構成される、極めて複雑なプロセスを経る機能であり、言語聴覚士になるための高い知識や技術の習得が必要となる。運動障害性構音障害、音声障害、吃音など専門的な障害への理解の修得を目指す。(DP1,3,6)(CP1(1,2,5),2(1,2))。						
学修目標		1)運動障害性構音障害に関連する発声・発語系の解剖と、構音の運動学的・音響学的特性が理解できる。 2)器質性構音障害における音の誤りの特徴と、対応する訓練法が理解できる。 3)機能性構音障害における音の誤りの特徴と、対応する訓練法が理解できる。 4)吃音に関する評価・訓練法が理解できる。 5)音声障害の評価・訓練法が理解できる						
実務経験のある 教員による教育		本講義の担当全員は臨床経験 5 年以上の言語聴覚士であり、実務経験に基づいた、発声発語およびその障害に関わる知識・技術を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法		授業毎のレポート課題等により形成的評価を行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、レポート等)の評価を 30%、学期末の単位認定試験を 70%として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		毎日の予習・復習を行ってください。必要に応じ、レポートや確認テスト等を行います。						
オフィスアワー		倉澤、戸高:毎週水曜日の 12:30-13:00、講義の前後の時間 非常勤講師:講義前後の可能な時間						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	運動障害性構音障害(1) 神経系の解剖、運動障害性構音障害の特徴 1					講 義	倉 澤
2	1)	運動障害性構音障害(2) 運動障害性構音障害の特徴 2					講 義	倉 澤
3	1)	運動障害性構音障害(3) 運動障害性構音障害の評価					講 義	倉 澤
4	1)	運動障害性構音障害(4) 運動障害性構音障害の訓練					講 義	倉 澤
5	1)	運動障害性構音障害(5) 音声分析、まとめ					講 義	倉 澤
6	2)	機能性構音障害の評価・訓練①					講 義	戸 高
7	3)	機能性構音障害の評価・訓練②					講 義	戸 高
8	4)	吃音(1) 吃音の基本的知識、吃音者の体験談の分析、吃音症状の理解					講 義	土 屋
9	4)	吃音(2) 吃音の進展段階と軌道論、原因論					講 義	土 屋
10	4)	吃音(3) 吃音の評価:吃音検査法、総合評価					講義・演習	土 屋
11	4)	吃音(4) 吃音の指導・訓練法					講 義	土 屋
12	5)	音声障害(1)					講 義	児 玉
13	5)	音声障害(2)					講 義	児 玉
14	5)	音声障害(3)					講 義	児 玉
15	5)	音声障害(4)					講 義	児 玉
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		標準言語聴覚障害学 発声発語障害学 第 3 版(藤田郁代 編) 医学書院【978-4-2600-4289-5】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		口蓋裂の言語臨床 第 3 版(岡崎恵子他編) 医学書院【978-4-260-01239-3】 言語聴覚士テキスト 第 3 版 (大森孝一 編)医歯薬出版【978-4-2632-6560-4】 器質性構音障害(授業・実習・国試に役立つ言語聴覚士ドリルプラス)(大塚 裕一 編)診断と治療社【978-4787825230】 機能性構音障害(授業・実習・国試に役立つ言語聴覚士ドリルプラス)(大塚 裕一 編)診断と治療社【978-4787824943】 運動障害性構音障害(授業・実習・国試に役立つ言語聴覚士ドリルプラス)(						

科目名	発声発語障害学演習 I			授業コード	121639A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学部臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51S222P04	AL 科目	○
担当者	中村真理子(臨心・臨心)、原 修一(非常勤講師)、北九州総合療育センター職員(非常勤講師)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	発話機能は、呼吸・発声・共鳴・構音およびプロソディーから構成される、極めて複雑なプロセスを経る機能であり、言語聴覚士になるための高い知識や技術の習得が必要となる。本演習では、話し言葉の障害を中心とした、リハビリテーションに関する臨床能力を修得する。具体的には、小児の機能性構音障害、器質性構音障害の評価・訓練を中心に、検査や行動観察を用いての患者の適切な評価、及びそこから導き出された訓練の立案・実施の能力を、講義・グループワークを通じて身につける(DP3&4)。						
学修目標	1)機能性構音障害における音の誤りの特徴と、対応する訓練法が理解できる。 2)口唇・口蓋裂の特徴、口唇・口蓋裂に伴う異常構音の音響学的特徴、系統的訓練法が理解できる。						
実務経験のある 教員による教育	言語聴覚士(原・北九州総合療育センター)および歯科医師(中村)が、病院、歯科医院にて得た、口唇口蓋裂等構音障害に関わる疾患やその(リ)ハビリテーションに関する知識・技術を提供する。						
評価及びフィード バックの方法	形成的評価として、出席と授業態度、小テストで評価する。総括的評価として、単位認定試験を実施する。						
準備学習・ 履修上の注意等	前期で学習した頭頸部の解剖と音声学(特に音声記号)について復習をしてください。また、講義時間と内容の関係上、臨床実習では不足する知識・技術がかなり生ずる可能性があります。毎日 1 時間以上の予習・復習と、講義終了後においても継続的な話し言葉の障害に関する知識・技術の向上を図る必要があります。						
オフィスアワー	毎週水曜日 12:30-13:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	機能性構音障害(1) 機能性構音障害の特徴・評価				講義・SGD	原
2	1)	機能性構音障害(2) 構音検査の実施 1				講義・SGD	原
3	1)	機能性構音障害(3) 構音検査の実施 2・訓練プログラム立案				講 義	原
4	1)	機能性構音障害(4) 機能性構音障害に対する訓練プログラム 1 音の産生訓練				講義・SGD	原
5	1)	機能性構音障害(5) 機能性構音障害に対する訓練プログラム 2 音の産生訓練				講義・SGD	原
6	1)	機能性構音障害(6) 機能性構音障害に対する訓練プログラム 3 系統的訓練				講義・SGD	原
7	2)	器質性構音障害(1) 口唇口蓋裂の原因、タイプ分類、手術				講 義	中 村
8	2)	器質性構音障害(2) 口唇口蓋裂の歯科学的評価 1				講 義	中 村
9	2)	器質性構音障害(3) 口唇口蓋裂の歯科学的評価 2				講 義	中 村
10	2)	器質性構音障害(4) 口唇口蓋裂の言語聴覚療法的評価 1				講 義	原
11	2)	器質性構音障害(5) 口唇口蓋裂の言語聴覚療法的評価 2				講 義	原
12	2)	器質性構音障害(6) 口唇口蓋裂の異常構音へのアプローチ 1				講 義	北九州
13	2)	器質性構音障害(7) 口唇口蓋裂の異常構音へのアプローチ 2				講 義	北九州
14	2)	器質性構音障害(8) 口唇口蓋裂児を持つ保護者への指導				講 義	北九州
15	2)	器質性構音障害(9) 口唇口蓋裂児の成長に伴う経時的アプローチ				講 義	北九州
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		標準言語聴覚障害学 発声発語障害学 第3版(藤田郁代 監修) 医学書院【978-4-2600-4289-5】 言語聴覚士ドリル運動障害性構音障害 診断と治療社【978-4-7878-2452-3】 言語聴覚士ドリル機能性構音障害 診断と治療社【978-4-263-44405-4】 言語聴覚士ドリル器質性構音障害 診断と治療社【978-4-787-82523-0】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義中に紹介します。					

科目名	発声発語障害学演習Ⅱ			授業コード	121640A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51S321P06	AL 科目	○
担当者	倉澤 美智子(臨・臨)、伊藤さゆり(臨・臨)、中村 真理子(臨・臨)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	発話機能は、呼吸・発声・共鳴・構音及びプロソディーから構成される。極めて複雑なプロセスを経る機能であり、言語聴覚士になるための高い知識や技術の習得が必要となる。本演習では、話し言葉の障害を中心とした、リハビリテーションに関わる臨床能力を習得する。具体的には、成人の運動障害性構音障害、器質性構音障害の評価・訓練を中心に、検査や行動観察を用いての患者の適切な評価、及びそこから導き出された訓練の立案・実施の能力を、講義・グループワーク・当事者と家族の体験発表などを通して身につける(DP1,3,5,6)(CP1(1,2,5),2(1,2))。						
学修目標	1)ディサースリアについての概要について説明できる。 2)ディサースリアの評価方法について説明できる。 3)ディサースリアの検査法について説明できる。 4)ディサースリアに対するアプローチ分類について説明できる。 5) ディサースリアの訓練法について説明できる。 6)器質性構音障害における頭頸部癌やその手術、資料について理解し、説明できる。 7)器質性構音障害における頭頸部癌に関わる歯科学的問題について理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	言語聴覚士(倉澤、伊藤)及び歯科医師(中村)が、病院、歯科医院で得た豊富な知識により、成人高齢者の構音障害に関わる疾患やそのリハビリテーションに関する知識・技術を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業毎のレポート課題等により形成的評価を行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、レポート等)の評価を 30%、学期末の単位認定試験を 70%として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	前期で学習した頭頸部の解剖や音声学(特に音声記号)について復習をしておいてください。 毎日の予習・復習を行ってください。必要に応じ、レポートや確認テスト等を行います。						
オフィスアワー	倉澤：毎週水曜日の 12:30-13:00、講義の前後の時間 その他教員の指示に従うこと。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	ディサースリアの概要について				講 義	倉 澤
2	1)2)	ディサースリアの評価①				講 義	倉 澤
3	1)2)	ディサースリアの評価②				講 義	倉 澤
4	3)	標準ディサースリア検査の実施①				講義・演習・SGD	倉 澤
5	3)	標準ディサースリア検査の実施②				講義・演習・SGD	倉 澤
6	3)	標準ディサースリア検査の実施③				講義・演習・SGD	倉 澤
7	4)	ディサースリアの治療アプローチについて①				講義・演習・SGD	伊 藤
8	4)	ディサースリアの治療アプローチについて②				講義・演習・SGD	伊 藤
9	4)	タイプ別言語治療ガイドライン				講 義	伊 藤
10	5)	ディサースリアに対する訓練①				講義・演習・SGD	伊 藤
11	5)	ディサースリアに対する訓練②				講義・演習・SGD	伊 藤
12	6)7)	器質性構音障害(1)頭頸部癌とは、頭頸部癌の手術、治療				講 義	中 村
13	6)7)	器質性構音障害(2)頭頸部癌に関わる歯科学的問題 1				講 義	中 村
14	6)7)	器質性構音障害(3)頭頸部癌に関わる歯科学的問題 2				講 義	中 村
15	1)~7)	まとめ：学習の振り返り				講義・演習・SGD	倉 澤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		ディサースリア 臨床標準テキスト 第2版(西尾正輝 著)【978-4-263-26665-6】 標準言語聴覚障害学 発声発語障害学 第3版(藤田郁代 編)医学書院【978-4-2600-4289-5】 言語聴覚療法シリーズ9 改訂 運動障害性構音障害(熊倉 勇美 編)建帛社【978-4-7679-4529-3】 言語聴覚療法シリーズ8 器質性構音障害(齊藤 裕恵 編)建帛社【978-4-7679-4508-8】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		喉頭がん舌がんの人たちの言語と摂食・嚥下ガイドブック(菊谷 武 監訳)医歯薬出版【978-4-263-44271-5】 器質性構音障害(授業・実習・国試に役立つ言語聴覚士ドリルプラス)(大塚 裕一 編)診断と治療社【978-4787825230】 運動障害性構音障害(授業・実習・国試に役立つ言語聴覚士ドリルプラス)(大塚 裕一 編)診断と治療社【978-4787824523】					

科目名	嚥下障害学Ⅰ			授業コード	121641B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科 言語聴覚コース(2 年)			ナンバリング	51S222P05	AL 科目	○
担当者	中村真理子(臨心・臨心)、佐藤秀夫(非常勤講師)、横山茂幹(外部講師)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い評価・訓練に必要なプロセスを遂行する(GIO3, 4)するうえで摂食嚥下障害は言語聴覚士が対象とする頻度が高い障害である。摂食嚥下障害とは、飲み込みが困難な状態であり、乳児から高齢者まで、多様な状態によって起こる問題である。飲むことができない、食べることができないことで、生命の危機に直面することもあり、摂食嚥下障害を早期に発見、対処することは、臨床的に極めて重要である。嚥下の定義、嚥下の仕組み、摂食嚥下障害をきたす要因、摂食嚥下障害の観察方法に関する知識を修得する(CP1-1, 1-2)。						
学修目標	1) 正常な嚥下とそれに関わる筋肉、神経について説明できる。 2) 嚥下の正常発達、加齢による変化について説明できる。 3) 嚥下障害に関する評価の概要を知り、正常か異常かの判別ができる。 4) 飲食材の変化による嚥下の違いについて説明できる。 5) 薬物による副作用が嚥下に及ぼす影響について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(中村)は臨床現場(岡山大学附属病院矯正歯科外来)において歯科医師として5年以上の臨床経験を有する。同じく科目担当者(山口、佐藤)は臨床現場(長崎大学附属病院摂食嚥下外来、鹿児島大学小児歯科外来)において歯科医師として5年以上の臨床経験を有する。科目担当者横山は言語聴覚士として5年以上の臨床経験を有する。						
評価及びフィード バックの方法	単位認定試験(100%)により評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	摂食・嚥下障害は、言語聴覚士の臨床上、最重要領域となっているため、予習として教科書の該当箇所を一読しておくこと。特に、解剖・生理学で学んだ消化管の解剖と生理をもう一度見直し、摂食・嚥下のプロセスがイメージできるようにすること。そのためにも、復習には1時間以上、2時間程度かける必要がある。講義終了後も、実習や臨床で十分取り組むことが出来るように、知識・技術を向上させていく必要がある。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	嚥下と摂食の定義およびその違いについて、簡潔に説明することができる。				講 義	中 村
2	1)	嚥下に関わる諸器官の図をもとに、その名称を答えることができる。				講 義	山 口
3	1)	嚥下の期と相について、他の学生に説明することができる。				講義・SGD	山 口
4	1)～3)	正常に嚥下がなされるための要件について、自ら図を描いて説明ができる。				講義・SGD	山 口
5	1)～3)	VF、VEを見て、正常な嚥下と異常な嚥下の違いを説明できる。				講義・SGD	山 口
6	1)～3)	歯と咀嚼・嚥下との関係について説明できる。				講 義	中 村
7	1)～3)	準備期における摂食・嚥下障害について説明できる。				講 義	中 村
8	1)～3)	正常な嚥下運動について知るために、学生同士で演習を行う。水を飲むときや唾を飲むときに、喉頭や口腔周辺にどのような変化があるかを観察し、結果をディスカッションできる。				講義・SGD	中 村
9	1)～3)	加齢による嚥下障害のメカニズムを説明できる。				講 義	中 村
10	3)4)	加齢に伴う姿勢の変化、脳卒中による身体の拘縮による姿勢の変化について知り、それがどのような影響を及ぼすかを説明できる。				講義・SGD	中 村
11	3)4)	嚥下障害者にとって、食形態の違いは飲み込みに多大な影響を及ぼす。それはどのような機序で起こるかを説明できる。				講義・SGD	中 村
12	1)～3)	口腔がん患者のリハビリテーションにおける摂食・嚥下障害の評価・訓練				講 義	横 山
13	1)～3)	口腔がん患者のリハビリテーションにおける摂食・嚥下障害の評価・訓練				講 義	横 山
14	3)4)	小児の嚥下障害				講 義	佐 藤
15	5)	小児の嚥下障害				講義、	佐 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新言語聴覚学講座 摂食嚥下障害学(倉智雅子) 医歯薬出版【978-4-263-27075-2】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		言語聴覚療法学テキスト発声発語・摂食嚥下の解剖・生理学 メディカルビュー社【978-4-7583-2069-6】					

科目名		嚥下障害学Ⅱ		授業コード	121642B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		臨床心理学科・言語聴覚コース(3年)		ナンバリング	51S321P07	AL 科目	○	
担当者		中村 真理子(臨心・臨心)・倉澤 美智子(臨心・臨心)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.		本講義は、利用者本位の言語聴覚士になるための最重要領域として、臨床現場においてリハビリテーションの一翼を担うことのできる臨床能力を修得するために、摂食嚥下障害に関わる一連の評価(スクリーニング、嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査、摂食評価)について演習を通じて学び、摂食嚥下機能の評価と問題点の抽出、訓練プログラムが作成できる、高い技能を習得する(DP1ー5)。						
学修目標		1)摂食・嚥下障害のスクリーニング検査が実施できる。 2)嚥下造影検査および嚥下内視鏡検査の概要と方法が説明できる。 3)嚥下造影検査及び嚥下内視鏡検査の動画を見て、摂食・嚥下機能における問題点を抽出できる。 4)摂食評価において、姿勢やベッドアップ角度の調節など、患者の摂食環境を整えることができる。 5)摂食評価において、患者が経口摂取できる食物形態とその調節について理解ができる。 6)口腔ケアの方法、義歯の管理方法について理解が出来る。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者(中村)は臨床現場(岡山大学附属病院矯正歯科外来)において歯科医師として5年以上の臨床経験を有する。また、科目担当者(倉澤)は言語聴覚士として5年以上の臨床経験を有する。						
評価及びフィード バックの方法		出席回数、講義態度、課題レポート提出等の形成的評価と、単位認定試験における論述試験の結果による統括的評価の2つを実施する。						
準備学習・ 履修上の注意等		言語聴覚士の最重要領域を学修として、頭頸部の解剖、神経学的知識に関する内容を含む、各回の予習・復習を1時間以上(2時間が望ましい)をしてください。また、学外臨床実習や臨床では、本講義で学んだことだけでは不十分です。日頃の摂食・嚥下障害に関する知識の向上が必要になります。						
オフィスアワー		毎週火・水・木曜日 12:30～13:00						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当	
1	1)	オリエンテーション、摂食・嚥下機能のスクリーニング検査(1) 概要				講義・演習	中 村	
2	1)	摂食・嚥下機能のスクリーニング検査(2) 水飲みテスト・改訂水飲みテスト				演 習	中 村	
3	1)	摂食・嚥下機能のスクリーニング検査(3) 反復唾液嚥下テスト				演 習	中 村	
4	1)	摂食・嚥下機能のスクリーニング検査(4) 歯科学的評価				演 習	中 村	
5	1)	摂食・嚥下機能のスクリーニング検査(5) 問診・質問紙による評価				演 習	中 村	
6	2)	嚥下造影検査の原理と方法・観察評価				講義・演習	中 村	
7	2)	嚥下内視鏡検査の原理と方法・観察評価				講義・演習	中 村	
8	2)3)	フードテストの方法と評価(1)				演 習	倉 澤	
9	2)3)	フードテストの方法と評価(2)				演 習	倉 澤	
10	4)5)	段階的摂食評価(1)				演 習	倉 澤	
11	4)5)	段階的摂食評価(2)				演 習	倉 澤	
12	6)	口腔ケア(1)				演 習	中 村	
13	6)	口腔ケア(2)				演 習	中 村	
14	6)	義歯の管理				演 習	中 村	
15	1)～ 6)	事例検討				演 習	中 村	
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		疾患別嚥下障害 藤島一郎監修 医歯薬出版株式会社【978-4-263-26662-5】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特に指定しない						

科目名	嚥下障害学演習			授業コード	121643A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51S322P02	AL 科目	○
担当者	倉澤 美智子(臨・臨)、山口 大樹 (非常勤講師)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い評価・訓練に必要なプロセスを遂行するうえで摂食嚥下障害は言語聴覚士が対象とする頻度が高い障害である。摂食嚥下障害および合併症、関連障害の基本的概念と知識を修得するを目指す。摂食・嚥下障害の治療・訓練、利用者本位の言語聴覚士になるための最重要領域として、臨床現場においてリハビリテーションの一翼を担うことのできる臨床能力を修得するために、摂食嚥下障害に関わる一連の評価(スクリーニング、嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査、摂食評価)について演習を通じて学び、摂食嚥下機能の評価と問題点の抽出、訓練プログラムが作成できる、高い技能を修得する。(DP1,2,3,4,5,6)(CP1(1,2,5),2(1,2))。						
学修目標	1)摂食嚥下の解剖と生理について理解し、説明できる。 2)摂食嚥下機能と発達・加齢変化との関係、栄養障害について理解し、説明できる。 3)摂食嚥下障害の評価・検査・診断について理解し、説明できる。 4)介入の概要や口腔衛生管理・訓練や対応について理解し、説明できる。 5)リスク管理・薬剤管理・薬物療法や支援について理解し、説明できる。 6)間接訓練について理解し、説明できる。 7)直接訓練について理解し、説明できる。 8)成人期・老年期における原疾患と評価・対処について理解し説明できる。 9)小児期における原疾患と評価・対処について理解し説明できる。 10)評価に基づいて訓練を選択し訓練計画を作成できる。 11)地域リハビリテーションなど、摂食・嚥下障害に関わる他職種との関連性について理解し、説明できる。 12)正常嚥下と嚥下障害の VF・VE 所見を理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(全員)は、病院等臨床現場における言語聴覚士、歯科医師としての 5 年以上の実務経験に基づき、摂食・嚥下に関わる解剖や疾患、障害の特徴及び、リハビリテーションに関する知識・技術の修得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業毎のレポート課題等により形成的評価を行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、レポート等)の評価を 30%、学期末の単位認定試験を 70%として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	毎回の予習・復習を行ってください。必要に応じ、レポートや確認テスト等を行います。						
オフィスアワー	倉澤:毎週水曜日の 12:30-13:00、講義の前後の時間 非常勤講師:講義前後の可能な時間 その他教員の指示に従うこと。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	摂食嚥下器官の解剖				講 義	倉 澤
2	1)	摂食嚥下の生理(摂食嚥下モデル)				講 義	倉 澤
3	2)	摂食嚥下機能と発達、加齢				講 義	倉 澤
4	3)	摂食嚥下障害の評価・検査・診断				講義・演習	倉 澤
5	4)	摂食嚥下障害への介入(1)				講 義	倉 澤
6	5)	摂食嚥下障害への介入(2)				講 義	倉 澤
7	6)	摂食嚥下の訓練(間接訓練)				講義・演習	倉 澤
8	7)	摂食嚥下の訓練(直接訓練)				講義・演習	倉 澤
9	8)	成人期・老年期の疾患についての評価・対処法・対応例				講 義	倉 澤
10	9)	小児期の疾患についての評価・対処法				講 義	倉 澤
11	10)	評価結果の解釈と訓練計画の立案				講義・演習	倉 澤
12	11)	摂食嚥下障害へのチームアプローチ				講 義	倉 澤
13	11)	摂食・嚥下障害の地域リハビリテーションの実際・関連職種の役割				S G D	倉 澤
14	12)	VF、VE による評価				講 義	山 口
15	12)	VF、VE による評価演習				講 義	山 口
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 言語聴覚学講座 摂食嚥下障害学(倉知 雅子 編)医歯薬出版【978-4-263-27075-2】 摂食嚥下リハビリテーション(才藤 栄一・植田耕一郎 監修) 第 3 版 医歯薬出版【978-4-263-4447-4】 よくわかる 摂食・嚥下のメカニズム 第2版(山田 好秋書)医歯薬出版【978-4-263-44405-4】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		目で見える嚥下障害(DVD 付)(藤島 一郎) 医歯薬出版【978-4-263-21856-3】 摂食嚥下障害(授業・実習・国試に役立つ言語聴覚士ドリルプラス(大塚 裕一 編) 診断と治療社【978-4787823960】 その他、講義内で周知連絡行う。					

科目名	聴覚検査演習			授業コード	121289A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51S322P03	AL 科目	○
担当者	戸高翼(臨・臨)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	聴覚検査は、難聴、言語障害の診断および治療、支援を考える上では、欠くことのできないものである。そのため、検査を実施する際には、高度な知識や技術の習得が要求される。 「聴覚検査演習」では、聴覚の構造・機能・病態を理解した上で、検査の実施および解釈ができる言語聴覚士になるために(DP3)、成人聴覚検査、乳幼児聴覚検査、他覚的聴覚検査、その他各種聴覚検査法の原理、実施手続き、結果の分析について習得する(CP1(5))。						
学修目標	1) 聴覚検査に必要な予備知識について説明できる。 2) 純音聴力検査の概要および検査前の準備、検査手順の説明ができ、実施ができる。 3) 語音聴力検査の概要および検査前の準備、検査手順の説明ができ、実施ができる。 4) 中耳機能検査の概要および検査手順の説明ができ、実施、解釈ができる。 5) 内耳機能検査の概要および検査手順の説明ができ、実施、解釈ができる。 6) 選別検査の概要および方法を説明し、実施することができる。 7) 他覚的聴覚検査の概要および方法を知り、各検査の特徴を説明することができる。 8) 乳幼児聴力検査の概要および検査手順の説明ができ、実施ができる。 9) 検査結果から聴覚機能の状態を知ることができる。						
実務経験のある 教員による教育	言語聴覚士としての医療現場(耳鼻咽喉科)での5年以上の実務経験に基づき、臨床的視点の習得を含めた講義を行う。						
評価及びフィード バックの方法	各回の授業で学習内容の確認小テストを授業開始時、終了時に実施した授業内容に関する課題配布を行う。小テストについては、採点は授業担当者が行い、返却時に学習成果をフィードバックする。課題は、次回授業開始時に提出し、授業担当者が内容の確認をし、解説内容に過不足がある場合は、解説を行う。授業時間外の学習への取り組み姿勢(確認小テストや課題内容)を20%、自発的な質問・発言など授業への主体的な参加態度を10%、学期末の単位認定試験70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	・これまで履修した「耳鼻咽喉科学」「聴覚・発声発語系の構造、機能、病態」「聴覚障害Ⅰ」「聴覚障害Ⅱ」を十分に復習しておくこと。 ・1コマあたり1時間の予習復習を行うこと(講義内容の項目について、教科書の該当ページを読み、予習する。返却された確認テストを用いて、学習内容の復習する。 ・確認テスト、レポート課題の実施を通して、理解度を確認しながら、予習復習に取り組むこと。 ・SGD では、積極的にグループ内で発言し、自ら能動的に考える場であること理解し、活動すること。						
オフィスアワー	毎週(月)、(木)の12:20～13:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション／聴覚検査の予備知識				講 義	戸 高
2	2)	純音聴力検査①: 気導聴力検査の概要を知り、実施方法を理解する				講義、演習	戸 高
3	2)	純音聴力検査②: 骨導聴力検査の概要を知り、実施方法を理解する				講義、演習	戸 高
4	2)	純音聴力検査③: マスキングについて理解する				講義、演習	戸 高
5	3)	語音聴力検査の概要を知り、実施方法を理解する				講義、演習	戸 高
6	4)	インピーダンス・オージオメトリー、耳管機能検査の概要を知り、実施方法を理解する				講義、演習	戸 高
7	5)	自記オージオメトリーの概要を知り、実施方法を知る				講義、演習	戸 高
8	5)	閾値上聴力検査、耳鳴検査の概要を知り、実施方法を理解する				講義、演習	戸 高
9	6)	選別聴力検査の概要を知り、実施方法を理解する				講義、演習	戸 高
10	7)	聴性誘発反応の概要を知り、実施上の注意点を理解する				講義、演習	戸 高
11	7)	耳音響放射の概要について知り、実施上の注意点を理解する				講義、演習	戸 高
12	8)	乳幼児聴力検査①: 概要を知り、実施方法を理解する				講義、演習	戸 高
13	8)	乳幼児聴力検査②: 概要を知り、実施方法を理解する				講義、演習	戸 高
14	7)	後迷路障害および機能性難聴の検査の概要を知り、実施上の注意点を理解する				講義、演習	戸 高
15	9)	模擬症例に応じた各種聴力検査の選択、結果の解釈を行い、臨床に活かせる知識、技能の整理を行う				講義、演習	戸 高
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		聴覚検査の実際 改訂5版(日本聴覚医学会編) 南山堂【978-4-5253-7045-9】 言語聴覚士テキスト 第3版(大森 孝一他編集) 医歯薬出版【978-4263265604】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて紹介する。					

科目名		言語聴覚障害演習Ⅰ			授業コード	121645A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51S222P07	AL 科目	○
担当者		戸高 翼(臨・臨)、倉澤美智子(臨・臨)、伊藤さゆり(臨・臨)、内勢美絵子(非常勤)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リナーNo.		言語聴覚士になるためには、言語聴覚療法に必要な知識に加えて、利用者中心の言語聴覚療法を行うために必要な臨床技術、態度を身につける必要がある。 「言語聴覚障害Ⅰ」では、多様な状態を示す言語聴覚障害児・者に適切な評価および言語聴覚療法を行うことができる言語聴覚士になるために(DP3,6)、学外評価臨床実習、学外総合臨床実習、そして将来の臨床現場で求められる技能や知識、基本的態度、障害をトータルに見る視点を身につけ、かつ、チーム活動の中で主体性や協調性、分析力などを身につける(CP1(5))。						
学修目標		1)言語聴覚士の業務を理解し、言語聴覚士に必要な基本的態度、知識・技術を理解する。 2)言語聴覚療法学的評価の方法や分析に必要な視点を理解する。 3)対象者の行動や発話状況を客観的に観察する力を身につける。 4)観察所見を他者にわかりやすく記載することができる。						
実務経験のある 教員による教育		言語聴覚士や医療専門職として臨床経験5年以上の者(戸高、倉澤、伊藤、内勢)が担当する。						
評価及びフィード バックの方法		各回の授業でドリルテストを授業開始時に行う。ドリルテストについては、採点は授業担当者が行い、学習成果をフィードバックする。課題は、次回授業開始時に提出し、授業担当者が内容の確認をし、解説内容に過不足がある場合は、解説を行う。授業時間外の学習への取り組み姿勢(確認小テストや課題内容)を20%、自発的な質問・発言など授業への主体的な参加態度を10%、学期末の単位認定試験70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		・本授業は、次年度以降に控えている「言語聴覚障害演習Ⅱ・Ⅲ」「学外評価臨床実習」、「学外総合臨床実習」に繋がっていく科目である。そのため、学外実習時を想定し、自らの体調管理に努める、積極的行動する、言葉遣いに気をつける等、実習の事前学修として意識しながら参加をすること。 ・演習内容は、復習を積極的に行い、技術の定着を目指すこと。 ・返却された確認テストや課題を用いて、学習内容を復習すること。 ・SGD や演習活動時には、自ら能動的に考える場であることを理解し、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べること。						
オフィスアワー		各教員に確認すること。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション／臨床実習の目的・目標を知る					講義・SGD	戸 高
2	1)2)	成人・小児の上下肢機能や感覚、基本動作を評価する視点を知る①					講義・演習・SGD	内 勢
3	1)2)	成人・小児の上下肢機能や感覚、基本動作を評価する視点を知る②					講義・演習・SGD	内 勢
4	1)2)3)	成人の言語聴覚障害の見かたを知る①(失語症・高次脳機能障害領域)					講義・演習・SGD	伊 藤
5	1)2)3)	成人の言語聴覚障害の見かたを知る②(発声発語・摂食嚥下障害領域)					講義・演習・SGD	倉 澤
6	1)2)3)	小児の言語聴覚障害の見かたを知る①(言語発達障害領域)					講義・演習・SGD	戸 高
7	1)2)3)	小児の言語聴覚障害の見かたを知る②(脳性麻痺領域)					講義・演習・SGD	内 勢
8	1)2)3)	「学外評価臨床実習」の実習報告会を聴講し、学外実習を知る					講義・演習・SGD	戸高・倉澤・伊藤
9	1)～4)	被検者体験をし、検査者に必要な態度、技能、知識を知る					講義・演習・SGD	戸高・倉澤・伊藤
10	1)～4)	インテーク面接の方法を知る(成人)					講義・演習	伊 藤
11	1)～4)	インテーク面接の方法を知る(小児)					講義・演習	戸 高
12	1)～4)	模擬患者にインテーク面接を行い、インテーク面接に必要な態度、技能、知識を知る①					講義・演習・SGD	戸高・伊藤
13	1)3)4)	模擬患者にインテーク面接を行い、インテーク面接に必要な態度、技能、知識を知る②					演習・SGD	戸高・倉澤・伊藤
14	1)2)	学会参加:言語聴覚士の業務を知る、言語聴覚療法に関する最新の知見を知る					講義・演習	戸高・倉澤・伊藤
15	1)2)	学会参加:言語聴覚士の業務を知る、言語聴覚療法に関する最新の知見を知る					講義・演習	戸高・倉澤・伊藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		標準言語聴覚障害学 言語聴覚療法 評価・診断学 (藤田郁代 監修)医学書院【978-426004148】 授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス 器質性構音障害 診断と治療社【978-4787825230】 授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス 聴覚障害 診断と治療社【978-4787824950】 授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス 機能的構音障害 診断と治療社【978-4787824943】 授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス 高次脳機能障害 診断と治療社【978-4787824943】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		随時紹介する。						

科目名	言語聴覚障害演習Ⅱ			授業コード	121646A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51S321P08	AL 科目	○
担当者	戸高 翼(臨・臨)、倉澤美智子(臨・臨)、伊藤さゆり(臨・臨)、外部講師	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	言語聴覚士になるためには、言語聴覚療法に必要な知識に加えて、利用者中心の言語聴覚療法を行うために必要な臨床技術、態度を身につける必要がある。 「言語聴覚障害演習Ⅱ」では、多様な状態を示す言語聴覚障害児・者に適切な評価および言語聴覚療法を行うことができる言語聴覚士になるために(DP1,2,3,6)、学外評価臨床実習、学外総合臨床実習、そして将来の臨床現場で求められる技能や知識、基本的態度、障害をトータルに見る視点を身につけ、かつ、チーム活動の中で主体性や協調性、分析力などを身につける(CP1(5))。						
学修目標	1)言語聴覚士の業務を理解し、言語聴覚士に必要な基本的態度、知識・技術を理解する。 2)言語聴覚障害を評価するために必要な評価方法を自分で選択することができる。 3)障害の背景となる疾患について理解できる。 4)言語聴覚障害を検出するためのスクリーニング検査を作成することができる。 5)スクリーニング検査の結果をまとめ、今後の方針を考えることができる。 6)症例の状態を観察しながら、検査が実施できる。 7) 検査結果をまとめ、分析することができる。 8)見学実習を通して、言語聴覚障害を評価する際に必要な視点を理解する。						
実務経験のある 教員による教育	言語聴覚士や医療専門職として臨床経験5年以上の者(戸高、倉澤、伊藤)が担当する。						
評価及びフィード バックの方法	各回の授業でポイントテストを授業開始時に行う。ポイントテストについては、採点は授業担当者が行い、学習成果をフィードバックする。課題は、次回授業開始時に提出し、授業担当者が内容の確認をし、解説内容に過不足がある場合は、解説を行う。授業時間外の学習への取り組み姿勢(確認小テストや課題内容)を 20%、自発的な質問・発言など授業への主体的な参加態度を 10%、学期末の単位認定試験 70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	・本授業は、「言語聴覚障害演習Ⅰ・Ⅲ」と関連が深く、加えて、「学外評価臨床実習」、「学外総合臨床実習」に繋がっていく科目である。そのため、学外実習時を想定し、自らの体調管理に努める、積極的行動する、言葉遣いに気をつける等、実習の事前学修として意識しながら参加をすること。 ・演習内容は、復習を積極的に行い、技術の定着を目指すこと。 ・返却された課題を用いて、学習内容を復習すること。 ・SGD や演習活動時には、自ら能動的に考える場であることを理解し、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べること。						
オフィスアワー	各教員に確認すること。						

授業計画				
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授業 方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション／復習:2年時に学修した言語聴覚障害の評価について自身の理解度を知る	講義・演習	戸 高
2	1)～3)	言語聴覚障害を評価する:ケーススタディ①(知的能力障害)	講義・演習・SGD	戸 高
3	1)～3)	言語聴覚障害を評価する:ケーススタディ②(失語症)	講義・演習・SGD	伊 藤
4	1)～3)	言語聴覚障害を評価する:ケーススタディ③(摂食嚥下障害)	講義・演習・SGD	倉 澤
5	1)～3)	言語聴覚障害を評価する:ケーススタディ④(聴覚障害)	講義・演習・SGD	倉 澤
6	4)5)	成人言語聴覚障害のスクリーニング検査を作成する①	講義・演習・SGD	伊 藤
7	4)5)	成人言語聴覚障害のスクリーニング検査を作成する②	講義・演習・SGD	伊 藤
8	4)5)	小児言語聴覚障害のスクリーニング検査を作成する①	講義・演習・SGD	戸 高
9	4)5)	小児言語聴覚障害のスクリーニング検査を作成する②	講義・演習・SGD	戸 高
10	1)2)3) 6)	言語聴覚障害を評価する①:実際に検査を実施する	演 習	戸高・倉澤・伊藤
11	1)2)3) 6)	言語聴覚障害を評価する②:実際に検査を実施する	演 習	戸高・倉澤・伊藤
12	1)2)3) 7)	言語聴覚障害を評価する③:実際の検査の結果をまとめ、分析する	演習・SGD	戸高・倉澤・伊藤
13	1)	安全管理を知る:車椅子の操作、移乗方法を理解する①	講義・演習・SGD	外部講師
14	1)	安全管理を知る:車椅子の操作、移乗方法を理解する②	講義・演習・SGD	外部講師
15	1)3)8)	見学実習(特別支援学校)	演習・SGD	戸 高

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	標準言語聴覚障害学 言語聴覚療法 評価・診断学 (藤田郁代 監修)医学書院【ISDN 978-426004148】 言語聴覚士テキスト 第4版(大森 孝一他編集) 医歯薬出版【978-4-263-26690-8】 言語聴覚士国家試験 必須ポイント ST 基礎科目 2025 医歯薬出版【978-4-263-27152-0】 言語聴覚士国家試験 必須ポイント ST 専門科目 2025 医歯薬出版【978-4-263-27153-7】 言語聴覚士のための臨床実習テキスト 成人編(深浦順一 他編著)建帛社【ISDN 978
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	随時紹介する。

科目名	言語聴覚障害演習Ⅲ			授業コード	121647A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51S322P05	AL 科目	○
担当者	戸高 翼(臨・臨)、倉澤美智子(臨・臨)、伊藤さゆり(臨・臨)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	言語聴覚士になるためには、言語聴覚療法に必要な知識に加えて、利用者中心の言語聴覚療法を行うために必要な臨床技術、態度を身につける必要がある。 「言語聴覚障害演習Ⅲ」では、多様な状態を示す言語聴覚障害児・者に適切な評価および言語聴覚療法を行うことができる言語聴覚士になるために(DP3,6)、学外評価臨床実習、学外総合臨床実習、そして将来の臨床現場で求められる技能や知識、基本的態度、障害をトータルに見る視点を身につけ、かつ、チーム活動の中で主体性や協調性、分析力などを身につける(CP1(7))。						
学修目標	1)言語聴覚士の業務を理解し、学外評価・総合臨床実習で求められる言語聴覚士に必要な基本的態度、知識、技術を理解、修得する。 2)ICFと言語聴覚療法について理解し、評価・支援に活かす視点を知る。 3)摂食嚥下機能、障害像を脳画像の視点も含め、アセスメントすることができる。 4)言語聴覚療法における検査結果の分析および支援の立案に必要な視点を理解する。 5)検査結果を元に訓練を立案し、適切な教材の作成、実施方法を身につける。 6)模擬患者に検査を実施し、適切な検査を実施するために必要な技能を理解する。 7)模擬患者として、フリートークや問診を受け、患者の立場に立った声掛けや態度を知る。 8)言語聴覚療法における研究の意義を理解し、エビデンスに基づく臨床的思考の必要性を知る。						
実務経験のある 教員による教育	言語聴覚士として臨床経験5年以上の者(戸高、倉澤、伊藤)が担当する。						
評価及びフィード バックの方法	各回の授業で要点テストを授業開始時に行う。要点テストについては、採点は授業担当者が行い、学習成果をフィードバックする。課題は、次回授業開始時に提出し、授業担当者が内容の確認をし、解説内容に過不足がある場合は、解説を行う。授業時間外の学習への取り組み姿勢(確認小テストや課題内容)を 20%、自発的な質問・発言など授業への主体的な参加態度を 10%、学期末の単位認定試験 70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	・本授業は、「言語聴覚障害演習Ⅰ・Ⅱ」と関連があり、かつ「学外評価臨床実習」、「学外総合臨床実習」に繋がっていく科目である。そのため、学外実習時を想定し、自らの体調管理に努める、積極的行動する、言葉遣いに気をつける等、実習の事前学修として意識しながら参加をすること。 ・演習内容は、復習を積極的に行い、技術の定着を目指すこと。 ・返却された確認テストや課題を用いて、学習内容を復習すること。 ・SGD や演習活動時には、自ら能動的に考える場であることを理解し、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べること。						
オフィスアワー	各教員に確認すること。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	「学外総合臨床実習」の報告会を聴講し、学外実習を知る				講 義	戸高・倉澤・伊藤
2	2)	国際生活機能分類(ICF)を理解する				講義・演習・SGD	伊 藤
3	1)3)	脳画像からみる嚥下評価を理解する①				講義・演習・SGD	外部講師
4	1)3)	脳画像からみる嚥下評価を理解する②				講義・演習・SGD	外部講師
5	4)	検査結果を分析する際の留意点を理解する				講義・演習・SGD	戸 高
6	5)	成人言語聴覚障害(失語症、高次脳機能障害)の支援計画作成と訓練立案の流れを知る				演習・SGD	伊 藤
7	5)	成人言語聴覚障害(発声発語障害、摂食嚥下障害)の支援計画作成と訓練立案の流れを知る				講義・演習・SGD	倉 澤
8	5)	小児言語聴覚障害の支援計画作成と訓練立案の流れを知る				演習・SGD	戸 高
9	6)	検査者になり、検査を実施する際の配慮事項等を学ぶ				演習・SGD	戸高・倉澤・伊藤
10	5)	訓練目標・内容に応じた訓練教材(成人)を考え、作成する				演習・SGD	伊 藤
11	5)	訓練目標・内容に応じた訓練教材(小児)を考え、作成する				演習・SGD	戸 高
12	5)	訓練目標・内容に応じ作成した訓練教材を発表する				演習・SGD	戸高・倉澤・伊藤
13	7)	模擬患者となり、フリートーク、問診を受ける				演習・SGD	戸高・倉澤・伊藤
14	8)	学会参加:言語聴覚士の業務を知る、言語聴覚療法に関する最新の知見を知る				演習・SGD	戸高・倉澤・伊藤
15	8)	学会参加:言語聴覚士の業務を知る、言語聴覚療法に関する最新の知見を知る				演習・SGD	戸高・倉澤・伊藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		標準言語聴覚障害学 言語聴覚療法 評価・診断学 (藤田郁代 監修)医学書院【ISBN 978-426004148】 言語聴覚士テキスト 第4版(大森 孝一他編集) 医歯薬出版【978-4-263-26690-8】 言語聴覚士国家試験 必須ポイント ST 基礎科目 2025 医歯薬出版【978-4-263-27152-0】 言語聴覚士国家試験 必須ポイント ST 専門科目 2025 医歯薬出版【978-4-263-27153-7】 言語聴覚士のための臨床実習テキスト 成人編(深浦順一 他編著)建帛社【ISBN 978					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		随時紹介する。					

科目名		スクールソーシャルワーク論			授業コード	121118B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		臨床福祉学科(3 年)、臨床心理学科(3 年)、スポーツ健康福祉学科(3 年)			ナンバリング	51C321P10	AL 科目		
担当者		日田 剛	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.		ソーシャルワークの基本的理解を進めた上で、学校を実践現場とするスクールソーシャルワークを学ぶ(DP3)。教育現場である学校の組織論、指導論、運営論から学校文化について理解する。さらに学校現場でソーシャルワークが求められている背景を知り、スクールソーシャルワークの歴史(世界的な動向とわが国の取り組み)、役割について具体的に理解する(DP7)。							
学修目標		1)ソーシャルワークの方法、機能、価値について説明できる。 2)学校の組織構造を図示して表すことができる。 3)学校運営について説明できる。 4)学校でソーシャルワークが求められる要因についてあげることができる。 5)スクールソーシャルワークの歴史を整理することができる。 6)スクールソーシャルワークの理論、方法について理解できる。 7)具体的な実践について事例から理解できる。							
実務経験のある 教員による教育		外部講師として社会福祉士のスクールソーシャルワーカーを招く予定							
評価及びフィード バックの方法		客観試験 60%、課題提出(レポートなど)40%として総括的評価を行う。							
準備学習・ 履修上の注意等		本科目は基本的に社会福祉士の取得を前提として展開されるものである。そのため社会福祉、ソーシャルワークについての基礎的知識を習得していることが必要である。							
オフィスアワー		研究室前に掲示							
授業計画									
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容						授業 方法	担当
1	1)	ソーシャルワークの基礎について復習する。						講 義	日 田
2	1)4)	スクールソーシャルワークが求められる背景と要因を理解する①						講 義	日 田
3	1)4)	スクールソーシャルワークが求められる背景と要因を理解する②						講 義	日 田
4	4)5)	スクールソーシャルワークの歴史を知る。						講 義	日 田
5	4)5)	スクールソーシャルワークの動向と現状を理解する。						講 義	日 田
6	1)6)	スクールソーシャルワークの価値と目的を理解する。						講 義	日 田
7	1)6)	スクールソーシャルワークとカウンセリングの違いを理解する。						講 義	日 田
8	2)3)4)	学校教育の特徴を知る①						講 義	日 田
9	2)3)4)	学校教育の特徴を知る②						講 義	日 田
10	2)3)4)	連携機関を理解する。						講 義	日 田
11	1)6)	スクールソーシャルワークの基礎理論を理解する。						講 義	日 田
12	1)6) 7)	事例検討1						講 義	外部講師
13	1)6) 7)	事例検討2						講 義	外部講師
14	1)3)4) 6)7)	スクールソーシャルワーク実践見学(もしくは事例検討3)						講 義	外部講師
15	1)2) 3)4) 6)7)	事例まとめ						講 義	日 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			よくわかるスクールソーシャルワーク 第2版(山野則子・野田正人・半羽利美佳) ミネルヴァ書房【978-4-623-07834-9】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			スクールソーシャルワーカー活動実践事例集 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1246334.htm						

科目名		スクールソーシャルワーク演習		授業コード	121513A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)		臨床福祉学科(3 年)、臨床心理学科(3 年)、スポーツ健康福祉学科(3 年)		ナンバリング	51C322P08	AL 科目	○	
担当者		日 田 剛	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		実践場面を想定した事例を用いて、スクールソーシャルワークの一連の流れを検討して目標達成を具体的にイメージする。その際個人作業、グループでのディスカッションを取り入れる。この演習で理論と実践を結びつけることを目標とする(DP7)。						
学修目標		1)スクールソーシャルワークの意義を確認する。 2)学校現場で把握される児童、生徒のニーズについて理解できる。 3)ニーズ発見から介入までの流れを組み立てることができる。 4)児童、生徒についての目標を設定できる。 5)連携協働する社会資源について理解し、連携する力を身につける。 6)演習を通してソーシャルワークの理論と方法を結びつけることができる。						
実務経験のある 教員による教育		社会福祉士のスクールソーシャルワーカーを外部講師として招く予定である。						
評価及びフィード バックの方法		演習内での指導を含めた演習への取り組み60%、ボランティア等の学外活動への参加40%						
準備学習・ 履修上の注意等		この演習はスクールソーシャルワーク論の既習者を対象とする。また授業内での演習に加え、学外でのボランティア活動への参加を原則とする。						
オフィスアワー		月水金 12:30~13:00						
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当	
1	1)	スクールソーシャルワークの意義を確認する。				講 義	日 田	
2	2)	学校現場で把握される児童、生徒のニーズについて理解する①				演 習	日 田	
3	2)	学校現場で把握される児童、生徒のニーズについて理解する②				演 習	日 田	
4	2)3)	スクールソーシャルワークの展開過程を理解する①				演 習	外部講師	
5	2)3)4)	スクールソーシャルワークの展開過程について理解する②				演 習	外部講師	
6	2)3)4)	学内連携とスーパービジョンの機能と実際				演 習	外部講師	
7	2)3)4)	教師による生徒指導や学習指導におけるスクールソーシャルワーカーの関わり				演 習	外部講師	
8	2)3)4) 5)6)	演習1(児童虐待事案)				演 習	日 田	
9	2)3)4) 5)6)	演習2(貧困家庭事案)				演 習	日 田	
10	2)3)4) 5)6)	演習3(いじめ問題事案)				演 習	日 田	
11	2)3)4) 5)6)	演習4(不登校事案)				演 習	日 田	
12	2)3)4) 5)6)	演習5(性的マイノリティ事案)				演 習	日 田	
13	2)3)4) 5)6)	演習6(保護者対応トラブル事案)				演 習	日 田	
14	2)3)4) 5)6)	演習7(自殺問題事案)				演 習	日 田	
15	2)3)4) 5)6)	事例発表				演 習	日 田	
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		よくわかる スクールソーシャルワーク 第2版(山野則子・野田正人・半羽利美佳)ミネルヴァ書房【978-4-623-07834-9】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		スクールソーシャルワーカー活動実践事例集 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1246334.htm						

科目名		医療ソーシャルワーク論		授業コード	120135B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学部 臨床心理学科 (3 年)		ナンバリング	51C322P09	AL 科目	○
担当者		川崎 順子(福・福)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態 講 義 演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.		超高齢社会を迎えた日本の医療現場は、治療重視の医療モデルから病気と共に生きる生活モデルへと変化している。そのような状況のなか、医療現場で患者を支える医療ソーシャルワーカーへの役割が求められている。 そのため医療ソーシャルワーク論では医療ソーシャルワーカーの価値や倫理を学び医療ソーシャルワーカーの役割を明確にし実践の場で患者やその家族に寄り添った支援ができることを目標とする。 (心理 DP(3)(5)(6))					
学修目標		1.「病む」ことによって経験する多様な課題を理解する。 2.多様な援助者の一人として医療ソーシャルワーカーに焦点付け、医療ソーシャルワーカーの援助活動の概要を説明できる。 3.「病む」人に対する支援について、システムや制度、政策による支援について理解し考察する。 4.病院機能別について、具体的な支援の在り方を理解し医療ソーシャルワーカーの立ち位置を考察する。					
実務経験のある 教員による教育		科目担当者は社会福祉士の有資格者として、5 年以上の実務経験に基づきその経験を通し医療ソーシャルワーカーとして必要な知識、技術、価値の修得を目的とした授業を行う。					
評価及びフィード バックの方法		授業での取り組み姿勢、課題の提出状況 50%、定期試験 50%により評価する。毎時間のレポートを踏まえ理解度を確認し、フィードバックを行う。					
準備学習・ 履修上の注意等		社会福祉士の資格取得を希望し、ソーシャルワーク実習を履修済みのもの。 4 年次の医療ソーシャルワーク実習を履修・希望する者は必修する。 1 回の授業につき、4 時間を目安に予習・復習を行うこと。					
オフィスアワー		16 時 30 分～17 時 30 分。ただし木、実習期間中は除く。					
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	2)	医療における社会保障政策の動向と医療ソーシャルワーカーの役割を理解する。				講 義	川 崎
2	2)	医療ソーシャルワークの成立の経過と今後の課題を理解する。				講 義	川 崎
3	2)	医療ソーシャルワークの業務指針と価値と倫理について理解する。				講 義	川 崎
4	1)	医療ソーシャルワーカーに必要な医学的知識を理解する。				講 義	川崎・外部講師
5	1)2)	病院の機能と医療ソーシャルワーカーの業務内容を理解する。				講 義	川崎・外部講師
6	3)	診療報酬について学び、そのプロセスを理解する。				講 義	川崎・外部講師
7	1)2)3)	生活機能障がい者の苦しみを理解し、事例をとおして支援の在り方を探る。				講 義	川 崎
8	1)2)3)	医療における「家族」を理解するための視点や支援の方法を事例で理解する				講 義	川 崎
9	2)3)4)	医療ソーシャルワーカーの支援展開を事例で理解する。①				S G D	川 崎
10	2)3)4)	医療ソーシャルワーカーの支援展開を事例で理解する。②				S G D	川 崎
11	2)3)4)	医療ソーシャルワーカーの支援展開を事例で理解する。③				S G D	川 崎
12	4)	医療の場で活躍する実践者を招聘し、倫理的ジレンマ等の実際を知る。				講 義	川 崎
13	4)	医療ソーシャルワーカーの活躍する実践の場を見学し役割を理解する。①				施設見学	川 崎
14	4)	医療ソーシャルワーカーの活躍する実践の場を見学し役割を理解する。②				施設見学	川 崎
15	2)	総括 医療ソーシャルワーカーの役割を説明することができる。				講 義	川 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		よくわかる医療福祉 ミネルヴァ書房 保健医療ソーシャルワークの基礎 ―実践力の構築― 公益財団法人 日本医療社会福祉協議会編					

科目名	医療ソーシャルワーク実習指導			授業コード	121515A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 臨床福祉学科(4 年)・スポーツ健康福祉学科(4 年) 臨床心理学部 臨床心理学科(4年)			ナンバリング	51C421P05	AL 科目	○
担当者	川崎 順子(福・福)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するボ リシ-No.	実習前指導と実習後指導として、前期から後期に分けて授業を行う。 実習前指導では、医療ソーシャルワークの実習先を十分に理解し、具体的な実習課題を立て実習準備ができることが求められる。そこで、実習を効果的におこなうために、実習先となる医療機関の法的根拠、業務内容、対象者の理解をはじめ、医療ソーシャルワーカーとして求められる資質、知識、技術等を修得し、実習における自己の課題を明確にすることを目標とする。臨床 DP(3)(7)、スポ DP(2)(3)、心理 DP(3)(5) 実習事後指導では、実習内容を振り返ることにより、目標達成状況を評価し、医療ソーシャルワーカーとしての課題を明確にする。臨床 DP(5)(6)(7)、スポ DP(2)(4)、心理 DP(5)(6)						
学修目標	実習前指導 1)実習の事前準備に必要な心構えができる。 2)医療機関の概要や法的根拠・役割・機能が説明できる。 3)医療ソーシャルワークの業務内容や利用者の特性が説明できる。 4)医療ソーシャルワーカーに必要とされる知識・技術について説明できる。 5)実習目標・課題を明確に設定することができる。 実習後指導 6)実習内容を振り返り、医療ソーシャルワークの業務内容の実際について説明できる。 7)医療ソーシャルワークに必要とされる知識・技術の実際について説明できる。 8)実習目標や実習課題の達成状況を評価し、報告できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、社会福祉士の有資格者であり5年以上の実務経験に基づき、医療ソーシャルワークに必要な知識、技術、価値の修得を目標とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	実習事前課題の取り組み状況、実習計画の内容 50%、実習事後の振り返り状況、実習報告まとめ成果を 50%とし、総合的に評価する。実習前後に、理解状況を把握し、フィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	3 年次に社会福祉士のソーシャルワーク実習Ⅱを修得していること。 3 年次の医療ソーシャルワーク論・チーム医療概論を修得していること。 医療機関における実習のため、特に健康管理に留意すること。 指示された課題、書類等は提出期日を厳守すること。						
オフィスアワー	実習センター 9:00～17:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 授業スケジュールに基づく実習の事前準備の必要性の理解と実習に向けての心構えが理解できる。				演 習	川 崎
2	1)2)3)	医療ソーシャルワーカーの業務内容を理解し、実習課題設定の準備ができる。。				演 習	川 崎
3	1)2)3)	実習先を選定するために、実践現場を見学し、具体的な実習のイメージをつくる。				見学・講義	川 崎
4	1)2)3)	実習先を確定し、実習先の概要を理解するとともに、医療ソーシャルワークの実習課題を設定し、実習計画を作成する準備を進めることができる。				演 習	川 崎
5	4)5)	医療ソーシャルワークの実習課題を設定し、実習計画を作成することができる。				演 習	川 崎
6	3)4)	医療機関における実習に伴うリスクマネジメントを再確認し、具体的方法を理解できる。				演 習	川 崎
7	1)2)3) 4)5)	実習先指導者と面談を行うことにより、具体的な実習内容・プログラムの確認を行い、実習に向けた準備ができる。				演 習 面 談	川崎・外製講師
8	1)5)	実習に向けての記録の取り扱いや実習中の姿勢・態度について説明できる。 実習直前オリエンテーションを行い、本実習に向けての最終確認ができる。				演 習	川 崎
9	6)	実習内容を振り返り、医療ソーシャルワーカーの実際から学んだことを理論的枠組みを用いて整理することができる。				演 習	川 崎
10	6)7)	実習体験から、医療ソーシャルワークに必要とされる知識や技術を整理し、その必要性を認識したケースをもとに分析を試みる。				演 習	川 崎
11	6)7)	実習体験から、医療ソーシャルワークに必要とされる知識や技術を整理し、その必要性を認識したケースをもとに分析を試みる。				演 習	川 崎
12	7)8)	実習日誌をもとに実習課題の達成状況を振り返り、報告書作成に取り組む。				演 習	川 崎
13	8)	実習先からの評価を踏まえ、ソーシャルワーカーに求められる資質について、自己課題を明確にする。				演 習	川 崎
14	8)	実習報告書をもとに、実習報告会にて実習状況について発表する。				演 習 学生発表	川 崎
15	6)7)8)	最終総括として、医療領域におけるソーシャルワーカーの役割を再確認するとともに、ソーシャルワークに共通する価値、知識、技術について説明できる。				演 習	川 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	医療ソーシャルワーク実習			授業コード	121516A101	単位数 (時間数)	1 単位 (45)
配当学科(学年)	社会福祉学部 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(4 年) 臨床心理学部 臨床心理学科(4年)			ナンバリング	51C421P06	AL 科目	○
担当者	川崎 順子(福・福)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	医療ソーシャルワーク実践場面である医療機関での学外実習を行い、具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術などを修得することを目標とする。臨床 DP(2)(3)、スポ DP(1)(3)、心理 DP(1)(3) また、実習課題・実習計画に基づいた実習を振り返り、医療ソーシャルワーカーに求められる資質、知識、技術等を体系的にまとめ、自己課題を明確にすることを目標とする。臨床 DP(5)(6)(7)、スポ(2)(4)、心理(5)(6)						
学修目標	1)医療ソーシャルワーカーとしての基本的態度を習得する。 2)実習課題を意識しながら、積極的・主体的に実習を行うことができる。 3)実習先の概要、多様な専門職種の業務内容が説明できる。 4)医療ソーシャルワーカーとして、実習課題が達成できるように実践することができる。 5)実習記録等提出物は、期限内に的確に提出できる。 6)実習を振り返り、課題達成状況が説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、社会福祉士の有資格者であり、5 年以上の実務経験に基づき、医療ソーシャルワークに必要な知識、技術、価値の修得を目標とする。実習期間中は適宜巡回指導を行う。						
評価及びフィード バックの方法	実習先の指導者の評価ならびに巡回指導での個別指導に基づき、実習課題の達成状況により総合的に評価する。巡回指導時に実習課題の習得状況を確認し、フィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	3 年次に社会福祉士のソーシャルワーク実習Ⅱを修得していること。 3 年次の医療ソーシャルワーク論・チーム医療概論を修得していること。 4 年次に医療ソーシャルワーク実習指導を履修しておくこと。 医療機関における実習のため、特に健康管理に留意すること。 指示された課題、書類等は提出期日を厳守すること。 実習期間は実習に専念すること。						
オフィスアワー	実習センター 9:00～18:30						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)5)	実習の実施概要 指定した医療機関において、1 日 8 時間を基本とし、5 日～10 日間の実習を行う。 実習期間は、実習先と調整し、指定した期間をとする。 実習期間には、毎日実習記録を行い、実習先に提出する。				実 習	川 崎
2	1)2)3) 4)5)	実習指導の方法 具体的な実習プログラムは、自己の実習課題を踏まえ、実習先指導者との調整により決定する。 日常的には実習指導者からの指導に従う。 担当教員は実習先訪問による巡回指導を行い、実習状況を確認する。				実 習	川 崎
3	1)2)3) 4)5)	実習の内容 実習では、実習課題の達成に向け、実習プログラムに沿って実習を行う。 次に掲げる事項が実施できるように実習に取り組む。 実習態度・取組姿勢 1. 医療ソーシャルワーカーとしての態度・姿勢が身についている。 2. 出勤時間や注意事項等の業務遂行の規則を守ることができる。 3. 実習指導者の指導・助言を積極的に求め、主体的に学習を進めることができる。 4. 実習に関わった職員や関係者と協調することができる。 5. 実習記録やその他の書類等を的確に作成し、期限までに提出することができる。				実 習	川 崎
4	1)2)3) 4)5)	医療ソーシャルワーク実習内容 1. 医療機関のある地域の特性を理解している。 2. 医療機関が地域に果たしている機能や役割を理解している。 3. 医療機関の法的根拠や運営理念、業務内容を理解している。 4. 医療機関における他職種の役割と業務内容を理解している。 5. 医療ソーシャルワーカーの役割と業務内容を理解している。 6. 専門職としての価値・倫理を理解している。 7. チームアプローチのあり方、関係機関との連携のあり方を理解している。 8. 利用者や家族、関係者と関わる事ができる。 9. 利用者の実態、二				実 習	川 崎
5	3)4)6)	実習振り返り 1. 実習課題の達成状況を評価し、説明できる。 2. 実習内容を踏まえ医療ソーシャルワーカーに必要なとされる知識・技術についてまとめることができる。				演 習	川 崎

教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。		

科目名	連携実践演習			授業コード	121512A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(4 年) 臨床心理学部 臨床心理学科(4年)			ナンバリング	51C421P08	AL 科目	○
担当者	川崎 順子(福・福)	開講学期	2025 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	相談援助専門職は、様々な相談ケースに対応できる総合的かつ包括的な実践力を発揮していくことが求められている。そのためには、多様な専門職・関係者とチームを形成し、適切な支援に向けた連携が欠かせない状況にある。また、近年の政策動向では、地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の実現を目指した施策が具体的に実施されている状況にある。 本授業では、政策動向を踏まえた連携の必要性を確認し、福祉・医療を中心とした多職種連携のあり方を学び、演習を通して実践力を習得することを目標とする臨床 DP(2)(3)(7)、スポ DP(1)(2)(3)、心理 DP(1)(3)(5)。						
学修目標	1)地域包括ケアシステム・地域共生社会における連携の必要性が説明できる。 2)連携の定義を理解し、類型と段階が説明できる。 3)連携に係る専門職の役割を理解し、説明できる。 4)連携実践場面の事例を活用し、連携に際して必要とされる構成要素が説明できる。 5)連携実践場面の見学を行い、連携実践力の現状を理解する。 6)事例演習(ロールプレイ)により、実践力を習得する。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当は、社会福祉士の資格を有し実践現場 5 年以上の経験に基づき、連携実践場面の実際を参考に授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	演習授業の取組姿勢・実践力の習得状況を 50%、レポート課題・試験を 50%として総合的に評価する。毎時間に提出するレポートや小テストにおいて理解度を確認し、フィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	社会福祉士・精神保健福祉士等相談援助専門職の資格取得を希望していること 演習授業に主体的、積極的に取り組み、与えられた役割を担うこと レポート課題などの提出期限を厳守すること 1 コマにつき予習・復習を 4 時間以上行うこと						
オフィスアワー	時間割確定後研究室に掲示する						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 授業の目的を理解し、授業スケジュールを確認できる。 地域包括ケアシステム、地域共生社会に関する政策動向を理解する。				講義・演習	川 崎
2	2)	連携の定義を理解し、連携の類型、段階が説明できる。				演 習	川 崎
3	3)	連携に係る専門職の役割を理解する。(医療系)				演 習	川 崎
4	3)	連携に係る専門職の役割が理解できる。(福祉系)				演 習	川 崎
5	3)	連携に係る専門職の実際を理解する(医療系①)				演 習	川崎・学内教員
6	3)	連携に係る専門職の実際を理解する(医療系②)				演 習	川崎・学内教員
7	3)	連携に係る専門職の実際を理解する(医療系③)				演 習	川崎・学内教員
8	3)4)	連携実践場面の事例を活用し、連携の具体的展開方法を理解する。				演 習	川 崎
9	3)4)	連携実践場面の事例を活用し、連携の具体的展開方法を理解する。				演 習	川 崎
10	3)4)	連携実践場面の事例を活用し、連携の具体的展開方法を理解する。				演 習	川 崎 外部講師
11	5)	連携実践場面の見学を行い、連携実践力の現状を理解する。				演 習	川 崎 外部講師
12	5)	連携実践場面の見学を行い、連携実践力の現状を理解する。				演 習	川 崎
13	6)	事例演習(ロールプレイ)により、実践力を習得する。				演 習	川 崎
14	6)	事例演習(ロールプレイ)により、実践力を習得する。				演 習	川 崎
15	1)2)3) 4)5)6)	まとめ 福祉・医療を中心とした多職種連携のあり方が説明できる。				演 習	川 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて講義時に関連教材を紹介する。					

科目名		認知症の理解Ⅰ		授業コード	120838B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		臨床福祉学科(3 年)		ナンバリング	51C321P11	AL 科目	○	
担当者		稲田 弘子(スポ)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.		我が国における認知症ケアは、パーソンセンタードケアつまりその人らしさを大切にしたいケアの在り方が主になっている。認知症高齢者がその人らしく、地域や施設で生活できるよう支援することのできる介護福祉士となるために、認知症に関する基礎的知識や、認知症の特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を修得する。(DP3.6)(CP9)						
学修目標		1) 認知症の基本的な知識(動向・医学的・心理的側面)について説明できる。 2) 認知症に伴うこころの変化について説明できる。 3) 認知症に伴う生活への影響とケアのあり方(家族支援も含む)について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育		科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院(在宅を含む)、施設(在宅を含む)】が 5 年以上ある。その経験に基づき、介護福祉士として必要な知識・技術の修得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法		学期末の単位認定試験 70%、学修への取り組み状況(授業態度、課題提出・内容)30%で総括的に評価する。 ◆学修への取り組み状況 DVD 視聴後、レポートの課題がある。期限内の提出と、レポートの内容で評価する。 SGD 時は、積極的に発言し参加すること。 詳細な評価基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等		介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。高等学校教諭1種免許状(福祉)を希望する場合は必修。 授業で配布したプリントはきちんとファイリングすること。欠席した場合は、プリントを研究室まで取りに来ること。 毎授業ごとに配布するプリント、テキストをよみかえし、復習し、まとめること。 レポート、課題は期限内に提出すること。 定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。						
オフィスアワー		時間割確定後、研究室前に提示。						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当	
1	1)	オリエンテーション。認知症を取り巻く社会的状況について				講 義	稲 田	
2	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症の定義について(介護保険法、ICD-10)				講 義	稲 田	
3	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症の原因となる主な病気について				講 義	稲 田	
4	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症の中核症状とBPSD について				講 義	稲 田	
5	1)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】介護の基本について(竹内理論)				講 義	稲 田	
6	2)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症高齢者本人の心情や心理について(DVD「遠い日の架け橋」)				講 義	稲 田	
7	2)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症高齢者本人の心情や心理について				講義・演習	稲 田	
8	2)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症高齢者本人の内的世界について				講義・演習	稲 田	
9	2)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症高齢者本人の内的世界について(クリスティンブライデン氏の手記より)				講 義	稲 田	
10	3)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】認知症ケアの原理・原則について(9 の法則)				講 義	稲 田	
11	3)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】認知症ケアの実際について(環境を変えない GH、小規模多機能等)				講義・SGD	稲 田	
12	3)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】認知症ケアの実際について(DVD「ぼけと向き合う日々」)				講義・SGD	稲 田	
13	3)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】認知症ケアの実際について(DVD「ぼけと向き合う日々」)				講義・SGD	稲 田	
14	3)	「家族のたどる心理ステップ」と家族への支援について考える				講義・SGD	稲 田	
15	3)	総括「いつだってこころは生きている」他				講 義	稲 田	
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		改訂5版 認知症ケアの基礎(日本認知症ケア学会 編)株式会社 ワールドプランニング 【ISBN978-4-86351-231-3】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない(必要時プリントを配布する)						

科目名	認知症の理解Ⅱ			授業コード	120839B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51C321P12	AL 科目	○
担当者	稲田 弘子(スポ)	開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	我が国における認知症ケアは、パーソンセンタードケアつまりその人らしさを大切にしたケアの在り方が主になっている。認知症高齢者がその人らしく、地域や施設で生活できるよう支援することのできる介護福祉士となるために、認知症に関する基礎的知識やケアの在り方をさらに深め、認知症ケアの課題を理解し、地域全体でささえることができる介護の視点を修得する。「認知症の理解Ⅱ」では、「認知症の理解Ⅰ」の内容をさらに深める。臨床福祉学科(DP3.6)(CP9) スポーツ健康福祉学科(DP1.2)(CP2) 臨床心理学科(DP5)(CP4)						
学修目標	1) 認知症についての基礎知識(動向・医学的・心理的側面)について説明できる。 2) 認知症の人のケアのあり方について説明できる。 3) 若年性認知症の理解と支援について説明できる。 4) 認知症予防について説明できる。 5) 認知症ケアの連携と協働のあり方について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院(在宅を含む)、施設(在宅を含む)】が5年以上ある。その経験に基づき、介護福祉士として必要な知識・技術の修得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	7 回目に 40%分、16 回目に 40%分の筆記試験、学修への取り組み状況(授業態度、課題提出・内容)20%で総括的評価する。 ◆学修への取り組み状況 DVD 視聴後、レポートの課題がある。期限内の提出と、レポートの内容で評価する。 SGD 時は、積極的に発言し参加すること。 詳細な評価基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	「認知症の理解Ⅰ」を履修していること。介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 授業で配布したプリントはきちんとファイリングすること。欠席した場合は、プリントを研究室まで取りに来ること。 毎授業ごとに配布するプリント、テキストをよみかえし、復習し、まとめること。 レポート、課題は期限内に提出すること。 定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。						
オフィスアワー	時間割確定後、研究室前に提示						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	「認知症の理解Ⅰ」の復習				講 義	稲 田
2	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】脳神経系、記憶について				講 義	稲 田
3	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】アルツハイマー型認知症について① 病態				講 義	稲 田
4	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】アルツハイマー型認知症について② 薬 検 査				講 義	稲 田
5	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症について				講 義	稲 田
6	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】脳血管性認知症、生常圧水頭症、慢性硬膜下血腫について				講 義	稲 田
7	1)2)	中間試験 【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】認知症の歴史				講 義	稲 田
8	2)	認知症の歴史から認知症ケア変遷を考える DVD「きのこエスポール病院の 30 年」				講 義	稲 田
9	2)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】ユマニチュードについて				講 義	稲 田
10	2)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】カンフォータブルケアについて ひもときシートについて				講 義	稲 田
11	2)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】認知症の人とのコミュニケーションのあり方(バリデーション)				講義・SGD	稲 田
12	2)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】パーソンセンタードケア 若年性認知症について(概論)				講義・SGD	稲 田
13	5)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】認知症の社会的支援について(若年性認知症の事例)				講義・SGD	稲 田
14	4)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】MCI について 認知症予防について				講義・SGD	稲 田
15	3)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】身体拘束について				講 義	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		改訂5版・認知症ケアの基礎(日本認知症ケア学会 編)株式会社 ワールドプランニング【ISBN978-4-86351-231-3】 「認知症の理解Ⅰ」で使用している。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。(必要時プリントを配布する)					

科目名	基礎ゼミⅠ			授業コード	121158B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科言語コース(2 年)			ナンバリング	51C211P01	AL 科目	○
担当者	松山 光生(臨心)	開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	患者さんや家族、他職種の状況を把握、考慮したコミュニケーションができ、適切な人間関係を築き、言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い、評価に必要なプロセスが遂行できる言語聴覚士になるために、自立的な学習能力の基礎となるリテラシー能力の獲得とコミュニケーション能力の向上を図る。						
学修目標	1)相手の立場を踏まえた文章が書ける。 2)話す際の態度を身につける。 3)相手の話を聴く際の態度を身につける。 4)言語聴覚障害に関する教科書や、専門書を読むことができる。 5)専門用語の表す意味を教科書や専門書を用いて調べることができる。 6)PowerPoint を活用して、わかりやすく説明できる。 7)症例報告の構成と項目が理解できる。						
実務経験のある 教員による教育							
評価及びフィード バックの方法	平常点 40%、期末試験 60%の点数で総合的に評価する。。						
準備学習・ 履修上の注意等	各活動が臨床や研究とどう結びつか、自らで考えていってほしい。提出物の期日を必ず守ってほしい。 次のように、1回授業につき 120 分を目安に予習、復習を行うこと。 授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。 返却された提出物を再び、独力で完成できるようにしておくこと。						
オフィスアワー	毎週火・水曜日 18:15～19:15						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)～7)	【本授業の意義と流れを把握する】 臨床活動と本授業の各活動が理解できる。				講 義	松 山
2	1)	【手紙の書き方とマナーを学ぶ①】 お礼状の構成について説明できる。				演 習	松 山
3	1)	【手紙の書き方とマナーについて学ぶ②】 特定の人にお礼状を書くことができる。				講 義	松 山
4	1)	【手紙の書き方とマナーについて学ぶ③】 特定の人にお礼状を送る準備ができる。				演 習	松 山
5	2)～6)	【専門用語を調べ方、まとめ方を学ぶ①】 ケースカンファレンス資料の重要な用語を抽出できる。				演 習	松 山
6	2)～6)	【専門用語を調べ方、まとめ方を学ぶ②】 抽出された重要な用語と関連概念が考えることができる。				講 義	松 山
7	2)～6)	【専門用語を調べ方、まとめ方を学ぶ③】 用語や概念について、適切な資料を使って調べることができる。				演 習	松 山
8	2)～6)	【専門用語を調べ方、まとめ方を学ぶ④】 調べた事柄について、新たな課題を考えることができる。				講 義	松 山
9	2)～6)	【専門用語を調べ方、まとめ方を学ぶ⑤】 調べた事柄と新たな課題について、PowerPoint にまとめることができる。				演 習	松 山
10	1)2)5) 7)9)	【専門用語を調べ方、まとめ方を学ぶ⑥】 調べた事柄と新たな課題について、PowerPoint にまとめることができる。				演 習	松 山
11	2)～6)	【専門用語を調べ方、まとめ方を学ぶ⑦】 調べた事柄と新たな課題について、プレゼンテーションの準備ができる。				講 義	松 山
12	2)～6)	【専門用語を調べ方、まとめ方を学ぶ⑧】 調べた事柄と新たな課題について、プレゼンテーションできる。発表会①				演 習	松 山
13	2)～6)	【専門用語を調べ方、まとめ方を学ぶ⑨】 調べた事柄と新たな課題について、プレゼンテーションできる。発表会②				演 習	松 山
14	7)	【症例報告の書き方を学ぶ①】 症例報告の構成と小児領域の主な項目について列挙できる。				演 習	松 山
15	7)	【症例報告の書き方を学ぶ②】 症例報告の構成と成人領域の主な項目について列挙できる。				演 習	松 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名		基礎ゼミⅠ			授業コード	121158B602	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51C211P01	AL 科目	○	
担当者		加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山		開講学期	2025 年 度 前 期	必修・選択	必 修	授業形態	ゼミナール
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾーNo.		心理コースでの学習のあり方を理解し、3年次からの専門ゼミへとつながる基本的な研究能力を身につけることを目標とする。 (DP1,CP1)							
学修目標		1) 研究に必要な情報収集能力を身につける 2) 収集した情報を的確に理解し、かつ要約することができる 3) 収集した情報をもとに自己の考えをまとめ、かつ発信することができる 4) 情報発信、情報受信を通じて他者との適切なコミュニケーションを図ることができる 5) 研究を人権やコンプライアンスに関連づける倫理的配慮ができる							
実務経験のある 教員による教育									
評価及びフィード バックの方法		授業への参加、課題の提出など総合して評価します。 オフィスアワーなどを活用して個別にフィードバックを行う。							
準備学習・ 履修上の注意等		教員によって指示された準備学習がある場合には遺漏なく準備すること。不明な点があれば各担当教員に問い合わせること。							
オフィスアワー		各教員のオフィスアワーによる							
授業計画									
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当	
1	1)5)	イントロダクション					講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山	
2	1)2)	ノートテイクの技法1					講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山	
3	1)2)	ノートテイクの技法2					講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山	
4	1)2)	ここまでの確認					ゼ ミ	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山	
5	2)3)	リーディングの技法1					講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山	
6	2)3)	リーディングの技法2					講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山	
7	2)3)	リーディングの技法3					講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山	
8	3)4)	ここまでの確認					ゼ ミ	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山	
9	3)4)	ライティングの技法1					講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山	
10	3)4)	ライティングの技法2					講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山	
11	3)4)	ライティングの技法3					講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山	
12	3)4)	ここまでの確認					ゼ ミ	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山	
13	3)4)	ディスカッションの技法1					講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山	
14	1)~5)	ディスカッションの技法2					講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山	
15	1)~5)	総括					ゼ ミ	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山	
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			特に指定しません						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			適宜、紹介します						

科目名		基礎ゼミⅡ			授業コード	121159B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)		臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51C212P01	AL 科目	○
担当者		中村 真理子(臨・臨)、吉武 重徳 (臨・臨)	開講学期	2025 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		本講義では、医療専門職を目指す学生が将来臨床研究を行ううえで必要な基礎的知識や技能について習得することを目的とする。						
学修目標		1) 言語聴覚療法についての基礎を理解し、説明できる 2) CiNii、メディカル・オンライン、医学中央雑誌、PubMed を用いて、必要な文献を検索できる 3) 専門用語の表す意味を教科書や専門書を用いて調べることができる 4) 言語聴覚障害に関する教科書や専門書を読むことができる 5) プレゼンテーションに必要な知識を理解する 6) 医学論文作成に必要な統計手法を理解する 7) 医学論文の概要を理解し自らが作成できるようになる 8) 卒業論文のテーマを決定し研究計画を立案する						
実務経験のある 教員による教育		科目担当者中村は臨床現場で 5 年以上矯正歯科医としての臨床経験を有する。科目担当者吉武は臨床現場で5年以上医師としての臨床経験を有する。医師歯科医師が経験に基づいた臨床研究の進め方についての教授を行う。						
評価及びフィード バックの方法		学習への取り組み姿勢(確認テストや課題の提出、返却物の受け取り、質問・発言など授業への参加を 40%、及び学期末の単位認定試験成績やレポートを 60%として総合的に評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等		講義内容についてレポート提出等を行う						
オフィスアワー		各担当者の研究室前の掲示を参照						
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	医学研究とは					講 義	吉 武
2	2)3)4)	言語聴覚療法に関する文献収集					講義、演習	吉 武
3	2)3)4)	言語聴覚療法に関する資料の読み方・資料の整理					講義、演習	吉 武
4	2)3)4)	文献整理(知識の整理の仕方)					講義、演習	吉 武
5	2)3)4) 7)8)	医学論文作成方法解説					講義、演習	吉 武
6	5)	学会発表で必要なプレゼンテーションの知識を身につける1					講義、演習	中 村
7	5)	学会発表で必要なプレゼンテーションの知識を身につける2					講義、演習	中 村
8	6)	医学論文作成に必要な統計手法の理解1―EZR を用いて―					講義、演習	中 村
9	6)	医学論文作成に必要な統計手法の理解2―EZR を用いて―					講義、演習	中 村
10	6)	医学論文作成に必要な統計手法の理解3―EZR を用いて―					講 義	中 村
11	1)	口腔ケアの基礎知識①					講義、演習	中 村
12	1)	口腔ケアの基礎知識②					講義、演習	中 村
13	1)	感染対策及び緊急対応①					講義、演習	吉 武
14	1)	感染対策及び緊急対応②					講義、演習	吉 武
15	8)	卒業論文のテーマの決定ならびに研究計画の作成					講義、演習	吉 武
教科書(著者名)出版社名【ISBN】			使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】			随時配布予定。					

科目名		基礎ゼミⅡ			授業コード	121159B602	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)		臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51C212P01	AL 科目	○	
担当者		加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山		開講学期	2025 年 度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	ゼミナール
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.		基礎ゼミⅠでの学習を基礎として、臨床心理学研究の進め方を理解し、3年次からの専門ゼミ選択へとつなげることを目標とする。(DP1,CP1)							
学修目標		1) 専門ゼミ研究に必要な情報収集能力を身につける 2) 収集した情報を的確に理解し、専門ゼミレベルで要約することができる 3) 収集した情報をもとに自己の考えを文章としてまとめることができる 4) 研究テーマをめぐって他者との適切なコミュニケーションを図ることができる 5) 卒業研究にむけて必要な倫理的配慮について理解できる							
実務経験のある 教員による教育									
評価及びフィード バックの方法		授業への参加、課題の提出など総合して評価します。 オフィスアワーなどを活用して個別にフィードバックを行う。							
準備学習・ 履修上の注意等		教員によって指示された準備学習がある場合には遺漏なく準備すること。不明な点があれば各担当教員に問い合わせること。							
オフィスアワー		各教員のオフィスアワーによる							
授業計画									
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容						授業 方法	担当
1	1)5)	イントロダクション						講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山
2	1)2)	論文講読の技法1						講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山
3	1)2)	論文講読の技法2						講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山
4	1)2)	論文講読の技法3						ゼ ミ	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山
5	1)2)	論文講読の技法4						講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山
6	1)2)	ここまでの確認						講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山
7	2)3)	論文執筆の技法1						講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山
8	2)3)	論文執筆の技法2						ゼ ミ	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山
9	1)～ 3)	ここまでの確認						講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山
10	3)4)	研究発表の技法1						講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山
11	3)4)	研究発表の技法2						講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山
12	3)4)	研究発表の技法3						ゼ ミ	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山
13	3)4)	ここまでの確認						講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山
14	1)～5)	研究基礎力の確認と質疑応答						講 義	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山
15	1)～5)	総括						ゼ ミ	加藤 黒須 染矢 内藤 前田 松 山 横山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】				特に指定しません					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】				適宜、紹介します					